第４章　自然科学分析

第１節　放射性炭素年代測定（AMS 測定）

（株）加速器分析研究所

１　測定対象試料

砂子瀬遺跡は、青森県中津軽郡西目屋村大字砂子瀬字宮元（北緯40° 31′ 48″、東経140° 14′ 36″）に所在し、岩木川と湯ノ沢川の合流点に面する標高約190ｍの河岸段丘上に位置する。測定対象試料は、柱穴や土坑から出土した炭化物5点である（表１）。

掘立柱建物跡SB24、SB25、SB28、SB37は環状に配列され、これらを構成する柱穴から試料No.１、No.２、No.４、No.５が出土した。土坑BSP07の堆積土は人為埋没と判断され、その中から出土した石器剥片に多量にこびりついた炭化物を試料No.３とした。いずれの遺構も縄文時代後期と考えられている。

２　測定の意義

遺構の時期を明らかにする。BSP07は、十腰内Ⅰ式期の可能性があるが、出土土器が少ないため、年代測定によりクロスチェックを行う。

３　化学処理工程

（１）メス・ピンセットを使い、根・土等の付着物を取り除き、必要量の試料を採取、乾燥させ、秤量する（付表「処理前試料量」）。

（２）酸-アルカリ-酸（AAA：Acid Alkali Acid）処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させ、秤量する（付表「処理後試料量」）。AAA処理における酸処理では、通常1mol/ℓ（1M）の塩酸（HCl）を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム（NaOH）水溶液を用い、0.001Mから1Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。

（３）必要量を採取、秤量（付表「燃焼量」）した試料を燃焼させ、二酸化炭素（CO_2）を発生させる。

（４）真空ラインで二酸化炭素を精製、定量する。この二酸化炭素中の炭素相当量を算出する（付表「精製炭素量」）。

（５）精製した二酸化炭素を鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト（C）を生成させる。

（６）グラファイトを内径１㎜のカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

４　測定方法

加速器をベースとした^{14}C-AMS専用装置（NEC社製）を使用し、^{14}Cの計数、 ^{13}C濃度（$^{13}C/^{12}C$）、^{14}C濃度（$^{14}C/^{12}C$）の測定を行う。測定では、米国国立標準局（NIST）から提供されたシュウ酸（HOxⅡ）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。測定回数と^{14}Cカウント数を付表に示す。

5　算出方法

（1）$\delta^{13}C$ は、試料炭素の^{13}C 濃度（$^{13}C/^{12}C$）を測定し、基準試料からのずれを千分偏差（‰）で表した値である（表１）。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。$^{13}C/^{12}C$比は付表に記載する。

（2）^{14}C年代（Libby Age：yrBP）は、過去の大気中^{14}C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年（0yrBP）として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期（5568年）を使用する（Stuiver and Polach 1977）。^{14}C年代は$\delta^{13}C$によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表１に、補正していない値を参考値として表２に示した。^{14}C年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、^{14}C年代の誤差（±1σ）は、試料の^{14}C年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。

（3）pMC（percent Modern Carbon）は、標準現代炭素に対する試料炭素の^{14}C濃度の割合である。pMCが小さい（^{14}Cが少ない）ほど古い年代を示し、pMCが100以上（^{14}Cの量が標準現代炭素と同等以上）の場合Modernとする。この値も$\delta^{13}C$によって補正する必要があるため、補正した値を表１に、補正していない値を参考値として表2に示した。

（4）暦年較正年代とは、年代が既知の試料の^{14}C濃度を元に描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の^{14}C濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、^{14}C年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、１標準偏差（1σ＝68.2%）あるいは２標準偏差（2σ＝95.4%）で表示される。グラフの縦軸が^{14}C年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、$\delta^{13}C$補正を行い、下一桁を丸めない^{14}C年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal09データベース（Reimer et al.2009）を用い、OxCal v4.2較正プログラム（Bronk Ramsey 2009）を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表２に示した。暦年較正年代は、^{14}C年代に基づいて較正（calibrate）された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」（または「cal BP」）という単位で表される。

6　測定結果

試料の測定結果を表１、２及び付表に示す。

試料５点の^{14}C年代は、3650±20yrBP（No.5）から3490±20yrBP（No.3）の範囲に収まり、誤差（±1σ）の範囲で一致もしくは近接するものが含まれる。

暦年較正年代（1σ）は、５点全体で縄文時代後期前葉から中葉頃に相当する範囲となっている（小林編2008）。

試料の炭素含有率はすべて60%を超える十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

表１　放射性炭素年代測定結果（$\delta^{13}C$ 補正値）

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}C$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}C$ 補正あり	
						Libby Age（yrBP）	pMC (%)
IAAA-130783	No.1（取上げ番号C-2）	SB24 (SP1076)　底面直上	炭化物	AAA	**-27.64 ± 0.28**	**3,610 ± 20**	**63.78 ± 0.16**
IAAA-130784	No.2（取上げ番号C-2）	SB28(SP1571)　1層	炭化物	AAA	**-27.05 ± 0.23**	**3,540 ± 20**	**64.33 ± 0.16**
IAAA-130785	No.3（取上げ番号1039）	BSP07　2層	炭化物	AAA	**-24.99 ± 0.22**	**3,490 ± 20**	**64.77 ± 0.17**
IAAA-130786	No.4	SB37(SP1974)　掘り方	炭化物	AAA	**-24.88 ± 0.20**	**3,550 ± 20**	**64.27 ± 0.15**
IAAA-130787	No.5（炭化物サンプル-1）	SB25(SP1072)　2層	炭化物	AAA	**-24.74 ± 0.23**	**3,650 ± 20**	**63.50 ± 0.16**

［#5922］

表２　放射性炭素年代測定結果（$\delta^{13}C$ 未補正値、暦年較正用 ^{14}C 年代、較正年代）

測定番号	$\delta^{13}C$ 補正なし		暦年較正用(yrBP)	1σ 暦年代範囲	2σ 暦年代範囲
	Age（yrBP）	pMC（%）			
IAAA-130783	3,660 ± 20	63.44 ± 0.16	3,612 ± 20	2017calBC - 1996calBC (22.5%) 1981calBC - 1941calBC (45.7%)	2030calBC - 1910calBC (95.4%)
IAAA-130784	3,580 ± 20	64.06 ± 0.15	3,543 ± 19	1926calBC - 1878calBC (56.7%) 1840calBC - 1828calBC (8.6%) 1791calBC - 1786calBC (2.9%)	1946calBC - 1870calBC (67.6%) 1846calBC - 1812calBC (16.8%) 1804calBC - 1776calBC (11.0%)
IAAA-130785	3,490 ± 20	64.77 ± 0.17	3,488 ± 21	1878calBC - 1841calBC (29.6%) 1826calBC - 1794calBC (26.7%) 1784calBC - 1769calBC (12.0%)	1882calBC - 1750calBC (95.4%)
IAAA-130786	3,550 ± 20	64.29 ± 0.15	3,551 ± 19	1934calBC - 1882calBC (68.2%)	1951calBC - 1875calBC (80.9%) 1844calBC - 1818calBC (9.3%) 1799calBC - 1780calBC (5.2%)
IAAA-130787	3,640 ± 20	63.54 ± 0.16	3,647 ± 20	2110calBC - 2104calBC (3.6%) 2036calBC - 1965calBC (64.6%)	2128calBC - 2089calBC (15.8%) 2045calBC - 1947calBC (79.6%)

［参考値］

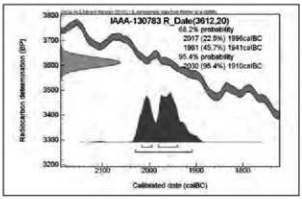
文献

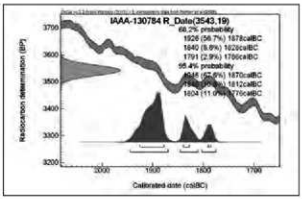
Bronk Ramsey C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, Radiocarbon 51(1), 337-360

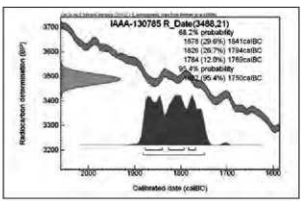
小林達雄編 2008 総覧縄文土器，総覧縄文土器刊行委員会，アム・プロモーション

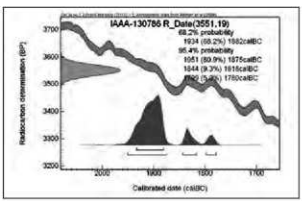
Reimer, P.J. et al. 2009 IntCal09 and Marine09 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, Radiocarbon 51(4), 1111-1150

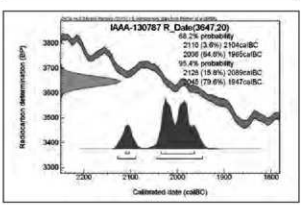
Stuiver M. and Polach H.A. 1977 Discussion: Reporting of ^{14}C data, Radiocarbon 19(3), 355-363











［参考］暦年較正年代グラフ

第２節　黒曜石産地推定

望月　明彦・(株) アルカ

1．分析試料

砂子瀬遺跡出土の黒曜石製剥片71点が今回の分析対象である。

2．分析方法

・分析法

エネルギー分散蛍光X線分析法（EDX）

・分析装置

セイコーインスツルメンツ卓上型蛍光X線分析計 SEA-2110L

・分析条件

管電圧　50kV　管電流　自動設定

測定時間　240sec　雰囲気　真空

照射径　10mm

検出器　Si（Li）半導体検出器

・測定元素

Al（アルミニウム）、Si（ケイ素）、K（カリウム）、Ca（カルシウム）、Ti（チタン）、Mn（マンガン）、Fe（鉄）、Rb（ルビジウム）、Sr（ストロンチウム）、Y（イットリウム）、Zr（ジルコニウム）

・分析法の特徴

長所：非破壊分析

多元素同時分析

前処理不要→洗浄は必要

迅速分析

操作が簡単

短所：微量分析は不得意

試料を破壊せずに測定するため、分析結果は表面を測定したことになる。そのため、汚れた試料、風化した試料は汚れ、風化を測定したことになり、正確でない。類似した組成の標準試料が必要である。

・試料の洗浄

５分間（汚れがひどい場合は15分間）超音波洗浄器で洗浄。さらに汚れを拭き取ってから測定。

3．産地推定法

得られた蛍光X線スペクトル強度を元素記号で表すとする。２つの方法とも以下の指標を用いる。

指標：Sum=Rb+Sr+Y+Zr とする。

Rb分率 = Rb/Sum

Sr分率 = Sr/Sum

Zr分率 = Zr/Sum

Mn*100/Fe

log（Fe/K）

産地のシートに上げた黒曜石産地から、産地原石を採集し、測定する。測定結果から上記の指標を算出する。

以上から、産地原石に関するデータベースを作成する。

下記の二つの方法で産地推定を行う。

①判別図法（図２・３　判別図参照）

用いる指標：図２　横軸：Rb分率、縦軸：Mn/Fe

図３　横軸：Sr 分率、縦軸：log（Fe/K）

特　　長：簡単な計算であり、誰にでも作成可能

視覚的に確認でき、分かりやすい。

推定方法：遺跡出土試料を蛍光X線分析し、指標を計算。指標を図にプロットする。

重なった原石産地を推定結果とする。

②判別分析（表１-1・2　推定結果表参照）

用いる指標：算出された指標全て

特　　長：各産地との類似度を距離で算出

既知の産地のどれに類似しているかを判別する方法である。

→　未知の産地の判別はできない。

推定方法：判別図法では遺跡出土試料と重なっている産地を推定結果とする。この産地は試料と２次元的に最も距離が近い。

判別分析ではこの距離を数学的にn次元で計算する。試料と最も距離（マハラノビス距離）が近い産地を推定結果とする。この距離から、各産地に属する確率を計算する。

表1:青森県中津軽郡西目屋村砂子瀬遺跡出土黒曜石製石器産地推定結果

判別図法・判別分析からの最終推定結果

研究室年間通番	分析番号	出土位置	推定産地
MK13-00697	SKS2-1	SI105(SP2415)	木造出来島群
MK13-00698	SKS2-2	SI104(SP2559)	木造出来島群
MK13-00699	SKS2-3	SD16	木造出来島群
MK13-00700	SKS2-4	SI104(SP2307)	木造出来島群
MK13-00701	SKS2-5	SB31(SP1122)	木造出来島群
MK13-00702	SKS2-6	SP1375	木造出来島群
MK13-00703	SKS2-7	SI104(SP2322)	木造出来島群
MK13-00704	SKS2-8	SI117･118(SP1194)	木造出来島群
MK13-00705	SKS2-9	SP2769	木造出来島群
MK13-00706	SKS2-10	SP1475	木造出来島群
MK13-00707	SKS2-11	SB33(SP1572)	木造出来島群
MK13-00708	SKS2-12	SP1421	木造出来島群
MK13-00709	SKS2-13	SP1401	木造出来島群

判別図法による推定結果と判別分析による推定結果

判別図 判別群	判別分析					
	第１候補産地			第２候補産地		
	判別群	距離	確率	判別群	距離	確率
KDDK	KDDK	3.49	0.9997	HGGS	21.27	0.0003
KDDK	KDDK	5.92	1	HGGS	63.9	0
KDDK	KDDK	12.81	0.9999	HGGS	33.77	0.0001
推定不可	推定不可			推定不可		
KDDK	KDDK	6.47	1	HGGS	30.52	0
KDDK	KDDK	5.15	1	HGIN	30.39	0
KDDK	KDDK	3.42	0.9999	HGGS	24.33	0.0001
KDDK	KDDK	2.04	1	HGGS	53.05	0
KDDK	KDDK	5.36	1	HGGS	36.86	0
KDDK	KDDK	5.76	0.9999	HGIN	25.64	0.0001
KDDK	KDDK	8.45	1	HGGS	30.57	0
KDDK	KDDK	3.06	1	HGGS	28.91	0
KDDK	KDDK	12.36	1	HGGS	35.94	0

表1-2

判別図法・判別分析からの最終推定結果　　判別図法による推定結果と判別分析による推定結果

研究室 年間通番	分析番号	出土位置	推定産地	判別図 判別群	判別分析					
					第1候補産地			第2候補産地		
					判別群	距離	確率	判別群	距離	確率
MK13-00710	SKS2-14	SP2366	木造出来島群	KDDK	KDDK	19.39	1	HGGS	66.64	0
MK13-00711	SKS2-15	SP1300	木造出来島群	KDDK	KDDK	13.02	1	HGGS	55.88	0
MK13-00712	SKS2-16	SI105(SP2351)	木造出来島群	KDDK	KDDK	4.43	1	HGIN	32.95	0
MK13-00713	SKS2-17	SP2059	木造出来島群	KDDK	KDDK	8.73	0.9528	HGGS	16.13	0.0471
MK13-00714	SKS2-18	SP1583	木造出来島群	KDDK	KDDK	6.64	1	HGIN	44.33	0
MK13-00715	SKS2-19	SP1612	木造出来島群	KDDK	KDDK	4.37	1	HGIN	35.36	0
MK13-00716	SKS2-20	SP1228	木造出来島群	KDDK	KDDK	5.12	1	HGGS	35.35	0
MK13-00717	SKS2-21	SI110(SP2502)	木造出来島群	KDDK	KDDK	4.16	1	HGGS	30.66	0
MK13-00718	SKS2-22a	SB30(SP1435)	木造出来島群	KDDK	KDDK	18.96	1	HGGS	64.71	0
MK13-00719	SKS2-23	SI105(SP2306)	木造出来島群	KDDK	KDDK	17.09	1	HGGS	39.39	0
MK13-00720	SKS2-24	位置不明	木造出来島群	KDDK	KDDK	2.79	1	HGGS	29.64	0
MK13-00721	SKS2-25a	SP2834	木造出来島群	KDDK	KDDK	2.34	1	HGGS	28.33	0
MK13-00722	SKS2-26	SI104(SD15)	木造出来島群	KDDK	KDDK	7.54	0.9793	HGGS	16.65	0.0206
MK13-00723	SKS2-27	SI104(SD06)	木造出来島群	KDDK	KDDK	0.85	1	HGGS	48.01	0
MK13-00724	SKS2-28a	SB39(SP1140)	木造出来島群	KDDK	KDDK	11.13	1	HGGS	36.06	0
MK13-00725	SKS2-29	SP2092	木造出来島群	KDDK	KDDK	5.36	1	HGGS	28.38	0
MK13-00726	SKS2-30	SD16	木造出来島群	KDDK	KDDK	3.44	0.9999	HGGS	23.7	0.0001
MK13-00727	SKS2-31	SI114(SP1224)	木造出来島群	KDDK	KDDK	8.35	1	HGGS	51.06	0
MK13-00728	SKS2-32	SP1710	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
MK13-00729	SKS2-33	位置不明	木造出来島群	KDDK	KDDK	7.78	1	HGIN	29.17	0
MK13-00730	SKS2-34	SI105(SP1577)	木造出来島群	KDDK	KDDK	3.83	1	HGGS	55.09	0
MK13-00731	SKS2-35	Ⅳ8-63	木造出来島群	KDDK	KDDK	5.32	1	HGGS	27.3	0
MK13-00732	SKS2-36	Ⅳ8-64	スラグ	スラグ	スラグ			スラグ		
MK13-00733	SKS2-37	Ⅴ6-61	木造出来島群	KDDK	KDDK	14.79	1	HGGS	76.92	0
MK13-00734	SKS2-38	Ⅴ6-62	木造出来島群	KDDK	KDDK	8.4	0.9995	HGIN	22.5	0.0004
MK13-00735	SKS2-39	Ⅴ4-64	木造出来島群	KDDK	KDDK	12.03	1	HGGS	39.06	0
MK13-00736	SKS2-40	Ⅴ8-61	木造出来島群	KDDK	KDDK	2.31	1	HGGS	36.53	0
MK13-00737	SKS2-41	Ⅴ4-61	木造出来島群	KDDK	KDDK	2.99	1	HGGS	45.05	0
MK13-00738	SKS2-42	Ⅴ8-61	木造出来島群	KDDK	KDDK	7.86	1	HGIN	64.97	0
MK13-00739	SKS2-43	Ⅳ8-62	木造出来島群	KDDK	KDDK	4.56	0.9998	HGGS	23.24	0.0002
MK13-00740	SKS2-44	Ⅳ7-73	木造出来島群	KDDK	KDDK	7.27	1	HGGS	35.74	0
MK13-00741	SKS2-45	Ⅳ9-64	木造出来島群	KDDK	KDDK	13.11	0.9298	HGIN	16.65	0.0644
MK13-00742	SKS2-46	Ⅳ1-68	木造出来島群	KDDK	KDDK	7.39	1	HGIN	43.34	0
MK13-00743	SKS2-47	Ⅳ1-61	木造出来島群	KDDK	KDDK	8.62	0.9997	HGGS	26.19	0.0003
MK13-00744	SKS2-48	Ⅳ9-63	木造出来島群	KDDK	KDDK	7.88	1	HGGS	67.57	0
MK13-00745	SKS2-49	Ⅴ4-64	木造出来島群	KDDK	KDDK	2.68	1	HGGS	46.78	0
MK13-00746	SKS2-50	表採	木造出来島群	KDDK	KDDK	7.26	1	HGGS	38.14	0
MK13-00747	SKS2-51a	Ⅳ3-62	木造出来島群	KDDK	KDDK	6.3	0.9584	HGGS	13.96	0.0416
MK13-00748	SKS2-52	Ⅴ0-54	木造出来島群	KDDK	KDDK	18.33	1	HGGS	40.91	0
MK13-00749	SKS2-53	Ⅳ1-69	木造出来島群	KDDK	KDDK	14.1	1	HGGS	39.63	0
MK13-00750	SKS2-54	Ⅴ4-64	木造出来島群	KDDK	KDDK	2.61	0.9999	HGGS	21.81	0.0001
MK13-00751	SKS2-55	撹乱	木造出来島群	KDDK	KDDK	2.33	1	HGGS	33.36	0
MK13-00752	SKS2-56	Ⅴ4-64	木造出来島群	KDDK	KDDK	9.12	0.9813	HGGS	18.53	0.0178
MK13-00753	SKS2-57	SP3018	木造出来島群	KDDK	KDDK	11.39	0.998	HGIN	21.99	0.002
MK13-00754	SKS2-58	Ⅳ7-61	木造出来島群	KDDK	KDDK	2.98	1	HGGS	47.53	0
MK13-00755	SKS2-59	Ⅳ1-60	木造出来島群	KDDK	KDDK	7.6	1	HGIN	29.2	0
MK13-00756	SKS2-60	Ⅲ1-64	木造出来島群	KDDK	KDDK	4.41	1	HGGS	39	0
MK13-00757	SKS2-61	Ⅳ1-59	木造出来島群	KDDK	KDDK	8.5	0.9198	HGGS	14.82	0.0777
MK13-00758	SKS2-62	Ⅳ4-56	木造出来島群	KDDK	KDDK	13.01	1	HGGS	37.55	0
MK13-00759	SKS2-63	Ⅳ4-56	木造出来島群	KDDK	KDDK	10.04	1	HGIN	42.29	0
MK13-00760	SKS2-64	Ⅳ8-56	木造出来島群	KDDK	KDDK	3.4	1	HGIN	29.73	0
MK13-00761	SKS2-65	Ⅳ4-56	木造出来島群	KDDK	KDDK	8.62	1	HGGS	37.49	0
MK13-00762	SKS2-66	捨て場	木造出来島群	KDDK	KDDK	9.69	0.9515	HGIN	17.14	0.0392
MK13-00763	SKS2-11b	SB33(SP1572)	木造出来島群	KDDK	KDDK	12.61	0.9998	HGGS	31.55	0.0002
MK13-00764	SKS2-22b	SB30(SP1435)	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
MK13-00765	SKS2-25b	SP2834	木造出来島群	KDDK	KDDK	13.24	0.985	HGGS	23	0.0149
MK13-00766	SKS2-28b	SB39(SP1140)	測定不可	測定不可	測定不可			測定不可		
MK13-00767	SKS2-51b	Ⅳ3-62	木造出来島群	KDDK	KDDK	6.57	1	HGGS	29.88	0

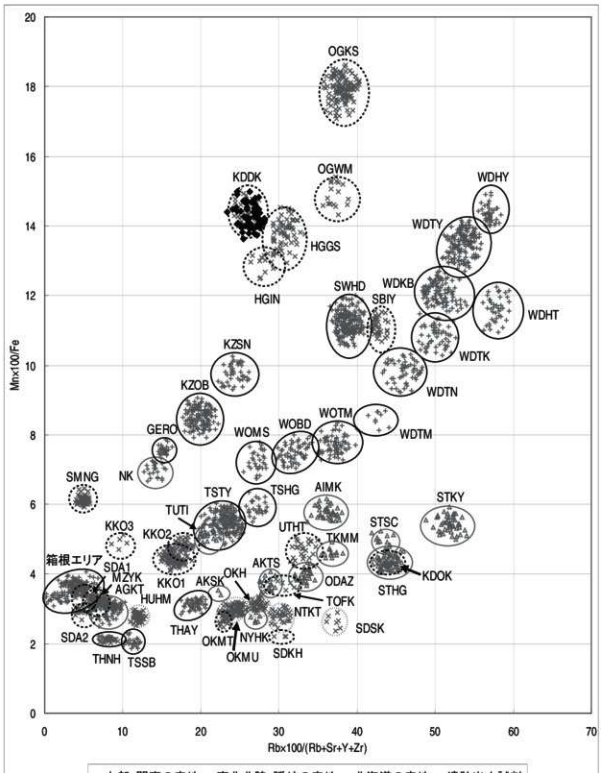

Mnx100/Fe
Rbx100/(Rb+Sr+Y+Zr)
OGKS
KDDK
OGWM
WDHY
WDTY
HGGS
HGIN
SWHD
WDKB
SBIY
WDHT
WDTK
KZSN
WDTN
KZOB
WOTM
WOBD
WDTM
GERO
WOMS
SMNG
NK
TSTY
TSHG
AIMK
STKY
TUTI
KKO3
KKO2
UTHT
TKMM
STSC
箱根エリア
SDA1
MZYK
AGKT
KKO1
AKSK
OKH
AKTS
ODAZ
KDOK
STHG
HUHM
TOFK
NTKT
SDA2
THAY
OKMT
NYHK
SDSK
THNH
TSSB
OKMU
SDKH
中部・関東の産地
東北北陸・隠岐の産地
北海道の産地
遺跡出土試料

図１

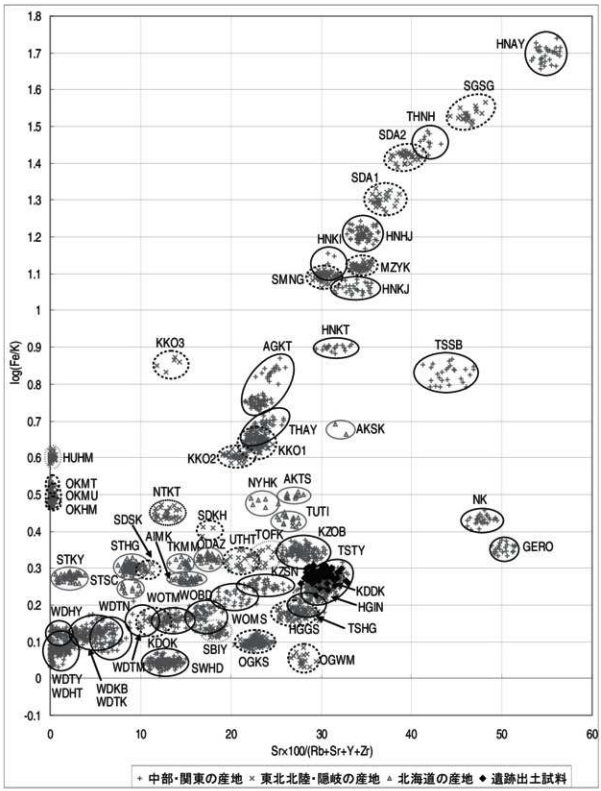

log(Fe/K)
Srx100/(Rb+Sr+Y+Zr)
HNAY
SGSG
THNH
SDA2
SDA1
HNKI
HNHJ
MZYK
SMNG
HNKJ
HNKT
KKO3
AGKT
TSSB
THAY
AKSK
KKO1
KKO2
HUHM
OKMT
OKMU
OKHM
NYHK
AKTS
NTKT
TUTI
NK
SDSK
SDKH
AIMK
TKMM
ODAZ
UTHT
TOFK
KZOB
GERO
STHG
TSTY
STKY
STSC
KZSN
KDDK
WOTM
WOBD
HGIN
WDHY
WDTN
WOMS
TSHG
HGGS
KDOK
SBIY
OGKS
OGWM
WDTM
SWHD
WDTY
WDHT
WDKB
WDTK
中部・関東の産地
東北北陸・隠岐の産地
北海道の産地
遺跡出土試料

図2

表2：産地原石判別群(SEIKO SEA-2110L蛍光X線分析装置による)

都道府県	地図No.	エリア	新判別群	旧判別群	新記号	旧記号	原石採取地(分析数)
北海道	1	白滝	八号沢群		STHG		赤石山山頂(19)、八号沢露頭(31)、八号沢(79)、黒曜の沢(6)、幌加林道(4)
			黒曜の沢群		STKY		
	2	上士幌	三股群		KSMM		十三ノ沢(16)
	3	置戸	安住群		ODAZ		安住(25)、清水ノ沢(9)
	4	旭川	高砂台群		AKTS		高砂台(6)、雨紛台(5)、春光台(5)
			春光台群		AKSK		
	5	名寄	布川群		NYHK		布川(10)
	6	新十津川	須田群		STSD		須田(6)
	7	赤井川	曲川群		AIMK		曲川(25)、土木川(15)
	8	豊浦	豊泉群		TUTI		豊泉(16)
青森	9	木造	出来島群		KDDK		出来島海岸(34)
	10	深浦	八森山群		HUHM		八森山公園(8)、六角沢(8)、岡崎浜(40)
秋田	11	男鹿	金ヶ崎群		OGKS		金ヶ崎温泉(37)、脇本海岸(98)
			脇本群		OGWM		脇本海岸(16)
山形	12	羽黒	月山群		HGGS		月山荘前(30),朝日町田代沢(18),櫛引町中沢(18)
			今野川群		HGIN		今野川(9)、大網川(5)
新潟	13	新発田	板山群		SBIY		板山牧場(40)
	14	新津	金津群		NTKT		金津(29)
栃木	15	高原山	甘湯沢群	高原山1群	THAY	TKH1	甘湯沢(50)、桜沢(20)
			七尋沢群	高原山2群	THNH	TKH2	七尋沢(9)、自然の家(9)
長野	16	和田(WD)	鷹山群	和田峠1群	WDTY	WDT1	鷹山(53)、小深沢(54)、東餅屋(36)、芙蓉ライト(87)、古峠(50)、土屋橋北(83)、土屋橋西(29)、土屋橋南(68)、丁字御領(18)
			小深沢群	和田峠2群	WDKB	WDT2	
			土屋橋北群	和田峠3群	WDTK	WDT3	
			土屋橋西群	和田峠4群	WDTN	WDT4	
			土屋橋南群	和田峠5群	WDTM	WDT5	
			芙蓉ライト群		WDHY		
			古峠群		WDHT		
		和田(WO)	ブドウ沢群	男女倉1群	WOBD	OMG1	ブドウ沢(36)、ブドウ沢右岸(18)、牧ヶ沢上(33)、牧ヶ沢下(36)、高松沢(40)
			牧ヶ沢群	男女倉2群	WOMS	OMG2	
			高松沢群	男女倉3群	WOTM	OMG3	
	17	諏訪	星ヶ台群	霧ヶ峰系	SWHD	KRM	星ヶ塔第1鉱区(36)、星ヶ塔第2鉱区(36)、星ヶ台A(36)、星ヶ台B(11)、水月霊園(36)、水月公園(13)、星ヶ塔のりこし(36)
	18	蓼科	冷山群	蓼科系	TSTY	TTS	冷山(33)、麦草峠(36)、麦草峠東(33)、渋ノ湯(29)、美し森(4)、八ヶ岳7(17)、八ヶ岳9(18)、双子池(34)
			双子山群		TSHG		双子池(26)
			擂鉢山群		TSSB		擂鉢山(31)、亀甲池(8)
神奈川	19	箱根	芦ノ湯群	芦ノ湯	HNAY	ASY	芦ノ湯(34)
	20		畑宿群	畑宿	HNHJ	HTJ	畑宿(71)
			黒岩橋群	箱根系A群	HNKI	HKNA	黒岩橋(9)
	21		鍛冶屋群	鍛冶屋	HNKJ	KJY	鍛冶屋(30)
静岡			上多賀群	上多賀	HNKT	KMT	上多賀(18)
	22	天城	柏峠群	柏峠	AGKT	KSW	柏峠(80)
東京	23	神津島	恩馳島群	神津島1群	KZOB	KOZ1	恩馳島(100)、長浜(43)、沢尻湾(8)
			砂糠崎群	神津島2群	KZSN	KOZ2	砂糠崎(40)、長浜(5)
島根	24	隠岐	久見群		OKHM		久見パーライト中(30)、久見採掘現場(18)
			箕浦群		OKMU		箕浦海岸(30)、加茂(19)、岸浜(35)
			岬群		OKMT		岬地区(16)
その他			NK群		NK		中ッ原1G、5G(遺跡試料)、原石産地は未発見

佐々木繁喜氏提供試料（まだ地図には入れていない）

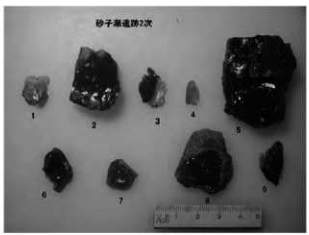
青森	小泊	折腰内群	KDOK	小泊市折腰内(8)
岩手	北上川	北上折居1群	KKO1	水沢市折居(36),花巻日形田ノ沢(36),雫石小赤沢(22)
		北上折居2群	KKO2	水沢市折居(23),花巻日形田ノ沢(8),雫石小赤沢(2)
		北上折居3群	KKO3	水沢市折居(5)
宮城	宮崎	湯ノ倉群	MZYK	宮崎町湯ノ倉(54)
	色麻	根岸群	SMNG	色麻町根岸(48)
	仙台	秋保1群	SDA1	仙台市秋保土蔵(17)
		秋保2群	SDA2	仙台市秋保土蔵(35)
	塩竈	塩竈群	SGSG	塩竈市塩竈漁港(22)

表3: 砂子瀬遺跡出土黒曜石産地組成

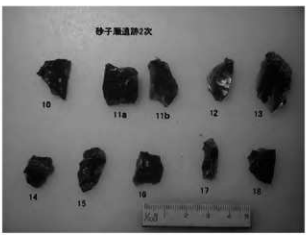
エリア	判別群	記号	試料数	%
和田(WO)	ブドウ沢	WOBD	0	0
	牧ヶ沢	WOMS	0	0
	高松沢	WOTM	0	0
和田(WD)	芙蓉ライト	WDHY	0	0
	鷹山	WDTY	0	0
	小深沢	WDKB	0	0
	土屋橋北	WDTK	0	0
	土屋橋西	WDTN	0	0
	土屋橋南	WDTM	0	0
	古峠	WDHT	0	0
諏訪	星ヶ台	SWHD	0	0
蓼科	冷山	TSTY	0	0
	双子山	TSHG	0	0
	擂鉢山	TSSB	0	0
天城	柏峠I	AGKT	0	0
箱根	畑宿	HNHJ	0	0
	鍛冶屋	HNKJ	0	0
	黒岩橋	HNKI	0	0
	上多賀	HNKT	0	0
	芦ノ湯	HNAY	0	0
神津島	恩馳島	KZOB	0	0
	砂糠崎	KZSN	0	0
高原山	甘湯沢	THAY	0	0
	七尋沢	THNH	0	0
新津	金津	NTKT	0	0
新発田	板山	SBIY	0	0
深浦	八森山	HUHM	0	0
木造	出来島	KDDK	66	100
男鹿	金ヶ崎	OGKS	0	0
	脇本	OGWM	0	0
羽黒	月山	HGGS	0	0
	今野川	HGIN	0	0

エリア	判別群	記号	試料数	%
北上川	折居1群	KKO1	0	0
	折居2群	KKO2	0	0
	折居3群	KKO3	0	0
宮崎	湯ノ倉	MZYK	0	0
仙台	秋保1群	SDA1	0	0
	秋保2群	SDA2	0	0
色麻	根岸	SMNG	0	0
塩竈	塩竈港群	SGSG	0	0
小泊	折腰内	KDOK	0	0
魚津	草月上野	UTHT	0	0
高岡	二上山	TOFK	0	0
佐渡	真光寺	SDSK	0	0
	金井二ツ坂	SDKH	0	0
隠岐	久見	OKHM	0	0
	岬地区	OKMT	0	0
	箕浦	OKMU	0	0
白滝	8号沢	STHG	0	0
	黒曜の沢	STKY	0	0
	赤石山頂	STSC	0	0
赤井川	曲川	AIMK	0	0
豊浦	豊泉	TUTI	0	0
置戸	安住	ODAZ	0	0
十勝	三股	TKMM	0	0
名寄	布川	NYHA	0	0
旭川	高砂台	AKTS	0	0
	春光台	AKSK	0	0
不明産地1	NK	NK	0	0
下呂石		GERO	0	0
合計			66	100

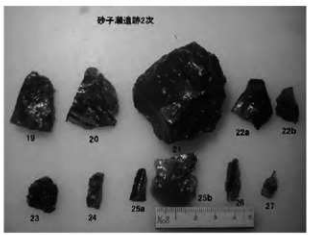
不可など	5	
総計	71	



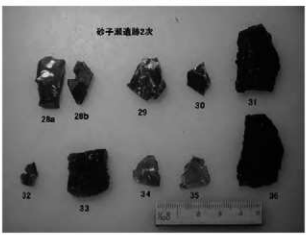
SKS2－1～9



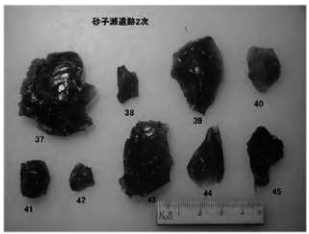
SKS2－10～18



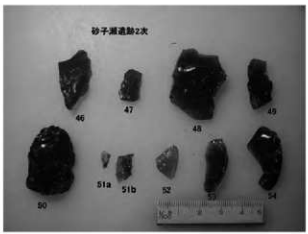
SKS2－19～27



SKS2－28～36



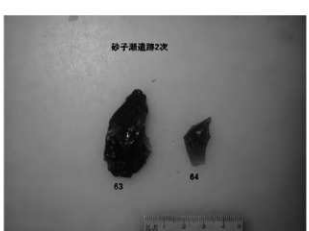
ＳＫＳ２－37～45



ＳＫＳ２－46～54

ＳＫＳ２－55～60

ＳＫＳ２－61・62



ＳＫＳ２－63・64

ＳＫＳ２－65・66

分析試料写真（縮尺不同）

第3節　砂子瀬遺跡の火山灰分析

弘前大学大学院・理工学研究科　柴　正敏

西目屋村・砂子瀬遺跡より採集された火山灰サンプル３試料について、以下の観察・分析を行った。

これら試料について、超音波洗浄器を用いて水洗し、粘土鉱物など数マイクロメーター以下の粒子を除去した後、偏光顕微鏡を用いて、火山ガラスの有無、火山ガラスが存在する場合にはその形態、構成鉱物の種類を観察・記載した。火山ガラスは、その形態、屈折率、化学組成、共存鉱物などにより給源火山を推定することができる（町田・新井、2003）。

ガラスの形態及び化学組成、共存鉱物ならびに軽石粒子の発泡度・色（特に褐色ガラスの有無）・粒径より、ガラスは以下のように帰属される。

・**試料No.1**、A区基本層序①、層位（II層）、整理番号1016：

火山ガラス及び構成鉱物：ガラスは軽石型を主とする。褐色ガラス（オブシディアン）を少量含む。斜長石、石英、斜方輝石、単斜輝石、鉄鉱。プラントオパールも比較的多い。

ガラスの帰属：ガラスは、十和田a（To-a）に帰属される。

・**試料No.2**、沢４土層①、IIｂ層、整理番号1052

火山ガラス及び構成鉱物：ガラスの形態は軽石型及びバブルウォール型からなる。構成鉱物は、斜長石、アルカリ長石、エジリンオージャイト、斜方輝石、単斜輝石、鉄鉱。

ガラスの帰属：ガラスは、白頭山苫小牧（B-Tm）テフラに帰属される。

・**試料No.3**、沢４土層①、IIｂ層、整理番号1053

火山ガラス及び構成鉱物：ガラスの形態は軽石型及びバブルウォール型からなる。構成鉱物は、斜長石、アルカリ長石、エジリンオージャイト、斜方輝石、単斜輝石、鉄鉱。

ガラスの帰属：ガラスは、白頭山苫小牧テフラ（B-Tm）に帰属される。

本試料のガラスについて、電子線プローブマイクロアナライザー（EPMA）を用いて化学組成を決定した。使用したEPMAは弘前大学大学院・理工学研究科所属の日本電子製JXA－8800RL、分析条件は加速電圧15kV，試料電流6×10－9アンペアである。分析結果を表1及び2に示した。表１のガラスは、アルカリ流紋岩質、表２のものはアルカリ粗面岩質であり、ともにB-Tmのガラスの組成（表１及び２）と重なる。

（参考文献）

青木かおり・町田　洋（2006）、日本に分布する第四紀後期広域テフラの主元素組成　―K_2O-TiO_2図によるテフラの識別．地質調査研究報告、第57巻、第７/８号、239－258.

Hayakawa, Y. (1985), Pyroclastic geology of Towada Volcano. Bulletin of Earthquake Research Institute, vol.60, 507-592.

Machida, H. (1999), Quaternary widespread tephra catalog in and around Japan : Recent

progress. 第四紀研究、第38巻、194-201.
町田　洋・新井房夫（2003）、新編火山灰アトラス　－日本列島とその周辺－. 東京大学出版会、pp. 336.
柴　正敏・重松直樹・佐々木　実（2000）、青森県内に分布する広域テフラに含まれる火山ガラスの化学組成（１）. 弘前大学理工学部研究報告、第１巻、第１号、11-19.
柴　正敏・中道哲郎・佐々木　実（2001）、十和田火山、降下軽石の化学組成変化　－宇樽部の一露頭を例として－. 弘前大学理工学部研究報告、第４巻、第１号、11-17.
柴　正敏・岩下沙弥佳（2005）、青森県に分布する白頭山苫小牧テフラに含まれる火山ガラスの化学組成. 白神研究、第２号、65-71.
柴　正敏・佐々木　実（2006）、十和田火山噴出物のガラス組成変化、月刊地球、第28巻、第５号、322-325.

表1　砂子瀬遺跡　B-Tm(1)（沢4土層①、IIb層、整理番号1053）

重量%

No.	SiO2	TiO2	Al2O3	FeO	MnO	MgO	CaO	Na2O	K2O	Total
1	70.15	0.18	9.69	3.66	0.04	0.00	0.20	5.19	4.48	93.58
2	71.20	0.09	15.15	2.18	0.05	0.01	0.32	6.71	5.59	101.29
3	74.20	0.21	10.79	4.01	0.13	0.00	0.35	5.39	4.61	99.70
最少値	70.15	0.09	9.69	2.18	0.04	0.00	0.20	5.19	4.48	93.58
最大値	74.20	0.21	15.15	4.01	0.13	0.01	0.35	6.71	5.59	101.29
平均値	71.85	0.16	11.88	3.28	0.08	0.00	0.29	5.76	4.89	98.19
標準偏差	2.105	0.064	2.887	0.972	0.05	0.004	0.081	0.825	0.605	4.069

100%に換算した値

No.	SiO2	TiO2	Al2O3	FeO	MnO	MgO	CaO	Na2O	K2O	Total
1	74.96	0.19	10.36	3.91	0.04	0.00	0.21	5.54	4.79	100
2	70.29	0.09	14.96	2.15	0.05	0.01	0.32	6.62	5.52	100
3	74.43	0.21	10.82	4.02	0.13	0.00	0.35	5.40	4.62	100
最少値	70.29	0.09	10.36	2.15	0.04	0.00	0.21	5.40	4.62	100
最大値	74.96	0.21	14.96	4.02	0.13	0.01	0.35	6.62	5.52	100
平均値	73.23	0.16	12.05	3.36	0.08	0.00	0.29	5.86	4.98	100
標準偏差	2.555	0.067	2.533	1.049	0.05	0.004	0.073	0.666	0.475	
B-Tm(1)	74.90	0.30	10.70	4.20	0.10	0.10	0.10	5.00	4.60	

町田・新井（2003）

表2 砂子瀬遺跡 B-Tm(2) (沢4土層①、IIb層、整理番号1053)

重量%

No.	SiO2	TiO2	Al2O3	FeO	MnO	MgO	CaO	Na2O	K2O	Total
1	66.18	0.30	14.54	4.47	0.17	0.13	1.13	5.83	5.85	98.59
2	68.39	0.29	14.33	4.64	0.11	0.05	0.96	5.71	5.65	100.13
3	69.39	0.30	13.70	4.36	0.15	0.08	1.00	5.68	5.78	100.44
4	65.04	0.33	14.19	4.42	0.20	0.07	1.05	5.78	5.76	96.84
5	67.31	0.41	14.93	4.79	0.11	0.13	1.24	5.98	5.76	100.66
6	68.10	0.33	14.63	4.58	0.11	0.10	1.20	5.98	6.00	101.02
7	67.84	0.32	14.87	4.40	0.15	0.13	1.16	6.30	5.99	101.16
8	66.42	0.33	15.52	4.55	0.13	0.22	1.35	6.02	5.92	100.45
9	67.32	0.43	14.28	4.18	0.12	0.12	1.07	6.00	5.71	99.24
10	68.08	0.39	15.07	4.26	0.14	0.11	1.20	6.28	5.95	101.47
11	63.18	0.55	11.39	7.64	0.19	1.98	6.29	5.10	4.25	100.56
12	65.67	0.26	14.37	4.34	0.07	0.10	1.20	5.69	6.05	97.74
13	68.22	0.45	14.87	4.54	0.14	0.13	1.13	5.78	5.71	100.97
14	67.06	0.46	15.07	4.94	0.10	0.14	1.23	6.34	6.00	101.33
15	67.38	0.03	18.82	0.21	0.00	0.00	0.39	6.34	8.14	101.31
16	67.91	0.05	18.70	0.30	0.00	0.00	0.36	6.06	8.39	101.77
最少	63.178	0.03	11.386	0.212	0	0	0.356	5.099	4.249	96.844
最大	69.393	0.554	18.817	7.638	0.199	1.978	6.285	6.339	8.392	101.771
平均値	67.093	0.326	14.954	4.164	0.118	0.218	1.372	5.93	6.056	100.23
標準偏差	1.516	0.137	1.744	1.724	0.056	0.472	1.34	0.32	0.96	1.415

100%に規格化した値

No.	SiO2	TiO2	Al2O3	FeO	MnO	MgO	CaO	Na2O	K2O	Total
1	67.12	0.30	14.75	4.54	0.17	0.13	1.15	5.92	5.93	100
2	68.30	0.29	14.31	4.63	0.11	0.05	0.96	5.71	5.65	100
3	69.09	0.30	13.64	4.34	0.15	0.08	1.00	5.66	5.76	100
4	67.16	0.34	14.66	4.56	0.21	0.07	1.09	5.97	5.95	100
5	66.86	0.41	14.84	4.76	0.11	0.13	1.23	5.94	5.72	100
6	67.41	0.33	14.48	4.53	0.11	0.10	1.19	5.92	5.94	100
7	67.06	0.32	14.70	4.35	0.14	0.13	1.15	6.23	5.92	100
8	66.12	0.33	15.45	4.53	0.13	0.22	1.34	5.99	5.89	100
9	67.84	0.44	14.39	4.21	0.13	0.12	1.08	6.05	5.75	100
10	67.09	0.38	14.85	4.20	0.14	0.11	1.19	6.19	5.86	100
11	62.83	0.55	11.32	7.60	0.19	1.97	6.25	5.07	4.23	100
12	67.19	0.26	14.70	4.44	0.07	0.11	1.23	5.82	6.19	100
13	67.56	0.45	14.72	4.50	0.14	0.13	1.12	5.73	5.65	100
14	66.18	0.45	14.87	4.88	0.10	0.13	1.22	6.26	5.92	100
15	66.52	0.03	18.58	0.21	0.00	0.00	0.38	6.25	8.04	100
16	66.73	0.05	18.37	0.30	0.00	0.00	0.35	5.96	8.25	100
最少	62.83	0.03	11.32	0.21	0.00	0.00	0.35	5.07	4.23	100
最大	69.09	0.55	18.58	7.60	0.21	1.97	6.25	6.26	8.25	100
平均値	66.94	0.33	14.91	4.16	0.12	0.22	1.37	5.92	6.04	100
標準偏差	1.328	0.136	1.658	1.718	0.056	0.47	1.332	0.295	0.925	
B-Tm(2)	67.90	0.50	14.90	4.70	0.10	0.10	1.10	5.10	5.10	

町田・新井(2003)

第４節　砂子瀬遺跡の土壌分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

砂子瀬遺跡は、青森県中津軽郡西目屋村に所在し、美山湖の南岸に位置する。本遺跡は、津軽ダム貯水予定地域内に所在する20箇所以上の遺跡のうちの一つで、これまでの調査から、住居跡、柱穴、焼土遺構、土器埋設遺構、溝跡などが検出されている。出土した遺物からは、縄文時代後期（前葉～後葉）の遺跡とされている。

本報告では、調査区内に認められた沢跡の埋積物を対象に、古環境（堆積環境、古植生）に関する情報を得ることを目的として、珪藻分析、花粉分析、植物珪酸体分析、土壌試料洗い出し分析を実施する。

１．試料

試料は、Ａ区で検出された沢４を対象としており、沢４土層②と、沢４土層①の２箇所より採取されている。沢４土層②は第１層～第３層に分層されている。分析試料は、沢中心付近の第１層～第３層より各１点（土壌⑤～土壌⑦）、沢の肩近くの第２層より１点（土壌⑧）が採取されている。なお、室内での層相観察の結果、土壌⑤が黄灰色土シルト混じり粘土、土壌⑥が黒褐色シルト混じり粘土、土壌⑦が灰黄褐色シルト混じり粘土、土壌⑧が黒褐色粘土混じりシルトからなる。なお、土壌試料には整理番号が付されており、土壌⑤～土壌⑧はそれぞれ1047～1050が付されている。

沢４土層①の試料採取地点付近では、上位より盛土、第Ⅰ層、第Ⅱａ層～Ⅱｃ層、第１層、第２層に分層されている。分析試料は、第Ⅱａ層より１点（土壌８）、第１層より１点（土壌11）が、フィルムケースにて採取されている。室内での層相観察の結果、土壌８は黒褐色シルト混じり粘土、土壌11は灰黄褐色シルト混じり粘土からなる。なお、土壌試料には整理番号が付されており、土壌８、土壌11はそれぞれ1051、1054が付されている。

これらの試料のうち、全６点について珪藻分析、花粉分析、植物珪酸体分析を行う。土壌試料洗出し分類・同定は、沢４基本土層Ⅱａ層（土壌８）と第１層（土壌11）は、フィルムケースの分量しかないことから、土壌⑤～土壌⑧の計４点について土壌試料洗い出し分析を実施する。

２．分析方法

（１）珪藻分析

湿重約５ｇをビーカーに計り取り、過酸化水素水と塩酸を加えて試料の泥化と有機物の分解・漂白を行う。次に、分散剤を加えた後、蒸留水を満たし放置する。その後、上澄み液中に浮遊した粘土分を除去し、珪藻殻の濃縮を行う。この操作を４～５回繰り返した後、自然沈降法による砂質分の除去を行い、検鏡し易い濃度に希釈し、カバーガラス上に滴下して乾燥させる。乾燥した試料上に封入剤のプリュウラックスを滴下し、スライドガラスに貼り付け永久プレパラートを作製する。

検鏡は、油浸600倍または1,000倍で行い、メカニカルステージを用い任意に出現する珪藻化石が200個体以上になるまで同定・計数する。なお、原則として、珪藻殻が半分以上破損したものについては、誤同定を避けるため同定・計数は行わない。200個体が検出できた後は、示準種等の重要な種類の見落としがないように、全体を精査し、含まれる種群すべてが把握できるように努める。珪藻の同定と種の生態性については、Hustedt（1930-1966）、Krammer & Lange-Bertalot（1985-1991）、Desikachiary（1987）等を参考にする。

結果は同定・計数結果の一覧表として表示する。群集解析にあたり個々の産出化石は、まず塩分濃

度に対する適応性により、海水生、海水～汽水生、汽水生、淡水生に生態分類し、さらにその中の淡水生種は、塩分、pH、水の流動性の３適応性についても生態分類し表に示す。

（２）花粉分析

試料約10ｇについて、水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液（臭化亜鉛，比重2.3）による有機物の分離、フッ化水素酸による鉱物質の除去、アセトリシス（無水酢酸９：濃硫酸1の混合液）処理による植物遺体中のセルロースの分解を行い、物理・化学的処理を施して花粉を濃集する。残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作製し、400倍の光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査し、出現する全ての種類について同定・計数する。同定は、当社保有の現生標本や島倉（1973）、中村（1980）等を参考にする。

結果は同定・計数結果の一覧表、及び花粉化石群集の層位分布図として表示する。図表中で複数の種類をハイフォンで結んだものは、種類間の区別が困難なものを示す。図中の木本花粉は木本花粉総数を、草本花粉・シダ類胞子は総数から不明花粉を除いた数をそれぞれ基数として、百分率で出現率を算出し図示する。なお、木本花粉総数が100個体未満のものは、統計的に扱うと結果が歪曲する恐れがあるので、出現した種類を＋で表示するにとどめておく。

（３）植物珪酸体分析

各試料について過酸化水素水・塩酸処理、沈定法、重液分離法（ポリタングステン酸ナトリウム，比重2.5）の順に物理・化学処理を行い、植物珪酸体を分離・濃集する。これをカバーガラス上に滴下・乾燥させる。乾燥後、プリュウラックスで封入してプレパラートを作製する。400倍の光学顕微鏡下で全面を走査し、その間に出現するイネ科葉部（葉身と葉鞘）の葉部短細胞に由来した植物珪酸体（以下、短細胞珪酸体と呼ぶ）および葉身機動細胞に由来した植物珪酸体（以下、機動細胞珪酸体と呼ぶ）を、近藤（2010）の分類を参考に同定し、計数する。

分析の際には、分析試料の乾燥重量、プレパラート作成に用いた分析残渣量を計量し、乾土１ｇあたりの植物珪酸体含量（同定した数を乾土１ｇあたりの個数に換算）を求める。

結果は、植物珪酸体含量の一覧表で示す。その際、100個/ｇ未満は「<100」で表示する。各分類群の含量は10の位で丸め（100単位にする）、合計は各分類群の丸めない数字を合計した後に丸めている。また、各分類群の植物珪酸体含量とその層位的変化から稲作の様態や古植生について検討するために、植物珪酸体含量の層位的変化を図示する。

（４）土壌試料洗い出し分析

試料200ccを水に浸し、粒径0.5㎜の篩を通して水洗する。篩内の試料を粒径別にシャーレに集めて双眼実体顕微鏡下で観察し、ピンセットを用いて、同定が可能な種実遺体や、炭化材（主に径４㎜超）を抽出する。

種実遺体の同定は、現生標本と石川（1994）、中山ほか（2000）等を参考に実施し、個数を集えて結果を一覧表で示す。炭化材は、40℃72時間乾燥後の重量と最大径を記録後、一部を樹種同定対象とする。分析後は、種実遺体および分析残渣を容器に入れて保存する。

炭化材については、実体顕微鏡で木材の３断面（木口・柾目・板目）について割断面を作製しながら組織配列等を観察し、その特徴を現生標本と比較して種類（分類群）を同定する。

３．結果

（１）珪藻分析

珪藻の生態性を表１に、結果を表２に示す。A区沢４土層②では、土壌⑤、土壌⑥から珪藻化石が低率で検出された。珪藻化石の保存状態は、ほとんど半壊しているだけでなく、溶解の痕跡が認めら

表1. 珪藻の生態性

塩分濃度に対する区分		塩分に対する適応性	生 育 環 境(例)
海水生種	強塩生種(Ployhalobous)	塩分濃度が40.0パーミル以上に出現するもの	低緯度熱帯海域、塩水湖など
	真塩生種(Euhalobous)	塩分濃度が40.0〜30.0パーミルに出現するもの	一般海域(ex. 大陸棚及び大陸棚以深の海域)
汽水生種	中塩生種(Mesohalobous)	塩分濃度が30.0〜0.5パーミルに出現するもの：強中塩生種(a-Mesohalobous) 弱中塩生種(b-Mesohalobous)	河口・内湾・沿岸・塩水湖・潟など
淡水生種	貧塩生種(Oligohalobous)	塩分濃度が0.5パーミル以下に出現するもの	一般陸水域(ex. 湖沼・池・沼・河川・川・沼沢地・泉)
塩分・pH・流水に対する区分		塩分・pH・流水に対する適応性	
塩分に対する適応性	貧塩−好塩性種(Halophilous)	少量の塩分がある方がよく生育するもの	高塩類域(塩水遡上域・温泉・耕作土壌)
	貧塩−不定性種(Indifferent)	少量の塩分があってもこれによく耐えることができるもの	一般陸水域(湖沼・池・沼・河川・沼沢地など)
	貧塩−嫌塩性種(Halophobous)	少量の塩分にも耐えることができないもの	湿原・湿地・沼沢地
	広域塩性種(Euryhalinous)	低濃度から高濃度まで広い範囲の塩分濃度に対応して出現するもの	一般淡水〜汽水域
pHに対する適応性	真酸性種(Acidobiontic)	pH7.0以下に出現、特にpH5.5以下の酸性水域で最もよく生育するもの	湿原・湿地・火口湖(酸性水域)
	好酸性種(Acidophilous)	pH7.0付近に出現、pH7.0以下の水域で最もよく生育するもの	湿原・湿地・沼沢地
	pH−不定性種(Indifferent)	pH7.0付近の中性水域で最もよく生育するもの	一般陸水(ex. 湖沼・池沼・河川)
	好アルカリ性種(Alkaliphilous)	pH7.0付近に出現、pH7.0以上の水域で最もよく生育するもの	
	真アルカリ性種(Alkalibiontic)	特にpH8.5以上のアルカリ性水域で最もよく生育するもの	アリカリ性水域(少ない)
流水に対する適応性	真止水性種(Limnobiontic)	止水にのみ出現するもの	流入水のない湖沼・池沼
	好止水性種(Limnophilous)	止水に特徴的であるが、流水にも出現するもの	湖沼・池沼・流れの穏やかな川
	流水不定性種(Indifferent)	止水にも流水にも普通に出現するもの	河川・川・池沼・湖沼
	好流水性種(Rheophilous)	流水に特徴的であるが、止水にも出現するもの	河川・川・小川・上流域
	真流水性種(Rheobiontic)	流水にのみ出現するもの	河川・川・流れの速い川・渓流・上流域
陸生珪藻	好気性種(Aerophilous)	好気的環境(Aerial habitats) 水域以外の常に大気に曝された特殊な環境に生育する珪藻の一群で、多少の湿り気と光さえあれば土壌表層中やコケの表面に生育可能。特に、土壌中に生育する陸生珪藻を土壌珪藻という。	・土壌表層中や土壌に生えたコケに付着 ・木の根元や幹に生えたコケに付着 ・濡れた岩の表面やそれに生えたコケに付着 ・滝の飛沫で湿ったコケや石垣・岩上のコケに付着 ・洞窟入口や内部の照明の当たった所に生えたコケに付着

1)塩分に対する区分はLowe(1974)、pHと流水に対する区分はHustedt(1937〜1939)による。

表2. 珪藻分析結果

種　類	生態性 塩分	生態性 pH	生態性 流水	環境指標種	A区沢4 沢4土層② 土壌⑤ 1047	土壌⑥ 1048	土壌⑦ 1049	土壌⑧ 1050	沢4土層① 土壌8 1051	土壌11 1054
Eunotia pectinalis var. *minor* (Kuetz.) Rabenhorst	Ogh−hob	ac−il	ind	O	1	−	−	−	−	−
Eunotia spp.	Ogh−unk	unk	unk		−	−	−	−	2	2
Meridion circulare (Grev.) C.Agardh	Ogh−ind	al−il	r−bi	K,T	−	−	−	−	−	1
Meridion circulare var. *constrictum* (Ralfs) Van Heurck	Ogh−ind	al−il	r−bi	K,T	−	−	−	−	7	14
Pinnularia microstauron (Ehr.) Cleve	Ogh−ind	ac−il	ind	S	1	−	−	−	−	−
Pinnularia rupestris Hantzsch	Ogh−hob	ac−il	ind	O	1	1	−	−	−	−
Pinnularia viridiformis Krammer	Ogh−ind	ind	ind	N,O,U	−	6	−	−	−	−
Pinnularia viridis (Nitz.) Ehrenberg	Ogh−ind	ind	ind	O	4	2	−	−	−	−
Pinnularia spp.	Ogh−unk	unk	unk		16	18	−	−	8	19
Rhopalodia gibba (Ehr.) Mueller	Ogh−ind	al−il	ind	O,U	−	−	−	−	−	1
海水生種					0	0	0	0	0	0
海水〜汽水生種					0	0	0	0	0	0
汽水生種					0	0	0	0	0	0
淡水〜汽水生種					0	0	0	0	0	0
淡水生種					23	27	0	0	17	37
珪藻化石総数					23	27	0	0	17	37

凡例

塩分：塩分濃度に対する適応性
- Euh　：海水生種
- Euh-Meh：海水生種-汽水生種
- Meh　：汽水生種
- Ogh-Meh：淡水生種-汽水生種
- Ogh-hil：貧塩好塩性種
- Ogh-ind：貧塩不定性種
- Ogh-hob：貧塩嫌塩性種
- Ogh-unk：貧塩不明種

pH：水素イオン濃度に対する適応性
- al-bi：真アルカリ性種
- al-il：好アルカリ性種
- ind　：pH不定性種
- ac-il：好酸性種
- ac-bi：真酸性種
- unk　：pH不明種

流水：流水に対する適応性
- l-bi：真止水性種
- l-ph：好止水性種
- ind　：流水不定性種
- r-ph：好流水性種
- r-bi：真流水性種
- unk　：流水不明種

環境指標種

A:外洋指標種　B:内湾指標種　C1:海水藻場指標種　C2:汽水藻場指標種
D1:海水砂質干潟指標種　D2:汽水砂質干潟指標種
E1:海水泥質干潟指標種　E2:汽水泥質干潟指標種　F:淡水底生種群(以上は小杉,1988)
G:淡水浮遊生種群　H:河口浮遊性種群　J:上流性河川指標種　K:中〜下流性河川指標種
L:最下流性河川指標種群　M:湖沼浮遊性種　N:湖沼沼沢湿地指標種　O:沼沢湿地付着生種
P:高層湿原指標種群　Q:陸域指標種群　(以上は安藤,1990)
S:好汚濁性種　U:広適応性種　T:好清水性種(以上はAsai & Watanabe,1995)
R:陸生珪藻(RA:A群、RB:B群、RI:未区分、伊藤・堀内,1991)

れる殻も多いことから、状態としては、極不良である。

検出された分類群は、すべて淡水生種で、沼沢湿地付着生種が多く認められる。認められた種は、*Eunotiapectinalis var. minor*、*Pinnularia microstauron*、*Pinnularia rupestris*、*Pinnularia viridifomis*、*Pinnularia viridis*、*Pinnularia spp.* である。

土壌⑦、土壌⑧からは、珪藻化石は検出されなかった。

A区沢４土層①では、土壌８、土壌11のいずれも低率に認められた。化石の保存状態は、半壊した殻や溶解の痕跡が認められており、状態としては、不良～極不良である。

検出された分類群は、すべて淡水生種で、真流水性種をともなう種群で構成される。認められた種は、*Eunotia spp.*、*Meridion circulare*、*Meridion circulare var. constrictum*、*Pinnularia spp.*、*Rhopalodia gibba* である。

（２）花粉分析

結果を表３、図１に示す。沢４土層②の土壌⑤から、かろうじて定量解析が行える程度の花粉化石が検出されたが、保存状態は良好といえず、花粉外膜が破損あるいは溶解している個体も認められる。検出された花粉化石群集は木本花粉が主体で、マツ属、スギ属が多産する。その他ではモミ属、サワグルミ属、クルミ属、コナラ属コナラ亜属が確認された。草本花粉は、少ないながらもイネ科、オミナエシ属が認められる。なお、本試料からは、シダ類胞子が多産する

沢４土層②の土壌⑥～土壌⑧、および沢４土層①の土壌８、土壌11からは、花粉化石はほとんど、あるいは全く産出しない。わずかにマツ属、オミナエシ属、キク亜科が確認されたが、いずれも保存状態は悪い。また、シダ類胞子ではヒカゲノカズラ属、ゼンマイ属が確認された。

表3. 花粉分析結果

種類	A区沢4 沢4土層② 土壌⑤ 1047	土壌⑥ 1048	土壌⑦ 1049	土壌⑧ 1050	沢4土層① 土壌8 1051	土壌11 1054
木本花粉						
モミ属	1	–	–	–	–	–
マツ属複維管束亜属	23	–	–	–	–	–
マツ属（不明）	28	–	–	–	2	–
スギ属	46	–	–	–	–	–
サワグルミ属	2	–	–	–	–	–
クルミ属	5	–	–	–	–	–
コナラ属コナラ亜属	1	–	–	–	–	–
草本花粉						
イネ科	7	–	–	–	–	–
オミナエシ属	1	–	–	1	–	–
キク亜科	–	1	–	2	–	–
不明花粉						
不明花粉	7	–	–	–	–	–
シダ類胞子						
ヒカゲノカズラ属	–	1	–	–	–	–
ゼンマイ属	–	–	–	–	3	2
他のシダ類胞子	506	20	5	4	16	78
合　計						
木本花粉	106	0	0	0	2	0
草本花粉	8	1	0	3	0	0
不明花粉	7	0	0	0	0	0
シダ類胞子	506	21	5	4	19	80
合計(不明を除く)	620	22	5	7	21	80

（３）植物珪酸体分析

結果を表４、図２に示す。各試料からは植物珪酸体が検出されるものの、保存状態が悪く、表面に多数の小孔（溶食痕）が認められる。

沢４土層②の試料では植物珪酸体含量が概して少なく、3,000～7,000個/gである。検出される分類群も少なく、クマザサ属を含むタケ亜科やヨシ属が認められる他にススキ属やイチゴツナギ亜科が稀に認められる。

沢４土層①では、植物珪酸体含量が

表4. 植物珪酸体含量　（個/g）

分類群	A区沢4 沢4土層② 土壌⑤ 1047	土壌⑥ 1048	土壌⑦ 1049	土壌⑧ 1050	沢4土層① 土壌8 1051	土壌11 1054
イネ科葉部短細胞珪酸体						
タケ亜科クマザサ属	600	300	500	500	500	200
タケ亜科	900	600	1,200	600	4,000	500
ヨシ属	<100	200	–	<100	–	–
ウシクサ族ススキ属	<100	–	<100	–	400	<100
イチゴツナギ亜科	200	<100	–	–	–	–
不明	900	500	1,100	1,200	3,400	1,000
イネ科葉身機動細胞珪酸体						
タケ亜科クマザサ属	100	100	1,000	200	500	200
タケ亜科	200	400	1,400	300	1,400	200
ヨシ属	100	<100	<100	<100	–	–
不明	300	1,300	1,400	1,000	1,400	400
合　計						
イネ科葉部短細胞珪酸体	2,900	1,600	2,900	2,400	8,300	1,800
イネ科葉身機動細胞珪酸体	800	1,900	3,800	1,600	3,300	700
植物珪酸体含量	3,700	3,500	6,700	4,000	11,600	2,500

1)含量は、10の位で丸めている(100単位にする)。
2)合計は各分類群の丸めない数字を合計した後に丸めている。
3)<100：100個/g未満。

土壌８で約1.2万個/ｇであるものの、土壌11で約2,500個/ｇと少ない。クマザサ属を含むタケ亜科やススキ属などがみられる。

（４）土壌試料洗い出し分析

結果を表５に示す。試料各200ccからは、種実遺体が確認されなかったため、残りの全試料を追加分析して古植生情報の獲得に努めた。結果、全４試料2,400cc（3,776ｇ）を洗い出したが、種実遺体は土壌⑧から炭化したウルシ属の核の破片が1個検出されるのみであった。

・ウルシ（*Rhus verniciflua Stockes*）ウルシ科ウルシ属

核（内果皮）は炭化しており黒色、残存長1.6㎜、残存幅2.4㎜（復元値は3.0㎜程度）、厚さ1.5㎜のやや偏平な横楕円体で背腹両面中央が凹み臍状となる。腹面中央にある長径0.6～0.8㎜の長楕円形の臍を欠損する。内果皮表面は粗面で、断面は柵状を呈す。

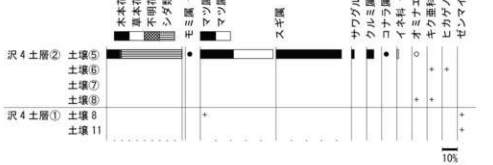
表5.　土壌試料洗い出し分析結果

種類	A区沢4 沢4土層② 土壌⑤	土壌⑥	土壌⑦	土壌⑧	整理番号
	1047	1048	1049	1050	
炭化種実					
ウルシ属 核（破片）	－	－	－	1	
	－	－	－	<0.001	乾重(g)
炭化材					
	0.19	0.16	0.02	0.04	乾重(g)
	11	4.8	2.5	1.7	最大径(mm)
ブナ属	－	1	－	－	抽出炭化材
クリ	1	2	－	－	抽出炭化材
ヤマグワ	－	1	－	－	抽出炭化材
広葉樹	－	1	3	3	抽出炭化材
昆虫類	7	－	－	－	個数
分析量	300	750	700	650	容積(cc)
	445	1126	1096	1109	湿重(g)

1)炭化材等の重量には表面の泥の重量を含む。

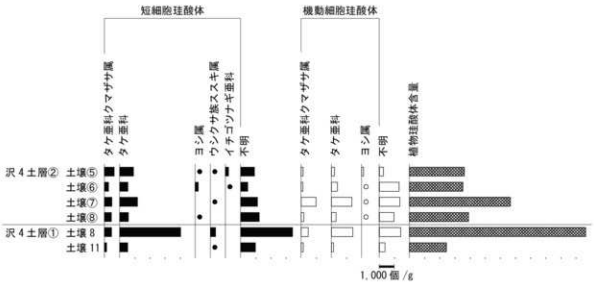
種実以外では、土壌⑤から0.19ｇ、土壌⑥から0.16ｇ、土壌⑦から0.02ｇ、土壌⑧から0.04ｇの、計0.4ｇの炭化材が検出され、最大径は11㎜を測る（土壌サンプル⑤）。これらのうちから、土壌⑤から１点、土壌⑥から５点、土壌⑦と土壌⑧から各３点の炭化材を選択し、同定対象とした。炭化材同定の結果、広葉樹３分類群（ブナ属、クリ、ヤマグワ）に同定された。

その他に、昆虫類の破片が土壌⑤から７個検出された。分析残渣は砂礫主体で植物片を少量含む。



木本花粉は木本花粉総数、草本花粉・シダ類胞子は総数から不明花粉を除いた数を基数として百分率で表した。○●は１％未満、＋は木本花粉100個未満の試料において検出された種類を示す。

図１．Ａ区沢４における花粉化石群集



乾土 1g あたりの個数で示す。●○は 100 個未満を定性的に示す。

図２．A区沢４における植物珪酸体含量

４．考察

（1）堆積環境

A区沢４土層②の第１層～第３層（土壌⑤～土壌⑧）、および沢４土層①の第Ⅱa層（土壌８）、第１層（土壌11）についていみると、いずれも珪藻化石の産出率が低いために、堆積時の環境を推定することは困難である。

ただ、検出された珪藻化石種群をみると、いずれも淡水生種のみで構成されている。沢４土層②の第１層、第２層では、少ないながらも湖沼沼沢湿地指標種や沼沢湿地付着生種が認められることから、本層堆積時の沢４土層②付近は、沼沢湿地のような環境であった可能性がある。

一方、沢４土層①の第１層、およびその上位の第Ⅱa層では、中～下流性河川指標種の流水性種が認められることから、沢４土層①付近の第１層～第Ⅱa層堆積時は、基本的には沢４土層②同様沼沢湿地の環境と推測されるが、一時的に流水の影響を受けた可能性がある。

なお、全体的に珪藻化石の産状が悪い点については、堆積後に続成作用により分解消失したことが推定される。経験的には、堆積後に好気的環境下で大気に曝されると、短期間に分解消失することがわかっている。このことから、沢4内は基本的には沼沢湿地のような状態であるものの、一時的に乾いて大気に曝されることがあった可能性がある。特に珪藻化石が全く産出しない２試料は、沢埋積物の底部（土壌⑦）、および沢の肩付近（土壌⑧）であることから、埋積し始めや水位の変化など、乾きやすい環境であったと推測される。

（2）古植生

A区の沢４における花粉分結果をみると、土層②の第１層（土壌⑤）からかろうじて定量解析が行える程度の産出が認められたが、全体的に花粉化石の保存状態も悪い。花粉やシダ類胞子の腐蝕に対する抵抗性は種類により異なっており、落葉広葉樹に由来する花粉よりも針葉樹に由来する花粉やシダ類胞子の方が酸化に対する抵抗性が高いとされている（中村，1967；徳永・山内，1971；三宅・中越，1998など）。検出された花粉化石は保存状態が悪いこと、分解の影響を受けても同定可能な種類が多いこと、シダ類胞子が多産すること、珪藻分析からも好気的環境が想定されることなどを考慮す

ると、得られた花粉化石群集は経年変化による分解・消失の影響を受けていると考えられる。

分解の影響を考慮しても、沢4土層②の第１層ではマツ属、スギ属が多産する。マツ属は伐採地や崩落地などに先駆的に入る二次林要素である。スギ属は、人工林では山腹斜面下に出現し、水分・養分の供給が十分で、水はけの良い土壌で最もよく生育するとされている。また、約4,000－2,000年前にかけて全国で急増し、特に日本海沿岸地域の低地においては、スギの埋没林が多く認められている（例えば高原,1998など）。三内丸山(9)遺跡における花粉分析結果でも、縄文時代中期頃からスギ属の産出が確認されており、縄文時代後期～古代にかけて増加する傾向が認められている（吉川,2008）。いずれも花粉生産量が多い種類であることから、調査区周辺の二次林や崩落地にマツ属が、沢沿いなどにスギ属が生育していた可能性がある。また、サワグルミ属、クルミ属、コナラ属コナラ亜属などは、渓谷沿いや河畔などの適湿地に生育する種が含まれることから、沢４の周辺や集水域などに生育していたものに由来すると思われる。

炭化材で同定されたブナ属、クリ、ヤマグワは、本地域の冷温帯性落葉広葉樹林の林内や林縁に生育して矛盾しない。炭化していることから、近傍の森林より採取し、利用されたことが窺える。また、種実が検出されたウルシ属も落葉広葉樹で、本地域には塵本のツタウルシ、小高木のヌルデ、ヤマウルシが分布するほかに、中国原産で高木のウルシ（*R. vernicifiua Stockes*）の４種が分布する（佐竹ほか，1989）。近年の研究では、縄文時代の遺跡から漆製品やウルシの木材、内果皮、花粉化石の出土が確認され、古くからの利用が指摘されている。

一方、沢４内やその周囲の植生を反映していると思われる草本類をみると、花粉化石ではイネ科、オミナエシ属、キク亜科が認められる。これらはいずれも、開けた明るい場所に生育する種を含む分類群である。また、植物珪酸体も産状は概して悪いが、クマザサ属やヨシ属、ススキ属、イチゴツナギ亜科などが検出される。この内、ヨシ属は湿潤な場所に生育する種群であることから、沢内やその周囲の湿地部などに生育していたものに由来すると思われる。調査区内や周囲の林縁林床部などに、クマザサ属やススキ属などのイネ科、オミナエシ属、キク亜科などが生育していたと考えられる。

引用文献

安藤一男,1990,淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復元への応用.東北地理,42,73-88.

Asai, K. & Watanabe, T.,1995,Statistic Classification of Epilithic Diatom Species into Three Ecological Groups relating to Organic Water Pollution (2) Saprophilous and saproxenous taxa.Diatom,10,35-47.

Desikachiary, T. V.,1987,Atlas of Diatoms. Marine Diatoms of the Indian Ocean. Madras science foundation, Madras, Printed at TT. Maps & Publications Private Limited, 328, G. S. T. Road, Chromepet, Madras-600044. 1-13, Plates : 401-621.

Hustedt, F.,1930,Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. under Berucksichtigung der ubrigen Lander Europas Sowie der angrenzenden Meeresgebiete. in Dr. Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs unt der Schweiz, 7, Leipzig, Part 1, 920p.

Hustedt, F.,1937-1938, Systematische unt okologische Untersuchungen mit die Diatomeen-Flora von Java, Bali und Sumatra. Ⅰ～Ⅲ. Arch. Hydrobiol. Suppl., 15, 131-809p, 1-155p, 274-349p.

Hustedt, F.,1959,Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. under Berucksichtigung der ubrigen Lander Europas Sowie der angrenzenden Meeresgebiete. in Dr.

Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs unt der Schweiz, 7, Leipzig, Part 2, 845p.

Hustedt, F.,1961-1966,Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. under Berucksichtigung der ubrigen Lander Europas Sowie der angrenzenden Meeres-gebiete. in Dr. Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs unt der Schweiz, 7, Leipzig, Part 3, 816p.

石川茂雄,1994,原色日本植物種子写真図鑑.石川茂雄図鑑刊行委員会,328p.

伊藤良永・堀内誠示,1991,陸生珪藻の現在に於ける分布と古環境解析への応用.日本珪藻学誌,6,23-44.

近藤錬三,2010,プラント・オパール図譜.北海道大学出版会,387p.

小杉正人,1988,珪藻の環境指標種群の設定と古環境復原への応用. 第四紀研究,27,1-20

Krammer, K. and H. Lange-Bertalot,1985,Naviculaceae. Bibliothyca Diatomologica, vol.9, p.250.

Krammer, K. and H. Lange-Bertalot,1986,Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa 2(1):876p.

Krammer, K. and H. Lange-Bertalot,1988,Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa 2(2):596p.

Krammer, K. and H. Lange-Bertalot,1990,Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa 2(3):576p.

Krammer, K. and H. Lange-Bertalot,1991,Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa 2(4):437p.

Lowe, R. L.,1974,Environmental requirements and pollution tolerance of fresh-water daitoms. In Environmental Monitaing Ser. EPA-670/4-74-005. Nat. Environmental Res. Center office of Res. Develop. U. S. Environ. Protect. Agency. cincinati. 1-344.

三宅 尚・中越信和,1998,森林土壌に堆積した花粉・胞子の保存状態.植生史研究,6,15-30.

中村 純,1967,花粉分析.古今書院,232p.

中村 純,1980,日本産花粉の標徴 Ⅰ Ⅱ(図版).大阪市立自然史博物館収蔵資料目録 第12,13集,91p.

中山至大・井之口希秀・南谷忠志,2000,日本植物種子図鑑,東北大学出版会,642p.

佐竹義輔・原 寛・亘野俊次・冨成忠夫編,1989,日本の野生植物 木本II,平凡社,305p.

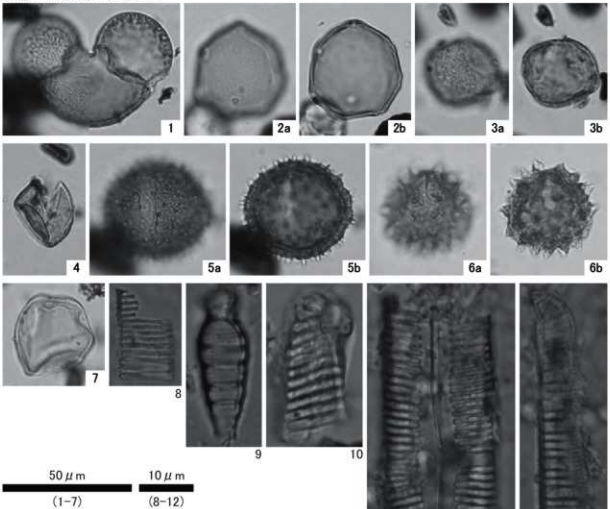
島倉巳三郎,1973,日本植物の花粉形態.大阪市立自然科学博物館収蔵目録 第5集,60p.

高原 光,1998,スギ林の変遷.安田 喜憲・三好教夫(編著),図説 日本列島植生史,朝倉書店,207-223.

徳永重元・山内輝子,1971,花粉・胞子.化石の研究法,共立出版株式会社,50-73.

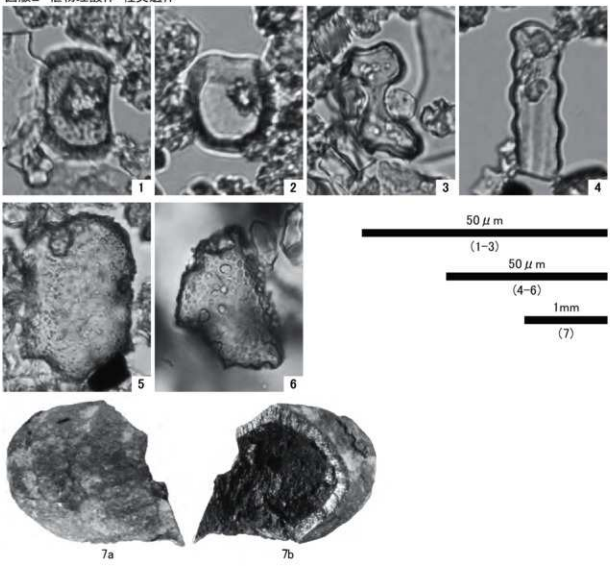
吉川昌伸,2008,東北地方の縄文時代中期から後期の植生とトチノキ林の形成.環境文化史研究,1,27-35.

図版1　花粉化石・珪藻化石



1．マツ属(A区沢4土層②;土壌⑤)
2．クルミ属(A区沢4土層②;土壌⑤)
3．コナラ属コナラ亜属(A区沢4土層②;土壌⑤)
4．スギ属(A区沢4土層②;土壌⑤)
5．オミナエシ属(A区沢4土層②;土壌⑤)
6．キク亜科(A区沢4土層②;土壌⑤)
7．イネ科(A区沢4土層②;土壌⑤)
8．*Eunotia* spp.（A区沢4土層①;土壌8)
9．*Meridion circulare* var. *constrictum* (Ralfs) Van Heurck（A区沢4土層①;土壌8)
10．*Pinnularia* spp.(A区沢4土層②;土壌⑥)
11．*Pinnularia* spp.（A区沢4土層①;土壌11)
12．*Rhopalodia gibba* (Ehr.) Mueller（A区沢4土層①;土壌11)

図版2　植物珪酸体・種実遺体



1．クマザサ属短細胞珪酸体(A区沢4土層②;土壌⑤)
2．ヨシ属短細胞珪酸体(A区沢4土層②;土壌⑥)
3．ススキ属短細胞珪酸体(A区沢4土層①;土壌8)
4．イチゴツナギ亜科短細胞珪酸体(A区沢4土層②;土壌⑤)
5．ヨシ属機動細胞珪酸体(A区沢4土層②;土壌⑤)
6．クマザサ属機動細胞珪酸体(A区沢4土層②;土壌⑦)
7．ウルシ属 核(A区沢4土層②;土壌⑧)

第５章　総括

砂子瀬遺跡は岩木川と湯ノ沢川に挟まれた標高約185～192ｍの河岸段丘上に位置する。Ａ区の東西両側及びＣ区の東側は浸食や崩落の影響、Ｂ～Ｅ区は大きく削平の影響を受けている区域があったものの、平成18年度から平成24年度にかけての調査の結果、竪穴住居跡27棟、掘立柱建物跡41棟、土坑549基、土器埋設遺構23基、焼土遺構18基、溝跡４条、配石遺構９基、屋外配石炉１基、ピット2105基、捨て場１ヶ所が検出された。特筆される遺構としては、Ａ区中央付近で確認された環状に分布する掘立柱建物跡があげられる。出土遺物は縄文時代早期から弥生時代にかけての土器、石器が出土した。ここでは、これまでの一連の調査で検出された竪穴住居跡と掘立柱建物跡及び土器、石器についてまとめ、砂子瀬遺跡全体の総括を行う。

第１節　竪穴住居跡（図130・131）

砂子瀬遺跡で検出された竪穴住居跡は27棟である。このうち25棟がＡ区から検出されている。ここでは、既に刊行されている砂子瀬遺跡に関する３冊の報告書（第466・482・513集）及び本書第３章第１節の成果を援用し、竪穴住居跡の様相とその変遷について概観する。なお本稿における竪穴住居跡の呼称については、調査年度ごとに同名の遺構が存在することから、以下のとおり遺構名の先頭に検出地区を入れた略称を用いる。

第２号竪穴住居跡（第466集）→CSI２

第２号竪穴住居跡（第482集）→ESI２

第１～７号竪穴住居跡（第513集）→ASI１～７

第102～118号竪穴住居跡（第543集、本書）→ASI102～118

また文中では新旧関係を表す際に不等号を用い、旧段階＜新段階のように表記した。

１　住居構造

・平面形・規模

竪穴状の掘り込みが確認できたもの（CSI２・ESI２・ASI１～５・ASI107・110・112・114・115）とできなかったもの（ASI６・７・ASI102～106・108・109・111・113・116～118）がある。掘方が確認されたもの（ASI102・ASI109）は後者に含めた。また、後述する壁周溝と考えられる溝跡は全て後者で検出された。

確認できた平面形は円形及び楕円形である。壁周溝のみのもの（ASI６・ASI７・ASI103）や焼土とピットの分布から住居跡としたもの（ASI105）もあり規模が明確でないものもあるが、推定も含めた長軸規模は2.3～8.8ｍである。また全体的な傾向として、掘り込みが確認できなかったものの方が、掘り込みが確認できたものより大きく、前者の長軸規模の平均が約6.5ｍであるのに対して、後者は約3.7ｍである。

・柱穴配置

３本柱（ASI１）と４本柱（ASI104Ａ・ASI104Ｂ・ASI105・ASI108・ASI111・ASI116・ASI117）がみられる。後者の柱間距離は1.3～4.8ｍで、掘立柱建物跡のそれと比べるとASI105を除きやや短く、平面形は台形状を呈する。この他に壁柱穴が巡るもの（ESI２・ASI５）や、壁周溝内部から複数の柱穴が検出されたもの（ASI６・ASI７・ASI109・ASI116）もある。

・炉形態

地床炉（CSI２・ESI２・ASI１・ASI105・ASI106・ASI109・ASI114・ASI116）と土器埋設炉（ASI104A・ASI104B・ASI108）がある。炉の位置は、ほぼ中央にあるもの（CSI２・ESI２・CSI１・ASI108・ASI114）と偏在するもの（ASI104A・ASI104B・ASI105・ASI106・ASI109・ASI116）がある。ASI108を除き、前者は掘り込みが確認できたもの、後者は掘り込みが確認できなかったものにみられる。

・付属施設

壁周溝と考えられる溝跡（ASI６・ASI102・ASI103・ASI104A・ASI104B・ASI106・ASI108・ASI109・ASI111・ASI113・ASI116～ASI118）、土坑（ASI２）、貼床（ASI106・ASI111）が検出された。この内壁周溝と考えられる溝跡は全て掘り込みが確認できなかった竪穴住居跡から検出された。この他にASI７から張り出し部が検出されたが、撹乱の可能性がある。明確な出入り口施設は確認できなかったが、ASI６・ASI７における壁周溝の欠落部分が当該施設の可能性がある。

・重複

土層断面の観察から、竪穴住居跡同士及び竪穴住居跡と掘立柱建物跡には以下の新旧関係が認められた。

ASI５＜ASI４、ASI104A＜ASI104B、ASI109＜ASI108＜ASI110、ASI111＜SB38、SB36＜ASI113。

２　時期変遷

・縄文時代後期前葉

４棟（CSI２・ASI105～107）が該当する。C区で検出されたCSI２を除きA区に分布する。ASI107はA区東端の掘立柱建物跡が環状に分布する範囲に位置するが、掘立柱建物跡との重複関係は確認できなかった。ASI105・ASI106は掘立柱建物跡が環状に分布する範囲のすぐ南側に隣り合うように分布する。なお、ASI105は他の住居跡に比べて柱間距離が大きく、また、掘り込みが確認できなかったものの中で唯一壁周溝が検出されなかったものであり、掘立柱建物跡の可能性もある。

・縄文時代後期中葉

３棟（ASI102・ASI108・ASI109）が該当する。いずれも掘り込みが確認できなかったものである。ASI102はA区南西側に、ASI108・ASI109はA区西端にそれぞれ分布する。ASI108とASI109には重複関係がみられ、後期中葉の中でも時間差が認められる。

・縄文時代後期中～後葉

２棟（ASI103・ASI110）が該当する。両者とも後期中葉の一群と分布範囲が重なる。

・縄文時代後期後葉

14棟（ESI２・ASI１・ASI４・ASI５・ASI７・ASI104A・ASI104B・ASI111～117）が該当する。E区で検出されたESI２を除くと、A区北側に分布するもの（ASI１・ASI４・ASI５）、A区やや南側で東西方向に列状に分布するもの（ASI７・ASI104A・ASI104B・ASI114～117）、環状に分布する掘立柱建物跡と分布範囲が重なるもの（ASI111～113）がある。このうちASI111とASI113は掘立柱建物跡と重複している。また、竪穴住居跡同士にも重複関係があることから、後期後葉の中でも時間差が認められる。壁柱穴が巡る住居跡（ESI２・ASI５）もこの時期にみられる。

・縄文時代後期

詳細な時期は特定できないものの、出土土器から後期に帰属すると推定されるものが２棟（ASI

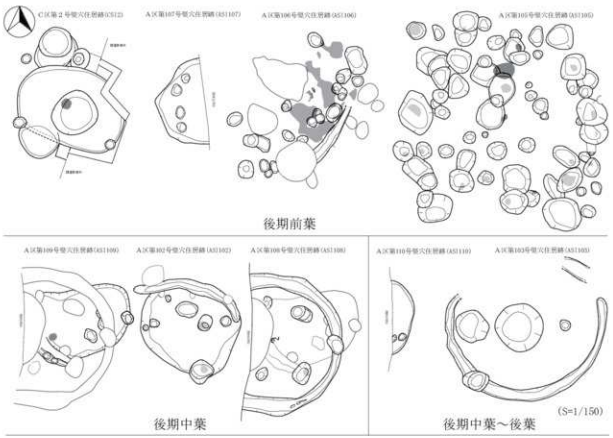


図130　竪穴住居跡集成（１）

２・ASI３）検出された。Ａ区北東側に分布し、後期後葉の一群（ASI４・ASI５）に隣接する。いずれも長軸が３ｍに満たない小型のものである。

・時期不明

２棟（ASI６・ASI118）が該当する。Ａ区やや南側に分布する後期後葉の一群と分布範囲が重なる。

３　まとめ

本遺跡で検出された竪穴住居跡の特徴として、掘り込みの有無と住居構造に関連性がみられることがあげられる。掘り込みが確認できたものは小型で柱穴規模が小さく、柱穴配置も判然としない。炉は地床炉で床面中央部から検出される。掘り込みが確認できなかったものは大型で壁周溝を伴い、主柱穴が４本で構成されるものが多い。炉は地床炉もしくは土器埋設炉で、床面中央から壁寄りに位置する。後者で掘り込みが確認できなかった理由として、後世の削平の影響等の可能性も否定できないが、両者の間には上述のような相違点がみられることから、住居構造自体に起因する可能性が考えられる。これらはともに縄文時代後期前葉から後葉にかけて継続的に分布する。また、後期後葉に壁柱穴をもつものが出現することを除けば、時期ごとの住居構造に明確な違いはみられなかった。

竪穴住居跡の分布を時期ごとにみると、Ｃ・Ｅ区に分布する２棟を除き、後期前葉はＡ区東側に、後期中葉は西側に、後期後葉は中央部に分布する。ただし、Ａ区南端及び掘立柱建物跡が環状に分布する範囲の内側には各時期をとおして竪穴住居跡は確認されない。なお、後期後葉にはＡ区西側で竪穴住居跡と環状に分布する掘立柱建物跡に新旧関係が確認されており（ASI111＜SB38、SB36＜ASI113）、当該期の集落構造を考える上で重要な事例と考えられる。　（葛城）

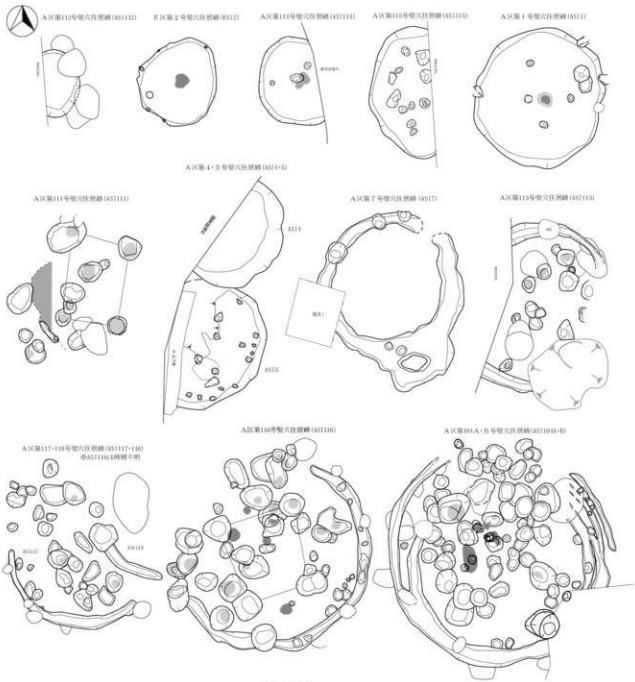


図131　竪穴住居跡集成（2）

第２節　掘立柱建物跡

１　分布と軸方位

本遺跡のＡ区では41棟の掘立柱建物跡を検出した。41棟中26棟は舌状台地の中央部付近で環状に分布し、その北側と南側においても分布がみられる。

環状分布域の規模は南北60ｍ、東西52ｍである。環状に分布する掘立柱建物跡群の主軸方向は円周上にみられる。北西側では、環状に分布する掘立柱建物跡と隣接して第10・11号掘立柱建物跡の２棟が分布し、最も近接する第14・15号掘立柱建物跡の主軸方位とほぼ同じである。

環状分布域における掘立柱建物跡の分布密度は、南・北・東側と西側とで違いがみられる。南・北・東側では建物跡自体の重なり合いや建物跡を構成する柱穴の重複も顕著である。これらには、位置関係や主軸方向の近似性から建て替え等の可能性があるものも含まれる。一方、西側では棟持柱が一部重複することはあっても建物跡自体の重なり合いがみられず、比較的整然とした配列にみえる。掘立柱建物跡として認定できないまでも掘立柱建物跡を構成する柱穴の可能性が高い柱穴（第16・36号間、第22・23号間、第26・27号間、第20・35号間の柱穴）については、第３章第１節ピットの小結で触れたが、当該柱穴を考慮しても掘立柱建物跡間にはある程度の間隔を置く箇所が存在する。特に南側の第30・32号掘立柱建物跡間は他の遺構もほとんど認められず間隔が明瞭である。また、当該掘立柱建物跡の付近ではほぼ同じ場所に建て替えが行われた形跡もみられる。なお、第32・33号掘立柱建物跡の柱１の周囲には巨礫が２石存在し、人為的に動かされた痕跡もみられず包含層の厚さを考慮しても当該建物跡の構築時の地表面から露出していたと考えられるもので、構築に際して巨礫の位置が意識されていた可能性もある。

環状分布域の外側では、建物跡の軸方位に共通性がみられる。北側の第４～９号掘立柱建物跡の６棟については、軸方位がN-62～89°-Wのほぼ東西軸である。建物間は約２～６ｍの間隔を置き、６棟中５棟が南北方向に列状に分布する。南側では第１～３・31・39～41号掘立柱建物跡の７棟が確認され、軸方位はN-１～30°-Wのほぼ南北軸である。

なお、環状分布域の内側では遺構の分布が稀薄で遺物の出土量も少ない。この区域では検出数は少ないものの、小規模なピットや焼土遺構が確認されている。ピットには柱痕が確認できるものも複数存在するが、柱穴配置などから明確な建物跡の認定には至らなかった。この小規模なピットの分布は、掘立柱建物跡の環状分布域との間に空白域を設けるようにもみえるが、巨視的にみると沢４東側から第９号掘立柱建物跡の北側付近まで帯状に分布する可能性もある。

２　建物構造

平面形は４本柱の方形と６本柱の亀甲形とに二大別できる。中でも６本柱の掘立柱建物跡は、梁・桁の長さや棟持柱と考えられる柱穴の張り出し具合等から以下のように区分できる（図132）。

Ⅰ. 梁　長…a. 張出部両側狭い、b. 張出部片側広い

Ⅱ. 梁桁同…　張出部両側狭い

Ⅲ. 桁　長…a. 張出部両側狭い、b. 張出部両側広い

平面形と分布の関係はⅠaが環状分布域に多く、Ⅰb・Ⅱが北側、Ⅲbが南側に限定的にみられる。

４本柱の分布については傾向性が捉えにくく各所にみられる。建物規模はⅠaが梁行４ｍ前後、主軸長５ｍ前後が主体を占める。Ⅰb・Ⅱは梁行３ｍ前後、主軸長４ｍ前後と比較的小規模である。Ⅲaは桁行4.5m前後、主軸長５ｍ前後、Ⅲbは桁行４ｍ前後、主軸長約６～7.5mである。柱穴の規模は環状に分布する掘立柱建物跡群が大きく、他の掘立柱建物跡が小さい傾向にある。この傾向はⅠa以外の類型の柱穴規模が長軸約120㎝以下、深さ約70㎝以下のものが比較的多いことと関係するものと思われる。柱穴規模と建物規模との相関関係は薄い。６本柱の柱穴の内、棟持柱と考えられる２本の柱穴については、他の４本の柱穴と比較して柱穴規模・柱痕径などの差異が明瞭でない。柱穴には柱痕を確認したものが少なくなく、掘方の堆積土は礫を多く含む土で裏込めされる例が多い。同様の事例は秋田県八木遺跡（秋田県教委1989）、戸平川遺跡（秋田県教委2000）などにある。また、第22号掘立柱建物跡の柱１では柱痕堆積土の上位で粘土層を検出した。本遺跡のように柱痕堆積土ではないが、青森市中平遺跡（青森県教委2009b）では土坑の堆積土上層から中層で白色系粘土の検出例が複数確認されている。この他、第１・４号掘立柱建物跡では建物跡の中央から焼土遺構が検出されている。

時期については、掘立柱建物跡の時期決定に際して縄文時代後期前葉の土器の評価が鍵となる。遺構の時期については基本的に出土土器に依拠したが、Ａ区の遺構は大多数が堆積土中に後期前葉の土器片を含む。時期的に後出の土器と混在する場合、後期中葉･後葉に位置づけられるものが存在する。一方で出土土器が後期前葉の土器に限られる場合、後期前葉以降と捉えるべき掘立柱建物跡の他、重複関係や出土量などから後期前葉の中で位置づけるのが妥当と判断される掘立柱建物跡も存在する。

後期前葉に位置づけられる掘立柱建物跡は第21・22・35号が挙げられ、環状分布域の南北に分布する。第35号掘立柱建物跡は、後期前葉の土器片が柱痕堆積土の上位から重なり合った状態で多量に出土した第2344号ピットと重複し、掘立柱建物跡の方が古い。この第2344号ピットは柱穴規模などからも本来掘立柱建物跡を構成していた可能性がある柱穴である。後期中葉に位置づけられる掘立柱建物跡は、環状分布域の第34号、南側の第40号が挙げられる。この他、第34号掘立柱建物跡西側の第20号掘立柱建物跡付近においては、柱穴規模などから掘立柱建物跡を構成する可能性のある柱穴（第29号土坑）で後期中葉の土器が出土している（第513集）。このことから、環状分布域の南側では第34号掘立柱建物跡の他に後期中葉の掘立柱建物跡が存在する可能性もある。後期後葉に位置づけられる掘立柱建物跡は、環状分布域の第12・14・16・18・23・24～27・36～38号、南側の第１・２・31・39号が挙げられる。環状分布域の第12・26号については、第14・25号との新旧関係から後期後葉に位置づけられる。この他、南側の第３号掘立柱建物跡については、当該建物跡の建て替えの可能性がある柱穴から出土した土器から後期後葉の可能性が指摘されている（第513集）。これら後期後葉に位置づけられる掘立柱建物跡は、環状分布域の東西に多く認められる。以上に挙げた以外の第４～11・13・15・17・19・20・28～30・32・33・41号については後期前葉以降と捉えられる掘立柱建物跡で、時期の詳細が不明なものである。なお、本章第５節の図135については上記の時期判断に基づくものである。

平面形を時期別にみた場合、Ⅰb・Ⅱ・Ⅲaは後期前葉以降と捉えられる掘立柱建物跡にもみられ判然としないが、後期前葉から中葉にかけてはⅠa、後期後葉にはⅠa・Ⅲbが存在すると整理できる。特にⅢbは青森市上野尻遺跡（青森県教委2003）に特徴的な形態で、Ⅰaと比較して平面形状・柱穴規模に大きな差がある。Ⅲbは分布の上でも、環状分布域より南側に限定される点で看過できない。平面形と時期の関係は、Ⅰaが後期前葉から後葉にかけて存続しながら、Ⅲbが後期後葉のある段階から

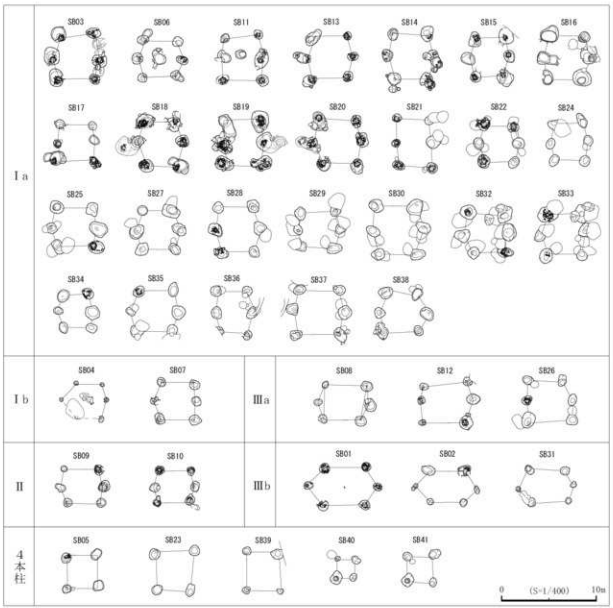


図132　掘立柱建物跡平面形分類

出現した可能性が示唆される。また、後期中葉については、４本柱・６本柱ともに建物規模が小規模な傾向を捉えることができる。

３　まとめ

本遺跡の掘立柱建物跡は、分布・軸方位に一定の規則性がみられ、建物構造などにもいくつかの傾向性を指摘できる。掘立柱建物跡の時期については、縄文時代後期の中で明確な時期を特定できない掘立柱建物跡も少なくなく、後期前葉の土器の評価如何によっては後期前葉から後葉とするか、後期中葉から後葉とするか判断が分かれるが、掘立柱建物跡の柱穴内出土土器を重視すると、縄文時代後期前葉から後葉に位置づけられる。最後に本章第１節でも触れているが、環状分布域の西側では掘立柱建物跡と竪穴住居跡との重複関係がみられ、第38号掘立柱建物跡が第111号竪穴住居跡よりも新しく、第36号掘立柱建物跡が第113号竪穴住居跡よりも古い。このことは、本遺跡の集落変遷を考える上で重要な要素のひとつである。　　（最上）

第3節　土器（図133）

1　本遺跡出土土器の概要

本遺跡では、これまでの発掘調査において既報告分も含め、縄文時代前期から晩期の土器と弥生時代の土器が出土している。全体的にみると縄文時代後期の土器の出土量が最も多く、その主体はA区である。本遺跡ではA～E区の区域ごとに出土土器の時期がやや異なり、概ね次のように整理できる。

縄文時代後期前葉の土器を主体とする区域がほとんどであるが、A・B・E区では後期後葉の土器も一定量出土する。特にA区では、出土量は少ないが後期初頭や中葉の土器も出土しており、縄文時代後期を通じて各時期の土器が認められる。縄文時代前期の土器はA・E区で少量出土している。縄文時代中期の土器はD区に多い特徴がある。縄文時代晩期の土器はC・E区に散見され、E区では弥生時代の砂沢式に比定されるものも少量出土している。

2　土器の重量分布

本遺跡において竪穴住居跡や掘立柱建物跡などの遺構が検出されたA区を中心に、土器の出土分布の傾向をみると、沢からの出土量の多さ、遺構分布の粗密と関連する出土量の多寡などを指摘できる（図133）。図は遺構外出土土器の重量分布で、第513集の図99を基にA・B区における平成23・24年度調査の成果を反映させたものである。

沢はA区の北側と南側で確認されている。北側の沢については、VY～VID-60～63グリッド付近に遺物の集中がみられ、土器は縄文時代後期前葉が主体をなす（第513集）。南側の沢については、沢4のIVN～U-59～62グリッド付近、沢3周辺のIVX・Y-59～61グリッド付近に遺物の集中がみられる。沢4では縄文時代前期から

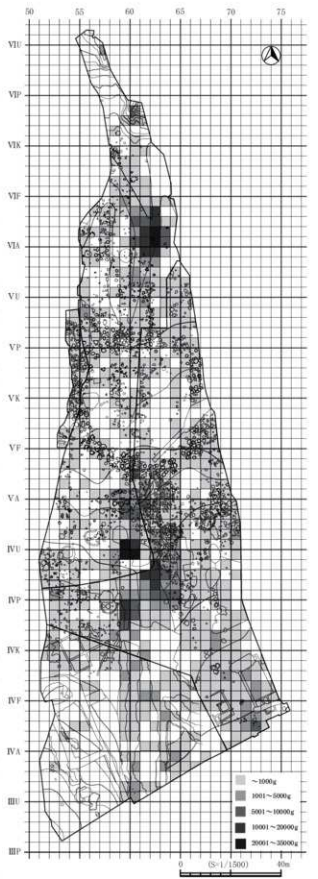


図133　土器重量分布

後期後葉にかけての土器が出土している。出土量としては後期前葉の土器が主体的である。沢３では縄文時代後期前葉から後葉にかけての土器が出土し、中でも後期中葉・後葉の土器の出土量が比較的多い。沢３の堆積は、第34号掘立柱建物跡や第2214号ピットなどとの関係から比較的新しい時期まで下る可能性がある。

土器の出土量は、特に環状に分布する掘立柱建物跡群の内側では少なく、竪穴住居跡周辺でやや多い傾向にあるが、遺構分布の粗密とも関係するものと思われる。

３　縄文時代後期の土器（第Ⅲ群土器）について

本遺跡の出土土器の主体を占める縄文時代後期の土器（第Ⅲ群土器）の内、Ａ・Ｂ・Ｄ・Ｆ類土器を中心に既報告分も含めて特記事項を記載する。

第Ⅲ群Ａ類はＡ区沢４の東側やＣ区から比較的まとまって出土している。本類は土器埋設遺構に比較的多く、Ａ区第４・103号土器埋設遺構、Ｃ区第８・10号土器埋設遺構などが挙げられる。地文縄文に三角形区画文が施文されるものが主体を占める。地文縄文には縦位の撚糸文が施文されるものが一定量認められる。

第Ⅲ群Ｂ１類はＡ区において最も出土量が多い。Ａ区第105・106号竪穴住居跡周辺や沢４からの出土が目立ち、環状に分布する掘立柱建物跡群の内側では出土量が少ない。第22号掘立柱建物跡の構成柱穴からは本類土器が多く出土しているが、周辺グリッドにおける遺構外出土の本類土器は少量である。Ａ区の捨て場からは、十腰内Ⅰb式に相当する土器がまとまって出土しており、秋田県萱刈沢Ⅰ遺跡第Ⅲ群土器（秋田県教委1993）に類似するものと思われる。復元個体は比較的少ない。文様の施文手法としては充填縄文によるものが多く、他に沈線のみのもの、櫛歯状工具による充填文がみられるものがある。文様には三角形文、入組波状文、波状文、波頭状文、蓮華花弁文、方形区画文などが施文されるものが多く、クランク状文や鍵状文も少量みられる。Ｂ２類については、これまで出土事例が比較的少なかった仮称四ツ石式（葛西1986）、仮称李平・大石平式（鈴木1996）などに相当する資料も散見される。

第Ⅲ群Ｄ類はＡ区の南側と西側で散見される。Ｄ１類では横位の平行沈線、入組文、鋸歯状文がみられる。鉢形系統の注口土器（図101-15）や片口土器（図101-16）も出土している。

第Ⅲ群Ｆ類はＡ区西側の掘立柱建物跡および竪穴住居跡周辺の他、第１・２号掘立柱建物跡周辺、第104Ａ・Ｂ号竪穴住居跡周辺からの出土が目立ち、遺構内・外ともに、環状に分布する掘立柱建物跡群の内側からはほとんど出土していない。Ａ区の後期後葉に位置づけられる竪穴住居跡からはＦ２類の出土が目立つ傾向がある。この他、土坑墓の可能性のあるＡ区第1116号ピットからは、Ｆ１類の壺形の台付土器が出土している。また、Ａ区第1219号ピットの柱痕堆積土からは、Ｆ３類の注口土器が特異な状況で出土している。

以上のように、縄文時代後期を通じて各時期の土器が連綿と認められた中で、本遺跡では関根達人氏の第５期（関根2005）、中門亮太氏の第５期（中門2013）、小林圭一氏の瘤付土器第Ⅲ段階（小林1999）以降に相当する土器が認められない。後期末葉頃には本遺跡から他の周辺遺跡へと活動の拠点を移した可能性も考える必要がある。今後岩木川上流域の本遺跡周辺の遺跡群における出土土器の様相とも関連づけて比較検討していくことが課題である。　　（最上）

第４節　石器（図134）

過去に行われた発掘調査で出土した石器は、器種・種類毎に表に示した。伴出土器から、出土した石器は縄文時代後期のものとして大過なく、本時期の石器組成を示すと考えられる。ただ縄文時代早期の特徴的な器種である、刃部を直線的に作出するトランシェ様石器が遺構外から出土している（図105-６）。本遺跡から縄文時代早期に帰属する土器は全く出土していないが注目される資料である。

石器の出土数が多い地区はＡ区で、Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ区は極めて少ない。遺構数が多い地区はＡ区とＥ区だがＥ区の遺物量が少ない。石材は、剥片石器は珪質頁岩、礫石器は凝灰岩・緑色凝灰岩を主体とする。これらの石材は遺跡周辺で産出する。黒曜石は既刊報告書と本報告にて楔形石器２点、石核５点、U.F.６点、R.F.４点、剥片156点の出土が確認され、分析の結果判明した産出地は木造出来島・深浦八森山・北海道置戸安住である。石核は原礫が推定直径約６㎝の角礫で約２㎝の矩形剥片を剥離したものがある（第４章第２節分析番号SKS２-５）。黒曜石製の石器が少ないことが注目される。

Ａ・Ｂ区では、ＶＲ-59からⅥＥ-61方向に流下する沢（以下北部沢と呼称）・沢３・沢４から多くみられる。出土土器から、北部沢は縄文時代後期前葉、沢４は後期後葉以降の埋没と考えられる。北部沢や沢４の堆積土は黒褐色土が主体であり、沢４の堆積土の分析の結果、一時的に乾燥する沼沢湿地の環境で堆積したことが判明し、石器は沼沢湿地が埋没する過程で混入したものと考えられる。

器種別では、出土量が多いものでは石鏃・スクレーパー・石核・U.F.・R.F.・敲磨器・石錘がある。図134に、第Ⅱ・Ⅲ層と各調査区で検出された沢堆積土から出土した石鏃、石錘、磨石・敲石・凹石の敲磨器の遺構外出土石器分布状況を示した。各器種とも北部沢やⅣM～ＶD-58～64グリッドからの出土が多い。また、掘立柱建物跡に囲繞された区域の遺物分布が希薄なことが指摘できる。石鏃は有茎鏃が圧倒的に多く、無茎鏃はごく少数である。基部に黒色物質の付着する例が、Ａ・Ｂ区370点中29点に観察される。そして竪穴住居跡が分布する地域に偏在する傾向がある。石錘は159点中打欠石錘が153点、切目石錘が６点であり、打欠石錘の割合が圧倒的に高い。抉りは礫の短軸方向に作出されるものが殆どであり、ほか十字型に抉りを作出するものが４点出土した。敲磨器は北部沢・沢４堆積土のほか竪穴住居跡の分布域から散発的に出土する。石器が遺構に伴う事例では、Ａ区第116号竪穴住居跡の第１号溝跡に属するピット１から珪質頁岩製のスクレーパー１点と接合するR.F.１点、縦長剥片が出土し、石器の管理や保有状況を示すものとして注目される。

Ｃ・Ｄ区では石鏃・削器・石篦が比較的多く、礫石器が極めて少ない。石鏃は有茎が主体的で凹基無茎は３点出土している。また、石製品と報告されているもので、凝灰岩の楕円礫の長軸方向に切目を入れた、石錘に類する製品が１点認められる（第466集70頁）。遺構外からの出土である。

Ｅ区ではスクレーパー（削器）が多く、礫石器が極めて少ない。石鏃は全７点中有茎が６点と主体的である。Ｅ区第35号土坑出土の縄文時代後期後葉の土器と伴出した珪質頁岩の石核１点と剥片18点が接合し、原礫の状況が復元された例として注目される。

砂子瀬遺跡出土の石器は、Ａ区に集中して出土し、有茎石鏃とスクレーパー（掻器・削器）、打欠石錘・敲磨器が多い。また、石鏃や石匙、スクレーパーに柄や紐などの固着に使用された黒色物質の付着事例が比較的多く認められる。また遺構に伴う出土例では、Ａ区第116号竪穴住居跡における、互いに接合する、スクレーパー・二次加工剥片（R.F.）と剥片の出土状況やＥ区第35号土坑出土石核と剥片の接合状況は、本遺跡の石器利用を示すものとして重要である。　（工藤）

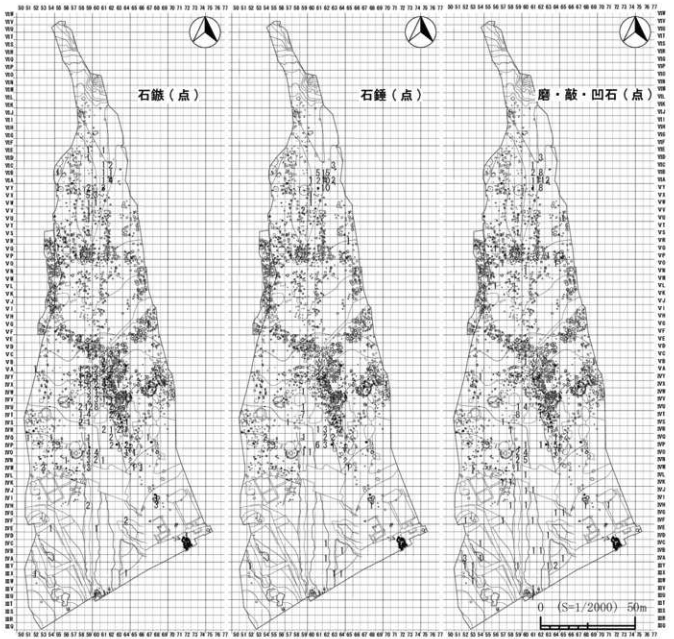


図134　A・B区遺構外出土石器分布図

	石鏃	石槍	石錐	石匙	石錘	スクレーパー			異形	楔形	RF	UF	石核	磨製石斧	磨石	敲石	凹石	石錘	石皿	台石	礫器	不明	合計	
						I 類器	II 類器	不明																
A・B区	370	15	88	93	48	312	329	2	7	44	1993	764	214	32	40	110	147	159	33	20	1	0	4821	(点)
	8%	0%	2%	2%	1%	6%	7%	0%	0%	1%	41%	16%	4%	1%	1%	2%	3%	3%	1%	0%	0%	0%	100%	
C・D区	34	1	5	4	43	22	79	0	0	0	0	1	0	3	5	5	2	0	1	0	0	0	205	(点)
	17%	0%	2%	2%	21%	11%	39%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	2%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	
E区	7	0	12	6	2	1	42	0	0	3	20	21	6	1	1	6	1	0	0	0	0	2	131	(点)
	5%	0%	9%	5%	2%	1%	32%	0%	0%	2%	15%	16%	5%	1%	1%	5%	1%	0%	0%	0%	0%	2%	100%	

※磨石・敲石・凹石が複合したものは主要使用痕で判断した

表　砂子瀬遺跡出土石器組成表

第５節　砂子瀬遺跡における集落の変遷（図135）

平成18年度から平成24年度までの調査で検出された遺構の総数は、竪穴住居跡27棟、掘立柱建物跡41棟、土坑549基、土器埋設遺構23基、焼土遺構18基、溝跡４条、屋外配石炉１基、配石遺構９基、ピット2105基、捨て場１ヶ所である。本節では、これまでの調査成果を踏まえ砂子瀬遺跡全体における集落の変遷についてまとめる。

本遺跡からは縄文時代早期から晩期及び弥生時代の遺物が出土したが、遺構が確認されるのは縄文時代中期中葉から晩期にかけてである。

縄文時代中期中葉から後葉にかけて、Ｄ区南側に土坑が３基分布する。当該期の遺物はほぼ全域から出土しており、Ｄ区にややまとまりがみられる。

縄文時代中期末葉の遺構は確認されておらず、本遺跡における当該期の様相は不明である。

縄文時代後期初頭には、Ａ・Ｃ区に土器埋設遺構及びピットが少数分布する。

縄文時代後期前葉にはＡ～Ｃ・Ｅ区に遺構が分布する。竪穴住居跡及び掘立柱建物跡はＡ区中央に分布する。Ａ区西側には土坑墓が分布する。Ａ区南東側には貯蔵穴と考えられるピットが分布し、捨て場も形成される。Ｃ区には竪穴住居跡をはじめ、土坑や土器埋設遺構がまとまりをもって分布するほか、Ｅ区にも土坑が分布するなど、集落の中心と考えられるＡ区以外にも遺構の広がりがみられる。また、遺物の出土量も他の時期に比べて卓越する。

後期中葉はＡ区に竪穴住居跡や掘立柱建物跡などの遺構が分布するがその数は少なく、遺物の出土量も減少する。また掘立柱建物跡は前後の時期と比べて建物跡の平面規模が小さい傾向がみられる。

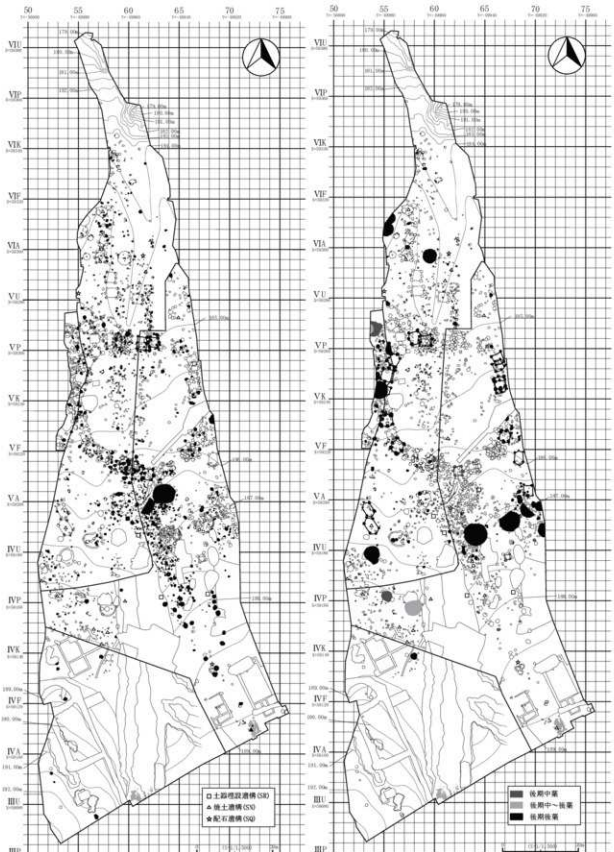
後期後葉になると、Ａ区では竪穴住居跡、掘立柱建物跡の検出数が各時期を通じて最も多くなる。土坑、ピットも後期前葉と比べれば少ないものの、後期中葉と比べれば増加する。また、これらの分布域は竪穴住居跡や掘立柱建物跡の周辺に限定される傾向がみられる。Ｅ区にも竪穴住居跡と土坑が分布するが、出土遺物からやや後出する可能性がある。

後期末葉の遺構は確認されておらず、本遺跡における当該期の様相は不明である。

晩期には、Ｅ区に土坑が分布するがその数はわずかである。また、当該期の土器も出土量は少なく、Ｅ区の他にはＣ区で散見される程度である。

以上のように、砂子瀬遺跡の主体となる時期は縄文時代後期前葉から後葉にかけてである。この間、後期中葉には遺構・遺物ともに減少するものの、後期前葉から後葉に至るまで継続して集落が営まれていたと考えられる。なお、Ａ区南東側のピット群の分布する範囲（ⅣＫ-69グリッド付近）から第104Ａ・Ｂ号竪穴住居跡と第116号竪穴住居跡の間を通り、環状に分布する第32・33号掘立柱建物跡と第28～30号掘立柱建物跡の間にかけて、遺構、遺物の希薄な範囲が帯状に確認された。調査時には認識できなかったが、道路跡の可能性が考えられる。

周辺の遺跡との関係をみると、本遺跡とは湯ノ沢川を挟んで対岸に位置する水上(2)遺跡では、本遺跡の前段階にあたる中期末葉から後期初頭、同じく湯ノ沢川対岸の水上(1)遺跡では、本遺跡に後続する後期末葉を主体とする竪穴住居跡がそれぞれ検出されている。両遺跡は遺跡の立地及び検出遺構の年代ともに本遺跡との関係がうかがえる。今後は、調査が継続して行われている上述の水上(2)遺跡をはじめ、本遺跡の所在する岩木川上流域における他遺跡の様相が明らかになった段階で、改めて当該地域における砂子瀬遺跡の位置づけを行う必要がある。　（葛城）



後期前葉　　後期中葉～後葉

図135　Ａ・Ｂ区遺構変遷図

引用・参考文献

青森県教育委員会　2003『上野尻遺跡Ⅳ』青森県埋蔵文化財調査報告書第353集
青森県教育委員会　2008『水上遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第452集
青森県教育委員会　2009a『砂子瀬遺跡・水上(2)遺跡・水上(4)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第466集
青森県教育委員会　2009b『中平遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第474集
青森県教育委員会　2010『砂子瀬遺跡Ⅱ・大川添(2)遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第482集
青森県教育委員会　2011『大川添(1)遺跡・水上(4)遺跡Ⅱ・芦沢(1)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第500集
青森県教育委員会　2012『砂子瀬遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第513集
青森県教育委員会　2013a『水上(2)遺跡Ⅱ・水上(3)遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第528集
青森県教育委員会　2013b『駒木沢(2)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第532集
秋田県教育委員会　1989『八木遺跡発掘調査報告書』秋田県文化財調査報告書第181集
秋田県教育委員会　1993『一般国道７号琴丘能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ』秋田県文化財調査報告書第231集
秋田県教育委員会　2000『戸平川遺跡』秋田県文化財調査報告書第294集
八戸市教育委員会　2003『風張(1)遺跡Ⅴ』八戸市埋蔵文化財調査報告書第97集
石井　寛　1995「縄文時代掘立柱建物址に関する諸議論」『帝京大学山梨文化財研究所研究報告』第６集　帝京大学山梨文化財研究所
石井　寛　2004「後晩期環状配列掘立柱建物跡群をめぐって-東北地方北部を中心に-」『縄文時代』第15号　縄文時代文化研究会
石井　寛　2008「掘立柱建物跡から観た後晩期集落址」『縄文時代』第19号　縄文時代文化研究会
長田　友也　2012「石棒の製作と流通」『季刊　考古学』第119号　雄山閣
葛西　勵　1986「十腰内Ⅰ式土器文化の研究(2)」『懸糸文』第15号　青森山田高等学校考古学研究部
加藤　晋平・鶴丸　俊明　1981『図録石器の基礎知識Ⅰ　先土器』　柏書房
小林　圭一　1999「東北地方後期(瘤付土器)」『縄文時代』第10号　縄文時代文化研究会
後藤　信祐　1986「縄文後晩期の刀剣形石製品の研究(上)」『考古学研究』33-3　考古学研究会
後藤　信祐　1987「縄文後晩期の刀剣形石製品の研究(下)」『考古学研究』33-4　考古学研究会
鈴木　克彦　1996「東北地方北部における十腰内式土器様式の編年学的研究-十腰内２式土器の研究-」『考古学雑誌』第81巻第４号　日本考古学会
鈴木　克彦　1998a「東北地方北部における十腰内式土器様式の編年学的研究２(上)-十腰内3,4,5式土器の研究-」『考古学雑誌』第83巻第２号　日本考古学会
鈴木　克彦　1998b「東北地方北部における十腰内式土器様式の編年学的研究４-十腰内1式と直前型式の研究-」『縄文時代』第９号　縄文時代文化研究会
鈴木　克彦　2001『北日本の縄文後期土器編年の研究』　雄山閣
鈴木　克彦　2002「十腰内１式土器の細別に係る型式学的研究-秋田県萱刈沢遺跡Ⅲ群土器の波状文と十腰内1b式の類型-」『岩手考古学』第14号　岩手考古学会
鈴木　克彦　2013『北日本縄文後期土器集成』　弘前学院出版会
鈴木道之助　1981『図録石器の基礎知識Ⅲ　縄文』　柏書房
関根　達人　2005「「十腰内Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ群土器」に関する今日的理解」『葛西勵先生還暦記念論文集　北奥の考古学』　葛西勵先生還暦記念論文集刊行会
中門　亮太　2013「東北地方北部における瘤付土器の基礎的研究」『古代』第131号　早稲田大学考古学会
橋口　尚武　1994「調理」『縄文文化の研究２　生業』　雄山閣
本間　宏　1987「縄文時代後期初頭土器群の研究(1)-東北地方北部を中心に-」『よねしろ考古』第３号　よねしろ考古学研究会
本間　宏　1988「縄文時代後期初頭土器群の研究(2)-東北地方北部を中心に-」『よねしろ考古』第４号　よねしろ考古学研究会
前山　精明　1991「縄文時代の石器」『季刊　考古学』第35号　雄山閣

竪穴住居跡一覧表

第102号竪穴住居跡(SI102：図66)

遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	規模(cm) 長短軸[柱痕径]	深さ	備考(新旧関係など)
SP2594	IVF-55	109×91 [35×34]	31	SI102最古で不明
SP2595	IVF-55	44×42	21	
SP2743	IVF-55	87×63	25	
SP2772	IVF-54	38×33	29	
SP2800	IVF-55	65×50 [50×35]	28	
SP2807	IVF-55	36×22	22	
SP2816	IVF-54	24×21	17	
SD18	IVF-54～55	477×52	29	SP2631, 2700より旧 SP2699, 2806より新

第103号竪穴住居跡(SI103：図66)

遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	規模(cm) 長短軸[柱痕径]	深さ	備考(新旧関係など)
SP2641	IVG-57	138×121	45	
SP2643	IVG-57	193×191	70	
SP2644	IVG-58	45×38	20	
SP2702	IVF-57	105×81	50	SI103(SD19)と不明
SD19	IVN-0-54～55	1134×(50)	43	SP2702より不明

第104号竪穴住居跡(SI104：図7～11)

遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	規模(cm) 長短軸[柱痕径]	深さ	備考(新旧関係など)
SN109	IVY-63	40×36	－	SI104火床面
SN110	IVY-64	48×44	－	SI105火床面
SN111	IVY-63	116×55	－	SP2663, 2761より新
SR104	IVY-63	33×(31)	－	SP2673, 2704より新
SR105	IVY-64	47×(37)	－	SP2655より新
SP1579	IVW-64	41×36	55	SP2282と不明
SP1613	IVW-64	62×(47)	46	SP1673, 2279と不明
SP1614	IVW-64	87×52	29	
SP1673	IVW-64	72×(49)	24	SP1613, 2279と不明
SP1683	IVU-64	134×111	88	SD07と不明
SP1684	IVU-64	43×30	17	SD07と不明
SP2988	IVW-63	59×54	34	
SP2990	IVW-63	75×66	50	SP2319より新 SP2287より新
SP2993	IVV-63	61×55	15	
SP2995	IVU-63	75×(63)	29	SP2286と不明
SP2126	IVW-63	34×32	35	SP2325より新
SP2127	IVW-63	36×29	14	
SP2130	IVW-64	70×63	62	SP2325, 2375より新
SP2131	IVW-64	46×(44)	36	SP2375と不明
SP2132	IVW-64	82×65	57	SP2307より新
SP2133	IVV-64	89×48	33	SP2307, 2309と不明
SP2279	IVW-64	40×36	32	SP1613, 1673と不明
SP2282	IVW-64	48×(46)	9	SP1579と不明
SP2284	IVV-63	98×83	76	SP2760より新
SP2285	IVV-63	108×97	63	SP2286より旧 SP2494より新
SP2286	IVV-63	87×71	70	SP2285より新 SP2995と不明
SP2287	IVW-63	96×(54)	16	SP2990より新 SP2325, 2375より旧
SP2301	IVV-64	34×26	45	
SP2304	IVV-64	31×22	36	SD05, 06より新
SP2305	IVV-64	(29)	54	SD06より旧
SP2307	IVW-64	102×(59)	53	SP2132, 2309より旧 SP2133と不明
SP2308	IVV-64	74×64 [26×(9)]	46	SP2358, 2393, 2619と不明
SP2309	IVV-64	90×70	65	SP2307, 2447より新 SP2133と不明
SP2310	IVV-64	122×69	77	SP2447より旧 SP2399より新
SP2319	IVW-63	95×(51)	22	SP2990より旧
SP2322	IVV-64	69×(57) [(19×7)]	15	SP2419より旧
SP2325	IVW-64	83×(69)	26	SP2126, 2130より旧 SP2287より新
SP2335	IVV-63	141×116 [69×67]	81	2層硬化 SP2412より新 SP2360, 2454より不明
SP2358	IVV-64	46×(38)	25	SP2308, 2539と不明
SP2359	IVV-64	56×(28)	14	SP2358と不明
SP2360	IVW-63	89×51	52	SP2335と不明
SP2372	IVV-64	83×58	52	
SP2373	IVV-64	69×49	25	SP2374より新
SP2374	IVV-64	58×(52)	45	SP2373より旧
SP2375	IVW-64	53×(41)	29	SP2130より旧 SP2287より新 SP2131と不明
SP2393	IVV-64	84×(67)	60	SP2308と不明
SP2412	IVV-63	77×45	77	SP2335より旧 SP2453と不明
SP2416	IVV-64	60×50	72	SP2419より不明
SP2419	IVV-64	133×100 [51×(23)]	69	SP2322, 2559より新 SP2416と不明
SP2447	IVV-64	83×78 [30×(14)]	23	SP2309より旧 SP2310, 2399より新
SP2453	IVW-63	67×(54)	30	SP2412と不明
SP2454	IVW-63	62×(53)	26	SP2335と不明
SP2460	IVV-63	30×25	8	
SP2474	IVU-64	48×(40)	15	SD07より旧
SP2494	IVU-63	119×(116)	84	SP2285より旧
SP2559	IVV-64	56×49	80	SP2419より旧 SP2617と不明
SP2560	IVV-64	42×33	85	
SP2617	IVV-64	54×(37)	29	SP2559と不明
SP2618	IVV-64	84×56 [26×21]	24	
SP2619	IVV-64	62×(46)	29	SP2308, 2705と不明
SP2647	IVV-63	72×(61)	17	SP2672より新
SP2655	IVV-64	64×61	45	SI105より旧
SP2663	IVV-63	35×29	23	SN111より旧
SP2672	IVV-63	53×(36)	8	SP2647より旧 SP2783と不明
SP2673	IVV-63	85×(50)	53	SR104より旧 SP2704と不明
SP2704	IVV-63	65×(34)	24	SR104より旧 SP2673と不明
SP2705	IVV-64	53×(42)	45	SP2619, 2706と不明
SP2706	IVV-64	52×(46)	52	SP2705と不明
SP2707	IVV-64	32×31	28	
SP2760	IVV-63	85×72	56	SP2783より新 SP2284より旧
SP2761	IVV-63	40×38	16	SN111より旧
SP2783	IVV-63	53×(42)	43	SP2760より旧 SP2672より新
SP2845	IVV-65	359×55	29	SP2304より旧 SP2399より新
SD05 P1t01	IVW-64	23×20	25	
SD05 P1t02	IVW-64	16×12	10	
SD05 P1t03	IVW-64	17×16	14	
SD05 P1t04	IVV-64	17×13	8	
SD06	IVY-64～65	300×49	19	SP2304より旧 SP2305, 2399より新
SD06 P1t01	IVV-65	43×29	49	
SD07	IVU-63～64, IVV-V-64	1293×(75)	36	SP2321, 2474, 2516より新 SP2441より旧 SP1683, 1684と不明
SD08	IVU-V-W-63	964×(45)	34	SP2128, 2129, 2318, 2451, 2452より新 SP2441より旧
SD15	IVV-65, IVW-64～65	361×(28)	36	

第105号竪穴住居跡(SI105：図12～14)

遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	規模(cm) 長短軸[柱痕径]	深さ	備考(新旧関係など)
SN107	VB-63	90×65	－	SP2418, 2516より新

第105号竪穴住居跡(SI105：図12～14)

遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	規模(cm) 長軸軸[柱痕径]	深さ	備考(新旧関係など)
SX108	Ⅵ-63	33×28	－	SP2446より新
SX112	Ⅵ-63	39×21	－	SP2415より新
SX113	Ⅵ-63	27×26	－	SP2296より新
SP1160	Ⅵ-63	109×106	58	
SP1161	Ⅵ-63	37×35	32	
SP1162	Ⅵ-64	120×106 [35×26]	87	SP2351, 2352より不明
SP1163	Ⅵ-64	126×105 [37×(19)]	82	SP100より旧 SP1521より新 SP1460, 1577より不明
SP1164	Ⅳ-63	111×(79) [32×26]	91	SP2296, 2299より新
SP1249	Ⅵ-63	66×60	52	SP1282より不明
SP1281	Ⅵ-63	67×59	56	
SP1282	Ⅵ-63	33×30	27	SP1249より不明
SP1283	Ⅳ-64	157×133	68	SP2306より不明
SP1460	Ⅵ-64	54×52	18	SP1163, 2351より不明
SP1469	Ⅵ-62	123×(66)	47	SP1659, 1680より旧
SP1470	Ⅵ-62	64×40	22	
SP1471	Ⅵ-62	85×74 [48×48]	44	
SP1489	Ⅵ-63	48×39	30	
SP1521	Ⅵ-64	113×(74) [27×9]	76	SP1163より旧 SP1577より不明
SP1522	Ⅳ-64	60×48	47	
SP1577	Ⅵ-64	33×(19)	36	SP1163, 1521より不明
SP1605	Ⅵ-63	82×56	33	
SP1615	Ⅵ-63	109×85 [20×(10)]	49	SP2270より新 SP2300より不明
SP1618	Ⅵ-63	79×76	61	
SP1619	Ⅵ-64	118×64 [25×23]	57	
SP1620	Ⅵ-64	74×63 [27×21]	61	SP2377より不明
SP1657	Ⅵ-64	120×77 [60×49]	75	SP2306より新
SP1658	Ⅵ-63	109×90 [36×(18)]	62	SP2297より新
SP1659	Ⅵ-63	103×93	55	SP1469, 1680より不明
SP1672	Ⅵ-63	73×55	29	
SP1679	Ⅵ-63	66×60 [28×25]	30	
SP1680	Ⅵ-62	100×(62)	59	SP1686より旧 SP1469より新 SP1659より不明
SP1686	Ⅵ-62	86×69	64	SP1680より新
SP2112	Ⅵ-62	71×64	28	SP2113より新
SP2113	Ⅵ-62	89×(85)	63	SP2112, 2114より旧 SP2115より不明
SP2114	Ⅵ-62	88×82 [25×22]	72	SP2113より新
SP2115	Ⅵ-62	69×(63) [25×19]	50	SP2113より不明
SP2143	Ⅵ-62	66×58	65	SP2144より新
SP2144	Ⅳ-62	143×81	50	SP2143より旧
SP2268	Ⅵ-62	181×133 [61×(30)]	77	
SP2270	Ⅵ-63	86×(60)	57	SP1615より旧
SP2277	Ⅵ-62	97×76	60	
SP2278	Ⅵ-62	61×55	60	SP2306より不明
SP2296	Ⅳ-63	62×(61)	24	SN113, SP1164より旧 SP2299より不明
SP2297	Ⅵ-63	97×78	54	SP1658より旧
SP2299	Ⅵ-63	131×123	64	SP1164より旧 SP2296より不明
SP2300	Ⅵ-63	62×55	38	SP1615より不明
SP2306	Ⅵ-63	107×(56)	56	SP1657より旧 SP1283より不明
SP2323	Ⅵ-64	40×37	20	
SP2351	Ⅵ-64	87×(68)	67	SP1162, 1460より不明
SP2352	Ⅵ-64	58×(40)	22	SP1162より不明
SP2355	Ⅵ-63	27×24	28	
SP2376	Ⅵ-64	25×(15)	14	
SP2377	Ⅵ-64	49×(40)	63	SP1620より不明
SP2397	Ⅵ-62	61×46	52	SP2398より不明
SP2398	Ⅵ-62	39×(35)	47	SP2278, 2397より不明
SP2415	Ⅵ-63	123×111	42	SN112より旧 SP2418より不明
SP2415 P111	Ⅵ-63	50×47	－	SP2418より不明
SP2418	Ⅵ-63	130×(105) [46×39]	42	SN107, SP2516より旧 SP2415より不明
SP2445	Ⅵ-63	83×55	53	SP2446より不明
SP2446	Ⅵ-63	97×74	37	SN108より旧 SP2445, 2515より不明
SP2515	Ⅵ-63	50×(44)	47	SP2446より不明
SP2516	Ⅵ-63	118×(80)	22	SN107, SP2517より旧 SP2418より新
SP2517	Ⅵ-63	57×48	45	SP2516より新
SP2550	Ⅴ-64	54×42	28	
SP2615	Ⅴ-62	61×57	53	
SP2645	Ⅴ-63	59×47	27	
SP2646	Ⅴ-63	25×24	20	

第106号竪穴住居跡(SI106：図15)

遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	規模(cm) 長軸軸[柱痕径]	深さ	備考(新旧関係など)
SN116	Ⅳ-62	111×45	－	
SP2211	Ⅴ-62	69×53	33	
SP2338	Ⅳ-62	40×(36)	27	SP2339, SP2340より不明
SP2339	Ⅳ-62	42×(37)	31	SP2338, 2340より不明
SP2340	Ⅳ-62	40×(25)	23	SP2338, 2339より不明
SP2356	Ⅳ-62	115×(70)	60	
SP2357	Ⅳ-62	47×44	26	
SP2380	Ⅳ-62	76×57	35	
SP2443	Ⅳ-61	55×37	22	
SP2471	Ⅳ-61	61×60	54	SP2472より不明
SP2472	Ⅳ-61	56×(48)	20	SP2471より不明
SP2480	Ⅳ-61	70×60	46	
SP2491	Ⅳ-61	50×38	21	SP2520より不明
SP2492	Ⅳ-61	46×(23)	37	SP2059より旧 SP2520より不明
SP2496	Ⅳ-61	44×25	31	SP2059より旧
SP2512	Ⅳ-62	49×35	29	SP2513より不明
SP2513	Ⅳ-62	47×43	16	SP2512より不明
SP2514	Ⅳ-62	67×52	27	
SP2520	Ⅳ-61	32×29	15	SP2491, 2492より不明
SP2546	Ⅳ-61	48×38	29	
SP2553	Ⅳ-61	65×51	33	
SD09	Ⅳ-Ⅴ-62	233×52	28	SP2059より旧 SP2379より新

第107号竪穴住居跡(SI107：図15)

遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	規模(cm) 長軸軸[柱痕径]	深さ	備考(新旧関係など)
SP1593	Ⅴ-68	342×(198)	71	
SP2312	Ⅴ-68	39×37	10	
SP2313	Ⅴ-68	50×38	10	
SP2315	Ⅴ-68	47×40	19	
SP2326	Ⅴ-68	36×32	24	

第108号竪穴住居跡(SI108：図16)

遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	規模(cm) 長軸軸[柱痕径]	深さ	備考(新旧関係など)
SP2402	Ⅴ-54	80×52	27	SI109(SP2388, 2404)より新 SD10より不明
SP2407	Ⅴ-54	86×58	46	SI109(SP2404)より新
SP2461	Ⅴ-53	31×27	10	
SP2462	Ⅴ-54	84×61 [36×26]	50	SI109(SP2404, SD12)より不明
SP2504	Ⅴ-53	44×(35)	29	SI109(SP2404)より新 SI110(SP2502)より旧
SN118	Ⅴ-53	21×(20)	－	SN120より新
SD10	Ⅴ-Ⅵ-53～54	1000×72	43	SP2388, 2389, SI109(SP2404)より新 SP2402より不明

第109号竪穴住居跡(SI109：図16)

遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	規模(cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱痕径]	深さ	
SP2388	ⅤR-54	56×(25)	21	SP2389より新 SI108(SP2402)より旧 SI108(SD10)と不明
SP2389	ⅤR-54	42×(17)	15	SP2388より旧 SI108(SD10)と不明
SP2404	ⅤR-54	352×262	35	SI108(SD10, SP2402, 2407, 2437, 2504)より旧 SI108(SP2462), SP2388, 2389, 2466と不明
SP2466	ⅤR-54	54×45	59	SP2404と不明
SP2468	ⅤR-54	61×45	27	
SD12	ⅤQ・R-53～54	127×31	11	SI108(SP2462)と不明
SD12 Pit1	ⅤQ-53～54	28×24	20	
SD12 Pit2	ⅤQ-53～54	29×21	－	
SN120	ⅤQ-53	35×32	－	SN118より旧

第110号竪穴住居跡(SI110：図17)

遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	規模(cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱痕径]	深さ	
SP2436	ⅤQ-53	27×(17)	19	
SP2501	ⅤQ-53	33×26	10	
SP2502	ⅤR-53	265×(82)	38	

第111号竪穴住居跡(SI111：図17)

遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	規模(cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱痕径]	深さ	
SP2178	ⅤO-55	69×(60) [39×37]	52	SK462より旧
SP2385	ⅤO-55	55×43	25	SP2386より新
SP2386	ⅤO-55	85×(65) [35×32]	8	SP2385より旧　SP2403と不明
SP2390	ⅤO-55	308	(15)	貼床
SP2484	ⅤO-54	131×95	51	
SP2485	ⅤO-55	57×56	20	
SP2490	ⅤO-55	99×78	36	SK462と不明
SP2521	ⅤO-55	78×(69) [21×(11)]	45	SP2438, SB38柱1より旧
SK132	ⅤP-55	95×76 [69×47]	57	SP752より新
SK134	ⅤP-55・56	96×90 [51×45]	76	
SK136	ⅤO-55・56	75×75 [68×61]	46	
SK218	ⅤP-55	162×111 [45×45]	78	
SK462	ⅤO-55	(62)×(48) [42×31]	29	SP2178より新 SP2490と不明
SP752	ⅤP-55	48×39	29	SK132より旧

第112号竪穴住居跡(SI112：図18)

遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	規模(cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱痕径]	深さ	
SP2503	ⅤM-54	268×(137)	39	SP2163より旧 SP1947より新 SB37柱4, SP1975と不明

第113号竪穴住居跡(SI113：図18)

遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	規模(cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱痕径]	深さ	
SP1741	ⅤK-54	64×(57)	22	SP1753, 2186より旧
SP1743	ⅤK-54	60×42 [29×28]	47	
SP1753	ⅤK-54	53×38	42	SP1741, 2186より新
SP1755	ⅤK-55	55×18 [20×(12)]	31	
SP1757	ⅤK-54	83×70 [(33×10)]	61	
SP1758	ⅤK-54	45×(34) [21×20]	7	SP1759より旧
SP1781	ⅤL-54	82×66	61	SP2193より新 SP2173と不明
SP1829	ⅤL-54	76×70 [37×32]	60	SP2184より新 SP2173と不明
SP2177	ⅤL-55	69×(18)	36	
SP2183	ⅤL-54	65×(52) [36×33]	44	
SP2184	ⅤL-54	48×(45)	19	SP1829より旧
SP2185	ⅤL-54	63×(57) [41×34]	38	SB36柱1より新
SP2186	ⅤK-54	67×58	44	SP1753より旧 SP1741より新
SP2193	ⅤL-54	32×(26) [24×(22)]	13	SP1781より旧 SP2173より新
SD04	ⅤK・L-54・55	398×68	26	SB36柱5, SP2175より新

第114号竪穴住居跡(SI114：図18)

遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	規模(cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱痕径]	深さ	
炉1	ⅣY-70	32×29	－	
炉2	ⅣY-70	53×35	－	SP1224Pit1より新
SP1224	ⅣY-70	371×(239)	36	
SP1224 Pit1	ⅣY-70	54×31	29	炉2より旧
SP1224 Pit2	ⅣY-70	29×25	27	
SP1224 Pit3	ⅣY-70	20×18	24	

第115号竪穴住居跡(SI115：図20・21)

遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	規模(cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱痕径]	深さ	
SP1232	ⅣY-70	527×(235)	60	
Pit1	ⅣW-70	40×30	11	
Pit2	ⅣY-70	31×24	16	
Pit3	ⅣY-70	38×29	22	
Pit4	ⅣY-70	30×23	10	
Pit5	ⅣW-70	35×20	11	
Pit6	ⅣY-70	78×43	36	
Pit7	ⅣY-70	35×29	15	
Pit8	ⅣW-70	74×64	30	
Pit9	ⅣY-70	57×51 [19×18]	48	
Pit10	ⅣW-70	42×39	49	

第116号竪穴住居跡(SI116：図22・23)

遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	規模(cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱痕径]	深さ	
SN103	ⅣX-67	73×53	－	SP1496より新
SN104	ⅣX-67	33×31	－	
SN105	ⅣX-67	35×32	－	SP1655, 1697より旧
SN106	ⅣW-67	51×48	－	
SP1204	ⅣX-67	131×77	36	SP1505と不明
SP1206	ⅣW-66	71×66	32	SP1546より新
SP1207	ⅣW-67	125×96 [40×31]	40	SP1378と不明
SP1209	ⅣW-66	90×74	26	
SP1210	ⅣW-66	133×86	30	SI116(SD01, SP1609)と不明
SP1243	ⅣW-67	90×(49)	71	SP1377, 1497, 1510と不明
SP1244	ⅣX-67	106×96 [39×38]	77	SP1495より新
SP1245	ⅣW-68	45×(43)	15	SD01より旧 SP1484と不明
SP1273	ⅣW-66	103×96 [46×39]	58	SI116(SD01)と不明
SP1274	ⅣW-67	124×118	65	SP1380と不明
SP1332	ⅣW-67	42×32	22	
SP1377	ⅣW-67	86×(55)	58	SP1243, 1497と不明
SP1378	ⅣW-67	73×52	49	SP1207と不明
SP1380	ⅣW-67	113×112 [62×59]	46	SP1274と不明
SP1430	ⅣX-68	141×62 [37×30]	51	SP1456, 1568と不明
SP1448	ⅣX-67	54×47 [31×27]	51	SP1503より新 SP1514, 1550と不明
SP1456	ⅣX-67	82×60 [39×36]	64	SP1430, 1568と不明

※網掛けは第513集で報告済

第116号竪穴住居跡(SI116：図22・23)

遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	規模(cm) 長短軸[柱痕径]	深さ	備考(新旧関係など)
SP1483	ⅣX-66	46×37	18	
SP1484	ⅣW-68	51×40	22	SP1245と不明
SP1493	ⅣX-67	129×97 [33×29]	46	SP1495と不明
SP1495	ⅣX-67	101×(35) [43×37]	49	SP1244より旧 SP1493, 1570, 1697と不明
SP1496	ⅣX-66	104×86	63	SN103より旧
SP1497	ⅣW-67	57×46	71	SP1245, 1377と不明
SP1499	ⅣW-68	23×19	9	
SP1500	ⅣW-68	17×12	7	
SP1503	ⅣX-67	69×(52) [35×26]	45	SP1448より旧 SP1550, 1607と不明
SP1505	ⅣX-67	31×24	17	SP1294と不明
SP1506	ⅣW-68	22×19	14	
SP1508	ⅣW-67	104×97	74	SI116(SD01)と不明
SP1510	ⅣW-68	48×30	31	SP1243と不明
SP1511	ⅣW-66	95×75 [60×48]	45	SP1515より新 SP1546と不明
SP1514	ⅣX-67	113×64	36	SP1448, 1550, 1544と不明
SP1515	ⅣW-66	80×(36) [55×36]	37	SP1609より新 SP1511より旧
SP1537	ⅣW-67	70×52	29	
SP1544	ⅣX-67	79×59 [44×32]	26	SP1514, 1550と不明
SP1546	ⅣW-66	109×73	52	SP1206より旧 SP1511と不明
SP1549	ⅣX-67	87×74	85	
SP1550	ⅣX-67	109×(63)	19	SP1448, 1503, 1514, 1544と不明
SP1568	ⅣX-68	46×(24)	45	SP1430, 1456と不明
SP1570	ⅣX-67	64×42	50	SP1495, 1697と不明
SP1607	ⅣX-67	46×37	52	SP1474, 1503と不明
SP1609	ⅣW-66	88×(44)	75	SP1515より旧 SP1210と不明
SP1621	ⅣW-68	51×(35)	19	SD01より旧
SP1655	ⅣW-67	64×32	19	SN105より新
SP1677	ⅣW-67	22×19	6	
SP1697	ⅣX-67	99×(42)	34	SN105より新 SP1495, 1570と不明
SD01	ⅣV-67, ⅣW-66～68, ⅣX-67～68	1437×70	28	SP1245, 1621より新 SP1210, 1273, 1461, 1476, 1508, 1566, 1608と不明
SD01 P111	ⅣV-67	43×35	14	
SD01 P112	ⅣV-67	35×27	26	
SD01 P113	ⅣW-68	49×28	24	
SD01 P114	ⅣW-68	73×38	32	
SD01 P115	ⅣW-68	27×17	9	
SD01 P116	ⅣX-68	23×17	13	
SD01 P117	ⅣX-68	27×(29)	8	
SD01 P118	ⅣX-68	44×32	29	

第117・118号竪穴住居跡(SI117・118：図24)

遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	規模(cm) 長短軸[柱痕径]	深さ	備考(新旧関係など)
SP1187	ⅣY-68	63×42	26	
SP1194	ⅣY-69	115×106	36	SD03より新
SP1195	ⅣY-69	58×(22)	29	SP1409より旧
SP1218	ⅣX-68	29×22	37	
SP1221	ⅣY-69	115×(92)	34	SP1407より旧
SP1223a	ⅣX-69	108×(51)	31	SP1644より旧 SP1223b, cと不明
SP1223b	ⅣX-69	(33)×32	13	SP1223a, 1644と不明
SP1327	ⅣY-68	74×60	44	SP1468より新
SP1405	ⅣY-68	39×32	11	
SP1407	ⅣY-69	104×89 [30×23]	39	SP1221より新
SP1408	ⅣX-69	82×68 [29×28]	40	

遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	規模(cm) 長短軸[柱痕径]	深さ	備考(新旧関係など)
SP1409	ⅣY-69	87×(78) [27×26]	57	SP1195より新 SP1410, 1427と不明
SP1410	ⅣY-69	57×(49)	43	SP1409と不明
SP1423	ⅣY-69	62×58	46	
SP1424	ⅣY-69	99×43	30	
SP1426	ⅣX-69	32×(24)	20	SP1427より旧
SP1427	ⅣX-69	80×(60)	39	SP1426より新 SP1409と不明
SP1446	ⅣY-69	62×61	61	
SP1467	ⅣY-68	45×38	30	SP1468より新
SP1468	ⅣY-68	54×(36)	15	SP1327, 1467より旧
SP1477	ⅣY-69	43×33	37	
SP1480	ⅣX-68	49×(36)	28	SP1485より新
SP1485	ⅣX-68	70×(45)	28	SP1480, SD02より旧
SP1502	ⅣX-68	49×28 [19×(11)]	31	
SP1520	ⅣX-68	23×16	13	SD02より旧
SP1534	ⅣY-69	76×64 [28×16]	55	
SP1643	ⅣX-69	81×58	28	
SP1644	ⅣX-69	50×47	44	SP1223aより新 SP1223b, cと不明
SP1645	ⅣY-69	95×52	42	
SP1646	ⅣY-68	42×35	49	
SD02	ⅣV-66～69	698×58	25	SP1415, 1569, 1654より旧 SP1485, 1517, 1519, 1520より新
SD03	ⅣV-69～70, ⅣY-69	255×45	10	SP1194より旧

掘立柱建物跡一覧表

第16号掘立柱建物跡（SB16：図28）

柱穴番号	遺構名	長短軸（cm）	深さ（cm）（底面標高m）	柱痕径（cm）	備考（新旧関係等）
柱1	SP1627	118×110	94（184, 45）	41×36	礎石面, SK429より不明
柱2	SK414	195×180	45（185, 00）	－	SP5209より不明
柱3	SK354	（110）	60（184, 90）	－	SK416より新
柱4	SK360	185×115	50（185, 05）	－	SK359より新
柱5	SK413	180×135	80（184, 40）	63×63	SP527より新 SP610と不明
柱6	SK353	（130）	60（184, 85）	－	SK425と不明

柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
4.6m	4.8m	3.7m	3.6m	5.0m	20.1㎡

第21号掘立柱建物跡（SB21：図28・36）

柱穴番号	遺構名	長短軸（cm）	深さ（cm）（底面標高m）	柱痕径（cm）	備考（新旧関係等）
柱1	SP1523	（91）	79（184, 30）	－	SP1167より旧
柱2	SP1196	122×109	119（183, 60）	36×33	SP1393, 1601より新
柱3	SK201	133×93	66（184, 20）	32×32	SP754より新
柱4	SK455	93×86	47（184, 20）	52×45	
柱5	SP1339	（135）	106（184, 14）	－	SK224E6より旧 SP1578と不明
柱6	SK457	88×76	55（184, 30）	47×30	

柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
5.2m	4.9m	3.5m	3.6m	3.7m	17.8㎡

第22号掘立柱建物跡（SB22：図28・36）

柱穴番号	遺構名	長短軸（cm）	深さ（cm）（底面標高m）	柱痕径（cm）	備考（新旧関係等）
柱1	SP1054	120×105	56（184, 30）	－	SP1450より新 SP26-40と不明
柱2	SP1094	134×96	116（183, 90）	50×44	
柱3	SP1093	149×131	88（184, 20）	58×40	
柱4	SP1085	120×110	132（183, 90）	57×55	SP1107より新 SP2686より不明
柱5	SP1322	133×116	49（184, 20）	45×36	SP2713より新 SP26-40より不明
柱6	SP1340	125×109	85（184, 30）	－	SB21柱5より新 SP1578と不明

柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
3.7m	3.9m	3.2m	3.3m	4.3m	14.0㎡

第23号掘立柱建物跡（SB23：図29・36）

柱穴番号	遺構名	長短軸（cm）	深さ（cm）（底面標高m）	柱痕径（cm）	備考（新旧関係等）
柱1	SP1026	110×105	62（184, 70）	－	
柱2	SP1078	131×88	82（184, 70）	－	
柱3	SP1043	116×98	60（184, 70）	－	
柱4	SP1040	118×115	60（185, 00）	43×37	

柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	面積
4.4m	4.0m	4.1m	3.5m	15.9㎡

第24号掘立柱建物跡（SB24：図29・36）

柱穴番号	遺構名	長短軸（cm）	深さ（cm）（底面標高m）	柱痕径（cm）	備考（新旧関係等）
柱1	SP1076	170×90	63（184, 90）	－	年代測定No. 1
柱2	SP1041	120×109	46（185, 10）	－	
柱3	SP1038	129×93	46（184, 90）	－	
柱4	SP1077	（112）	54（184, 80）	－	
柱5	SP1048	（104）	52（184, 90）	－	SP2755と不明
柱6	SP1036	116×86	64（184, 80）	－	

柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
4.0m	3.8m	3.0m	3.2m	4.0m	13.8㎡

第25号掘立柱建物跡（SB25：図29・36）

柱穴番号	遺構名	長短軸（cm）	深さ（cm）（底面標高m）	柱痕径（cm）	備考（新旧関係等）
柱1	SP1042	138×120	51（185, 00）	－	
柱2	SP1046	170×137	65（185, 00）	60×50	
柱3	SP1039	159×104	58（185, 00）	61×46	SK264E3より旧 SP1343より新
柱4	SP1072	153×127	78（184, 80）	－	礎石面, 年代測定No. 5
柱5	SP1047	197×151	62（185, 00）	54×42	
柱6	SP1045	（129）	61（185, 00）	－	礎石面, SP1044, 2712より不明

柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
3.9m	4.1m	4.0m	3.8m	4.8m	17.5㎡

第26号掘立柱建物跡（SB26：図30・36）

柱穴番号	遺構名	長短軸（cm）	深さ（cm）（底面標高m）	柱痕径（cm）	備考（新旧関係等）
柱1	SP1050	126×91	55（184, 90）	－	
柱2	SP1111	120×102	75（184, 90）	－	SP1049より旧
柱3	SP1071	169×129	54（185, 10）	59×41	SB25柱3より新
柱4	SP1074	（100）	74（185, 00）	－	SP1075より旧
柱5	SP1114	127×84	48（185, 00）	－	
柱6	SP1057	114×92	63（185, 00）	36×30	

柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
4.2m	3.5m	3.7m	4.6m	4.9m	19.1㎡

第27号掘立柱建物跡（SB27：図30・36）

柱穴番号	遺構名	長短軸（cm）	深さ（cm）（底面標高m）	柱痕径（cm）	備考（新旧関係等）
柱1	SP1364	188×130	42（185, 30）	－	SP2252より不明
柱2	SP1190	138×94	83（185, 00）	－	SP1397より新
柱3	SP1321	159×128	80（185, 30）	28×25	
柱4	SP1590	112×103	54（185, 40）	－	
柱5	SP1117 SP1488	（113） （103）	78（185, 10） 53（185, 30）	－	SP1117, 1488と不明
柱6	SP1488	176×139	116（184, 90）	47×38	SP1368と不明

柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
4.1m	4.1m	3.1m	3.6m	4.7m	16.6㎡

第28号掘立柱建物跡（SB28：図30・36）

柱穴番号	遺構名	長短軸（cm）	深さ（cm）（底面標高m）	柱痕径（cm）	備考（新旧関係等）
柱1	SP1370	154×128	88（183, 10）	40×39	
柱2	SP1125	130×113	82（185, 40）	40×36	
柱3	SP1371	121×113	86（185, 40）	34×27	年代測定No. 2
柱4	SP1393	116×111	113（185, 00）	－	
柱5	SP1369	（134）	90（185, 20）	46×（15）	SP1587と不明
柱6	SP1240	169×130	107（185, 20）	39×34	

柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
4.7m	4.7m	3.6m	3.5m	4.7m	19.5㎡

第29号掘立柱建物跡（SB29：図31・36）

柱穴番号	遺構名	長短軸（cm）	深さ（cm）（底面標高m）	柱痕径（cm）	備考（新旧関係等）
柱1	SP1367	（112）	117（185, 30）	44×40	SB30柱1と新旧不明
柱2	SP1127	162×103	73（185, 30）	51×（27）	SB30柱2と同一, SP1665と不明
柱3	SP1575	（97）	79（185, 50）	－	SB30柱3より旧
柱4	SP1444	145×117	75（185, 40）	－	
柱5	SP1432	（100）	70（185, 40）	－	SB30柱5, SP1396, 1400と不明
柱6	SP1241	（109）	88（185, 40）	37×32	SB30柱6より旧 SP2259より新

柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
4.0m	3.6m	3.6m	3.5m	4.5m	15.2㎡

第30号掘立柱建物跡（SB30：図31・36）

柱穴番号	遺構名	長短軸（cm）	深さ（cm）（底面標高m）	柱痕径（cm）	備考（新旧関係等）
柱1	SP1433	185×149	81（185, 30）	39×（27）	SP2258より新 SB29柱1と不明
柱2	SP1127	162×103	73（185, 30）	51×（27）	SB29柱2と同一, SP1665と不明
柱3	SP1259	143×113	90（185, 40）	－	SB29柱3より新
柱4	SP1597	162×132	83（185, 40）	－	
柱5	SP1663	158×118	89（185, 20）	51×（28）	SB29柱5, SP1400と不明
柱6	SP1435	159×100	83（185, 50）	－	SB29柱6, SP2259より新

柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
5.2m	5.1m	4.4m	3.7m	5.5m	24.5㎡

第31号掘立柱建物跡（SB31：図31・37）

柱穴番号	遺構名	長短軸（cm）	深さ（cm）（底面標高m）	柱痕径（cm）	備考（新旧関係等）
柱1	SP1122	164×89	47（185, 70）	－	
柱2	SP1596	73×66	47（185, 50）	－	
柱3	SP1152	100×56	70（185, 70）	29×23	SP1070と不明
柱4	SP1130	108×83	73（185, 70）	－	
柱5	SP1123	71×53	33（185, 90）	－	
柱6	SP1131	60×52	14（185, 20）	44×28	

柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
3.2m	3.7m	3.8m	3.9m	5.8m	16.8㎡

※削掛けは第51集で報告済

第32号掘立柱建物跡(SB32:図32・37)

柱穴番号	遺構名	長短軸(cm)	深さ(cm)(底面標高m)	柱痕径(cm)	備考(新旧関係等)
柱1	SP1153	199×144	110(185.30)	(40×10)	SB33柱1より新
柱2	SP1669	172	92(185.40)	36×21	SP1154より旧 SP1664より新 SB33柱2と不明
柱3	SP2255	130×125	98(185.30)	45×35	SP1589, 2254より新
柱4	SP1151	176×151	76(185.30)	37×35	SB33柱4より新
柱5	SP1668	182×153	91(185.30)	25×24	SB33柱5より新
柱6	SP1588	166×130	102(185.30)	35×28	SB33柱6より新

柱間距離					面積
柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	
3.8m	4.2m	3.7m	3.3m	4.5m	16.2㎡

第33号掘立柱建物跡(SB33:図32・37)

柱穴番号	遺構名	長短軸(cm)	深さ(cm)(底面標高m)	柱痕径(cm)	備考(新旧関係等)
柱1	SP1572	196	124(185.10)	(17×7)	SB32柱1より旧
柱2	SP1155	(118)	99(185.60)	-	SB32柱2, SP1664と不明
柱3	SP1662	162×137	96(185.40)	34×25	
柱4	SP1524	221×156	105(185.30)	37×36	SB32柱4より旧
柱5	SP2253	(146)	88(185.40)	33×32	SB32柱5より旧
柱6	SP2256	(107)	88(185.50)	30	SB32柱6より旧

柱間距離					面積
柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	
4.3m	4.1m	3.5m	3.6m	4.6m	17.4㎡

第34号掘立柱建物跡(SB34:図33・37)

柱穴番号	遺構名	長短軸(cm)	深さ(cm)(底面標高m)	柱痕径(cm)	備考(新旧関係等)
柱1	SP1152	123×101	46(185.80)	31×28	
柱2	SP1598	114×87	78(185.60)	-	
柱3	SP2149	121×92	55(185.80)	35×(19)	
柱4	SP2217	144×120	85(185.40)	36×35	
柱5	SP1473	151×150	68(185.70)	-	
柱6	SP2311	102×82	50(185.90)	47×31	

柱間距離					面積
柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	
3.6m	3.3m	2.7m	2.9m	3.7m	11.3㎡

第35号掘立柱建物跡(SB35:図33・37)

柱穴番号	遺構名	長短軸(cm)	深さ(cm)(底面標高m)	柱痕径(cm)	備考(新旧関係等)
柱1	SP1472	152×104	54(185.40)	-	
柱2	SP2423	107	82(185.60)	-	
柱3	SP2346	145	96(185.50)	-	SP2047, 2344より旧
柱4	SP2043	138×102	67(185.30)	43×38	
柱5	SP1157	147×144	87(185.60)	-	
柱6	SP2044	104	69(185.50)	-	SP2045と不明

柱間距離					面積
柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	
4.6m	4.2m	3.7m	3.8m	5.1m	19.6㎡

第36号掘立柱建物跡(SB36:図33・37)

柱穴番号	遺構名	長短軸(cm)	深さ(cm)(底面標高m)	柱痕径(cm)	備考(新旧関係等)
柱1	SP1779	110	75(184.50)	29×28	SI113(SP2185)より旧
柱2	**SK472**	**103×82**	**48(184.55)**	**50×40**	
柱3	**SP668**	**(89)**	**35(184.70)**	**-**	
柱4	SP1742	122×115	84(184.60)	48×38	SP1759より新
柱5	SP2382	140×103	65(184.50)	36×24	SI113(SD04), SP2175より旧 SP2173より新
柱6	SP2182	135×106	64(184.50)	30×(20)	SK474から振替

柱間距離					面積
柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	
4.4m	4.2m	3.0m	2.9m	4.1m	15.2㎡

第37号掘立柱建物跡(SB37:図34・37)

柱穴番号	遺構名	長短軸(cm)	深さ(cm)(底面標高m)	柱痕径(cm)	備考(新旧関係等)
柱1	SP1937	131×104	80(184.20)	47×(23)	SP2207と不明
柱2	**SK467**	**153×110**	**50(184.40)**	**70×48**	**SP666より新**
柱3	**SK521**	**130×95**	**68(184.40)**	**60×55**	
柱4	SP1974	133×98	97(184.30)	51×48	年代測定No.4, SP1975より新 SI112(SP2503)と不明
柱5	SP1961	151×144	81(184.40)	34×29	SP1945より新 SP1953と不明
柱6	SP2170	139×135	82(184.40)	54×50	SI113(SD04)と不明

柱間距離					面積
柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	
4.6m	4.7m	4.3m	4.3m	5.3m	22.2㎡

第38号掘立柱建物跡(SB38:図34・37)

柱穴番号	遺構名	長短軸(cm)	深さ(cm)(底面標高m)	柱痕径(cm)	備考(新旧関係等)
柱1	SP2439	139×92	37(184.60)	28×27	SI111(SP2521)より新 SP2438より旧
柱2	**SK054**	**114×90**	**57(184.55)**	**65×60**	
柱3	**SK444**	**(175×118)**	**40(184.70)**	**55×50**	
柱4	SP2383	154×118	60(184.50)	37×33	硬化面
柱5	**SK212**	**158×122**	**68(184.40)**	**46×46**	**SB15柱6と同一**
柱6	SP1950	118×114	73(184.40)	39×37	

柱間距離					面積
柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	
3.7m	4.5m	3.3m	3.8m	5.1m	17.7㎡

第39号掘立柱建物跡(SB39:図34・37)

柱穴番号	遺構名	長短軸(cm)	深さ(cm)(底面標高m)	柱痕径(cm)	備考(新旧関係等)
柱1	SP1145	(141)	68(186.60)	-	
柱2	SP1147	73×58	59(186.60)	-	
柱3	SP1150	90×79	74(186.30)	43×36	
柱4	SP1140	94×92	41(184.30)	36×34	

柱間距離				面積
柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	
4.1m	4.1m	3.4m	3.7m	14.6㎡

第40号掘立柱建物跡(SB40:図35・37)

柱穴番号	遺構名	長短軸(cm)	深さ(cm)(底面標高m)	柱痕径(cm)	備考(新旧関係等)
柱1	SP1463	102×77	44(187.30)	-	
柱2	SP1193	88×72	39(187.40)	22×21	
柱3	SP1257	147×129	41(187.20)	45×39	SB41柱3と同一
柱4	SP1326	62×53	56(187.20)	36×27	SB40柱4より新

柱間距離				面積
柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	
2.0m	2.0m	1.9m	1.8m	3.7㎡

第41号掘立柱建物跡(SB41:図35)

柱穴番号	遺構名	長短軸(cm)	深さ(cm)(底面標高m)	柱痕径(cm)	備考(新旧関係等)
柱1	SP1373	131×91	31(187.30)	33×28	
柱2	SP1313	100×77	58(187.20)	23×18	
柱3	SP1257	147×129	41(187.20)	45×39	SB40柱3と同一
柱4	SP1255	(101)×91	48(187.30)	37×32	SB40柱4より旧

柱間距離				面積
柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	
2.9m	2.6m	2.7m	2.8m	7.4㎡

※網掛けは第513集で報告済

ピット一覧表

図	遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	分類	規模(cm) 長短軸 [柱痕径]	規模(cm) 深さ	備考 (出土土器・新旧関係など)	
43	SP1001	ⅤT-64	A	100×94 [62×45]	38		
43	SP1002	ⅤU-64	B-1	132×74	32		
43	SP1003	ⅤV-65	B-2	93×87	40		SP1022と不明
43	SP1004	ⅤV-64	B-2	90×66	41		
43	SP1005	ⅤU-65	B-2	63×55	24		
43	SP1006	ⅤT-65	B-2	37×31	30		
43	SP1007	ⅤU-65	B-2	32×(26)	28		
43	SP1008	ⅤT-64	B-1	102×96	22		
43	SP1009	ⅤS-64	B-2	81×62	38		
43	SP1010	ⅤT-64	B-2	61×53	39		
46	SP1011	ⅤP-64	B-1	106×89	35		SP1414と不明
43·70	SP1013	ⅤS·T- 65·66	B-1	141×123	32		SP1067より旧
43	SP1014	ⅤU-65·66	B-2	79×77	57	ⅢB	
46·70	SP1015	ⅤQ·P-65	B-1	123×95	70	ⅢB	
46	SP1016	ⅤO-65	B-2	64×49	37		
46	SP1017	ⅤP-64	B-2	62×45	43		
46	SP1018	ⅤP-65	B-2	56×50	26		
46	SP1019	ⅤP-65	B-2	56×45	31		
43	SP1021	ⅤV-65	B-2	51×48	42	ⅢB	
43	SP1022	ⅤV-65	B-2	47×(37)	21		SP1003と不明
43	SP1023	ⅤS-65	B-2	71×62	27		
43	SP1024	ⅤW-64	B-2	63×60	25		
45	SP1027	ⅤM-62	B-2	68×39	35	ⅢB	
46	SP1028	ⅤP-65	A	84×64 [26×25]	23	ⅢB	SP2758と不明
46	SP1029	ⅤP-66	B-2	63×49	39		
46	SP1030	ⅤQ-66	B-2	79×(66)	39		
45	SP1031	ⅤM-62	B-2	81×65	63		
45·70	SP1032	ⅤM·N-63	B-1	151×135	62	ⅢB	
46	SP1033	ⅤQ-64	B-2	45×33	63		
46	SP1034	ⅤP-64	B-2	61×57	58		
46	SP1035	ⅤP·Q-64	B-2	68×63	22		
46	SP1044	ⅤM-66	B-2	93×(79)	44	ⅢB	SB25柱6と不明
49·70	SP1049	ⅤK-66	B-1	100×97	70	ⅢB	SP26柱2より新
46	SP1051	ⅤP-64	B-2	74×62	48		
45	SP1052	ⅤM-61	B-2	55×45	47	ⅢB	
45	SP1053	ⅤN-63	B-2	64×58	38		
45·70	SP1055	ⅤM-62	B-1	138×117	55		SP2627, 2639より新
45·67	SP1056	ⅤQ-62	A	100×96 [24×21]	71	ⅢB	
45·70	SP1057	ⅤQ-62	B-1	147×125	68	ⅢB	SP1450と不明
45·70	SP1058	ⅤN-62	B-1	133×83	46	ⅢB	
45·70	SP1059	ⅤO-62	B-1	103×42	56		SP1060より旧
45·70	SP1060	ⅤO-62	B-1	122×103	94		SP1059より新
43	SP1061	ⅤS-64	B-2	95×82	32		SP1062と不明
43	SP1062	ⅤS-64	B-1	136×79	39		SP1061と不明
45	SP1063	ⅤQ-61	A	62×55 [30×29]	41		
43	SP1064	ⅤS-64	B-1	168×133	44		
43·70	SP1065	ⅤU-65	B-1	136×(114)	55	ⅢF	
43	SP1066	ⅤT-65	B-2	69×65	71		
43	SP1067	ⅤS-66	B-2	(54)	18		SP1013より新
45·67	SP1069	ⅤP-61	A	56×49 [27×23]	33	ⅢB	
53	SP1070	ⅤD-68	B-1	156×82	80		SB31柱3と不明
46	SP1073	ⅤO-66	B-1	107×70	55		
46	SP1075	ⅤL-66	B-2	81×75	46		SB26柱4より新
49	SP1079	ⅤJ-66	A	159×(101) [55×50]	59	ⅢB	SP1416と不明
49	SP1080	ⅤI-64	B-2	85×65	31	ⅢB	
45·67	SP1081	ⅤO·P- 61·62	A	135×113 [49×35]	81	ⅢB	
45	SP1082	ⅤN·O-63	B-2	79×(53)	43		SP1095と不明
46	SP1083	ⅤP-64	B-2	68×63	38		
46	SP1084	ⅤP-64	B-2	56×54	52		
45	SP1086	ⅤN-62·63	B-2	62×54	36		SP2635より新
46	SP1087	ⅤQ·R-65	B-1	103×85	53		
45	SP1088	ⅤP-61	A	65×62 [29×27]	40	ⅢC	SP1413と不明
46	SP1089	ⅤO-64	B-2	88×84	80		
46	SP1090	ⅤO·P-64	B-1	157×154	49	ⅢB	SP1091, 1092と不明
46	SP1091	ⅤO-64	B-1	101×92	35		SP1090と不明
46	SP1092	ⅤP-64	B-1	106×93	53		SP1090と不明
45	SP1095	ⅤN-63	B-1	117×117	78		SP1082と不明
46	SP1096	ⅤO-65	B-2	75×64	60		
46	SP1097	ⅤO-65	B-2	82×(66)	28	ⅢB	

図	遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	分類	規模(cm) 長短軸 [柱痕径]	規模(cm) 深さ	備考 (出土土器・新旧関係など)	
45	SP1098	ⅤP-62·63	B-2	89×65	70	ⅢB	SP1329より旧
45	SP1099	ⅤN-61	B-2	94×64	41	ⅢC	
45	SP1100	ⅤO-61	B-2	62×49	31		
45	SP1101	ⅤO-61	B-2	31×28	12		
45	SP1102	ⅤO-61	B-2	46×37	29		
45	SP1103	ⅤO-61	B-2	63×39	36		
45	SP1104	ⅤQ-63	B-2	53×48	23		
45	SP1105	ⅤO-63	B-2	53×41	25		
45·70	SP1107	ⅤQ-61	B-1	106×(92)	96	ⅢB	SB21柱1より新 SB22柱4より旧 SP1513と不明
46	SP1108	ⅤQ·R-66	B-1	102×66	55		
46	SP1109	ⅤQ-65·66	B-2	66×59	29		
53·71	SP1110	ⅤA-68	B-1	165×(136)	55	ⅢF2	SP1371, 1403より旧 SP1335と不明
49·71	SP1112	ⅤJ-64	B-1	105×78	20		
49	SP1113	ⅤK-66·67	B-1	140×132	74	ⅢB	
56	SP1115	ⅣY-69	B-2	86×51	34	ⅢB	SP1234と不明
53·56· 71	SP1116	ⅣY-69	B-1	242×147	41	ⅢF1	
49	SP1118	ⅤG-67	B-2	64×60	46	ⅢG	
49	SP1119	ⅤG-67	B-1	131×117	65		SP1670より新
49	SP1120	ⅤF-67·68	B-1	102×88	29		
52·53	SP1126	ⅤE-66	B-1	101×79	47		
53	SP1133	ⅤC·D-67	B-1	115×90	25		
53	SP1135	ⅤB-67	B-2	41×35	15		
53	SP1136	ⅤB-67	B-2	35×30	9		
53·71	SP1137	ⅤB-68	B-1	150×121	43	ⅢB	
53	SP1138	ⅤB-68	A	80×58 [35×24]	26	ⅢF	
53	SP1139	ⅤB-68	B-2	84×57	22	ⅢF	
53	SP1141	ⅤB-69	B-2	44×39	8	ⅢB	
53	SP1142	ⅤB-68	B-2	23×23	18	ⅢB	
53	SP1143	ⅤA-68	B-2	26×(20)	16		SP1402と不明
53	SP1146	ⅤA-69	B-2	59×56	48	ⅢF	
53	SP1148	ⅤA-69	B-2	54×44	49	ⅢG	
53	SP1149	ⅤA-69	B-1	131×104	77	ⅢF	SP1379と不明
52·67	SP1154	ⅤC·D-64	A	120×113 [41×40]	46	ⅢB	SP1661より旧 SB32柱2より新
51·52	SP1158	ⅤB-62	B-2	64×54	33	ⅢB	
51	SP1159	ⅤB·C-62	B-2	81×(54)	31		
52	SP1165	ⅣY-63	B-2	90×78	51	ⅢB	SP1285, 2294, 2295と不明
54	SP1166	ⅣY-62·63	B-2	86×84	59	ⅢB	SP1285, 2294と不明
54	SP1167	ⅣY-63	B-1	110×78	32	ⅢB	
54	SP1168	ⅣX·Y-63	B-2	53×45	29	ⅢB	
54	SP1169	ⅣY-63	B-2	63×40	41		SP1602と不明
54	SP1170	ⅣY-63	B-2	66×55	40	ⅢB	
55	SP1174	ⅣW-65	A	97×70 [32×29]	59	ⅢF	
53	SP1177	ⅤA-68	B-2	37×30	14	ⅢF	
53	SP1178	ⅤA-67·68	B-1	150×133	20		
53	SP1179	ⅤB-66·67	B-2	45×38	27		
53	SP1180	ⅣY·ⅤA-67	B-1	106×85	42	ⅢF	
53	SP1182	ⅣY-68	B-2	46×42	20		
55	SP1183	ⅣY-67·68	A	84×53 [31×24]	47	ⅢF	SP1447と不明
55	SP1185	ⅣX·Y-68	B-2	53×47	28	ⅢG	
49	SP1188	ⅤG-68	B-2	51×39	42		
49	SP1189	ⅤG-68	B-2	45×44	30	ⅢF	
53	SP1192	ⅤB-69	B-2	34×30	37		
53	SP1196	ⅤD-68	A	57×49 [44×32]	14		
53	SP1197	ⅤA-68	B-2	43×(27)	36		SP1402と不明
43	SP1198	ⅤS-63·64	B-1	149×111	53		
43	SP1199	ⅤT-65·66	A	67×56 [31×24]	40		
43	SP1200	ⅤT-65	B-1	110×87	71		SP1318と不明
52	SP1201	ⅣY-66	B-2	40×38	12		
55	SP1202	ⅣX·Y-66	A	77×(43) [28×23]	38		SP1526と不明
55	SP1203	ⅣX-66	B-2	49×47	22		
55	SP1205	ⅣX-65	B-2	58×40	26	ⅢG	SP1504と不明
64·71	SP1211	ⅣK·L-69	B-1	199×(159)	31	ⅢA	
60	SP1214	ⅣR-69·70	A	83×65 [35×31]	27	ⅢA	
59·71	SP1215	ⅣM·N-66	B-1	169×145	56	ⅢD	
55·67	SP1219	ⅣX-68	A	51×46 [22×19]	47	ⅢF3	SP1647と不明
55·56	SP1220	ⅣX-68	B-2	41×(28)	18		SP1486より旧
55	SP1222	ⅣX-68	B-2	29×24	14	ⅢB	

図	遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	分類	規模(cm) 長短軸[柱痕径]	深さ	備考(出土土器・新旧関係など)	
56・71	SP1225	ⅣX-70	B-1	145×119	30	ⅢF2	
56	SP1226	ⅣW-70	B-1	117×(75)	29		SP1623, 1699と不明
56	SP1227	ⅣW-69	B-2	53×52	49	ⅢB	
56	SP1228	ⅣW-69	B-1	161×112	71	ⅢG	
56	SP1229	ⅣW-69	B-2	59×47	23		
56	SP1230	ⅣV-68・69	B-2	57×52	42	ⅢB	
56	SP1231	ⅣV・W-70	B-2	92×64	34	ⅢB	
56	SP1233	ⅣV-70	B-2	62×56	42	ⅢB	
56	SP1234	ⅣV-69	B-1	144×(78)	20	ⅢG	SP1115, 1235と不明
56	SP1235	ⅣV-69	B-2	75×60	7		SP1234と不明
56	SP1236	ⅣV-69	B-2	70×61	36	ⅢB	
49	SP1237	ⅤF・G-65	B-1	113×105	47	ⅢB	H22調査SP623から振替
52・67	SP1238	ⅤF-65	A	106×90 [(45×14)]	57	ⅢB	H22調査SP622から振替
56	SP1246	ⅣV-68	B-1	123×100	34	ⅢB	
49	SP1256	ⅤG-67・68	A	96×56 [20×14]	48		
59	SP1258	ⅣR-66	B-2	62×54	41	ⅢB	
59・71	SP1259	ⅣQ-65・66	B-1	170×(126)	48	ⅢB	SP1581より旧
49・67	SP1261	ⅤG-68	A	89×69 [(27×13)]	50	ⅢF	
56	SP1263	ⅣT-69	B-2	60×47	20	ⅢD1	
56	SP1264	ⅣU-69	B-2	33×31	17		
56	SP1265	ⅣT-69	A	82×76 [(24×8)]	33	ⅢB	
56	SP1266	ⅣU-69	A	62×51 [(26×8)]	31	ⅢG	
56	SP1267	ⅣU・V-69・70	B-1	114×101	46	ⅢD1	
56	SP1268	ⅣU-69	B-2	44×35	33		
56	SP1269	ⅣU-69	B-2	32×28	11		
55	SP1270	ⅣU・V-68	B-2	66×50	50	ⅢB	
55	SP1271	ⅣW-65・66	B-2	42×35	18	ⅢC	
55	SP1272	ⅣW-65	B-2	71×50	35	ⅢC	
55	SP1275	ⅣV-66	B-2	43×32	23	ⅢF	
55	SP1276	ⅣU-67	B-1	101×62	33	ⅢG	
55	SP1277	ⅣU-67	B-2	64×59	29	ⅢF2	SP1320と不明
55	SP1278	ⅣU-67	B-1	115×93	30	ⅢG	SP1320と不明
55	SP1279	ⅣU-67	B-2	90×83	22	ⅢG	
54	SP1284	ⅣY-64	B-2	67×43	52	ⅢB	
52・54	SP1285	ⅣY-63	B-2	73×52	35	ⅢB	SP1165, 1166, 2294と不明
54	SP1286	ⅣX-63	B-2	45×(40)	16	ⅢB	SP2276と不明
55	SP1287	ⅣX-64	B-2	67×51	38	ⅢB	
60・71	SP1294	ⅣP-68	B-1	108×50	53	ⅢB	SP1299と不明
60・71	SP1295	ⅣO・P-68	B-1	157×153	80	ⅢB	
60・72	SP1296	ⅣO-67・68	B-1	114×69	43		
60・72	SP1297	ⅣO-68	B-1	196×159	85	ⅢB	
60	SP1298	ⅣO-67・68	B-2	82×50	37	ⅢB	
60・72	SP1299	ⅣP-68	B-1	152×109	64	ⅢB	SP1294と不明
60・72	SP1300	ⅣP・Q-68	B-1	134×106	58	ⅢB	
59	SP1308	ⅣQ-65	B-1	103×94	84	ⅢB	
53	SP1311	ⅤA-68	A	56×44 [34×(14)]	30		SP1372と不明
53	SP1312	ⅤC-68	B-1	130×80	31		
56	SP1314	ⅣU-68	A	53×51 [15×(14)]	37		
43	SP1315	ⅤW-64	B-1	168×124	93	ⅢB	SP1316と不明
43	SP1316	ⅤW-63・64	B-1	186×(146)	86		SP1315と不明
43	SP1317	ⅤS-65	B-2	72×58	32		
43	SP1318	ⅤT-65・66	B-1	136×(106)	45	ⅢB	SP1200と不明
55	SP1319	ⅣY-68	A	51×40 [14×13]	17		
55	SP1320	ⅣU-67	B-2	56×54	34		SP1277, 1278と不明
45	SP1323	ⅤQ-61	B-2	66×47	24		
45	SP1324	ⅤP-61	B-2	90×75	41		
45	SP1325	ⅤO-61	B-2	37×27	35		
46・72	SP1328	ⅤP-65	B-1	109×104	54	ⅢB	
45・72	SP1329	ⅤO・P-63	B-1	129×90	62		SP1098よりも新
45	SP1330	ⅤP-62	B-2	65×49	25	ⅢB	
56・72	SP1331	ⅣW-69	B-1	153×129	66	ⅢB	
52	SP1334	ⅤB-66	B-2	48×36	9		
53	SP1335	ⅤA-68	B-2	38×30	12		SP1110と不明
52	SP1336a	ⅤA-64	B-2	68×(42)	46	ⅢB	SP1336bと不明
52	SP1336b	ⅤB-64	B-2	58×40	60	ⅢB	SP1336a, 1338と不明
52	SP1337	ⅤA-65	B-1	151×136	71	ⅢG	
52	SP1338	ⅤB-64	B-2	95×78	11		SP1336bと不明
45	SP1341	ⅤP・Q-62	B-1	113×93	53	ⅢB	
49	SP1342	ⅤH-66	A	130×119 [40×32]	54	ⅢB	
46・72	SP1343	ⅤM-65	B-1	137×(84)	46	ⅢB	SB25柱3より旧

図	遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	分類	規模(cm) 長短軸[柱痕径]	深さ	備考(出土土器・新旧関係など)	
49	SP1344	ⅤJ-65	B-2	79×65	40		
49	SP1345	ⅤK-65	B-2	84×67	32		
49	SP1346	ⅤJ-65・66	B-2	66×54	24		
49	SP1347	ⅤK-66	B-2	62×60	33		
49	SP1348	ⅤK-65	B-2	48×46	26		
49	SP1349	ⅤK-65	B-2	71×61	26		
49	SP1350	ⅤK-66	B-2	95×51	45	ⅢB	
49	SP1351	ⅤK-66	B-2	82×59	46	ⅢB	
46	SP1352	ⅤM-66	B-2	68×60	20		SP1353と不明
46	SP1353	ⅤM-66	B-1	106×71	34		SP1352と不明
46	SP1354	ⅤM・N-66	B-2	97×59	38		
46	SP1355	ⅤN-66	B-2	64×51	31		
46	SP1356	ⅤN-66	B-2	58×53	19		
46	SP1357	ⅤN-66	B-2	56×45	19		
49・67	SP1358	ⅤH-67	A	102×92 [38×28]	53		
49	SP1359	ⅤF・G-68	B-2	97×90	57	ⅢF	
49	SP1360	ⅤH-67	B-1	158×111	73		
49	SP1361	ⅤG-66	B-1	119×105	95		SP1395と不明
49	SP1362	ⅤJ-64	B-2	84×59	36		
46	SP1363	ⅤO-65	B-1	124×84	41	ⅢB	
49・72	SP1365	ⅤG-66	B-1	104×93	53	ⅢB	
49・67	SP1368	ⅤF-66	A	133×(102) [33×24]	58	ⅢB	SB27柱6と不明
53・71	SP1371	ⅣY・ⅤA-68	B-1	311×185	33	ⅢF2	SP1110, 1403より新 SP1547, 1610, 1652と不明
53	SP1372	ⅤA-68	A	155×117 [18×14]	47	ⅢF	SP1311と不明
56	SP1374	ⅣU-69・70	B-1	152×112	66		
59・72	SP1375	ⅣP-65	B-1	161×146	76	ⅢB	SP2708と不明
52	SP1376	ⅣY-66	A	55×36 [40×30]	21		
53	SP1379	ⅤA-69	B-2	63×(50)	46	ⅢF	SP1149と不明
45	SP1381	ⅤL・M-61	B-2	83×81	52		
52	SP1382	ⅣY-65	B-2	77×63	45		
55	SP1383	ⅣY-67	A	162×148 [45×31]	37	ⅢB	SP1412, 1694と不明
55	SP1384	ⅣX・Y-65・66	A	117×97 [23×22]	70		SP1528と不明
55	SP1385	ⅣW-66	A	86×79 [57×41]	49		SP1509と不明
45	SP1386	ⅤP-63	B-1	136×90	50		
45	SP1387	ⅤP-63	B-2	97×78	38		
45	SP1388	ⅤL-61	B-2	42×41	26		
45	SP1389	ⅤM-61	B-2	84×67	55		SP2626より新
45	SP1390	ⅤM-61	B-2	87×55	28	ⅢA	
49・67	SP1391	ⅤH・I-67	A	116×(105) [40×32]	73	ⅢF2	SP1392より新 柱痕覆土から 口縁突起出土
49	SP1392	ⅤI-67	B-2	(71)	27	ⅢF	SP1391より旧
49・67	SP1394	ⅤG・H-65・66	A	211×178 [32×(25)]	69		SP2252と不明
49	SP1395	ⅤG-66・67	B-2	95×(70)	38	ⅢB	SP1361と不明
52	SP1396	ⅤE・F-66	B-1	104×(83)	49		SB29柱5, SP1400と不明
49	SP1397	ⅤG-67	B-2	62×(60)	28		SB27柱2より旧
49	SP1398	ⅤG-67	B-2	42×31	22	ⅢF	
49	SP1399	ⅤG-67	B-2	46×44	22	ⅢF	
52・72	SP1400	ⅤF-66	B-1	130×(100)	71	ⅢB	SB29柱5, SB30柱5, SP1396と不明
56	SP1401	ⅣW-70	B-2	84×52	36	ⅢB	
53	SP1402	ⅤA・B-68	B-1	120×84	53	ⅢB	SP1143, 1197と不明
53	SP1403	ⅤA-68	B-2	45×42	42	ⅢB	SP1371より旧 SP1110より新
55	SP1404	ⅣS-66	B-1	108×92	34	ⅢB	
55	SP1406	ⅣS-66	A	54×(45) [31×20]	20		SP1698と不明
46	SP1411	ⅤO-64	B-2	61×57	53		
53・55	SP1412	ⅣY-67	B-1	125×108	58	ⅢB	SP1576より新 SP1383, 1694と不明
45	SP1413	ⅤP-61	B-2	48×42	37		SP1088と不明
46	SP1414	ⅤP-64	B-2	(27)	35		SP1011と不明
55	SP1415	ⅣX-68	B-2	42×37	30		SI117(SD02)より新
49・67	SP1416	ⅤJ-66	A	112×79 [(51×38)]	87	ⅢB	SP1079と不明
49	SP1417	ⅤH-67	B-1	134×103	69	ⅢF	SP1418, 1419より新
49	SP1418	ⅤH-67	B-2	81×(70)	60		SP1417より旧
49	SP1419	ⅤH-67	B-2	77×(72)	65	ⅢF	SP1417より旧
53	SP1421	ⅤA-68・69 ⅤA-69	B-2	83×59	27	ⅢF	
53	SP1422	ⅤA-69	B-2	38×34	28		
55	SP1425	ⅣY-68	B-2	53×49	29	ⅢB	

図	遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	分類	規模(cm) 長短軸[柱痕径]	深さ	備考(出土土器・新旧関係など)	
53	SP1428	ⅤA-68	B-2	65×52	31	ⅢB	
49	SP1431	ⅤG-67	B-2	99×62	27	ⅢC	
52	SP1434	ⅤF-65	B-1	134×86	57	ⅢB	
59	SP1436	ⅣP-66	B-2	99×78	25	ⅢB	
59	SP1437	ⅣP-65	B-2	63×54	40	ⅢB	
60	SP1438	ⅣO-67	B-2	54×46	36		
60	SP1439	ⅣO-67	B-2	48×41	27		
60	SP1440	ⅣM-67	B-2	68×(60)	19		
49	SP1441	ⅤI-67	B-2	58×57	28		
49・72	SP1443	ⅤH-67	B-1	128×67	65		
49	SP1445	ⅤI-64	B-2	67×65	19		
55	SP1447	ⅣY-67・68	B-2	47×(36)	28		SP1183と不明
55	SP1449	ⅣY-68	A	48×42 [26×23]	33	ⅢF2	
45・73	SP1450	ⅤQ-62	B-1	110×(73)	51		SB22柱1より旧 SP1057, 2679と不明
53	SP1451	ⅤD-68	B-2	67×51	24	ⅢG	
53	SP1452	ⅤA-68	B-2	69×41	43		
56	SP1453	ⅣV-70	B-2	53×49	40		
60	SP1454	ⅣS-69	B-2	50×43	17	ⅢB	
55	SP1455	ⅣW-66	B-2	84×64	26		
56	SP1458	ⅣW-69	B-2	32×29	21	ⅢD1	
55	SP1459	ⅣY-68	B-2	46×38	18	ⅢB	
55	SP1461	ⅣY-67	B-2	41×(39)	31	ⅢB	SI116(SD01)と不明
55	SP1462	ⅣX-65	B-1	166×97	30	ⅢB	
55	SP1464	ⅣT-66	B-2	38×29	30	ⅢB	
60	SP1465	ⅣS-67	B-2	88×66	35		
56	SP1466	ⅣY-68	B-2	51×47	20		
55	SP1474	ⅣX-67	A	96×(84) [31×28]	61	ⅢB	SI116(SP1503・1607)と不明
56	SP1475	ⅣX-69	B-2	35×33	22		
55	SP1476	ⅣX-68	B-2	56×42	16	ⅢB	SI116(SD01)と不明
55	SP1478	ⅣX-68	B-2	70×43	16	ⅢB	SP1479と不明
55	SP1479	ⅣX-68	B-2	48×47	18	ⅢB	SP1478と不明
48	SP1481	ⅤH-63・64	B-1	117×98	36		
46	SP1482	ⅤX-65	B-2	94×58	30		
56	SP1486	ⅣX-68	B-2	41×39	28		SP1220より新
53	SP1490	ⅤD-67・68	B-2	87×81	20		
53	SP1491	ⅤC-69	B-2	43×41	27		
53	SP1492	ⅤC-67	B-2	49×28	12		
55	SP1504	ⅣY-66	A	114×101 [53×51]	37		SP1205, 1548と不明
55	SP1509	ⅣX-66	A	66×(53) [45×30]	30		SP1385と不明
45	SP1513	ⅤQ-61・62	B-1	134×(70)	77		SP1107と不明
56	SP1516	ⅣX-69	B-2	44×30	14		
56	SP1517	ⅣX-69	B-2	42×(28)	16		SI117(SD02)より旧
56	SP1519	ⅣX-68	B-2	66×49	17		SI117(SD02)より旧
54	SP1525	ⅣY-63	B-2	71×52	24		
55	SP1526	ⅣX-66	B-2	57×48	31		SP1202と不明
55	SP1528	ⅣY-65・66	A	94×(70) [35×29]	32		SP1384と不明
54	SP1529	ⅣY-63	B-2	59×50	52		
52	SP1530	ⅤA-64	A	73×64 [29×24]	51	ⅢB	
55	SP1535	ⅣV-67	B-2	57×46	20		
55	SP1536	ⅣW-66	B-2	43×27	9		
52	SP1540	ⅣY-66	B-2	58×49	49		
52・55	SP1541	ⅣY-65	B-1	109×95	42		
55	SP1542	ⅣY-64・65	B-2	51×44	29	ⅢB	
55	SP1543	ⅣY-64	B-2	66×64	31	ⅢB	
52	SP1545	ⅤB-64	B-2	44×39	31		
53	SP1547	ⅣY-68	B-2	35×(20)	25		SP1371と不明
55	SP1548	ⅣX-66	A	136×124 [54×43]	41		SP1504と不明
63	SP1551	ⅣM-66	B-2	98×92	51	ⅢD1	SP1563より新
59	SP1552	ⅣQ-65	B-2	70×62	52	ⅢB	
59	SP1553	ⅣR-65	B-2	83×62	49	ⅢB	
60・73	SP1554	ⅣN・O- 68・69	B-1	216×191	83	ⅢB2	
59	SP1555	ⅣR-65・66	B-2	70×60	50	ⅢB	
59	SP1556	ⅣQ-65	B-2	52×50	15		
59	SP1557	ⅣQ-65	B-2	32×28	28	ⅢG	
59	SP1558	ⅣQ-65	B-2	35×33	33		
59	SP1559	ⅣQ-65	B-2	88×62	24	ⅢB	
59	SP1560	ⅣR-66	B-2	72×67	29		
59	SP1561	ⅣQ-66	B-2	75×67	70	ⅢB	
59	SP1562	ⅣR-66	B-2	36×34	23		
63	SP1563	ⅣM-66	B-2	98×45	36	ⅢD1	SP1551より旧
60	SP1564	ⅣM-68	B-2	73×68	27	ⅢD1	

図	遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	分類	規模(cm) 長短軸[柱痕径]	深さ	備考(出土土器・新旧関係など)	
60	SP1565	ⅣO-67	B-2	43×29	48		
55	SP1566	ⅣW-68	A	66×57 [40×38]	60	ⅢB	SI116(SD01)と不明
56	SP1569	ⅣX-69	B-2	77×66	23		SI117(SD02)より新
49	SP1574	ⅤH-67	B-2	49×39	32		
53	SP1576	ⅣY-67	B-2	67×(39)	44		SP1412より旧
45	SP1578	ⅤP-62	B-1	103×(94)	70		SB21柱5, SB22柱6と不明
45	SP1580	ⅤO・P-61	B-2	76×(52)	87		SB21柱2, SP1601より旧
59・71	SP1581	ⅣQ-65	B-1	118×(102)	39		SP1259より新
59	SP1582	ⅣP-66	B-2	90×77	48	ⅢB	
59	SP1583	ⅣO-65	B-1	180×170	51	ⅢB2	SP2826と不明
59	SP1584	ⅣP-66	B-1	109×(67)	44	ⅢB	
59	SP1585	ⅣR-65	B-2	28×27	33		
49	SP1586	ⅤI-67	B-2	28	64		
53・67	SP1587	ⅤF-66・67	A	146×116 [42×(14)]	82	ⅢB	SB28柱5より旧
52・68	SP1589	ⅤC-63	A	134×(107) [41×31]	63	ⅢB	SB32柱3より旧 SP2254と不明
49	SP1592	ⅤF-67	B-2	69×59	48		
49	SP1595	ⅤH-68	B-1	146×107	72	ⅢG	
49・53	SP1599	ⅤF-67	B-2	65×47	31		SP1600と不明
49	SP1600	ⅤF-67	B-2	48×36	33		SP1599と不明
45	SP1601	ⅤO-61	B-2	52×23	87		SB21柱2より旧 SP1580より新
52・54	SP1602	ⅣY-64	B-2	93×64	62	ⅢB	SP1169と不明
54	SP1603	ⅣY-64	B-2	42×36	31	ⅢB	
52	SP1604	ⅣY-63	B-2	57×53	35	ⅢB	
55	SP1608	ⅣX-68	B-2	46×45	47		SI116(SD01)と不明
53	SP1610	ⅣY-68	B-2	29×(23)	25	ⅢB	SP1371と不明
54	SP1611	ⅣX-64	B-2	39×36	40	ⅢG	
54	SP1612	ⅣW-64	B-2	51×45	50	ⅢF	
54・68	SP1616	ⅣY-63	A	87×70 [23×22]	42	ⅢB	SP1617より新
52・54・73	SP1617	ⅣY-63	B-1	103×68	56	ⅢB	SP1616より旧 SP2263, 2298と不明
53	SP1622	ⅣY-66・67	B-2	83×75	36		
56	SP1623	ⅣW-70	B-1	161×(98)	24	ⅢG	SP1699より新 SP1226と不明
56	SP1624	ⅣX-70	B-2	50×34	33	ⅢF	
47	SP1626	ⅤM・N-54	B-1	114×84	47	ⅢF	
47	SP1627	ⅤN-54	B-2	70×57	24		SP1628と不明
47	SP1628	ⅤN-54	B-2	77×70	43	ⅢF	SP1627と不明
47	SP1629	ⅤN-54	B-2	83×(71)	22		SP1630と不明
47	SP1630	ⅤN-54	B-2	97×68	34	ⅢG	SP1629, 2204と不明
52	SP1631	ⅤC-62・63	A	148×94 [38×35]	47	ⅢB	SP2425と不明
49	SP1632	ⅤH-68	B-2	73×66	47		
49	SP1633	ⅤH-68	B-2	70×57	27		
49	SP1634	ⅤF-68	B-2	48×42	32		
49	SP1635	ⅤH-67	B-2	70×52	36		
52	SP1637	ⅤE-65	B-2	97×76	33		
49・53	SP1638	ⅤF-67	B-2	63×52	38		
52	SP1639	ⅤF-64	B-2	89×74	39		
52	SP1640	ⅤE-64	B-2	50×47	34		
55	SP1642	ⅣU-66	B-2	62×48	39		
55	SP1647	ⅣX-68	B-2	(17)	18		SP1219と不明
56	SP1648	ⅣW-68	B-2	32×27	23		
56	SP1649	ⅣW-69	B-2	36×34	31		
56	SP1650	ⅣU-68	B-2	32×29	34		
55	SP1651	ⅣX-64・65	B-1	111×(98)	38		SP1656と不明
53	SP1652	ⅣY-68	B-2	36×31	22		SP1371と不明
53	SP1653	ⅤA-68	B-2	28×22	19		
56	SP1654	ⅣX-68	B-2	39×35	24		SI117(SD02)より新
55	SP1656	ⅣX-65	B-2	69×(33)	41		SP1651と不明
52	SP1660	ⅣY-64	B-2	37×31	31		
52・67	SP1661	ⅤD-64	A	66×63 [28×27]	56	ⅢB	SP1154より新
52	SP1664	ⅤC-64	B-2	98×(66)	68	ⅢB	SB32柱2より旧 SB33柱2と不明
52・68	SP1665	ⅤE-66	A	145×106 [37×31]	60	ⅢB	SP2260より新 SB29・30柱2と不明
52・53	SP1666	ⅤE-66	B-2	64×53	36		
49	SP1670	ⅤG-67	B-2	87×(86)	54		SP1119より旧
54	SP1671	ⅣX-64	B-2	58×49	39		
59	SP1674	ⅣQ-65	B-2	67×66	44	ⅢB	
64・73	SP1675	ⅣL・M-69	B-1	162×119	61	ⅢB	
64	SP1676	ⅣI-71	B-2	77×(30)	-		
54	SP1678	ⅣT-64	B-1	158×(72)	28		SP1682より旧
56	SP1681	ⅣX-70	B-2	75×56	31		
55・68	SP1682	ⅣT-64	A	52×50 [24×22]	49		SP1678より新

図	遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	分類	規模(cm) 長短軸[柱痕径]	規模(cm) 深さ	備考(出土土器・新旧関係など)	
54	SP1685	ⅣX-63	B-2	58×45	32		
55	SP1687	ⅣW-65	B-2	46×41	50	ⅢF2	
54・68	SP1691	ⅣY-64	A	34×10 [15×(8)]	45		SP2264と不明
54・55	SP1692	ⅣX-64	A	44×40 [29×27]	58		
55	SP1694	ⅣY-67	B-2	66×49	46		SP1383, 1412と不明
56	SP1695	ⅣX-70	B-2	55×29	25		
59	SP1696	ⅣQ-64・65	B-2	(70)	18	ⅢA	
55	SP1698	ⅣS-66	B-2	88×79	35		SP1406と不明
56	SP1699	ⅣW-70	B-2	69×64	32		SP1623より旧 SP1226と不明
44	SP1702	ⅤN-54	A	82×71 [37×33]	55		
44	SP1707	ⅤO-54	B-1	106×72	47		SP2487と不明
44	SP1708	ⅤO-54	B-2	82×71	40		SP2405と不明
44	SP1709	ⅤP-54	B-2	79×64	33		SP1869と不明
44	SP1710	ⅤO-54	B-2	51×43	22		
44	SP1712	ⅤP-54	B-2	88×15	56	ⅢF	SP2486と不明
44	SP1715	ⅤN-54	B-2	66×61	22		
44	SP1718	ⅤN-54	A	48×43 [30×25]	49	ⅢF	SP2387a・bと不明
44	SP1719	ⅤN-54	B-2	47×44	38		
47	SP1736	ⅤJ-54・55	B-2	86×32	73		SK410と同一
47	SP1737	ⅤJ-54	A	71×67 [41×40]	15		
47	SP1738	ⅤJ-54	B-1	156×(122)	23	ⅢF	SP1739, 1751, 1752と不明
47	SP1739	ⅤJ-54	B-2	50×32	20	ⅢF	SP1738と不明
47	SP1751	ⅤJ-54	B-1	151×125	105	ⅢB	SP1752, 1738と不明
47	SP1752	ⅤJ-54	B-2	76×(45)	27	ⅢB	SP1738, 1751と不明
47	SP1759	ⅤK-54	A	92×(75) [39×32]	35		SB36柱4より旧 SI113(SP1758)より新
47	SP1765	ⅤJ-54	B-2	66×(59)	39		
47	SP1767	ⅤJ-54	A	86×63 [42×30]	49	ⅢG	
47	SP1773	ⅤJ-54	B-2	83×76	36		SP1775と不明
47	SP1774	ⅤI-54	B-2	30×24	14		SP1775と不明
47	SP1775	ⅤI-54	B-1	170×127	28	ⅢG	SP1773, 1774と不明
47	SP1776	ⅤJ-54	B-2	55×44	32		
44	SP1783	ⅤN・O-54	B-2	84×71	46	ⅢF	SP2190より旧 SP2189と不明
44	SP1784	ⅤN-54	B-2	31×29	16		
44	SP1785	ⅤO-54	B-2	56×48	21		
44	SP1787	ⅤO-54	A	89×85 [30×28]	36	ⅢG	SP1786から振替 SP2464と不明
47	SP1801	ⅤI-54	B-1	211×(106)	109		SP612, 2205と不明
47	SP1803	ⅤH・I-54	B-1	145×118	82		
50	SP1806	ⅤG-53	B-2	58×37	10		SP1807と不明
50	SP1807	ⅤG-53	B-2	93×80	29		SP1806と不明
50	SP1812	ⅤG-53	B-1	110×(54)	37		SP1813より旧
50	SP1813	ⅤG-53	A	147×120 [41×(27)]	41	ⅢB	SP1812より新
50	SP1816	ⅤF-52・53	A	144×96 [36×(19)]	35		
50	SP1819	ⅤF-53	B-2	65×62	45		
50	SP1820	ⅤF-53	B-2	52×50	24	ⅢB	
50	SP1821	ⅤF-53	B-2	76×65	26	ⅢF	
50	SP1823	ⅤF-53	B-1	127×72	57		
44	SP1830	ⅤN-54	A	80×63 [33×29]	20	ⅢG	
63・73	SP1851	ⅣJ-67	B-1	155×114	51		
63・73	SP1852	ⅣJ-67	B-1	167×159	71	ⅢB	
64・73	SP1853	ⅣI-69・70	B-1	107×91	69		
66・73	SP1854	ⅣE-75	B-1	157×131	51		SP1855と不明
66	SP1855	ⅣE-75	B-2	79×27	41		SP1854と不明
44	SP1857	ⅤO-54	A	108×84 [54×39]	60	ⅢF	
44	SP1869	ⅤP-54	A	134×68 [49×37]	102	ⅢF	SP1709, 2469と不明
44	SP1872	ⅤP-54	B-2	65×48	33	ⅢB	SP2198と不明
44	SP1876	ⅤP-54	B-2	67×63	32		
44	SP1877	ⅤP・Q-54	B-2	61×48	18		
44	SP1885	ⅤQ-54・55	A	107×67 [35×12]	67	ⅢG	
44	SP1886	ⅤQ-54	B-1	123×69	36	ⅢF	
44・73	SP1900	ⅤR-54	B-1	121×95	47	ⅢB	
47	SP1940	ⅤM-54	B-2	59×51	39	ⅢB	
47	SP1943	ⅤN-55	B-2	92×68	33		SP1945と不明
47	SP1945	ⅤM・N-55	A	149×119 [67×44]	101		SB37柱5より旧 SP1943と不明
47	SP1946	ⅤM-54・55	A	45×41 [34×29]	34	ⅢF	
47	SP1947	ⅤM-54	B-2	94×62	48	ⅢF	SI112(SP2503), SP2163より旧
47	SP1952	ⅤM-55	B-1	121×94	88	ⅢB	
47	SP1953	ⅤM-55	B-2	89×(43)	83		SB37柱5と不明
47	SP1975	ⅤL-54	A	99×(61) [31×28]	76	ⅢB	SB37柱4より旧 SI112(SP2503)と不明
48	SP1997	ⅤI-60	B-2	77×(66)	36	ⅢB	H22調査SP627と不明
48	SP1998	ⅤI-61	B-2	66×62	45		
48	SP2002	ⅤI-61	B-2	65×60	36		
48・68	SP2016	ⅤG-60	A	98×86 [30×(28)]	47		H22調査SP628と不明
48	SP2017	ⅤG-60・61	B-2	86×78	39	ⅢB	
48	SP2018	ⅤF・G-61	B-2	97×70	25	ⅢB	
48	SP2020	ⅤF-62	B-2	46×41	31		
48・68	SP2024	ⅤF-60	A	79×72 [25×24]	30	ⅢC	
51	SP2036	ⅤE-61	B-2	54×49	16		
51	SP2045	ⅤC-61	B-2	86×(74)	51	ⅢB	SB35柱6と不明
51・68	SP2046	ⅤC-61	A	122×109 [(25×8)]	92	ⅢB	
51	SP2047	ⅤC-61	B-2	72×64	79	ⅢB	SB35柱3より新
51	SP2050	ⅤB-61	B-2	46×43	26	ⅢB	
51	SP2051	ⅤB-61	B-2	31×29	14		
51	SP2054	ⅣY-62	B-2	89×67	59		
51・54	SP2055	ⅣY-62	B-2	51×45	27	ⅢB	
54	SP2056	ⅣX・Y-62	B-1	110×78	38		
54・74	SP2057	ⅣX-62	B-1	103×71	51		SP2116より旧 SP2058, 2118と不明
54	SP2058	ⅣX-62	B-2	67×47	36	ⅢB	SP2057, 2118と不明
54・74	SP2059	ⅣX・Y-61・62	B-1	159×158	79	ⅢB	SI106(SD09, SP2492, 2496), SP2493より新
54	SP2060	ⅣX-62・63	B-2	38×31	10		
54	SP2061	ⅣX-62・63	B-2	71×(64)	28	ⅢC	SP2063と不明
54	SP2062	ⅣX-62	B-2	69×(59)	21	ⅢB	SP2120, 2122, 2123と不明
54	SP2063	ⅣX-62	B-2	90×62	24		SP2061, 2065と不明
54	SP2064	ⅣW-62	B-2	56×(40)	18		SP2065と不明
54	SP2065	ⅣX-62	B-2	36×(30)	24		SP2063, 2064と不明
54	SP2066	ⅣX-63	B-2	52×43	27	ⅢB	
54	SP2067	ⅣW-62・63	B-2	74×50	30		SP2068と不明
54	SP2068	ⅣW-63	B-2	70×60	34		SP2067と不明
54	SP2069	ⅣW-62	B-2	51×29	23	ⅢB	
54	SP2070	ⅣW-62	B-2	74×61	29	ⅢB	
54	SP2071	ⅣW-62	B-2	30×24	6		
54	SP2072	ⅣW-62	B-2	29×25	12		
54	SP2073	ⅣW-62	B-2	59×46	32	ⅢB	SP2074から振替 SP2076より新
54・68	SP2076	ⅣW-62	A	56×(47) [31×(16)]	49	ⅢB	SP2073より旧
54	SP2077	ⅣW-62	B-2	58×53	39	ⅢB	
54	SP2078	ⅣW-62	B-2	64×47	22	ⅢB	
54	SP2079	ⅣW-62	B-2	52×49	44		
54	SP2081	ⅣW-62	B-2	44×41	26	ⅢB	
54	SP2083	ⅣW-62	B-2	56×40	21		
54	SP2084	ⅣW-62	B-2	60×45	36	ⅢC	SP2085と不明
54	SP2085	ⅣW-62・63	B-2	72×35	39	ⅢB	SP2084と不明
54	SP2086	ⅣW-62	B-2	46×39	25		
54	SP2087	ⅣW-63	B-2	72×61	43		
54・74	SP2092	ⅣV-62	B-1	142×117	74	ⅢG	
54	SP2096	ⅣU-63	B-2	34×33	11		
54・74	SP2097	ⅣU-63	B-1	120×101	67	ⅢE	SP2542と不明
54・74	SP2098	ⅣT-62・63	B-1	125×88	65	ⅢF	SD16, SP2671と不明
54	SP2101	ⅣT-62・63	B-1	128×47	50	ⅢB	
54	SP2103	ⅣT-63	B-2	55×51	39	ⅢB	
54	SP2104	ⅣT-63	B-2	39×33	20	ⅢE	
50	SP2106	ⅤF-53	B-2	40×36	19		
50	SP2107	ⅤF-53	A	97×(78) [34×(14)]	39		SP2108より旧
50	SP2108	ⅤF-53	B-1	118×98	15		SP2107より新
54	SP2116	ⅣX・Y-62	B-1	100×83	27	ⅢB	SP2057より新 SP2118と不明
54	SP2117	ⅣX-62	B-2	80×69	40		SP2118と不明
54	SP2118	ⅣX-62	B-2	81×(50)	35	ⅢB	SP2057, 2058, 2116, 2117と不明
54	SP2119	ⅣX-62	B-2	44×38	31		
54	SP2120	ⅣX-62	B-2	89×66	30	ⅢB	SP2062, 2121, 2122と不明
54	SP2121	ⅣX-62	B-2	55×(46)	34		SP2120, 2122と不明
54	SP2122	ⅣX-62	B-2	90×83	49		SP2062, 2120, 2121, 2123と不明
54	SP2123	ⅣX-62	B-2	74×(55)	17		SP2062, 2122と不明
54	SP2124	ⅣW・X-62	B-1	160×107	33	ⅢB	

図	遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	分類	規模(cm) 長短軸 [柱痕径]	深さ	備考 (出土土器・新旧関係など)	
54	SP2128	ⅣW-63	B-2	57×(25)	22		SI104(SD08)より旧
54	SP2129	ⅣW-63	B-2	72×54	30		SI104(SD08)より旧
54	SP2140	ⅣU-62	B-2	68×44	42	ⅢG	
54	SP2141	ⅣX-62	B-2	59×(39)	23		SP2271と不明
51	SP2150	ⅤD-61	B-2	49×43	50	ⅢC	
47	SP2163	ⅤM-54	B-1	117×111	49	ⅢF	SI112(SP2503), SP1947より新
47	SP2173	ⅤL-54	B-2	67×(60)	50	ⅢB	SB36柱5, SI113(SP2193)より旧 SI113(SP1781, 1829)と不明
47	SP2175	ⅤL-55	B-2	88×(60)	43		SI113(SD04)より旧 SB36柱5より新
47	SP2179	ⅤJ-54	B-2	44×38	33		
47	SP2180	ⅤJ-54	B-2	35×30	36		
47	SP2181	ⅤJ-54	B-2	33×28	36		
44	SP2188	ⅤP-54・55	B-2	94×(46)	20		
44	SP2189	ⅤN-54	A	30×25 [25×18]	24		SP1783, 2190と不明
44	SP2190	ⅤO-54	A	58×47 [44×44]	48	ⅢF	SP1783より新 SP2189と不明
44	SP2191	ⅤN-55	A	125×(83) [46×(38)]	51	ⅢB	
44	SP2194	ⅤO-55	B-2	77×53	36	ⅢF	
44	SP2196	ⅤP-54	A	65×54 [(14×3)]	34		
44	SP2197	ⅤP-54	B-2	59×50	54	ⅢF	SP2463と不明
44	SP2198	ⅤP-54・55	A	165×104 [北:33×33 南:32×30]	47	ⅢB	SP2381から掘替 SP1872, 2470, 2483と不明
44	SP2199	ⅤQ-54	B-2	88×58	37	ⅢB	
54	SP2200	ⅣY-62	B-2	78×47	41	ⅢB	
44	SP2201	ⅤQ-54	B-2	70×52	49	ⅢA	
44	SP2202	ⅤQ-54	B-2	74×65	46	ⅢG	SP2406と不明
47	SP2204	ⅤN-54	A	77×(69) [30×(10)]	14		SP1630と不明
47	SP2205	ⅤI-54	B-2	62×(36)	29		SP1801と不明
47	SP2206	ⅤN-54	B-2	43×36	25		
47	SP2207	ⅤM-54	B-2	49×38	14	ⅢB	SB37柱1と不明
47	SP2209	ⅤM-54	A	70×68 [40×26]	62		
44	SP2210	ⅤP-54	B-2	36×31	24		
51・68	SP2214	ⅤA-61	A	99×76 [30×23]	59		沢3より旧
51	SP2215	ⅤA-61	B-2	66×56	33	ⅢB	沢3より旧
51	SP2225	ⅤB-61	B-2	73×44	27		
51・68	SP2234	ⅤC-60・61	A	58×58 [18×(13)]	38	ⅢB	SP2341より新
51・68	SP2235	ⅤC-60	A	92×75 [31×28]	55	ⅢB	
51	SP2244	ⅤC・D-60	A	162×100 [36×33]	81	ⅢB	SP2245, 2524より新 SP2246と不明
51	SP2245	ⅤC・D-60	A	92×(77) [38×31]	53	ⅢB	SP2244より旧
51	SP2246	ⅤD-60	B-1	142×(90)	40	ⅢB	SP2244, 2759, 2793と不明
54	SP2250	ⅣY-62	B-2	70×51	33	ⅢB	
49	SP2251	ⅤF-68	B-2	69×48	28		
49	SP2252	ⅤG・H-66	B-1	105×(90)	52		SB27柱1, SP1304と不明
52	SP2254	ⅤC-63	B-1	147×(95)	59	ⅢB	SB32柱3より旧 SP1589と不明
52	SP2257	ⅤE-66	B-2	48×36	36	ⅢB	
49	SP2258	ⅤF-66	B-2	96×(67)	36		SB30柱1より旧
52	SP2259	ⅤE-65	B-1	175×(88)	57		SB29柱6, SB30柱6より旧 H22調査SP626から掘替
52	SP2260	ⅤE-65・66	B-1	144×113	43		SP1665より旧
52・68	SP2261	ⅤA-64	A	62×59 [24×(21)]	64		
52・54	SP2263	ⅣY-63	B-2	57×46	29		SP1617と不明
54	SP2264	ⅣY-64	B-2	57×40	46	ⅢB	SP2265より新 SP1691と不明
54	SP2265	ⅣY-64	B-2	47×38	27		SP2264より旧
54・55	SP2267	ⅣX-64	B-2	46×(38)	45	ⅢB	
54	SP2269	ⅣW-62・63	B-2	57×42	21		
54	SP2271	ⅣX・Y-62	B-2	46×(41)	27		SP2141と不明
54	SP2273	ⅣX-61	B-1	150×(52)	29	ⅢB	SP2411, 2448, 2449と不明
54	SP2275	ⅣX-63	B-2	86×65	29		
54	SP2276	ⅣX-63	B-2	57×47	20		SP1286と不明
54	SP2280	ⅣX-64	B-2	27×25	42		
54	SP2281	ⅣX-64	B-2	28×25	38		
54	SP2290	ⅣT-62	B-2	39×32	16	ⅢB	SP2671と不明
54・74	SP2292	ⅣT-63	B-1	112×101	64	ⅢF	SP2293, 2674と不明
54	SP2293	ⅣT-63	B-2	69×65	15	ⅢE	SP2292と不明
52	SP2294	ⅣY-62・63	B-2	70	32		SP1165, 1166, 1285, 2295と不明
52	SP2295	ⅣY-63	B-2	57×(43)	31		SP1165, 2294と不明
52	SP2298	ⅣY-63	B-2	90×89	56	ⅢB	SP1617と不明
54	SP2302	ⅣX-62	B-2	96×(50)	49	ⅢB	SP2320と不明
54	SP2303	ⅣX-62	B-2	96×67	32	ⅢB	SP2333と不明
54	SP2316	ⅣY-62	B-1	109×78	51	ⅢF	SP2353より新 SP2371と不明
54	SP2317	ⅣY-62	B-2	80×74	47	ⅢB	
54・68	SP2318	ⅣY-62・63	A	97×(82) [35×(15)]	74	ⅢG	SI104(SD08)より旧
54	SP2320	ⅣX-62	B-1	106×78	34	ⅢC	SP2302と不明
54	SP2321	ⅣU-64	B-2	62×(54)	29		SI104(SD07)より旧
52	SP2324	ⅣY-63	B-2	94×88	67	ⅢC	
51	SP2327	ⅤB-61	B-2	44×32	23		
51・68	SP2328	ⅤB-61	A	38×32 [17×(8)]	24	ⅢB	
51	SP2329	ⅤB-61	B-2	27×25	10		
51	SP2330	ⅤB-61	B-2	29×26	14		
63	SP2331	ⅣJ-68	B-2	90×58	19		
63	SP2332	ⅣK-67・68	B-1	100×83	29		
54	SP2333	ⅣX-62	B-2	82×(79)	30	ⅢF	SP2303と不明
54	SP2334	ⅣY-62	B-2	67×64	37		
54	SP2336	ⅣX-62	B-2	93×(77)	25		SP2337と不明
54	SP2337	ⅣX-62	B-2	96×72	64		SP2336と不明
51	SP2341	ⅤC-60・61	B-2	76×(39)	33	ⅢB	SP2234より旧
51	SP2342	ⅤB-61	B-2	46×(39)	18	ⅢB	
51・68	SP2343	ⅤB-61	A	53×45 [23×(10)]	27		
51・69	SP2344	ⅤC-61	A	152×111 [50×34]	86	ⅢB	SB35柱3より新 SP2345から掘替
51	SP2347	ⅤA-61	B-2	39×29	27		
51	SP2348	ⅤA-61	B-2	34×33	25	ⅢB	
51	SP2350	ⅤB-61	B-2	40×33	24		
54	SP2353	ⅣY-62	B-2	84×(70)	68	ⅢB	SP2316より旧
54	SP2354	ⅣX-62	B-2	72×68	35		
51	SP2361	ⅤB-61	B-2	34×27	28	ⅢC	
51	SP2362	ⅤA-61	B-2	41×40	25	ⅢB	SP2363より新 沢3より旧
51	SP2363	ⅤA-61	B-2	44×38	25	ⅢB	SP2362, 沢3より旧
51	SP2364	ⅤA-61	B-2	64×47	25	ⅢC	
51	SP2365	ⅤC-61	B-2	48×41	41		
51	SP2366	ⅤC-60	A	119×(84) [28×(19)]	57	ⅢB	SP2524より新
51	SP2368	ⅤA-60・61	B-2	31×30	19	ⅢB	
51	SP2369	ⅤA-61	B-2	31×26	13	ⅢC	沢3より旧
52・69	SP2370	ⅤD-63	A	71×64 [26×(15)]	50		
54	SP2371	ⅣY-62	B-2	43×26	33		SP2316と不明
54	SP2379	ⅣY-62	B-2	47×(40)	16		SI106(SD09)より旧
47	SP2384	ⅤN-55	B-2	57×40	25		
44	SP2387a	ⅤN-54	B-2	51×(39)	27		SP1718, 2387bと不明
44	SP2387b	ⅤN-54	B-2	46×39	28		SP1718, 2387aと不明
54	SP2391	ⅣX-61	B-2	57×(56)	41	ⅢB	SP2411と不明
55	SP2394	ⅣT-64	B-2	78×(50)	45	ⅢB	SP2413と不明
54	SP2396	ⅣU-64	B-2	84×70	50	ⅢE	SP2414より新
55・74	SP2399	ⅣY・W-64	B-1	174×(92)	67	ⅢF	SI104(SD06, SD05, SP2310, 2447)より旧
54	SP2400	ⅣY・W-62	B-1	141×126	37	ⅢG	
44	SP2401	ⅤN-54・55	A	120×(87) [37×31]	54	ⅢB	
44	SP2403	ⅤO-55	B-2	78×67	32	ⅢB	SP2386と不明
44	SP2405	ⅤO-54	B-2	55×48	30		SP1708と不明
44	SP2406	ⅤQ-54	B-2	96×71	46		SP2202と不明
54	SP2411	ⅣX-61	A	50×(48) [25×(12)]	22	ⅢB	SP2273, 2391と不明
55	SP2413	ⅣT-64	B-2	42×39	50	ⅢB	SP2394と不明
54	SP2414	ⅣU-64	B-2	54×(49)	39	ⅢA	SP2396より旧 SP2442と不明
51	SP2417	ⅣY-61	B-2	35×30	46	ⅢB	沢3より旧
54	SP2420	ⅣU-62・63	B-1	105×82	38	ⅢB	
48	SP2422	ⅤG-60	B-2	76×69	29		
51	SP2424	ⅤC-62	B-2	63×42	38		
52	SP2425	ⅤC-62	B-2	35×26	19		SP1631と不明
52	SP2426	ⅤB・C-63	B-2	74×58	29		
52	SP2428	ⅤB-63	B-2	59×58	19		
51	SP2429	ⅤE-62	B-2	59×55	47		
52	SP2430	ⅤD-63	B-2	75×63	28		
48	SP2431	ⅤF-62	B-2	94×88	63		
51	SP2432	ⅤD-61	B-2	91×77	43		SP2433より新 SP2434と不明
51	SP2433	ⅤD-61	B-1	162×111	66	ⅢB	SP2432より旧

図	遺構名	ﾃﾞｰﾀｯﾌﾟ	分類	規模（cm） 長軸軸 [柱痕径]	深さ	備考 （出土土器・新旧関係など）
51	SP2434	Ⅴ D-60・61	B-2	(76)	27	SP2038から掘替 SP2433、2435より旧 SP2432より新
51	SP2435	Ⅴ D-61	B-2	83×63	44	ⅢB SP2434より新
44	SP2437	Ⅴ Q-54	B-2	43×35	17	S1109(SP2404)より新
44	SP2438	Ⅴ Q-55	B-2	80×53		SB388E1, S1111(SP2521)より新
54	SP2441	Ⅳ F-63	B-2	81×(50)	18	ⅢB S1104(SB67、68)より新
54	SP2442	Ⅳ T-I・64	B-2	84×73	33	ⅢF SP2414より新
54	SP2444	Ⅳ R-61	B-2	45×40	38	ⅢB
54	SP2446	Ⅳ S-61	B-2	43×36	29	SP2273より新
54	SP2449	Ⅳ S-61	B-2	52×45	44	ⅢB SP2273より新
54	SP2450	Ⅳ W-61・62	B-2	64×53	50	
54・69	SP2451	Ⅳ O-63	A	77×(65) [26×(12)]	59	ⅢG S1104(SB68)より旧 SP2452より新
54	SP2452	Ⅳ F-63	B-1	112×100	56	ⅢB S1104(SB68)、SP2451より旧
54	SP2455	Ⅳ F-61	B-2	55×54	37	ⅢB SP2456より旧
54	SP2456	Ⅳ F-61・62	B-2	65×53	42	ⅢB SP2455より新
54・69	SP2457	Ⅳ W-61	A	91×85 [26×(18)]	47	ⅢB
54	SP2458	Ⅳ W-61	B-2	44×37	34	ⅢB
54	SP2459	Ⅳ W-62	B-2	54×53	29	ⅢB
44	SP2463	Ⅴ P-54・55	B-2	68×33	38	ⅢF SP2197と不明
44	SP2464	Ⅴ O-54	B-1	107×68	43	SP1787と不明
44	SP2465	Ⅴ O-54	B-2	48×45	23	
44	SP2469	Ⅴ P-54	B-2	60×(38)	48	SP1869と不明
44	SP2470	Ⅴ P-54	B-2	(54)	30	SP2198、2483と不明
54	SP2473	Ⅳ C-63	B-2	56×(53)	32	
54	SP2476	Ⅳ S-61・62	B-2	56×41	34	ⅢB SP2477より新
54	SP2477	Ⅳ V-61	B-2	59×46	33	ⅢB SP2476より新
54	SP2478	Ⅳ W-61	B-2	47×43	38	
54	SP2479	Ⅳ W-61	B-2	30×27	47	
57	SP2481	Ⅳ P-53	B-2	74×61	23	ⅢB
44	SP2483	Ⅴ P-54	B-2	91×56	40	ⅢB SP2198、2470と不明
44	SP2496	Ⅴ P-54	B-2	64×45	29	SP1712と不明
44	SP2497	Ⅴ O-54	B-2	40×35	32	SP1707と不明
54	SP2488	Ⅴ O-55	B-2	40×30	24	
54	SP2489	Ⅴ N-55	B-2	45×40	39	
54	SP2493	Ⅳ K-62	B-2	71×(41)	31	ⅢB SP2059より旧
54	SP2495	Ⅳ C-63	B-1	124×102	95	ⅢB
54	SP2497	Ⅳ X-61	B-2	27×20	29	
54	SP2498	Ⅳ E-62	B-2	83×68	58	ⅢB SP2499より新
54	SP2499	Ⅳ I-62	B-2	93×57	41	ⅢG SP2498より旧
54・74	SP2500	Ⅳ C-62	B-1	118×104	78	ⅢG
47	SP2505	Ⅴ N-54・55	B-2	73×66	54	
54	SP2506	Ⅳ T-63	B-2	43×40	23	
54	SP2507	Ⅳ T-63	B-2	51×37	13	
54	SP2508	Ⅳ T-62	B-2	75×(63)	24	
54	SP2509	Ⅳ T-62	B-2	76×66	32	ⅢC
54	SP2510	Ⅳ U-62	B-2	68×51	38	
54・55	SP2511	Ⅳ T-64	B-2	61×52	42	ⅢB
54・74	SP2518	Ⅳ U-63・64	B-1	132×104	88	ⅢB S1104(SB67)より旧
54・74	SP2519	Ⅳ T-64	B-1	142×109	50	ⅢF
48	SP2523	Ⅵ H-61	B-2	50×40	49	
51	SP2524	Ⅵ C-60	B-2	(52)	16	ⅢB SP2244、2366より旧
48	SP2525	Ⅵ J-61	B-2	48×(35)	24	SP2382より旧
48	SP2526	Ⅵ I-61	B-2	46×42	30	
48	SP2527	Ⅵ H-61	B-1	130×85	51	
48	SP2528	Ⅵ I-61	B-2	39×36	39	
48	SP2529	Ⅵ G-61	B-2	46×44	31	
50	SP2530	Ⅵ G-52・53	B-2	76×68	24	
48	SP2531	Ⅵ I-61	B-2	62×51	41	
48	SP2532	Ⅵ J-61	B-2	48×42	20	
51	SP2533	Ⅵ B-61	B-2	53×41	24	
51	SP2534	Ⅵ B-61	B-2	47×33	17	
48	SP2535	Ⅵ I-61	B-2	59×49	27	
48・69	SP2536	Ⅵ K-61	A	113×105 [20×18]	33	
51	SP2539	Ⅵ D-60・61	B-1	104×63	51	ⅢB
47	SP2540	Ⅵ T-54	B-2	84×68	32	ⅢF
54	SP2541	Ⅳ T-I・63	B-2	72×62	48	SP2571より新 SP2573と不明
54	SP2542	Ⅳ E-63	B-2	63×48	49	ⅢB SP2097と不明
54	SP2543	Ⅳ C-63	B-2	44×32	24	
54	SP2544	Ⅳ C-62	B-1	109×102	30	
54	SP2545	Ⅳ R-61	B-2	45×40	23	ⅢB
54	SP2547	Ⅳ W-61	B-2	37×32	22	ⅢB
54	SP2548	Ⅳ X-61	B-2	(21)	48	ⅢB
54	SP2549	Ⅳ X-61	B-2	29×23	23	ⅢB
54	SP2551	Ⅳ E-64	B-2	48×(41)	41	SP2552と不明

図	遺構名	ﾃﾞｰﾀｯﾌﾟ	分類	規模（cm） 長軸軸 [柱痕径]	深さ	備考 （出土土器・新旧関係など）
54	SP2552	Ⅳ C-64	B-2	50×44	31	SP2551と不明
54	SP2554	Ⅳ T-63	B-2	42×37	26	
59・69	SP2555	Ⅳ S-63・64	A	74×61 [31×32]	52	ⅢB
59・75	SP2556	Ⅳ R-64	B-1	130×110	57	ⅢB
59・75	SP2557	Ⅳ W-64	B-1	112×94	61	ⅢB SP2558より新
59	SP2558	Ⅳ W-64	B-2	61×(74)	54	ⅢB SP2557より旧
57	SP2561	Ⅳ P-53	B-2	36×30	6	
57・62	SP2562	Ⅳ P-53	B-2	29×(25)	11	
58	SP2563	Ⅳ P-56	B-2	59×46	46	
58	SP2564	Ⅳ P-56	B-2	57×39	27	
54	SP2565	Ⅳ T-62	B-2	58×48	28	ⅢB
54	SP2566	Ⅳ T-64	B-2	66×58	46	ⅢB
54	SP2567	Ⅳ C-63	B-2	48×44	39	SP2576より新
51	SP2568	Ⅵ A-62	B-2	53×48	29	的(3より旧
51	SP2569	Ⅵ A-61	B-2	52×42	30	的(3より旧
59	SP2570	Ⅳ P-64	B-2	78×69	26	ⅢB
54	SP2571	Ⅳ T-63	B-2	65×(53)	43	ⅢB SP2541より旧 SP2573より不明
54	SP2572	Ⅳ C-63	B-2	48×37	22	ⅢG
54	SP2573	Ⅳ T-63	B-2	39	28	SP2541、2571より新
59	SP2574	Ⅳ W-63・64	B-1	179×152	17	ⅢB SP2576、2657、2658、2665と不明
54	SP2575	Ⅳ S-64	B-2	73×51	48	ⅢB
54	SP2576	Ⅳ T-63	B-2	42×36	33	SP2567より旧
54・75	SP2577	Ⅳ S-T-63	B-1	126×104	29	ⅢB
54	SP2578	Ⅳ W-61	B-2	33×32	31	ⅢB
59	SP2579	Ⅳ S-63	B-2	41×(38)	29	ⅢG SP2613と不明
59	SP2580	Ⅳ E-63	B-2	57×(52)	27	
57・58・75	SP2581	Ⅳ O-P-55	B-1	167×153	61	ⅢB
48	SP2582	Ⅵ J-61	B-2	74×(56)	20	ⅢB SP2583より旧 SP2525より新
48・69	SP2583	Ⅵ J-61	A	82×62 [23×(17)]	34	SP2582より新
48	SP2584	Ⅵ G-61	B-2	64×52	27	
48	SP2585	Ⅵ K-62	B-2	38×35	18	
48	SP2586	Ⅵ K-61・62	B-2	94×54	40	
48	SP2587	Ⅵ I-60	B-2	58×48	42	
48	SP2588	Ⅵ J-61	B-2	59×(39)	33	SP2589より新
48	SP2589	Ⅵ J-61	B-2	73×58	39	SP2588より新
50	SP2590	Ⅵ G-53	B-2	83×81	35	
58	SP2591	Ⅳ Q-55・56	B-2	53×44	39	
58	SP2592	Ⅳ Q-55	B-2	70×43	29	
58	SP2593	Ⅳ Q-55・56	B-2	57×50	45	ⅢF
48	SP2596	Ⅵ K-61	B-2	46×45	39	
48	SP2598	Ⅵ K-61	B-2	62×48	34	
48	SP2599	Ⅵ K-61	B-2	82×76	35	
48	SP2600	Ⅵ L-61	B-2	60×52	31	
48	SP2601	Ⅵ H-G-61	B-2	74×53	36	
48	SP2602	Ⅵ K-61	B-2	84×73	4	
51・69	SP2603	Ⅵ E-60	A	144×138 [35×34]	70	ⅢB SP2427から掘替
48・69	SP2604	Ⅵ J-61	A	82×75 [(26×17)]	44	
48	SP2607	Ⅵ L-61	B-1	102×70	28	
45・69	SP2608	Ⅵ K-61	A	47×41 [22×(15)]	27	ⅢA
48	SP2609	Ⅵ K-61	B-2	75×62	46	
45・69	SP2610	Ⅵ W-61	A	81×56 [14×(7)]	47	ⅢC SP1501から掘替
59	SP2611	Ⅳ Q-64	B-2	98×91	53	ⅢB SP2878と不明
54	SP2612	Ⅳ U-62	B-2	50×46	42	
59	SP2613	Ⅳ S-63	B-2	61×58	56	ⅢG SP2579より旧
59	SP2614	Ⅳ R-64	B-2	67×54	33	
54	SP2616	Ⅳ T-64	B-2	74×48	36	ⅢG
59・75	SP2620	Ⅳ O-63	B-1	198×184	57	ⅢB
45	SP2621	Ⅵ I-61	B-2	37×32	25	
51	SP2624	Ⅵ D-60	A	164×(123) [(49×20)]	71	SP2694と不明
45	SP2626	Ⅵ L-61	B-2	65×(48)	36	SP1389より旧
45	SP2627	Ⅵ M-62	B-2	75×(41)	39	SP1055より旧
45	SP2628	Ⅵ H-63	B-2	31×30	32	
51	SP2629	Ⅵ E-60	B-2	40×33	36	
45	SP2630	Ⅵ N-62	B-2	50×48	29	
57	SP2631	Ⅳ P-Q-54	B-2	98×78	18	S1102(SD18)より新
57	SP2632	Ⅳ Q-54	B-2	49×(36)	38	
59	SP2634	Ⅴ F-53	B-2	36×32	27	
45	SP2635	Ⅵ N-62・63	B-1	106×(79)	40	SP1086より旧
45	SP2637	Ⅵ L-61	B-1	102×74	27	

図	遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	分類	規模(cm) 長短軸[柱痕径]	規模(cm) 深さ	備考(出土土器・新旧関係など)	
45	SP2638	ⅤM・N-61	B-2	47×39	16		
45	SP2639	ⅤM-62	B-2	73×(39)	30		SP1055より旧
45	SP2640	ⅤP・Q-62	B-2	77	45		SB22柱1, SB22柱5と不明
58・75	SP2642	ⅣQ-59	B-1	114×111	33	ⅢB	
59・75	SP2648	ⅣN-64・65	B-1	169×152	51	ⅢF	SP2649より旧
59	SP2649	ⅣN-65	B-2	29×25	49	ⅢB2	SP2648より新
54	SP2650	ⅣS-64	B-2	50×39	37		
59・75	SP2651	ⅣO-64	B-1	178×144	80	ⅢB	
59	SP2652	ⅣR-63	B-2	64×(53)	21	ⅢB	SP2653より旧
59	SP2653	ⅣR-63	B-2	46×37	37		SP2652より新 SP2665と不明
59	SP2656	ⅣR-63	B-2	38×(27)	33	ⅢB	SP2574, 2657, 2658と不明
59	SP2657	ⅣR-63	B-2	63×49	49	ⅢB	SP2574, 2656, 2658と不明
59	SP2658	ⅣR-64	B-2	43×(26)	24		SP2574, 2656, 2657と不明
59	SP2659	ⅣR・S-63	B-2	48×35	18	ⅢC	
54	SP2660	ⅣT-63	B-2	34×32	20		
54	SP2661	ⅣT-63	B-2	33×29	21	ⅢB	
54	SP2662	ⅣT-63	B-2	42×37	35		SP2134から振替
54	SP2664	ⅣS・T-63	B-2	57×53	55	ⅢB	
59	SP2665	ⅣR-63	B-2	35×(34)	28	ⅢB	SP2574, 2653と不明
54	SP2670	ⅣT-62	B-2	63×49	24	ⅢF	SD16と不明
54	SP2671	ⅣT-62	B-2	83×62	37	ⅢB	SD16, SP2098, 2290と不明
54	SP2674	ⅣT-63	B-2	44×24	42		SP2292と不明
58	SP2676	ⅣN-58	B-2	78×67	24		
48	SP2677	ⅤK-60・61	B-2	65×52	50		
45	SP2678	ⅤQ-61	B-2	58×46	53		
45	SP2679	ⅤQ-63	B-2	65×(42)	42		SP1450と不明
45・69	SP2682	ⅤM-61	A	105×(76) [22×(13)]	52		SP2683と不明
45	SP2683	ⅤM-61	B-2	89×(42)	34		SP2682と不明
45	SP2684	ⅤP-62	B-2	70×62	23		
51	SP2685	ⅤD-60	B-2	52×41	20		
45	SP2686	ⅤQ-62	B-2	71×(38)	37		SB22柱4と不明
45	SP2687	ⅤM-64	B-2	53×45	38		
45	SP2688	ⅤP-62	B-2	96×75	34	ⅢB	
45	SP2689	ⅤQ-61	B-1	127×90	35		
51	SP2690	ⅤE-61	B-2	35×31	29		
45	SP2691	ⅤQ-62	B-2	84×60	20		
46	SP2692	ⅤP-64	B-2	55×44	40		SP2693と不明
46	SP2693	ⅤP-64	B-2	50×47	26		SP2692と不明
51	SP2694	ⅤD-60	B-1	109×(40)	40	ⅢC	SP2624, 2794と不明
51・75	SP2695	ⅤE-60	B-1	124×98	75		SB20柱1, SP2711より新
57	SP2696	ⅣP-54	B-2	31×28	29		
57	SP2697	ⅣP-54	B-2	30×25	15		
57	SP2698	ⅣO-53	B-2	36×25	27		
57	SP2699	ⅣP-55	B-2	25×(20)	7		SI102(SD18)より旧
57	SP2700	ⅣP-55	B-2	38×35	31		SI102(SD18)より新
58	SP2701	ⅣP-57	B-2	70×(63)	31		
54	SP2703	ⅣU-62	B-2	37×30	32		SD16と不明
59	SP2708	ⅣP-65	B-2	51×33	35		SP1375と不明
54	SP2709	ⅣT-63	B-2	27×21	18	ⅢB	
59	SP2710	ⅣQ-64	B-2	98×63	34	ⅢC	
51・75	SP2711	ⅤE-60	B-1	146×(34)	57		SP2695より旧 SP2794より新
46	SP2712	ⅤM-66	B-2	78×(59)	29		SB25柱6と不明
45・69	SP2713	ⅤP-63	A	88×(71) [45×35]	50	ⅢB	SB22柱5より旧
46	SP2714	ⅤO-64・65	B-2	55×44	25		
46	SP2715	ⅤO-64	B-2	49×42	19		
57	SP2716	ⅣM-52	B-2	46×38	38		
57	SP2717	ⅣM-52	B-2	50×42	49		
57	SP2718	ⅣM-52	B-2	38×31	21	ⅢB	
57	SP2719	ⅣN-52	B-2	60×50	30		
57	SP2720	ⅣM-53	B-2	29×24	16		
57	SP2721	ⅣN-53	B-2	50×(32)	23		SP2722, 2841と不明
57	SP2722	ⅣN-53	B-2	47×(44)	19		SP2721, 2840, 2841と不明
57	SP2723	ⅣN-53	B-2	61×58	14		SP2840と不明
57	SP2726	ⅣN-52	B-2	73×66	22	ⅢB	SP2727と不明
57	SP2727	ⅣN-53	B-2	38×(28)	25		SP2726と不明
57	SP2728	ⅣO-53	B-2	45×39	35		
57	SP2729	ⅣO-53	B-2	39×36	15		
57	SP2730	ⅣN-53	B-2	59×49	40	ⅢB	
57	SP2731	ⅣN-53・54	B-2	42×37	42		SP2810と不明
57	SP2733	ⅣN-53	B-2	88×59	23		
57	SP2735	ⅣM・N-53	B-2	40×32	20		
57	SP2736	ⅣM-53	B-2	32×30	20	ⅢB	
57	SP2737	ⅣM-53	A	44×(33) [19×(9)]	19		
57	SP2738	ⅣM-53	B-2	86×52	28	ⅢB	

図	遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	分類	規模(cm) 長短軸[柱痕径]	規模(cm) 深さ	備考(出土土器・新旧関係など)	
57	SP2739	ⅣM-53	B-2	50×46	21		
61	SP2740	ⅣM-54	B-2	41×35	27		
61	SP2741	ⅣL-54	B-2	52×43	33		
57	SP2744	ⅣN-54	B-2	84×66	25		
57	SP2745	ⅣM・N-55	B-2	53×(47)	23		SP2792, 2811と不明
58	SP2748	ⅣL-56	B-2	44×43	28		
58・76	SP2749	ⅣM-58・59	B-1	191×130	43		
57	SP2750	ⅣM-54	B-2	48×45	41		
58・62	SP2751	ⅣL-58	B-2	87×(82)	63	ⅢB	
58	SP2752	ⅣN-56	B-2	65×57	22		
58	SP2753	ⅣN-55	A	23×21 [20×12]	14		
58	SP2754	ⅣN-56	B-2	39×24	27	ⅢF	
46	SP2755	ⅤM-66	B-2	86×(59)	52		SB24柱5と不明
46	SP2756	ⅤP-64	B-2	50×44	42		
46・76	SP2757	ⅤP・Q-65	B-1	154×106	47		
46	SP2758	ⅤP-65	B-1	130×(106)	44	ⅢF	SP1028と不明
51	SP2759	ⅤD-60	B-2	79×65	75		SP2246, 2793と不明
54	SP2763	ⅣT-63	B-2	47×33	44		
59	SP2764	ⅣQ-63	B-2	39×35	34		
59	SP2765	ⅣQ-64	B-2	32×28	17	ⅢB	
59	SP2766	ⅣO-64	B-2	30×27	38	ⅢB	
59	SP2767	ⅣO-64	B-2	46×39	38		
54	SP2768	ⅣT-63	B-2	33×30	40	ⅢB	
54	SP2769	ⅣS-63	B-2	42×40	40	ⅢB	
54	SP2770	ⅣS-63	B-2	38×37	41		
57	SP2771	ⅣM-52	B-2	37×34	18	ⅢC	
58	SP2773	ⅣP・Q-58	B-2	74×49	33		
58	SP2774	ⅣM-57	B-2	54×52	20	ⅢB	
58	SP2775	ⅣM-57	B-2	40×38	39		
57	SP2776	ⅣP-54	B-2	35×34	14		
62	SP2777	ⅣL-56	B-2	62×(46)	23		
54	SP2778	ⅣS-62	B-2	57×51	28	ⅢB	
54	SP2779	ⅣU-63	B-2	52×44	37		SD16, SP2780と不明
54	SP2780	ⅣU-63	B-2	79×59	36		SD16, SP2779と不明
54	SP2781	ⅣU-62	B-2	42×36	31		
59	SP2782	ⅣM・N-65	B-2	85×73	28	ⅢA	SP2834より新
59	SP2784	ⅣS-63	B-2	69×57	34		
54	SP2785	ⅣS-62	B-2	36×33	27		
59	SP2786	ⅣS-62	B-2	29×26	15	ⅢB	
54・59	SP2787	ⅣS-63	B-2	58×(33)	44	ⅢB	SP2788と不明
59	SP2788	ⅣS-63	B-2	51×(50)	45		SP2787と不明
59	SP2789	ⅣS-63	B-2	50×43	40		
59	SP2790	ⅣS-63	B-2	50×49	31		
57・58	SP2791	ⅣM-55	B-2	67×51	20		SP2845と不明
57	SP2792	ⅣN-55	B-2	61×37	29		SP2745, 2811と不明
51	SP2793	ⅤC・D-60	B-1	106×(94)	58		SB20柱2, SP2246, 2759 と不明
51・75	SP2794	ⅤD・E-60	B-1	153×(77)	63	ⅢB	SP2711より旧 SP2694と不明
52	SP2795	ⅤE-63	B-2	54×51	34		
57	SP2796	ⅣM-55	B-2	48×(47)	23		
57	SP2797	ⅣM-55	B-2	56×48	23		
57	SP2798	ⅣM-55	B-2	97×82	38		
57	SP2799	ⅣM-55	B-2	61×37	27		
57	SP2806	ⅣP-54	B-2	28×(20)	19		SI102(SD18)より旧
57	SP2808	ⅣP-54	B-2	37×32	34		
57	SP2809	ⅣO-54	B-2	57×50	23	ⅢB	
57	SP2810	ⅣN-54	B-2	35×33	34	ⅢB	SP2731と不明
57	SP2811	ⅣM-55	B-2	63×(33)	48		SP2745, 2792と不明
57	SP2812	ⅣP-54	B-2	74×44	47		
57	SP2813	ⅣO-53	B-2	73×61	39		
57	SP2814	ⅣO-54	B-2	42×36	26		SP2849と不明
57	SP2815	ⅣO-54	B-2	42×41	34		
58	SP2817	ⅣO-55	B-2	50×33	28		
59	SP2818	ⅣS-63	B-2	52×(26)	37		SP2819と不明
59	SP2819	ⅣS-62・63	B-2	56×47	43	ⅢB	SP2818と不明
54	SP2820	ⅣS-62	B-2	37×(25)	12		
54	SP2821	ⅣS-62	B-2	39×34	22		
59	SP2822	ⅣR・S-63	B-2	28×26	34		
59	SP2823	ⅣS-64	B-2	46×43	20	ⅢB	
59	SP2824	ⅣO-64	B-2	37×34	14		
54	SP2825	ⅣS-64	B-2	41×40	38	ⅢB	
59	SP2826	ⅣO-64・65	B-2	97×(72)	39	ⅢB	SP1583と不明
63	SP2827	ⅣK-66	B-2	94×67	52	ⅢB	
54	SP2828	ⅣS-64	B-2	37×30	28	ⅢB	
54	SP2829	ⅣS-64	B-2	29×22	22		
54	SP2830	ⅣT-62	B-2	53×38	32	ⅢB	
58	SP2831	ⅣN-55	A	42×39 [27×24]	32	ⅢC	

図	遺構名	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	分類	規模(cm) 長短軸[柱痕径]	深さ	備考(出土土器・新旧関係など)	
58	SP2832	ⅣN-56	B-2	29×25	11		
59・76	SP2833	ⅣN-64	B-1	114×79	55	ⅢD1	SP2862と不明
59・76	SP2834	ⅣM-65	B-1	181×173	60	ⅢB	SP2782より旧
59	SP2835	ⅣR-63	B-2	52×51	62		
57	SP2836	ⅣP-52	B-2	26×23	12		
57	SP2837	ⅣP-53	B-2	47×(40)	10		
57	SP2838	ⅣN・O-54	B-2	95×88	40		
58	SP2839	ⅣO-55	B-2	26×18	14		
57	SP2840	ⅣN-53	B-2	45	11		SP2722, 2723, 2841と不明
57	SP2841	ⅣN-53	B-2	56×(39)	17		SP2721, 2722, 2840と不明
58	SP2842	ⅣN-58	B-2	62×46	31		
58	SP2843	ⅣO-58	B-2	61×45	17		
58	SP2844	ⅣM-55	B-2	41×39	47		
58	SP2845	ⅣM-55	B-2	73×(62)	37		SP2791と不明
57	SP2846	ⅣO-55	B-2	50×23	16		
57	SP2847	ⅣP-52	B-2	30×23	18		
62	SP2848	ⅣL-57	B-2	40×38	23		
57	SP2849	ⅣO-54	B-2	41×31	14		SP2814と不明
66	SP2850	ⅣD-71	B-2	39×(25)	29		
66	SP2851	ⅣD-71	B-2	78×(25)	21	ⅢB	SP2927と不明
66・76	SP2852	ⅣE・F-71	B-1	160×114	38	ⅢB	SP2901より新
63・76	SP2853	ⅣI-68	B-1	204×184	76	ⅢB	SP2902より新
65	SP2854	ⅣE-68	B-2	74×60	46		
65	SP2855	ⅣE-68・69	B-2	61×52	55		
59	SP2856	ⅣR-63	B-2	40×38	47		
59	SP2857	ⅣR-63	B-2	27×26	19		
59	SP2858	ⅣP-63	B-2	43×37	24		
59	SP2859	ⅣP-64	B-2	44×43	48		
59	SP2860	ⅣP-64	B-2	37×36	30		
59	SP2861	ⅣO-65	B-2	48×44	46		
59	SP2862	ⅣN-64	B-2	38×(26)	38		SP2833と不明
63	SP2863	ⅣL-65	B-2	52×50	50		
63	SP2864	ⅣL-66	B-2	46×26	20		SP2865と不明
63	SP2865	ⅣL-66	B-2	53×51	38		SP2864と不明
63	SP2866	ⅣK-66	B-2	36×32	31		
59・76	SP2867	ⅣP-64・65	B-1	101×(97)	24	ⅢG	
54	SP2868	ⅣW-63	B-2	65×(49)	30		
54	SP2869	ⅣW-63	B-2	50×36	21		
59・69	SP2870	ⅣO-64	A	48×44 [20×17]	59	ⅢB	
59	SP2871	ⅣM-65	B-2	55×45	43		
59	SP2872	ⅣN-65	B-2	29×27	22		
59	SP2873	ⅣM-65	B-2	35×31	46		
59	SP2874	ⅣN-64	B-2	36×32	23		
59	SP2875	ⅣP-64	B-2	39×36	34	ⅢC	
59	SP2876	ⅣO-64	B-2	35×32	37		SP2877と不明
59	SP2877	ⅣO-64	B-2	29×(25)	25		SP2876と不明
59	SP2878	ⅣQ-64	B-2	33×(21)	40	ⅢB	SP2611と不明
54	SP2879	ⅣU-62	B-2	57×45	40	ⅢC	
63	SP2880	ⅣI-68	B-2	86×63	52		
62	SP2883	ⅣK-58	B-2	79×78	36		
62	SP2885	ⅣL-57	B-2	37×26	31		
62	SP2886	ⅣK・L-58	B-2	54×43	19		
57	SP2887	ⅣO-53	B-2	22×21	15		
57	SP2888	ⅣO-54	B-2	25×22	18		
57	SP2889	ⅣO-54	B-2	37×35	18		
58	SP2890	ⅣM-57・58	B-2	54×42	21		
58	SP2891	ⅣM-57	B-2	30×23	10		
58	SP2892	ⅣM-57	B-2	22×20	25		
62	SP2893	ⅣK-57	B-2	53×31	30		SP2894と不明
62	SP2894	ⅣK-57	B-2	61×46	21		SP2893と不明
57	SP2895	ⅣO・P-52	B-2	55×48	28		
58	SP2896	ⅣL-57	B-2	45×32	20		
58	SP2897	ⅣL-57	B-2	41×36	31		
65	SP2898	ⅣE-70	B-2	98×(59)	30		
65	SP2899	ⅣF-67	B-2	(80)	30		
65	SP2900	ⅣF-67	B-2	(29)	9		
66・76	SP2901	ⅣE-70・71	B-1	118×(110)	40		SP2852より旧
63	SP2902	ⅣI-68	B-1	101×71	35		SP2853, 2903より旧
63・76	SP2903	ⅣH・I-68	B-1	211×192	96	ⅢB	SP2902より新
63	SP2904	ⅣH-66	B-1	115×89	40		SP2905と不明
63	SP2905	ⅣH-66	B-2	95×75	32		SP2904と不明
62	SP2906	ⅣK-57	B-2	45×28	21		
62	SP2907	ⅣK-57	B-2	59×37	31		
64	SP2908	ⅣG-70	B-2	78×75	36		
64	SP2909	ⅣH-69	B-2	59×54	33		
64	SP2910	ⅣH-69	B-2	61×56	33		
58	SP2911	ⅣM-58	B-2	53×39	39		
57	SP2912	ⅣM-55	B-2	43×36	19		
58	SP2913	ⅣM-56	B-2	37×34	22		
62	SP2914	ⅣL-57	B-2	36×33	19		
66	SP2915	ⅣC-72	B-2	48×45	45	ⅢB	
63	SP2916	ⅣG・H-66	B-2	58×53	34		
63	SP2917	ⅣG-66	B-2	55×46	32		
63	SP2918	ⅣI-68	B-2	84×80	56		
66	SP2919	ⅣD-72	B-2	(27)	21		
66	SP2920	ⅣC-72	B-2	35×32	29		
58	SP2921	ⅣM-58	B-2	33×25	22		
58	SP2922	ⅣM-56	B-2	47×45	37	ⅢB	
58	SP2923	ⅣP-55・56	B-2	40×37	37		
58	SP2924	ⅣP・Q-55	B-2	35×32	40		
66	SP2926	ⅣD-71	B-2	62×54	28		
66	SP2927	ⅣD-71	B-2	57×43	14		SP2851と不明
66	SP2928	ⅣC・D-71	B-2	55×46	31		
66	SP2929	ⅣC-71	B-2	38×34	12		
66	SP2930	ⅣC-70	B-2	40×37	15		
66	SP2931	ⅣD-70	B-2	37×34	18		
66	SP2932	ⅣD-70	B-2	32×30	17		
62	SP2933	ⅣL-57	B-2	33×(14)	21		
66	SP2934	ⅣC-72	B-2	33×30	34		
58	SP2935	ⅣM-57	B-2	23×18	13		
58	SP2936	ⅣM-57	B-2	28×24	18		
63	SP2938	ⅣI-68	B-2	75×67	38		
63	SP2939	ⅣI-68	B-2	67×63	48		
63	SP2940	ⅣI-67・68	B-2	58×51	34		
58	SP2941	ⅣO-56・57	B-2	55×39	36		
57	SP2943	ⅣQ-55	B-2	38×35	35		
43	SP2944	ⅤY-65	B-2	60×47	55		H22調査SP684から振替
43	SP2945	ⅤU-63	B-2	77×59	38		H22調査SP853から振替
43	SP2946	ⅤU-64	B-2	67×(65)	48		H22調査SP856から振替
43	SP2947	ⅤU-65	B-2	85×74	77		H22調査SP871から振替
43	SP2948	ⅤU-65	B-1	163×103	101		H22調査SP872から振替
43	SP2949	ⅤU-63	B-2	52×29	33		H22調査SP873から振替
43	SP2950	ⅤY-65	B-2	38×33	30		H22調査SP874から振替
43	SP2951	ⅤW-64	B-2	57×48	32		H22調査SP875から振替
65	SP3001	ⅢY-60	B-2	25×23	19		
65	SP3002	ⅢU-60	B-2	27×23	27		
65	SP3003	ⅢY-60	B-2	26×25	11		
61	SP3004	ⅣI・J-52	B-1	149×(69)	64	ⅢB	
61・77	SP3005	ⅣI-52・53	B-1	126×112	53	ⅢB	
62	SP3006	ⅣH-56	B-2	50×44	26		
62	SP3007	ⅣH-56	B-2	40×36	25		
62	SP3008	ⅣH-55	B-2	37×29	30		
62	SP3009	ⅣI-57	B-2	47×41	35		
62	SP3010	ⅣI-57	B-2	46×43	36		
62	SP3011	ⅣI-57	B-2	48×43	27		
61	SP3012	ⅣL-52	B-1	102×(88)	24		
61	SP3013	ⅣL-51	B-2	97×(95)	30		
57	SP3014	ⅣM-52	B-2	70×66	36		
61	SP3015	ⅣL-53	B-2	72×71	45		
61	SP3016	ⅣL-53	B-2	71×53	45		
62・77	SP3017	ⅣJ-57	B-1	149×146	47	ⅢB	
62・77	SP3018	ⅣI・J-57	B-1	135×(114)	40		
62	SP3019	ⅣJ-58	B-2	61×49	38		
62	SP3020	ⅣJ-58	B-2	87×75	32		
62	SP3021	ⅣI-58	B-2	63×50	47		
62	SP3022	ⅣJ-57	B-2	43×39	32		
61	SP3023	ⅣL-53・54	B-2	39×29	24		
62	SP3024	ⅣI-58	B-2	36×34	36		
62・77	SP3025	ⅣJ-57・58	B-1	259×246	87	ⅢF	
53	SP3026	ⅤB-68	B-2	68×59	30		
123・124	BSP01	ⅢS-56	B-1	205×136 [56×50]	50	ⅢA	
123・124	BSP02	ⅢT-53	B-1	129×106	55		
123・124	BSP03	ⅢX-52	B-1	113×(107)	50		
123	BSP04	ⅢW-52	B-2	75×49	40	ⅢB	
123・124	BSP05	ⅢW・X-52	B-1	117×106	38	ⅢB	
122・124	BSP07	ⅣF-53	B-1	156×139	79	ⅢB	BSD01より新
122	BSP08	ⅣF-53	B-2	69×61	62		
122	BSP09	ⅣD-52	B-2	64×55	60		
127	CSP01	ⅢB-102	B-1	130×100	23		

土器観察表

図番号	出土位置	層位	器種	部位	分類	文様等の属性	備考
6-1	SI102 (SP2594)	覆土	深鉢形	胴～底部	Ⅲ群D1類	沈線(平行沈線、弧状区画)、LR充填	底径4.7cm・器高[6.4]cm
10-1	SI104 (SP2647)	1層	壺形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(入組波状文)	
10-2	SI104 (SN109)	覆土 確認面	深鉢形	口縁部	Ⅲ群E類	大波状口縁、口唇部肥厚、刻目帯	
10-3	SI104 (SP2760)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群E類	口唇部肥厚、刻目帯	
10-4	SI104 (SD07)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群G類	口唇部肥厚、沈線、0段多条LR	
10-5	SI104 (SN109)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群G類	口唇部肥厚、地文縄文	器面摩耗
10-6	SI104 (SP2284)	覆土	壺形	口縁部	Ⅲ群F1・2類	口縁突起、沈線、LR・RL羽状、半肉彫状、内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶﾞｷ、内傾接合	口径(9.0)cm・器高[6.3]cm
10-7	SI104 (SP2760)	覆土	壺形	胴部	Ⅲ群F類	ﾐﾐｽﾞ腫れ状微隆起線、内面ﾅﾃﾞ、内傾接合	外面赤色顔料
10-8	SI104 (SN109)	確認面	深鉢形	胴部	Ⅲ群F2・3類	貼瘤、沈線、RL充填	
10-9	SI104 (SR104)	炉体	深鉢形	胴～底部	Ⅲ群G類	地文0段多条RL	底径12.0cm・器高[19.8]cm、P-1、二次被熱顕著
10-10	SI104 (SR105)	炉体	深鉢形	胴～底部	Ⅲ群G類	地文0段多条LR・RL羽状	底径10.0cm・器高[21.3]cm、P-1、二次被熱顕著
14-1	SI105 (SP2112)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群A類	沈線、地文RL	
14-2	SI105 (SP1686)	底面	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線	
14-3	SI105 (SP1470)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	折り返し状口縁、沈線	
14-4	SI105 (SP2415)	底面	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線、隆帯	P-5
14-5	SI105 (SP1163)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(弧状文)、LR充填	
14-6	SI105 (SP1160)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線	
14-7	SI105 (SP1618)	覆土	浅鉢形	底部	Ⅲ群B1類	高台状底部、沈線	
14-8	SI105 (SP2114)	覆土	壺形	口縁～頸部	Ⅲ群B1類	波状口縁(2単位)、沈線、隆帯	口径(3.1)cm・器高[2.0]cm、内外面赤色顔料
14-9	SI105 (SN107)	覆土	壺形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線、内面ﾅﾃﾞ	
14-10	SI105 (SP1164)	覆土	壺形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線	
15-1	SI106 (SP2443)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	口唇部釣手状、沈線	
15-2	SI106 (SD09)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線	
15-3	SI106 (SN116)	3層	深鉢形	胴部	Ⅲ群C類	網目状撚糸文(単軸絡条体第1類R)	
16-1	SI108 (SN118)	炉体	深鉢形	口縁～胴部	Ⅲ群C類	平口縁、無文	口径22.5cm・器高[14.0]cm、P-4、二次被熱顕著
16-2	SI108 (SD10)	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線、LR充填、内面ﾅﾃﾞ	
16-3	SI108 (SP2462)	底面	深鉢形	胴部	Ⅲ群D1類	沈線、刺突、LR充填	P-1
17-1	SI110 (SP2502)	1層	壺形	底部	Ⅲ群G類	上げ底状底部、内面ﾅﾃﾞ	底径3.0cm・器高[2.2]cm
17-2	SI111 (SP2390)	覆土	壺形	頸～底部	Ⅲ群G類	地文L、内面ﾅﾃﾞ	底径1.5cm・器高[7.5]cm、VO-55Ⅲb層と接合、粗砂粒混入
17-3	SI111 (SP2385)	1層	注口	胴部	Ⅲ群F2類	貼瘤、沈線、LR充填、半肉彫状、内面指頭圧・ﾅﾃﾞ	P-1
18-1	SI112 (SP2503)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群E類	山形口縁、口唇部肥厚、刻目帯	
18-2	SI112 (SP2503)	覆土	壺形	胴部	Ⅲ群F1類	貼瘤、沈線(木葉状入組文)、RL充填	
18-3	SI112 (SP2503)	覆土	壺形	頸部	Ⅲ群F類	貼瘤、沈線、0段多条RL充填、半肉彫状、内面ﾅﾃﾞ	
18-4	SI112 (SP2503)	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群G類	口唇部内傾、無文	
18-5	SI112 (SP2503)	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群G類	地文LR	
18-6	SI113 (SP1829)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群F1・2類	口唇部内傾、沈線、LR充填、半肉彫状	
19-1	SI114 (SP1224)	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群E類	口唇部肥厚、刻目帯	
19-2	SI114 (SP1224)	覆土	壺形	胴部	Ⅲ群F2類	沈線(襷掛状文)、0段多条LR・RL羽状、半肉彫状	
19-3	SI114 (SP1224)	1層	壺形	胴部	Ⅲ群F2類	貼瘤、沈線(襷掛状文)、LR・0段多条RL羽状、内面指頭圧・ﾅﾃﾞ、内傾接合	
19-4	SI114 (SP1224)	覆土	鉢形	口縁～底部	Ⅲ群F2類	口縁突起(4単位)、口唇部内傾、沈線、0段多条RL充填、半肉彫状	口径(10.2)cm・底径4.1cm・器高8.4cm
19-5	SI114 (SP1224)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F2類	口縁突起、貼瘤、沈線、LR	
19-6	SI114 (SP1224)	2層	壺形	胴部	Ⅲ群F類	橋状把手、沈線、0段多条LR充填、内面ﾅﾃﾞ	

図番号	出土位置	層位	器種	部位	分類	文様等の属性	備考
19-7	SI114 (SP1224)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群F2類	貼瘤,沈線,櫛歯状条線充填	
19-8	SI114 (SP1224)	2層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F2・3類	口管部内横,貼瘤,沈線,0段多条LR	
19-9	SI114 (SP1224)	1層	鉢形	口縁～底部	Ⅲ群G類	口縁突起,口管部内横,LR・RL羽状	口径(16.0)cm・底径6.4cm・器高12.0cm P-1,粗砂粒混入
20-1	SI115 (SP1232)	覆土	浅鉢形	口縁部	Ⅲ群D1類	沈線(平行沈線,弧状区画),RL充填	
20-2	SI115 (SP1232)	2層	浅鉢形	口縁～胴部	Ⅲ群D1類	沈線(横位・斜位沈線),内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶｷ	
20-3	SI115 (SP1232)	2層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群E類	大波状口縁,口管部肥厚,刻目帯	
20-4	SI115 (SP1232)	2層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群E類	山形口縁,口管部肥厚,刻目帯	
20-5	SI115 (SP1232)	覆土 上層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群E類	口管部肥厚,刻目帯,0段多条RL	
20-6	SI115 (SP1232)	覆土 上層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F類	口縁突起,口管部内横,沈線,LR・RL羽状	
20-7	SI115 (SP1232)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F2類	口縁突起欠損,口管部肥厚,貼瘤,沈線,LR充填	
20-8	SI115 (SP1232)	2層	壺形	胴部	Ⅲ群F2類	沈線(撚掛文),0段多条LR・RL羽状,内面ﾅﾃﾞ	
20-9	SI115 (SP1232)	覆土	壺形	胴部	Ⅲ群F2類	沈線(撚掛文),0段多条LR・RL羽状,内面ﾅﾃﾞ	粗砂粒混入
20-10	SI115 (SP1232)	2層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F類	口管部内横,沈線,0段多条LR・LR充填,半肉彫状	
20-11	SI115 (SP1232 P+1109)	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F類	沈線,LR充填	
20-12	SI115 (SP1232)	2層	深鉢形	胴部	Ⅲ群F類	沈線,LR・RL充填,半肉彫状,内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶｷ	
20-13	SI115 (SP1232)	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F2類	口縁突起,貼瘤,沈線(木葉状入組文),LR・RL充填,半肉彫状	
20-14	SI115 (SP1232)	2層	深鉢形	胴部	Ⅲ群F2類	貼瘤,沈線,櫛歯状条線充填,半肉彫状	
20-15	SI115 (SP1232)	2層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群G類	口管部肥厚,地文0段多条LR・RL羽状	
20-16	SI115 (SP1232)	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群G類	口管部肥厚,0段多条LR・RL羽状	
20-17	SI115 (SP1232)	2層	壺形	底部	Ⅲ群G類	上げ底状底部	底径2.6cm・器高[1.6]cm
20-18	SI115 (SP1232)	覆土 上層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群G類	口縁突起,地文LR,内面ﾅﾃﾞ	
20-19	SI115 (SP1232)	2層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群G類	口管部肥厚,地文0段多条LR	
20-20	SI115 (SP1232)	2層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群G類	口管部肥厚,地文0段多条RL	
23-1	SI106 (SP1665)	3層	深鉢形	胴部	Ⅲ群H類	沈線,LR充填	P-1
23-2	SI106 (SP1243)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群F1・2類	沈線,0段多条LR・RL羽状,半肉彫状	
23-3	SI106 (SP1243)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群F1・2類	沈線,0段多条LR・RL羽状,半肉彫状	
23-4	SI106 (SP1244)	脇方 覆土	台付?	胴部	Ⅲ群F1・2類	沈線(格子状文),0段多条RL	
23-5	SI106 (SP1377)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F類	沈線,0段多条LR充填,半肉彫状	
23-6	SI106 (SP1207)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群F類	沈線,L充填,半肉彫状,内面ﾅﾃﾞ	
24-1	SI117・118 (SP1223)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群H類	波状口縁,沈線,隆帯	
24-2	SI117・118 (SP1485)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群H類	波状口縁,折り返し状口縁,沈線,隆帯,刺突	
24-3	SI117・118 (SP1195)	覆土	壺形	胴部	Ⅲ群F1・2類	沈線,LR・RL羽状,内面指頭圧・ﾅﾃﾞ	
24-4	SI117・118 (SP1194)	覆土	注口	注口部	Ⅲ群F2類	沈線,LR充填,半肉彫状	破断面にアスファルト付着
24-5	SI117・118 (SP1409)	柱痕 覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F2類	口縁突起,貼瘤,地文LR?	粗砂粒混入,器面摩耗
24-6	SI117・118 (SP1194)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群G類	地文0段多条LR・RL羽状	
36-1	SR21 (SP1106)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群H類	口管部刻み,折り返し状口縁,沈線	
36-2	SR21 (SP1339)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群H類	櫛歯状沈線	
36-3	SR21 (SP1339)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群C類	網目状撚糸文(R)	
36-4	SR22 (SP1085)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群H類	沈線(波頭状文),LR充填	
36-5	SR22 (SP1054)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群H類	沈線,LR充填	
36-6	SR22 (SP1085)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群H類	沈線	
36-7	SR22 (SP1094)	脇方 覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群H類	沈線	

図番号	出土位置	層位	器種	部位	分類	文様等の属性	備考
36-8	SR22 (SP1085)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	折り返し状口縁、櫛歯状沈線	
36-9	SR22 (SP1340)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	櫛歯状沈線	
36-10	SR22 (SP1054)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線、LR充填	
36-11	SR22 (SP1093)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群C類	沈線、網目状燃糸文(R)	
36-12	SR22 (SP1054)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群C類	単軸絡条体第1類R	
36-16	SR23 (SP1078)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F1・2類	口縁突起、沈線、LR・RL充填、内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶｷ	粗砂粒混入
36-18	SR24 (SP1076)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群F類	沈線、0段多条LR充填、半内梨状	
36-20	SR25 (SP1042)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群F類	沈線、LR充填、内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶｷ	粗砂粒混入
36-23	SR26 (SP1037)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線、隆帯	
36-24	SR26 (SP1074)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線	
36-29	SR27 (SP1117)	覆土	深鉢形	口縁～胴部	Ⅲ群B1類	沈線	
36-30	SR27 (SP1190)	覆土	浅鉢形	口縁部	Ⅲ群D1類	口縁突起部欠損、沈線(平行沈線、縦位短沈線)、LR充填	
36-31	SR27 (SP1117)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群F1・2類	沈線、LR・RL羽状、半内梨状	
36-32	SR28 (SP1125)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	櫛歯状沈線	
36-35	SR29 (SP1127)	1層 (柱痕)	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線	
36-36	SR29 (SP1127)	1層 (柱痕)	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	櫛歯状沈線	
36-37	SR30 (SP1435)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	折り返し状口縁、隆帯、沈線	
36-38	SR30 (SP1663)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(弧状文)	
37-1	SR31 (SP1130)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線、LR充填	
37-2	SR31 (SP1122)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群F類	沈線、L充填、半内梨状、内面ﾅﾃﾞ	粗砂粒混入
37-3	SR31 (SP1123)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群F類	沈線、LR充填、内面ﾅﾃﾞ	粗砂粒混入
37-4	SR31 (SP1132)	掘方 覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群F類	沈線、LR充填、半内梨状、内面ﾅﾃﾞ	
37-5	SR31 (SP1132)	柱痕 覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群C類	口唇部内傾、無文、内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶｷ	
37-6	SR31 (SP1133)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群C類	沈線、0段多条LR・RL羽状、内面指頭圧ﾅﾃﾞ	
37-9	SR32 (SP1153)	1層	鉢形	口縁部	Ⅲ群B2類	沈線、LR充填	
37-10	SR33 (SP2253)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁、口唇波頂部粘土貼付(刺突)、沈線、LR充填	
37-11	SR33 (SP1524)	掘方 覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	隆帯(L)	P-1
37-12	SR33 (SP1524)	4層 (掘方)	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(格子状文)	P-4
37-13	SR33 (SP1662)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線、隆帯(L)	
37-17	SR34 (SP2127)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁、沈線、LR充填	
37-18	SR34 (SP2311)	覆土	浅鉢形	胴部	Ⅲ群D1類	沈線(櫛歯状文)	
37-19	SR34 (SP2311)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B2類	沈線、0段多条RL羽状、内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶｷ	
37-20	SR35 (SP2346)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	折り返し状口縁、沈線	
37-21	SR35 (SP1472)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(平行沈線、弧状区画)、LR充填、内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶｷ	
37-22	SR36 (SP1742)	縄文面	深鉢形	胴部	Ⅲ群F類	貼瘤、沈線、LR充填、半内梨状	
37-23	SR37 (SP1760)	掘方 覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F1・2類	口縁突起、口唇部内傾、沈線、LR・RL羽状、半内梨状	
37-25	SR38 (SP2383)	柱痕 覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F類	貼瘤、沈線、L充填	粗砂粒混入
37-26	SR39 (SP1150)	覆土	壺形	胴部	Ⅲ群F類	貼瘤、沈線、LR	粗砂粒混入
37-27	SR39 (SP1150)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群F類	貼瘤、沈線、LR充填、半内梨状	
37-28	SR39 (SP1150)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群F類	沈線(格子状文)、LR	
37-29	SR39 (SP1150)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B5類	口唇部内傾、無文、内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶｷ	粗砂粒混入
37-30	SR40 (SP1126)	掘方 覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群D1類	沈線(櫛歯状文)	
38-1	SR100	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(方形区画文)、LR充填	器高[19.0]cm、P-1

図番号	出土位置	層位	器種	部位	分類	文様等の属性	備考
38-2	SR103	2層	深鉢形	胴部	Ⅲ群A類	沈線,地文LR	
38-3	SR106	1層	深鉢形	胴～底部	Ⅲ群C類	地文LR,底部網代痕	底径9.8cm・器高[15.5]cm,P-10
38-4	SR107	1層	深鉢形	胴～底部	Ⅲ群C類	地文R	底径13.7cm・器高[16.0]cm,P-5
39-1	SN121	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	折り返し状口縁,沈線	
40-1	SD16	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F1・2類	口縁突起,口唇部内傾,沈線,LR充填	
40-2	SD16	2層	深鉢形	胴部	Ⅲ群F1類	沈線(木葉状入組文),0段多条LR・RL羽状,半肉彫状,内面ﾅﾃﾞ	
40-3	SD16	2層	注口	注口部	Ⅲ群F類	沈線,0段多条RL充填,半肉彫状	
78-2	SP1015	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群C類	沈線,単軸絡条体第1類R	
78-3	SP1065	覆土	壺形	胴部	Ⅲ群F2類	沈線,0段多条LR・RL羽状,半肉彫状,内面指頭圧・ﾅﾃﾞ	
78-4	SP1069	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線	
78-5	SP1069	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群C類	無文	
78-6	SP1080	覆土	壺形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線,隆帯	
78-7	SP1081	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線,LR充填	
78-8	SP1081	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線,LR充填	
78-9	SP1090	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線	
78-10	SP1090	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群C類	単軸絡条体第1類R	
78-13	SP1098	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線	
78-14	SP1098	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線	
78-15	SP1098	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群C類	R撚糸文	
78-18	SP1107	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線	
78-19	SP1107	覆土	壺形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線	外面赤色顔料
78-20	SP1107	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群C類	単軸絡条体第1類R	
78-23	SP1110	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群E類	口唇部肥厚,刻目帯	
78-24	SP1110	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F2類	口縁突起,口唇部内傾,貼瘤,沈線,LR・RL羽状,半肉彫状	
78-25	SP1110	上層 中層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F2類	沈線,LR充填	
78-26	SP1110	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F2類	口縁突起,貼瘤,沈線,RL充填	
78-28	SP1116	1層	台付 注口?	口縁～胴部	Ⅲ群F1類	口縁突起(4単位),貼瘤,沈線(木葉状入組文,格子状文),刻目帯, 半肉彫状,0段多条LR・RL羽状,内外面丁寧なﾐｶﾞｷ	口径(18.8)cm・器高[17.2]cm,P-1
78-29	SP1116	覆土	壺形	胴部	Ⅲ群F1類	沈線,LR充填,半肉彫状,内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶﾞｷ	
79-2	SP1139	覆土	壺形	底部	Ⅲ群G類	上げ底状底部,内面ﾅﾃﾞ	粗砂粒混入
79-3	SP1137	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線,LR充填	
79-4	SP1137	覆土	壺形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線	
79-7	SP1148	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群G類	口唇部内傾,無文	
79-8	SP1146	覆土	深鉢形	頸部	Ⅲ群F類	貼瘤,沈線,LR充填,内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶﾞｷ	粗砂粒混入
79-9	SP1154	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線	内外面赤色顔料
79-10	SP1154	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線	内外面赤色顔料
79-11	SP1149	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F類	貼瘤,沈線,LR充填	
79-12	SP1149	覆土	壺形	頸部	Ⅲ群F類	貼瘤,沈線,刻目,半肉彫状,内面ﾅﾃﾞ	粗砂粒混入
79-13	SP1149	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F2・3類	口唇部内傾,貼瘤,沈線,LR充填	
79-14	SP1149	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群F2・3類	貼瘤,沈線,LR充填	粗砂粒混入
79-15	SP1149	覆土	壺形	胴部	Ⅲ群F2・3類	貼瘤,沈線,LR充填,半肉彫状	
79-16	SP1149	覆土	壺形	胴部	Ⅲ群F2・3類	貼瘤欠損,沈線,LR充填,内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶﾞｷ	
79-17	SP1149	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群G類	口唇部内傾,無文	粗砂粒混入
79-18	SP1149	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群G類	口唇部内傾,地文0段多条LR	
79-19	SP1165	覆土	壺形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線	
79-20	SP1174	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F2類	口縁突起,口縁部肥厚,口唇部内傾,貼瘤,沈線,LR充填	粗砂粒混入
79-21	SP1174	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F2・3類	口唇部内傾,貼瘤,沈線,LR充填	
79-22	SP1183	覆土	台付鉢	口縁～胴部	Ⅲ群F類	口縁突起,沈線,0段多条LR充填	
79-23	SP1189	覆土	鉢形?	胴部	Ⅲ群F類	沈線,刻目(擬瓷擦状),内面ﾅﾃﾞ	
79-25	SP1211	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群A類	波状口縁,折り返し状口縁,沈線,地文LR	
79-26	SP1211	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群A類	折り返し状口縁,沈線,地文LR	
79-27	SP1211	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群A類	沈線,地文LR	
79-29	SP1214	掘方 覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群A類	沈線(三角形文),地文LR	
79-30	SP1214	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群A類	沈線(三角形文),地文LR	
79-31	SP1215	覆土	壺形	胴～底部	Ⅲ群D類	沈線,RL充填,内面ﾅﾃﾞ	底径5.1cm・器高[8.3]cm
79-33	SP1219	1a層 (柱痕)	注口	頸～底部	Ⅲ群F3類	貼瘤,沈線,LR充填,上げ底状底部,半肉彫状,内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶﾞｷ	底径2.3cm・器高[16.1]cm, 注口欠損部にアスファルト付着
79-34	SP1222	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線	
79-35	SP1225	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F2類	口縁突起,貼瘤,沈線,LR	
79-36	SP1238	覆土	鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線	
80-1	SP1246	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線	
80-2	SP1246	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線	
80-3	SP1259	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線	
80-4	SP1259	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線,LR充填	
80-5	SP1259	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇部刻み,沈線,LR充填	
80-7	SP1267	覆土	鉢形?	口縁部	Ⅲ群D1類	沈線(平行沈線,蛇行区画),L充填	粗砂粒混入
80-8	SP1276	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群G類	口唇部内傾,地文RL	
80-9	SP1277	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F2類	橋状把手,透孔,貼瘤,沈線,櫛歯状条線,内面ﾅﾃﾞ	内外面赤色顔料
80-10	SP1278 SP1279	覆土	鉢形	口縁～底部	Ⅲ群C類	無文	口径(8.6)cm・底径4.0cm・器高7.2cm
80-12	SP1299	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	折り返し状口縁,沈線	
80-13	SP1299	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線	
80-14	SP1299	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線,LR充填	
80-16	SP1300	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(蓮華花弁文),LR充填	
80-17	SP1300 SP1308	覆土	壺形	頸部	Ⅲ群B1類	橋状把手,沈線	外面赤色顔料
80-20	SP1371	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F2類	口縁突起欠損,口唇部肥厚,貼瘤,沈線,RL・0段多条LR羽状	補修孔

図番号	出土位置	層位	器種	部位	分類	文様等の属性	備考
80-21	SP1371	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群F2類	沈線,LR・RL充填	
80-23	SP1375	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(蓮華花弁文)	
80-24	SP1375	覆土	壺形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(弧状文)	
80-25	SP1375	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群C類	無文,内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶﾞｷ	
81-1	SP1391	1層 (柱痕)	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F2類	口縁突起,貼瘤,沈線,RL	P-1
81-2	SP1400	3層	壺形	口縁～頸部	Ⅲ群B1類	波状口縁(2単位),沈線,隆帯,外傾接合	口径5.1cm・器高[4.0]cm,P-3
81-3	SP1417	覆土	壺形	胴部	Ⅲ群F1・2類	沈線(木葉状入組文),LR・RL,半肉彫状,内面指頭圧・ﾅﾃﾞ	
81-4	SP1449	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F2類	口縁突起,口唇部肥厚,橋状把手欠損,貼瘤,透孔,沈線,櫛歯状条線	内外面赤色顔料
81-10	SP1551 SP1563	覆土	壺形	口縁～頸部	Ⅲ群D1類	装飾把手,沈線(鋸歯状文),内面ﾅﾃﾞ	口径(4.8)cm・器高[4.8]cm
81-11	SP1554	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B2類	沈線(斜行沈線),LR充填	
81-12	SP1554	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B2類	口唇部L,沈線(斜行沈線),L充填	
81-13	SP1564	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群D1類	沈線(平行沈線),LR充填	
81-15	SP1583	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線,LR充填	補修孔
81-16	SP1583	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B2類	波状口縁,沈線(斜行沈線),LR充填	
81-17	SP1583	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線,LR充填	
81-18	SP1583	2層	壺形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(入組波状文),LR充填,内面ﾅﾃﾞ	P-1
81-19	SP1583	覆土	深鉢形	底部	Ⅲ群B1類	沈線(楕円形文),高台状底部	底径(10.6)cm・器高[2.0]cm
81-20	SP1583	2層	深鉢形	口縁～胴部	Ⅲ群C類	無文	口径(26.8)cm・器高[18.0]cm, P-3
81-21	SP1583	2層	深鉢形	胴～底部	Ⅲ群C類	無文	底径9.5cm・器高[6.2]cm,P-2
82-1	SP1589	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線	
82-2	SP1589	覆土	壺形	頸部	Ⅲ群B1類	沈線,隆帯上LR	
82-4	SP1602	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	折り返し状口縁,沈線	
82-5	SP1623	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群D1類	大波状口縁,無文	
82-6	SP1631	覆土	鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線,L充填	
82-7	SP1631	覆土	壺形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線	P-1
82-8	SP1675	覆土	壺形	口縁～底部	Ⅲ群B1類	波状口縁(3単位),口唇部刻み,橋状把手,沈線(入組波状文)	口径5.2cm・底径5.4cm・器高13.4cm
82-9	SP1675	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇波頂部粘土貼付,沈線(波状文,蓮華花弁文),LR充填	
82-10	SP1696	1層 確認面	深鉢形	口縁部	Ⅲ群A類	沈線(三角形文),地文RL	P-1
82-12	SP1687	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群F2類	貼瘤,沈線(襷掛状文),LR充填,半肉彫状	粗砂粒混入
82-15	SP1821	覆土 上層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F類	口唇部内傾,貼瘤,沈線,LR充填	
82-19	SP1886	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F1・2類	口縁突起,口唇部肥厚,沈線,LR充填	P-1
82-20	SP1946	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F1・2類	口縁突起,口唇部内傾,沈線,0段多条LR充填,半肉彫状	粗砂粒混入
82-21	SP1975	掘方 覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線	
82-22	SP1975	柱痕 覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線,隆帯	内外面赤色顔料
82-26	SP2059	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	折り返し状口縁,沈線	
82-27	SP2059	覆土	鉢形?	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線,隆帯	
82-29	SP2046	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線	
83-1	SP1869	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,折り返し状口縁,沈線	P-8
83-2	SP1869	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線	P-8
83-7	SP2163	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F類	口縁突起,貼瘤,沈線,RL充填,内面ﾅﾃﾞ	
83-9	SP2190	覆土	壺形	胴部	Ⅲ群F類	貼瘤,沈線,LR充填,半肉彫状	
83-10	SP2197	覆土 中層	壺形?	胴部	Ⅲ群F類	貼瘤,沈線,LR充填,半肉彫状	
83-11	SP2197	覆土 中層	深鉢形	胴部	Ⅲ群F類	沈線,RL充填,半肉彫状	
83-12	SP2191	1層 (柱痕)	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線(円形文,楕円形文)	P-1,2
84-1	SP1900	7層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,折り返し状口縁,沈線	P-3,図84-2・3と同一個体
84-2	SP1900	7層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,折り返し状口縁,沈線	P-5,図84-1・3と同一個体
84-3	SP1900	7層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線	P-1,図84-1・2と同一個体
84-6	SP2202	掘方 覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群G類	口唇部肥厚,0段多条LR・RL羽状	
84-9	SP2215	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線,隆帯,刺突	P-2
84-10	SP2215	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	口唇部刻み,櫛歯状沈線	
84-11	SP2215	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	櫛歯状沈線	
85-3	SP2316	覆土	鉢形?	口縁部	Ⅲ群F1・2類	口縁突起(頂部刻目),口唇部肥厚,貼瘤,沈線,LR・0段多条RL充填,半肉彫状	
85-4	SP2344	柱痕 覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(入組波状文),LR充填	口径(35.3)cm・器高[12.9]cm, P-6,13,22
85-5	SP2344	柱痕 覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(弧状文),LR充填	P-16
85-6	SP2344	柱痕 覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(ｸﾗﾝｸ状文),LR充填	P-3,9
85-7	SP2344	掘方 覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(ｸﾗﾝｸ状文),LR充填	
85-8	SP2344	柱痕 覆土	壺形	頸部	Ⅲ群C類	橋状把手,無文	P-1
85-13	SP2401	1層 (柱痕)	浅鉢形	底部	Ⅲ群B1類	高台状底部,沈線(楕円形文)	底径(5.4)cm・器高[1.9]cm, 内外面赤色顔料
85-14	SP2399	覆土	深鉢形	口縁～胴部	Ⅲ群H類	平口縁,沈線(方形区画文,弧状文)	口径(15.4)cm・器高[9.8]cm, P-2,3,6
86-5	SP2463	柱痕 覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F2・3類	貼瘤,沈線,LR充填	

図番号	出土位置	層位	器種	部位	分類	文様等の属性	備考
86-6	SP2500	底面直上	深鉢形	口縁部	Ⅲ群G類	口唇部肥厚,0段多条LR,内面ﾅﾃﾞ	粗砂粒混入
86-7	SP2500	底面直上	深鉢形	口縁部	Ⅲ群G類	口唇部肥厚,LR・RL羽状,内面ﾅﾃﾞ	粗砂粒混入
86-10	SP2540	1層	壺形	胴部	Ⅲ群F1・2類	貼瘤,沈線,0段多条LR・RL羽状,内面指頭圧・ﾅﾃﾞ	
86-11	SP2556	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線(蓮華花弁文),LR充填	
86-12	SP2556	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群C類	折り返し状口縁,無文,内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶﾞｷ	
86-13	SP2556	覆土	台付鉢?	台部	Ⅲ群B1類	沈線	
86-15	SP2579	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群G類	口唇部肥厚,0段多条LR・RL羽状,内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶﾞｷ	粗砂粒混入
86-18	SP2620	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	口唇部刻み,沈線	
86-19	SP2620	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線,L充填	
86-20	SP2649	覆土	鉢形	口縁～底部	Ⅲ群B2類	平口縁,沈線,LR充填	口径12.5cm・底径4.1cm・器高7.7cm
87-4	SP2833	覆土	浅鉢形	胴部	Ⅲ群D1類	沈線(平行沈線,弧状区画),LR充填	
87-9	SP3025	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(蓮華花弁文),LR充填	
87-10	SP3025	7層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群D1類	口縁突起,口唇部肥厚,沈線,刺突,RL充填	
87-11	SP3025	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群D1類	橋状把手,口唇部肥厚,沈線,LR充填	図101-12と同一個体
87-12	SP3025	覆土	壺形	胴部	Ⅲ群F類	貼瘤,沈線,半肉彫状,内傾接合	図87-13と同一個体
87-13	SP3025	覆土	壺形	胴部	Ⅲ群F類	沈線,0段多条RL充填,半肉彫状,内傾接合	図87-12と同一個体
87-15	SP3004	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線,LR充填	
87-17	SP3005	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群C類	無文	
87-18	SP3017	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線	
89-1	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁～底部	Ⅲ群B1類	波状口縁(推定5単位),沈線(波状文、三角形文),L充填	口径(34.0)cm・底径12.6cm・器高40.1cm,個体17.22
89-2	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	胴～底部	Ⅲ群B1類	沈線	底径11.9cm・器高[21.0]cm
90-1	捨て場ⅣB-72 捨て場ⅣC-72	1層	壺形	口縁～底部	Ⅲ群B1類	平口縁,口唇部刻み,櫛歯状沈線(入組波状文)	口径(13.0)cm・底径(12.9)cm・器高43.8cm
90-2	捨て場ⅣB-72 捨て場ⅣC-72	1層	壺形	口縁～胴部	Ⅲ群B1類	平口縁,沈線(三角形文)	口径(12.0)cm・器高[18.4]cm
90-3	捨て場ⅣB-72	1層	壺形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(方形区画文),内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶﾞｷ	器高[10.3]cm
91-1	捨て場ⅣC-72	1層	壺形	頸～胴部	Ⅲ群B1類	橋状把手,沈線	器高[11.5]cm,個体9
91-2	捨て場ⅣC-72	1層	壺形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線,L充填	口径(11.3)cm・器高[5.8]cm,個体15
91-3	捨て場ⅣC-72	1層	壺形	胴～底部	Ⅲ群B1類	沈線	底径7.2cm・器高[6.8]cm,個体2
91-4	捨て場ⅣB-72	1層	壺形	頸～胴部	Ⅲ群B1類	橋状把手,沈線(弧状文)	器高[15.6]cm
91-5	捨て場ⅣC-73	1層	壺形	胴～底部	Ⅲ群B1類	沈線(三角形文),L充填	底径10.3cm・器高[18.7]cm,個体5
91-6	捨て場ⅣC-72 捨て場ⅣC-73	1層	壺形	胴～底部	Ⅲ群B1類	沈線(波頭状文),LR充填	底径11.5cm・器高[30.6]cm
91-7	捨て場ⅣC-72	1層	壺形	胴～底部	Ⅲ群B1類	沈線,L充填	底径9.0cm・器高[9.2]cm
91-8	捨て場ⅣC-72	1層	壺形	口縁～胴部	Ⅲ群B1類	波状口縁(4単位),口唇部刻み,橋状把手,沈線(S字状入組文,波頭状文),LR充填	口径(13.3)cm・器高[17.8]cm
92-1	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線(波状文、入組波状文),LR充填	口径(21.4)cm・器高[8.5]cm
92-2	捨て場ⅣC-72 捨て場ⅣD-72	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(巴状文),LR充填	器高[10.0]cm
92-3	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線(入組波状文),LR充填,内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶﾞｷ	
92-4	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	平口縁,沈線(ｘ字状波頭状文、蓮華花弁文),RL充填	口径(7.9)cm・器高[5.9]cm
92-5	捨て場ⅣB-72	1層	深鉢形	口縁～胴部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線(蓮華花弁文),RL充填	口径(25.0)cm・器高[15.2]cm
92-6	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇部刻み,沈線(波頭状文),LR充填	
92-7	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁(4単位),口唇波頂部粘土貼付(刺突),沈線(ｘ字状波頭状文),刺突,LR充填	口径(22.6)cm・器高[9.0]cm
92-8	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線(蓮華花弁文),LR充填	
92-9	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇波頂部粘土貼付(刺突),沈線(ｘ字状波頭状文),L充填	
92-10	捨て場ⅣB-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇部刻み,沈線(ｘ字状波頭状文、蓮華花弁文),LR充填	
92-11	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇波頂部粘土貼付(刺突),沈線(蓮華花弁文),LR充填	個体13.18.19
92-12	捨て場ⅣC-72	1層	鉢形?	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇波頂部粘土貼付(刺突),沈線(波状文、ｘ字状文波頭状文),LR充填	
93-1	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇波頂部粘土貼付(刺突),沈線(波状文、ｘ字状波頭状文、蓮華花弁文),刺突,RL充填,内面沈線・刺突	
93-2	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇部刻み,沈線(波状文),LR充填,内面沈線	口径(20.8)cm・器高[7.2]cm
93-3	捨て場ⅣB-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇部刻み,沈線(波状文),LR充填	
93-4	捨て場ⅣB-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇部刻み,沈線(波状文),L充填	
93-5	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇部刻み,沈線(波状文),LR充填	
93-6	捨て場ⅣB-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇波頂部粘土貼付(刺突),沈線(波状文),LR充填	
93-7	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇波頂部粘土貼付(刺突),沈線(波状文),LR充填,内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶﾞｷ	
93-8	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇波頂部粘土貼付(刺突),沈線(波状文),LR充填	
93-9	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇波頂部粘土貼付,沈線(波状文),LR充填	
93-10	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇波頂部刺突,沈線,LR充填,内面隆帯	
93-11	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線(波頭状文),LR充填,内面隆帯	
93-12	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇部刻み,沈線,LR充填,内面沈線	
93-13	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線,刺突,LR充填	
93-14	捨て場ⅣC-73	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇波頂部粘土貼付,沈線(波頭状文),刺突	
93-15	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(蓮華花弁文),LR充填	
93-16	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(蓮華花弁文),LR充填	
93-17	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線(ｘ字状波頭状文),L充填,内面沈線・刺突	
93-18	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(ｘ字状波頭状文、菱形文),LR充填	
93-19	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(ｘ字状波頭状文),刺突,LR充填	
93-20	捨て場ⅣB-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(ｘ字状?)	
93-21	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(ｘ字状波頭状文、菱形文、蓮華花弁文),LR充填	
93-22	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(ｘ字状波頭状文、蓮華花弁文),LR充填	
94-1	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(蓮華花弁文),LR充填	

図番号	出土位置	層位	器種	部位	分類	文様等の属性	備考
94-2	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(蓮華花弁文),L充填	
94-3	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(ҳ字状波頭状文,菱形文,蓮華花弁文),LR充填	
94-4	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(ҳ字状波頭状文),刺突	
94-5	捨て場ⅣB-72	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(蓮華花弁文),LR充填	
94-6	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(蓮華花弁文),LR充填	
94-7	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(蓮華花弁文),LR充填	
94-8	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(ҳ字状波頭状文,蓮華花弁文),L充填	
94-9	捨て場ⅣB-72	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(S字状入組文),L充填	
94-10	捨て場ⅣB-72	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(波頭状文),L充填	
94-11	捨て場ⅣB-72	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線,LR充填	
94-12	捨て場ⅣC-72 捨て場ⅣC-73	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(ҳ字状波頭状文,蓮華花弁文),刺突	個体17
94-13	捨て場ⅣB-72	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(波状文,ҳ字状波頭状文,蓮華花弁文),LR充填	
94-14	捨て場ⅣC-72	1層	壺形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線,LR充填	個体25
94-15	捨て場ⅣC-72	1層	壺形	頸部	Ⅲ群B1類	沈線,L充填	
94-16	捨て場ⅣC-72	1層	壺形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(波頭状文),LR充填	
94-17	捨て場ⅣB-72	1層	壺形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(蓮華花弁文),LR充填	
94-18	捨て場ⅣB-72	1層	壺形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(ҳ字状?)	
94-19	捨て場ⅣB-72	1層	壺形?	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇部刻み,沈線,隆帯	個体9
94-20	捨て場ⅣB-72	1層	壺形	頸部	Ⅲ群B1類	橋状把手,刺突	
95-1	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線(方形区画文)	
95-2	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(方形区画文),L充填	
95-3	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(方形区画文)	
95-4	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(方形区画文)	
95-5	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(方形区画文),L充填	
95-6	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(方形区画文),LR充填	個体10
95-7	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(方形区画文),L充填	
95-8	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線(方形区画文),LR充填	
95-9	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線(方形区画文),L充填	
95-10	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(方形区画文),L充填	
95-11	捨て場ⅣB-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(方形区画文),LR充填	
95-12	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(方形区画文),LR充填	
95-13	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(方形区画文),L充填	
95-14	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(方形区画文),L充填	
95-15	捨て場ⅣB-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(ｸﾗﾝｸ状文)	
95-16	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	櫛歯状沈線	
95-17	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	櫛歯状沈線	
95-18	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	櫛歯状沈線	
95-19	捨て場ⅣB-72	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(鍵状文),LR充填	
95-20	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(鍵状文),LR充填	
95-21	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(鍵状文),LR充填	
95-22	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群C類	折り返し状口縁,網目状撚糸文(単軸絡条体第1類R)	
95-23	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群C類	網目状撚糸文(単軸絡条体第5類R)	
95-24	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	胴～底部	Ⅲ群C類	地文LR,底部網代痕ﾐｶﾞｷ調整	底径6.5cm・器高[8.0]cm,個体8
95-25	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	底部	Ⅲ群C類	底部木葉痕	底径8.1cm・器高[1.6]cm
95-26	捨て場ⅣC-72	1層	深鉢形	底部	Ⅲ群C類	底部木葉痕	底径7.4cm・器高[1.5]cm
95-27	捨て場ⅣD-71	1層	注口	注口部	Ⅲ群G類	無文	
97-1	ⅣC-72	Ⅲa層	深鉢形	胴部	Ⅱ群A類	隆帯,R押圧	
97-2	ⅣF-72	攪乱	深鉢形	胴部	Ⅱ群B1類	隆帯,刺突	
97-3	ⅣJ-67 ⅣJ-68	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅱ群B2類	口縁突起,隆帯,地文RL	
97-4	ⅣK-68	Ⅲ層	深鉢形	胴部	Ⅱ群C類	沈線(懸垂文),地文RL	
97-5	ⅣR-63	攪乱	深鉢形	口縁部	Ⅲ群A類	折り返し状口縁,沈線,地文LR	
97-6	ⅣY-61	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群A類	波状口縁,折り返し状口縁,沈線(三角形文),地文単軸絡条体第1類R	
97-7	ⅣR-63	Ⅲ層 攪乱	深鉢形	口縁部	Ⅲ群A類	波状口縁,折り返し状口縁,沈線(三角形文),地文LR	
97-8	ⅣJ-68	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群A類	波状口縁,折り返し状口縁,沈線,地文L	
97-9	ⅣS-62	沢4 1層	深鉢形	口縁～底部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線,底部木葉痕	口径16.1cm・底径6.5cm・器高18.7cm
97-10	ⅣY-61	Ⅲ層	深鉢形	口縁～底部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線	口径(28.9)cm・底径11.8cm・器高[37.2]cm,P-1
98-1	ⅣN-59	沢4 1層	壺形	口縁～底部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線,底部木葉痕	口径(13.3)cm・底径9.7cm・器高23.2cm
98-2	ⅣB-72	Ⅲ層	壺形	口縁～胴部	Ⅲ群B1類	波状口縁,橋状把手,沈線,隆帯	口径(15.6)cm・器高[9.0]cm
98-3	ⅣE-71	Ⅲ層	深鉢形	胴～底部	Ⅲ群B1類	沈線	底径(8.4)cm・器高[8.9]cm
98-4	ⅣP-62 ⅣQ-62	沢4 1層	壺形	胴～底部	Ⅲ群B1類	沈線,底部木葉痕,内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶﾞｷ	底径11.8cm・器高[11.8]cm
98-5	ⅣL-60 ⅣN-60	沢4 1層	壺形	胴～底部	Ⅲ群B1類	沈線	底径7.5cm・器高[6.2]cm
98-6	ⅣD-72	Ⅲa層	壺形	胴部	Ⅲ群B1類	隆帯,内面ﾅﾃﾞ	
98-7	ⅣR-61	沢4 1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線,隆帯	
98-8	ⅤE-66	Ⅱ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇波頂部刺突,沈線,隆帯	
98-9	ⅣO-64	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線,隆帯	
98-10	ⅣY-61	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線,隆帯	
98-11	ⅤD-63	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線,隆帯	
98-12	ⅣE-71	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,折り返し状口縁,沈線,隆帯	
98-13	ⅣR-62	沢4 1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線	

図番号	出土位置	層位	器種	部位	分類	文様等の属性	備考
98-14	ⅣF-72	撹乱	浅鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(入組波状文)	
98-15	ⅣG-72	Ⅲ層	浅鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(入組波状文)	
98-16	ⅣY-61	Ⅲ層	浅鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線	
98-17	ⅣL-69	Ⅲ層	浅鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線,RL充填	
98-18	ⅣO-62	沢4 1層	深鉢形	底部	Ⅲ群B1類	底部沈線	
98-19	ⅣQ-63	Ⅲ層	深鉢形	底部	Ⅲ群B1類	底部沈線	底径6.9cm・器高[1.5]cm
99-1	ⅣF-68	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線	
99-2	ⅣH-71	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線	
99-3	ⅣP-64	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線,LR充填,内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶﾞｷ	
99-4	ⅣM-52	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	口縁突起,沈線,L充填	
99-5	ⅣN-60	沢4 1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇波頂部粘土貼付,沈線,内面隆帯	
99-6	ⅣL-66	撹乱	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線,LR充填,内面隆帯	
99-7	ⅣN-59	沢4 1層	壺形	口縁～胴部	Ⅲ群B1類	平口縁,沈線(ｪ字状波頭状文,菱形文)	口径(12.2)cm・器高[14.8]cm
99-8	ⅣO-59	沢4 1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(ｪ字状波頭状文,蓮華花弁文),RL充填	
99-9	ⅣO-59	沢4 1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(蓮華花弁文),RL充填	
99-10	ⅣH-68	Ⅲ層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(蓮華花弁文)	
99-11	ⅣO-60	沢4 1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線,LR充填	
99-12	ⅣS-62	沢4 1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線(ｪ字状波頭状文),LR充填	
99-13	ⅣN-60	沢4 1層	深鉢形	胴～底部	Ⅲ群B1類	沈線(ｪ字状波頭状文)	
99-14	ⅣS-62	沢4 1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(方形区画文),刺突,L充填	
99-15	ⅣO-59	沢4 1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(方形区画文),LR充填	
99-16	ⅣP-54	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	櫛歯状沈線	
99-17	ⅣS-62	沢4 1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,櫛歯状沈線	
99-18	ⅣG-68	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	櫛歯状沈線	
99-19	ⅣK-68	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B2類	沈線(菱形文),LR充填	
99-20	ⅣL-68	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B2類	沈線(菱形文),LR充填	
99-21	ⅣK-66	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B2類	沈線,LR充填	
99-22	ⅣL-58	Ⅰ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B2類	沈線(弧状文),LR充填	
99-23	ⅣM-57	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B2類	沈線(入組文),LR充填	
99-24	ⅣX-70	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B2類	沈線(入組文,弧状文),LR充填	
100-1	ⅣS-62	沢4 1層	壺形	口縁部	Ⅲ群C類	橋状把手,隆帯,無文	
100-2	ⅣC-69	Ⅲ層	深鉢形	口縁・底部	Ⅲ群C類	無文	口径(8.8)cm・底径3.9cm・器高(7.8)cm
100-3	ⅣN-60	沢4 1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群C類	無文,内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶﾞｷ	
100-4	ⅤB-61	Ⅲ層	深鉢形	胴部	Ⅲ群C類	R撚糸文	
100-5	ⅣK-69	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群C類	R撚糸文	
100-6	ⅣE-71	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群C類	単軸絡条体第1類R	
100-7	ⅣC-71	撹乱	深鉢形	口縁部	Ⅲ群C類	折り返し状口縁,網目状撚糸文(単軸絡条体第1類R)	
100-8	ⅣN-59	沢4 1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群C類	折り返し状口縁,地文LR	
100-9	ⅣH-59	沢4 2層	深鉢形	口縁～底部	Ⅲ群C類	平口縁,単軸絡条体第1類L	口径21.1cm・底径11.4cm・器高38.7cm
100-10	ⅣQ-62	沢4 1層	深鉢形	胴～底部	Ⅲ群C類	地文LR,底部網代痕	底径12.4cm・器高[26.2]cm,P-1
101-1	ⅣP-61	沢4 1層	鉢形?	口縁部	Ⅲ群D1類	波状口縁,沈線(平行沈線,蛇行区画),LR充填	
101-2	ⅣM-66	Ⅲ層	鉢形?	口縁部	Ⅲ群D1類	沈線(平行沈線,弧状区画),LR充填	
101-3	ⅣU-69	Ⅲ層	鉢形?	口縁部	Ⅲ群D1類	口唇部肥厚,沈線(平行沈線),LR充填	
101-4	ⅣU-62	Ⅲ層	浅鉢形	胴部	Ⅲ群D1類	沈線(平行沈線,弧状区画),LR充填	
101-5	ⅣV-70 ⅣW-70	Ⅱ層	浅鉢形	口縁部	Ⅲ群D1類	口縁突起,沈線(平行沈線,弧状区画),隆帯,LR充填	
101-6	ⅣX-70	Ⅰ層	浅鉢形	口縁部	Ⅲ群D1類	波状口縁,口唇部肥厚,沈線(平行沈線,弧状区画),LR充填	
101-7	ⅣT-64	Ⅲ層	浅鉢形	口縁部	Ⅲ群D1類	沈線,LR充填	
101-8	不明	Ⅲ層	浅鉢形	胴部	Ⅲ群D1類	沈線,RL	
101-9	ⅣP-66	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群D1類	口唇部肥厚,沈線(斜行沈線)	
101-10	ⅣT-64	Ⅲ層	浅鉢形	胴部	Ⅲ群D1類	沈線(鋸歯状文),LR充填	
101-11	ⅣL-68	Ⅲ層	深鉢形	胴部	Ⅲ群D1類	沈線,刺突,縄文	器面摩耗
101-12	ⅣK-57	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群D1類	口縁突起,口唇部肥厚,沈線,LR充填	図87-11と同一個体
101-13	ⅣO-60	沢4 1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群D1類	口縁突起	
101-14	ⅣR-62	沢4 1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群D1類	口縁突起,沈線	
101-15	ⅣM-66 ⅣN-67	Ⅲ層 撹乱	注口	注口部	Ⅲ群D1類	沈線,隆帯,RL充填,内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶﾞｷ	
101-16	ⅣO-64 ⅣO-65	Ⅲ層 撹乱	片口	注口部	Ⅲ群D1類	無文	
101-17	ⅣK-66	Ⅲ層	浅鉢形	口縁部	Ⅲ群D1類	口縁突起,沈線,隆帯,刻目	
101-18	ⅣR-62	沢4 1層	浅鉢形	口縁部	Ⅲ群D1類	口縁突起,沈線,隆帯,刻目	
101-19	ⅣO-63	撹乱	浅鉢形	口縁部	Ⅲ群D1類	口縁突起,沈線	

図番号	出土位置	層位	器種	部位	分類	文様等の属性	備考
101-20	ⅣL-58	Ⅲ層	注口?	胴部	Ⅲ群D類	無文,内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶﾞｷ	
101-21	ⅣU-63	Ⅲ層	注口?	胴部	Ⅲ群D類	沈線,外面丁寧なﾐｶﾞｷ,内面ﾅﾃﾞ	
101-22	ⅣX-70	Ⅲ層	深鉢形	胴部	Ⅲ群D2類	沈線,0段多条RL羽状	
101-23	不明	Ⅲ層	鉢形?	胴部	Ⅲ群D2類	沈線,刻目帯,0段多条RL充填	
101-24	ⅣT-64	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群E類	波状口縁,口唇部肥厚,刻目帯	
101-25	ⅣR-63	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群E類	山形口縁,口唇部肥厚,沈線	器面摩耗
101-26	ⅣP-56	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群E類	口唇部肥厚,刻目帯,0段多条RL	
101-27	ⅣR-62	沢4 1層	異形	口縁部	Ⅲ群E類	刻目帯,隆帯	器面摩耗
101-28	不明	Ⅲ層	深鉢形	胴部	Ⅲ群E類	刻目帯,0段多条LR・RL羽状	
101-29	ⅣT-63	Ⅲ層	壺形	口縁～頸部	Ⅲ群F1類	貼瘤,刻目帯,0段多条LR・RL羽状,半肉彫状,内面指頭圧・ﾅﾃﾞ	口径(5.7)cm・器高[6.1]cm, 内外面赤色顔料
101-30	ⅣR-63	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F1類	山形口縁,口唇部肥厚,沈線,刻目帯,RL充填,半肉彫状,内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶﾞｷ	
101-31	不明	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F1類	口唇部肥厚,沈線,刻目帯,0段多条LR・RL羽状	
101-32	ⅣK-69	Ⅲ層	壺形?	胴部	Ⅲ群F1類	沈線,刻目帯,0段多条LR・RL羽状	
102-1	ⅣT-64	Ⅲ層	深鉢形	胴部	Ⅲ群F1類	沈線(木葉状入組文),0段多条LR充填,半肉彫状,内面ﾅﾃﾞ	
102-2	ⅣT-64	Ⅲ層	壺形	胴部	Ⅲ群F1類	沈線,刻目帯,0段多条LR充填,半肉彫状,内面指頭圧・ﾅﾃﾞ	
102-3	ⅤA-68	Ⅲ層	壺形	胴部	Ⅲ群F1類	沈線(木葉状入組文),LR・RL充填,半肉彫状,内面ﾅﾃﾞ	
102-4	不明	Ⅲ層	壺形	胴部	Ⅲ群F1類	貼瘤,沈線(木葉状入組文),RL充填,内面指頭圧・ﾅﾃﾞ	
102-5	ⅣT-64	Ⅲ層	深鉢形	胴部	Ⅲ群F1・2類	沈線,0段多条LR・RL羽状,半肉彫状	粗砂粒混入
102-6	ⅣT-64	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F1・2類	口縁突起,口唇部内傾,沈線,0段多条LR・RL充填	
102-7	ⅣU-62	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F1・2類	口唇部肥厚,沈線,LR・RL羽状	
102-8	ⅤN-66	Ⅱ層	壺形?	口縁部	Ⅲ群F1・2類	沈線,LR充填	口径(10.7)cm・器高[5.8]cm
102-9	ⅣW-64	Ⅰ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F1・2類	波状口縁,波頂部刻み,貼瘤,沈線,LR充填	
102-10	ⅤPライン トレンチ	Ⅲ層 上位	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F1・2類	口縁突起,貼瘤,沈線,LR充填,半肉彫状	
102-11	ⅤM-54	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F2類	口縁突起,貼瘤,沈線,RL	P-1,粗砂粒混入
102-12	ⅣV-70 ⅣW-70	Ⅰ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F2類	口唇部内傾,貼瘤,沈線,LR充填,内面ﾅﾃﾞ	
102-13	ⅣX-63	攪乱	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F2類	口唇部内傾,貼瘤,沈線,櫛歯状条線充填	
102-14	ⅣV-62	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F2・3類	貼瘤,沈線,RL充填,内面ﾅﾃﾞ	粗砂粒混入
102-15	ⅣJ-69	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群F3類	口唇部内傾,貼瘤,沈線,LR充填	
102-16	不明	Ⅲ層	注口	注口部	Ⅲ群F類	突起,無文	
102-17	ⅣL-58	Ⅲ層 攪乱	深鉢形	口縁部	Ⅲ群G類	口唇部LR,胴部LR	
102-18	ⅣL-57	Ⅰ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群G類	口唇部LR,胴部LR	
102-19	ⅣN-59	沢4 1層	深鉢形	胴部	Ⅲ群G類	L押圧,地文LR	
102-20	不明	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群G類	口唇部肥厚,地文0段多条RL	
102-21	不明	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群G類	口唇部肥厚,0段多条LR・RL羽状	
124-1	BSP01	1層	深鉢形	口縁～胴部	Ⅲ群A類	波状口縁,沈線(三角形文),地文RL	
124-2	BSP05	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線,L充填	
124-3	BSP05	1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線,LR充填	
124-4	BSP07	2層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線,LR充填	
124-5	BSP07	覆土	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線,隆帯,刺突,内面ﾅﾃﾞ	
125-1	ⅣA-54	Ⅲ層 下面	深鉢形	胴部	Ⅱ群A類	隆帯,L撚糸文,内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶﾞｷ	
125-2	ⅢX-56	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群C類	口縁部無文,地文RL	
125-3	ⅣD-54	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線,隆帯,刺突	
125-4	ⅣD-54	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,口唇部刻み,沈線	
125-5	ⅣD-54	Ⅲ層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	櫛歯状沈線,内面ﾅﾃﾞ	
125-6	ⅢX-53	沢101 1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	平口縁,沈線(三角形文)	口径(20.6)cm・器高[10.8]cm
125-7	ⅢY-53	沢101 1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線,LR充填	
125-8	ⅢA-54	Ⅲ層	深鉢形	口縁～胴部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線(蕙帯花弁文),LR充填	
125-9	ⅣC-53	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	平口縁,沈線(方形区画文)	
125-10	ⅢY-52	沢101 1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線(方形区画文),RL充填	
125-11	ⅢY-53	沢101 1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	波状口縁,沈線(ｸﾗﾝｸ状文),LR充填	
125-12	ⅢY-52	沢101 1層	深鉢形	口縁部	Ⅲ群B1類	沈線,LR充填	
125-13	不明	Ⅱ層	壺形	胴部～底部	Ⅲ群B1類	沈線,LR充填	底径5.5cm・器高[13.6]cm,P-1
125-14	ⅢX-52 ⅢY-52	沢101 1層	壺形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線,LR充填	器高[15.0]cm
125-15	ⅢY-53	沢101 1層	壺形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線,隆帯,LR充填	
125-16	ⅢD-53	Ⅲ層	壺形	胴部	Ⅲ群F類	貼瘤,沈線,LR充填,半肉彫状	
125-17	ⅣD-53	Ⅲ層	壺形	胴部	Ⅲ群F類	沈線,0段多条LR・RL充填,内面ﾅﾃﾞ	
125-18	ⅢW-54	Ⅲ層	深鉢形	口縁～底部	Ⅲ群C類	波状口縁,無文,内面ﾅﾃﾞ・ﾐｶﾞｷ	口径(26.0)cm・底径10.0cm・器高36.3cm,外面炭化物付着
127-1	CSR01	1層	深鉢形	胴部～底部	Ⅲ群C類	地文RL	底径10.4cm・器高[15.6]cm,P-1
128-1	ⅢJ-97	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	Ⅱ群B2類	口縁肥厚,隆帯,RL	P11
128-2	ⅢJ-97	Ⅲ層	深鉢形	胴部	Ⅱ群B2類	隆帯,撚糸文R	P11
128-3	ⅢB-102	Ⅲ層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	沈線	P8,図128-4と同一個体
128-4	ⅢB-102	Ⅲ層	深鉢形	胴部	Ⅲ群B1類	無文	P8,図128-3と同一個体
128-5	ⅢG-105	Ⅲ層	深鉢形	胴部	Ⅲ群C類	単軸絡条体第1類	P5
128-6	不明	攪乱	深鉢形	胴部	Ⅲ群C類	単軸絡条体第1類	P7

石器観察表

掲載番号	出土位置	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	備考
図6-2	SI102	2層	凹石Ⅱ	120.5	62.0	40.0	438.0	緑色凝灰岩	
図10-11	SI104 (SP2647)	覆土	石錘Ⅱa	31.6	18.5	4.7	2.9	珪質頁岩	素材面一部残存。
図10-12	SI104 (SP2419)	覆土	石匙Ⅰ	(57.1)	23.4	6.2	8.1	珪質頁岩	つまみ部に黒色物質付着。
図10-13	SI104 (SP2296)	覆土	スクレーパーⅠ	86.3	40.4	14.3	60.4	珪質頁岩	剥片の周縁に急斜度の刃部。
図10-14	SI104 (SP2132)	覆土上層	スクレーパーⅡ	54.6	24.2	8.3	8.8	珪質頁岩	剥片の周縁に刃部。
図11-1	SI104 (SP2296)	覆土	石核	63.5	76.9	41.0	228.7	珪質頁岩	角礫を素材、打面転位を頻繁に繰り返し約4～5cm角方の小さな剥片を作出した形跡。
図11-2	SI104 (SP2647)	覆土	凹石Ⅰ	120.0	78.0	50.0	666.5	凝灰岩	
図11-3	SI104 (SP2663)	覆土	凹石Ⅱ	(131.0)	(95.0)	52.0	669.8	凝灰岩	円礫被割後に敲打。
図14-11	SI105 (SP1162)	柱痕覆土	石錘Ⅱb	(24.6)	11.7	4.2	1.9	ﾎﾙﾝﾌｪﾙｽ	
図14-12	SI105 (SP1162)	覆土	石錘Ⅰd	(26.0)	16.2	3.1	1.9	珪質頁岩	素材面一部残存。
図14-13	SP105 (SP1162)	柱痕覆土	石錘	63.9	19.4	15.1	17.2	珪質頁岩	両面加工の玉諸器。素材面一部残存。
図14-14	SI105 (SP1469)	柱痕覆土	スクレーパーⅠ	29.5	14.7	5.8	2.4	珪質頁岩	剥片の周縁に鋸状の刃部。
図14-15	SI105 (SP2115)	覆土	スクレーパーⅡ	87.6	82.2	15.6	93.1	珪質頁岩	剥片の周縁腹面側に刃部。
図14-16	SI105 (SP2517)	覆土	磨石	123.0	(78.0)	31.0	440.8	凝灰岩	
図14-17	SI105 (SP2268)	覆土上層	石錘Ⅱ	59.5	52.0	17.0	59.7	凝灰岩	一部欠損。
図14-18	SI105 (SP2277)	覆土下層	石錘Ⅱ	58.0	44.0	13.0	45.7	凝灰岩	礫による結紮痕。
図14-19	SI105 (SP2249)	覆土	石錘Ⅱ	60.5	45.5	24.5	97.2	凝灰岩	
図16-4	SI109 (SP2404)	覆土上層	石錘Ⅱ	97.0	58.0	28.0	192.3	凝灰岩	
図17-4	SI111 (SP1270)	柱痕	石皿Ⅰ	(178.0)	(227.0)	63.0	25500.0	凝灰岩	基面1面 明瞭な縁を形成 磨耗面1面 運動方向は縦方向。被熱により欠損。
図18-7	SI113 (SP1781)	覆土上層	石錘Ⅱa	(28.2)	14.6	3.2	0.9	珪質頁岩	基部に黒色物質付着。
図19-10	SI114 (SP1224)	1層	石匙Ⅰ	66.4	24.9	12.6	19.3	珪質頁岩	素材剥片の基端側につまみを形成。
図19-11	SI114 (SP1224)	覆土	石匙Ⅰ	56.9	18.6	5.8	6.8	珪質頁岩	つまみ部に黒色物質付着。
図19-12	SI114 (SP1224)	2層	石核	70.8	73.2	19.2	89.1	珪質頁岩	
図20-21	SI115 (SP1232)	1層	石錘Ⅱa	(31.9)	14.3	2.9	0.9	珪質頁岩	基部に黒色物質付着。
図20-22	SI115 (SP1232)	2層	石錘Ⅱa	(27.9)	11.3	3.4	0.9	珪質頁岩	基端部黒色物質付着。
図20-23	SI115 (SP1232)	1層	石錘Ⅱa	32.0	10.7	2.9	0.8	珪質頁岩	素材面一部残存。
図20-24	SI115 (SP1232)	覆土	石錘Ⅱa	31.4	10.6	3.5	1.0	珪質頁岩	
図20-25	SI115 (SP1232)	2層	スクレーパーⅠ	87.1	30.8	11.9	37.4	珪質頁岩	剥片の周縁縁に急斜度の刃部。片面加工。
図21-1	SI115 (SP1232)	2層	スクレーパーⅡ	76.5	47.8	11.9	27.9	珪質頁岩	剥片の周縁に刃部。片面加工。
図21-2	SI115 (SP1232)	1層	スクレーパーⅡ	69.0	44.5	7.5	19.3	珪質頁岩	剥片の周縁縁に刃部。片面加工。
図21-3	SI115 (SP1232)	2層	U.F.	41.7	15.9	6.1	3.2	珪質頁岩	周縁に刃こぼれをともう剥片。基部に指状物質付着。
図21-4	SI115 (SP1232)	2層	敲石	103.0	127.0	65.0	823.0	珪質頁岩	重角礫の一端を敲打部とする。
図21-5	SI115 (SP1232)	2層	石皿Ⅱ	222.0	171.0	54.0	25000.0	凝灰岩	
図21-6	SI115 (SP1232)	1層	石皿Ⅱ	493.0	(359.0)	70.0	13750.0	砂質凝灰岩	
図23-7	SI116 (SB01)	1層	石錘Ⅱc	29.6	15.2	3.0	0.9	珪質頁岩	
図23-8	SI116 (SB105)	覆土上層	石錘Ⅱa	25.4	12.6	3.7	0.9	珪質頁岩	
図23-9	SI116 (SP1484)	覆土	石錘Ⅱb	30.9	18.4	5.7	2.9	珪質頁岩	両縁辺に抉り。
図23-10	SI116 (SP1495)	柱痕覆土	石錘	(307.0)	(244.0)	52.0	2.1	珪質頁岩	つまみ状の頭部。素材面一部残存。
図23-11	SI116 (SD01)	1層	スクレーパーⅡ	45.7	25.6	10.1	12.5	珪質頁岩	
図23-12	SI116 (SD01F111)	1層	スクレーパーⅠ	90.6	48.3	13.3	63.2	珪質頁岩	図23-13と接合。
図23-13	SI116 (SD01F111)	1層	R.F.	90.3	42.5	21.7	74.8	珪質頁岩	図23-12と接合。
図24-7	SI117 (SP1327)	覆土	石匙Ⅰ	74.5	24.7	8.2	18.0	珪質頁岩	素材剥片の基端側につまみを形成。末端側のみ裏面二次加工。刃部に指状物質付着。
図36-13	SB22 (SP1054)	覆土	スクレーパーⅡ	61.8	31.4	15.2	21.0	珪質頁岩	右側縁の刃部は内湾。
図36-14	SB22 (SP1054)	覆土	磨製石斧	73.0	21.0	15.0	41.0	緑色凝灰岩	表裏面とも丁寧に研磨、使用痕なし。両凸刃。
図36-19	SB24 (SP1076)	底面	磨製石斧	(78.0)	39.0	15.5	94.4	緑色凝灰岩	基部欠損。粗割痕残存。両凸刃。

掲載番号	出土位置	層位	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考
図36-21	SB25 (SP1046)	柱痕覆土	石鏃	41.9	33.1	6.0	7.1	珪質頁岩	大石平型。
図36-25	SB26 (SP1050)	覆土	石槍	51.5	17.9	9.0	10.0	ｶﾙｾﾄﾞﾆｰ	素材背面側に急斜度の二次加工。
図36-26	SB26 (SP1111)	覆土	石鏃	34.9	25.1	9.4	7.4	珪質頁岩	大石平型。柄部に黒色物質付着。
図36-33	SB28 (SP1240)	覆土	スクレーパーⅡ	32.3	23.1	7.2	4.6	珪質頁岩	
図36-39	SB29・30 (SP1127)	覆土	石鏃Ⅱa	37.1	13.4	4.7	2.0	珪質頁岩	素材面一部残存。
図37-7	SB31 (SP1132)	柱痕覆土	石鏃Ⅱc	22.2	10.8	3.0	1.6	珪質頁岩	素材面一部残存。
図37-8	SB31 (SP1122)	覆土	石錘Ⅱ	89.0	78.5	24.0	213.6	緑色凝灰岩	十字型抉り。
図37-14	SB33 (SP1524)	覆土	石鏃Ⅱb	24.2	11.8	3.5	0.6	珪質頁岩	
図37-15	SB33 (SP1155)	覆土	石鏃Ⅰd	38.1	21.3	9.5	6.3	珪質頁岩	素材面一部残存。
図37-16	SB33 (SP1524)	柱痕覆土	凹石Ⅱ	159.0	91.0	45.0	1057.1	凝灰岩	
図37-24	SB37 (SP1974)	覆土上層	敲石	68.0	65.0	46.0	197.1	珪質頁岩	
図40-4	SD22	覆土	敲石	65.0	57.0	49.0	215.3	凝灰岩	
図78-1	SP1014	覆土	石匙Ⅰ	86.2	26.2	11.2	23.5	珪質頁岩	黒色物質付着。
図78-11	SP1090	覆土	敲石	65.0	45.0	36.0	113.9	珪質頁岩	稜角線の縁辺に敲打痕。
図78-12	SP1097	覆土	石匙Ⅲ	51.3	41.5	9.7	18.0	珪質頁岩	素材剥片の右側縁側につまみを形成。つまみ部に黒色物質付着。
図78-16	SP1098	覆土	石鏃Ⅱa	29.8	11.6	4.0	1.2	珪質頁岩	
図78-17	SP1098	覆土	石鏃Ⅰd	26.7	14.4	4.9	1.8	珪質頁岩	素材面一部残存。
図78-22	SP1119	覆土	石錐	28.4	10.7	4.1	1.0	珪質頁岩	つまみ状の頭部。素材面一部残存。
図78-27	SP1110	覆土	石錐	36.1	9.9	6.2	2.0	珪質頁岩	棒状。
図78-30	SP1116	1層	石錘Ⅱ	10.7	8.1	1.9	197.4	凝灰岩	
図79-1	SP1133	覆土	スクレーパーⅠ	23.4	18.4	4.8	2.4	珪質頁岩	剥片の周縁に急斜度刃部。拇指状。
図79-5	SP1137	覆土	石鏃	49.0	27.6	11.8	15.4	珪質頁岩	刃部に脂状物質付着。
図79-6	SP1137	覆土	石鏃	59.0	24.1	10.7	18.8	珪質頁岩	
図79-24	SP1188	覆土	石錐	39.3	25.8	9.1	6.7	珪質頁岩	つまみ状の頭部。素材面一部残存。
図79-32	SP1219	1層	石匙Ⅰ	(42.0)	22.9	5.5	5.2	珪質頁岩	素材剥片の基端側につまみを形成。つまみ部欠損。
図79-37	SP1234	覆土	石匙Ⅱ	48.6	57.5	9.2	22.8	珪質頁岩	素材剥片の左側縁側につまみを形成。
図80-6	SP1259	1層	石鏃Ⅱb	(26.6)	9.8	3.9	0.7	珪質頁岩	
図80-11	SP1285	覆土	石錐	41.2	16.1	4.8	3.1	珪質頁岩	つまみ状の頭部。素材面一部残存。
図80-18	SP1337	覆土	スクレーパーⅠ	47.4	24.1	8.7	10.6	珪質頁岩	片面加工。素材剥片の末端側に急斜度な刃部を形成。
図80-19	SP1361	覆土	スクレーパーⅡ	25.5	15.2	3.8	1.6	珪質頁岩	剥片の周縁に弧状の刃部。被熱による剥落。
図80-22	SP1372	柱痕	石匙Ⅲ	(24.8)	21.1	5.2	2.0	珪質頁岩	
図80-27	SP1375	覆土	凹石Ⅱ	174.0	54.0	31.0	371.3	緑色凝灰岩	
図80-28	SP1375	覆土	凹石Ⅱ	115.0	84.0	60.0	741.7	凝灰岩	
図80-29	SP1375	覆土	石皿Ⅰ	(127.0)	(114.0)	49.0	724.6	凝灰岩	
図81-6	SP1396	覆土	スクレーパーⅠ	51.8	20.5	7.8	8.9	珪質頁岩	
図81-7	SP1402	1層	石鏃Ⅱc	24.8	15.5	3.0	0.7	珪質頁岩	素材面一部残存。
図81-8	SP1415	覆土	石鏃Ⅱc	32.4	10.8	3.0	0.90	珪質頁岩	素材面一部残存。
図81-9	SP1576	覆土	石鏃Ⅱc	18.3	12.2	2.9	0.5	珪質頁岩	素材面一部残存。
図81-22	SP1583	覆土	凹石Ⅱ	(102.0)	96.0	22.0	299.6	緑色凝灰岩	
図81-23	SP1583	覆土	石錘Ⅱ	90.0	67.0	24.0	194.9	緑色凝灰岩	
図82-13	SP1702	柱痕	石匙Ⅰ	67.5	27.8	12.6	15.7	珪質頁岩	右側縁は背面、左側縁は腹面に二次加工。
図82-14	SP1783	1層	石鏃Ⅲ	34.1	8.3	5.2	1.2	頁岩	
図82-16	SP1852	覆土	石鏃Ⅱa	(32.8)	13.1	4.7	1.70	珪質頁岩	素材面一部残存。
図82-17	SP1852	覆土	石鏃Ⅱa	(21.6)	12.7	4.5	1.0	珪質頁岩	
図82-18	SP1857	柱痕	石錘Ⅱ	9.6	7.4	2.8	295.1	緑色凝灰岩	
図82-24	SP2018	覆土	石鏃Ⅱa	22.1	12.8	3.9	0.8	珪質頁岩	素材面一部残存。
図82-25	SP2020	覆土	スクレーパーⅠ	38.4	26.1	9.7	9.5	珪質頁岩	剥片の周縁に刃部。
図82-28	SP2059	覆土	磨製石斧	(58.0)	(39.0)	19.0	69.0	片岩	片面研磨痕なし。
図82-30	SP2076	覆土	石錐	31.9	17.8	5.5	1.7	珪質頁岩	つまみ状の頭部。先端部に微細な剥離。
図82-31	SP2092	覆土	石匙Ⅰ	59.8	26.9	5.7	7.7	珪質頁岩	
図83-3	SP1869	柱痕下	石匙Ⅱ	37.0	52.9	10.8	13.1	珪質頁岩	素材剥片の右側縁側につまみを形成。
図83-4	SP1869	1層	凹石Ⅱ	131.0	99.0	41.0	441.4	緑色凝灰岩	
図83-5	SP1869	1層	磨石	119.0	84.0	53.5	870.3	花崗岩	
図83-6	SP1869	覆土	石皿Ⅱ	272.5	(239.0)	84.0	55500.0	凝灰岩	皿部1面、磨耗面1面。
図83-8	SP2163	覆土	石錐	55.5	26.1	11.4	8.9	珪質頁岩	つまみ状の頭部。素材面一部残存。
図84-4	SP1900	7層	石鏃	53.7	23.1	11.0	13.8	珪質頁岩	素材剥片の末端側に刃部を形成。
図84-7	SP2200	覆土上層	石錐	91.7	8.6	6.0	5.0	珪質頁岩	断面三角形。素材面一部残存。
図84-12	SP2244	3層	石槍	(49.6)	14.3	7.4	5.2	珪質頁岩	基部断面に黒色物質付着。
図84-13	SP2273	覆土	磨石	89.0	117.0	47.0	709.2	凝灰岩	
図84-14	SP2273	覆土	凹石Ⅱ	146.0	64.0	43.0	394.0	凝灰岩	
図85-1	SP2292	覆土	石錘Ⅱ	62.0	47.5	18.0	64.9	緑色凝灰岩	
図85-2	SP2303	覆土	石錘Ⅱ	62.0	52.0	22.0	93.0	凝灰岩	
図85-9	SP2354	覆土	石槍	62.0	18.7	11.3	14.3	珪質頁岩	素材面一部残存。素材背面側に急斜度の二次加工。
図85-10	SP2366	東方	石鏃Ⅱb	31.1	13.9	3.8	1.1	珪質頁岩	素材面一部残存。
図85-11	SP2400	覆土	石鏃Ⅱa	26.8	9.4	2.9	0.4	珪質頁岩	茎部14mm。
図85-12	SP2371	覆土	石匙Ⅰ	66.8	31.6	11.1	20.0	ｶﾙｾﾄﾞﾆｰ	右側縁側に抉り状の加工。
図85-15	SP2399	覆土	スクレーパーⅡ	64.7	53.6	14.2	54.5	珪質頁岩	片面加工。
図86-1	SP2452	覆土	磨製石斧	(17.0)	(16.0)	(6.0)	2.0	緑色凝灰岩	
図86-3	SP2457	覆土	石錘Ⅱ	69.0	68.0	27.0	165.6	凝灰岩	
図86-4	SP2470	1層	凹石Ⅱ	90.0	97.0	54.0	567.2	凝灰岩	
図86-16	SP2592	覆土	石錐	455.0	206.0	86.0	5.3	珪質頁岩	つまみ状の頭部。素材面一部残存。
図86-17	SP2611	覆土	敲石	112.0	75.0	30.0	348.2	緑色凝灰岩	
図86-21	SP2660	覆土	石鏃Ⅰd	27.3	17.4	5.0	1.9	頁岩	素材面一部残存。
図86-22	SP2671	覆土	スクレーパーⅡ	45.5	24.2	13.2	11.4	珪質頁岩	
図86-23	SP2671	覆土	敲石	43.0	40.0	22.0	40.6	珪質頁岩	破砕片の縁辺に敲打痕。
図87-1	SP2713	覆土	石匙Ⅲ	71.9	45.1	16.4	42.6	珪質頁岩	
図87-2	SP2784	覆土上層	凹石Ⅱ	202.0	72.0	40.0	762.9	緑色凝灰岩	
図87-3	SP2813	覆土	石核	40.0	68.8	27.7	62.9	珪質頁岩	最終作業面と推定される面側には180度の打面転位。3cm四方の小さな剥片を作出した形跡。

掲載番号	出土位置	層位	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考
図87-5	SP2834	覆土	石鏃Ⅰd	22.6	16.7	3.7	1.0	珪質頁岩	素材面一部残存。
図87-6	SP2826	1層	石鏃Ⅱa	17.0	12.3	4.8	0.7	珪質頁岩	
図87-8	SP2867	覆土上層	磨製石斧	(163.0)	55.0	32.0	497.4	緑色凝灰岩	
図87-14	SP3025	覆土	凹石Ⅱ	89.0	86.0	27.0	202.6	火山礫凝灰岩	
図96-1	捨て場ⅣC-72	1層	石鏃Ⅰc	25.9	13.1	4.5	1.3	頁岩	素材面一部残存。
図96-2	捨て場ⅣC-72	1層	石匙	45.4	23.8	9.0	10.3	珪質頁岩	
図96-3	捨て場ⅣC-72	1層	石匙	31.8	21.0	5.7	3.9	珪質頁岩	大石平型。
図96-4	捨て場ⅣC-72	1層	石匙	39.0	24.2	7.4	7.5	珪質頁岩	素材剥片の末端側に急斜度な刃部。大石平型。
図96-5	捨て場ⅣC-73	1層	磨製石斧	(98.0)	50.0	32.0	281.0	緑色凝灰岩	片面基部敲打整形痕。研磨痕なし。
図96-6	捨て場ⅣC-72	1層	磨製石斧	(59.0)	33.0	20.0	66.6	緑色凝灰岩	刃部使用痕。両凸刃。
図96-7	捨て場ⅣB-72	1層	石皿Ⅰ	293.0	442.0	56.0	10300.0	凝灰岩	
図103-1	ⅣO-60	沢4 1層	石鏃Ⅰa	(13.3)	12.4	3.0	0.5	珪質頁岩	先端部欠損。素材面一部残存。
図103-2	ⅤG-67	Ⅱ層	石鏃Ⅰb	18.3	12.3	3.2	0.6	珪質頁岩	
図103-3	ⅣN-56	Ⅲ層	石鏃Ⅰb	30.5	11.9	5.2	1.6	頁岩	
図103-4	ⅣR-63	Ⅲ層	石鏃Ⅰc	25.3	11.2	3.5	0.9	頁岩	
図103-5	ⅣY-61	Ⅰ層	石鏃Ⅰc	28.9	15.6	3.8	1.3	頁岩	素材面一部残存。
図103-6	ⅣN-60	沢4 1層	石鏃Ⅰc	27.1	15.4	5.0	1.9	ｶﾙｾﾄﾞﾆｰ	素材面一部残存。
図103-7	ⅤB-61	沢3 1層	石鏃Ⅰc	27.4	15.8	3.4	1.3	珪質頁岩	
図103-8	ⅤB-61	Ⅲ層	石鏃Ⅰc	(20.8)	12.2	3.0	0.7	頁岩	素材面一部残存。
図103-9	ⅤC-63	Ⅲ層	石鏃Ⅰc	34.5	20.6	6.9	4.4	珪質頁岩	素材面一部残存。
図103-10	ⅤR-54	Ⅰ層	石鏃Ⅰd	(24.4)	10.8	3.6	0.8	ｶﾙｾﾄﾞﾆｰ	素材面一部残存。
図103-11	ⅣV-62	Ⅲ層	石鏃Ⅱa	24.0	13.8	3.0	0.8	珪質頁岩	素材面一部残存。
図103-12	ⅤA-61	沢3 1層	石鏃Ⅱa	30.1	14.6	5.3	2.1	珪質頁岩	素材面一部残存。
図103-13	ⅣR-63	Ⅲ層	石鏃Ⅰd	33.9	16.5	4.2	2.0	ｶﾙｾﾄﾞﾆｰ	
図103-14	ⅣM-66	Ⅲ層	石鏃Ⅰd	34.1	16.9	4.0	1.7	珪質頁岩	
図103-15	ⅣR-61	沢4 1層	石鏃Ⅱa	40.6	21.1	8.2	6.4	ｶﾙｾﾄﾞﾆｰ	
図103-16	ⅣQ-62	沢4 1層	石鏃Ⅱc	44.7	15.9	4.9	2.3	珪質頁岩	素材面一部残存。
図103-17	ⅣR-61	沢4 1層	石鏃Ⅱc	38.5	12.8	3.9	1.4	珪質頁岩	
図103-18	ⅣU-62	Ⅲ層	石鏃Ⅱc	(36.6)	12.1	4.3	1.3	珪質頁岩	
図103-19	ⅤR-63	Ⅲ層	石鏃Ⅱa	31.6	11.8	4.5	1.4	珪質頁岩	素材面一部残存。基部に黒色物質付着。
図103-20	ⅣN-59	沢4 1層	石鏃Ⅱc	32.1	13.7	2.8	0.6	珪質頁岩	素材面一部残存。茎部長14mm。
図103-21	ⅤC-62	Ⅲ層	石鏃Ⅱa	(30.4)	17.4	4.5	1.2	珪質頁岩	素材面一部残存。茎部黒色物質付着。
図103-22	ⅤC-60	表採	石鏃Ⅱa	(32.5)	14.4	3.2	1.3	珪質頁岩	基部に黒色物質付着。
図103-23	不明	表採	石鏃Ⅱa	25.0	11.0	4.0	0.5	珪質頁岩	
図103-24	ⅣM-59	沢4 1層	石鏃Ⅱc	(21.9)	11.8	2.5	0.3	珪質頁岩	
図103-25	ⅤR-54	Ⅰ層	石鏃Ⅱc	(23.8)	14.8	2.9	0.6	珪質頁岩	
図103-26	ⅣO-59	Ⅲ層	石鏃Ⅱb	30.2	12.3	3.3	1.0	ｶﾙｾﾄﾞﾆｰ	
図103-27	ⅣO-64	Ⅲ層	石鏃Ⅱb	29.9	13.5	3.5	1.0	珪質頁岩	先端再生の二次加工か。
図103-28	ⅣR-62	沢4 1層	石鏃Ⅱb	25.9	11.3	2.9	0.6	珪質頁岩	基部黒色物質付着。
図103-29	ⅣP-63	Ⅲ層	石鏃Ⅱc	25.4	11.9	3.1	0.7	珪質頁岩	素材面一部残存。基部に黒色物質付着。
図103-30	ⅣO-60	沢4 1層	石鏃Ⅱc	26.4	(12.5)	4.2	0.9	珪質頁岩	
図103-31	ⅣO-60	沢4 2層	石鏃Ⅱc	25.9	11.8	2.6	0.5	珪質頁岩	素材面一部残存。
図103-32	ⅣN-59	沢4 1層	石鏃Ⅱb	23.6	13.3	3.5	0.7	珪質頁岩	素材面一部残存。
図103-33	ⅣI-68	Ⅲ層	石鏃Ⅱb	(24.0)	10.6	3.1	0.6	珪質頁岩	
図103-34	ⅣH-68	Ⅲ層	石鏃Ⅱc	20.4	10.8	2.9	0.4	珪質頁岩	基部黒色物質付着。
図103-35	ⅣM-65	Ⅲ層	石鏃Ⅱc	(19.8)	12.7	3.6	0.7	珪質頁岩	
図103-36	ⅣP-59	沢4 1層	石鏃Ⅱc	20.8	10.9	2.6	0.5	ｶﾙｾﾄﾞﾆｰ	素材面一部残存。
図103-37	ⅣQ-59	沢4 2層	石鏃Ⅱb	(25.6)	16.8	4.2	1.2	珪質頁岩	
図103-38	ⅣP-62	沢4 1層	石鏃Ⅱa	36.0	14.4	5.2	2.5	珪質頁岩	素材面一部残存。基部黒色物質付着。
図103-39	ⅣO-59	沢4 1層	石鏃Ⅱa	32.4	10.2	3.9	0.9	珪質頁岩	素材面一部残存。
図103-40	ⅣX-63	Ⅲ層	石鏃Ⅱa	31.1	11.8	3.2	0.8	珪質頁岩	素材面一部残存。
図103-41	ⅣH-68	Ⅲ層	石鏃Ⅱc	27.9	12.8	3.6	1.0	珪質頁岩	素材面一部残存。
図103-42	ⅣN-60	沢4 1層	石鏃Ⅱa	27.4	11.8	4.7	1.2	珪質頁岩	素材面一部残存。
図103-43	不明	表採	石鏃Ⅱa	(26.6)	13.4	3.5	0.9	珪質頁岩	素材面一部残存。基部黒色物質付着。
図103-44	ⅣM-59	沢4 1層	石鏃Ⅱa	35.0	12.3	5.5	2.0	珪質頁岩	素材面一部残存。
図103-45	ⅣN-61	沢4 1層	石鏃Ⅱb	(24.6)	11.8	5.3	1.3	珪質頁岩	基部黒色物質付着。
図103-46	ⅣT-63	Ⅲ層	石鏃Ⅱa	30.4	12.5	3.5	1.0	珪質頁岩	
図103-47	ⅣN-59	沢4 1層	石鏃Ⅱa	(27.0)	13.1	3.2	1.1	珪質頁岩	素材面一部残存。
図103-48	ⅣU-62	Ⅲ層	石鏃Ⅱa	26.4	14.3	3.3	0.9	珪質頁岩	素材面一部残存。
図103-49	ⅤR-54	Ⅱ層	石鏃Ⅱa	(31.3)	15.6	4.0	1.6	珪質頁岩	
図103-50	ⅣQ-69	不明	石鏃Ⅱa	22.5	10.3	3.9	0.8	珪質頁岩	
図103-51	ⅣQ-54	Ⅲ層	石鏃Ⅱa	14.2	9.3	2.9	0.3	鉄石英	素材面一部残存。
図103-52	ⅣR-64	Ⅲ層	石鏃Ⅱa	(24.9)	9.6	3.2	0.5	珪質頁岩	素材面一部残存。茎部長13mm。
図103-53	ⅣD-72	Ⅲa層	石鏃Ⅰd	(40.9)	12.0	6.6	2.6	珪質頁岩	素材面一部残存。
図103-54	ⅣI-60	撹乱	石鏃Ⅲ	(39.1)	10.2	4.1	1.5	珪質頁岩	
図103-55	ⅣY-62	Ⅲ層	石錐	26.2	7.0	4.4	0.8	珪質頁岩	
図103-56	ⅣW-65	Ⅲ層	石錐	33.8	8.6	4.8	1.4	珪質頁岩	
図103-57	ⅣP-64	Ⅲ層	石錐	40.5	8.3	4.5	1.5	珪質頁岩	
図103-58	ⅣO-62	沢4 1層	石錐	52.5	8.8	6.0	3.2	珪質頁岩	

掲載番号	出土位置	層位	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考
図103-59	ⅣE-54	Ⅲ層	石槍	74.0	42.0	17.0	59.2	珪質頁岩	
図103-60	ⅣL-52	Ⅲ層	石槍	(107.0)	55.0	19.0	118.4	珪質頁岩	
図104-1	ⅣH-72	Ⅲ層	石匙Ⅰ	35.5	12.4	4.7	2.1	珪質頁岩	
図104-2	ⅣE-73	Ⅲ層	石匙Ⅰ	51.5	23.4	8.2	10.4	珪質頁岩	
図104-3	ⅣW-65	Ⅲ層	石匙Ⅰ	45.0	20.6	6.2	5.1	珪質頁岩	
図104-4	ⅣI-68	Ⅲ層	石匙Ⅰ	43.5	22.1	7.2	8.3	珪質頁岩	
図104-5	ⅣQ-61	沢4 1層	石匙Ⅰ	50.6	20.6	6.3	6.5	珪質頁岩	
図104-6	ⅤQ-54	Ⅱ(Ⅲa) 層	石匙Ⅰ	54.3	25.4	4.2	5.1	珪質頁岩	
図104-7	ⅣQ-59	沢4 1層	石匙Ⅰ	64.3	26.0	10.4	15.6	珪質頁岩	素材剥片の基端側につまみを形成。
図104-8	ⅣT-63	Ⅲ層	石匙Ⅰ	53.6	28.9	4.8	6.5	珪質頁岩	素材剥片の基端側につまみを形成。末端側に抉り状の二次加工。
図104-9	ⅣI-67	Ⅲ層	石匙Ⅲ	59.8	34.9	14.6	20.6	珪質頁岩	
図104-10	ⅣK-57	Ⅲ層	石匙Ⅲ	43.5	34.1	6.2	7.7	珪質頁岩	
図104-11	ⅤA-63	Ⅲ層	石匙Ⅲ	43.4	33.9	10.8	17.7	珪質頁岩	
図104-12	ⅣU-62	Ⅲ層	石匙Ⅱ	32.5	51.0	12.0	17.0	珪質頁岩	
図104-13	ⅤN-55	Ⅲ層	石匙Ⅲ	(44.4)	39.0	12.2	16.5	珪質頁岩	刃部欠損。被熱剥落。
図104-14	ⅣU-62	Ⅲ層	石匙Ⅲ	40.6	64.0	8.8	14.2	珪質頁岩	刃部端に素材剥片打点。
図104-15	ⅣS-63	Ⅲ層	石匙Ⅲ	40.5	60.2	18.1	24.8	珪質頁岩	
図104-16	ⅣR-61	沢4 1層	石匙Ⅱ	50.7	49.7	8.2	20.4	珪質頁岩	
図104-17	ⅣM-56	Ⅲ層	石匙Ⅱ	53.9	63.8	15.2	44.4	珪質頁岩	
図104-18	ⅣO-59	沢4 1層	石匙Ⅱ	46.5	66.8	18.6	42.4	珪質頁岩	左辺に抉り状の加工。
図105-1	不明	覆土	石箆	42.1	13.2	7.9	5.1	珪質頁岩	
図105-2	ⅤA-61	Ⅲ層	石箆	45.4	24.1	8.6	10.5	珪質頁岩	
図105-3	ⅣP-62	沢4 1層	石箆	44.9	24.6	9.2	12.4	珪質頁岩	
図105-4	ⅣD-72	Ⅲ層	石箆	50.9	22.9	9.7	11.3	珪質頁岩	
図105-5	ⅣU-62	Ⅲ層	石箆	59.3	30.7	10.3	19.5	珪質頁岩	
図105-6	ⅣG-61	沢4 2層	石箆	63.0	35.0	12.5	27.5	珪質頁岩	トランシェ様石器。
図105-7	ⅣQ-63	沢4 1層	石箆	85.2	37.7	11.8	46.2	珪質頁岩	
図105-8	ⅣQ-63	Ⅲ層	石箆	92.0	40.0	14.2	54.1	珪質頁岩	
図105-9	ⅣI-72	撹乱	石箆	107.8	46.0	26.1	129.1	珪質頁岩	
図105-10	ⅣP-62	沢4 1層	異形石器	34.6	18.7	6.3	3.0	珪質頁岩	
図105-11	ⅣD-72	Ⅲ層	異形石器	(23.3)	14.3	5.8	1.2	珪質頁岩	十字形。
図105-12	ⅣW-64	Ⅲ層	楔形石器	30.2	24.9	8.8	6.3	珪質頁岩	断面レンズ状。多方向から両極剥離。
図105-13	ⅣH-72	撹乱	楔形石器	30.9	31.1	8.8	9.4	珪質頁岩	断面レンズ状。多方向から両極剥離。
図105-14	ⅣF-74	撹乱	楔形石器	20.8	(35.6)	9.9	7.1	珪質頁岩	断面レンズ状。
図105-15	ⅤB-63	Ⅲ層	スクレーパーⅡ	35.9	18.9	8.4	4.7	珪質頁岩	
図105-16	ⅣM-59	沢4 1層	スクレーパーⅡ	58.0	39.8	11.1	18.3	珪質頁岩	
図105-17	ⅣL-59	沢4 1層	スクレーパーⅡ	60.0	61.5	21.6	69.3	珪質頁岩	
図105-18	ⅣW-64	Ⅲ層	スクレーパーⅡ	52.9	61.0	15.0	27.2	珪質頁岩	剥片末端部の内湾する一片の腹面側に刃部を作出。
図105-19	ⅣT-64	Ⅲ層	スクレーパーⅡ	58.1	51.5	13.5	29.4	珪質頁岩	右側縁、左側縁に抉り状の刃部。
図106-1	ⅣP-52	撹乱	スクレーパーⅡ	48.0	56.5	11.4	29.1	珪質頁岩	
図106-2	ⅣR-62	沢4 1層	スクレーパーⅠ	65.8	78.2	25.7	104.3	珪質頁岩	
図106-3	ⅣH-69	Ⅲ層	スクレーパーⅡ	58.8	58.7	19.8	63.0	珪質頁岩	
図106-4	ⅣO-57	撹乱	スクレーパーⅠ	59.4	59.6	21.3	69.8	珪質頁岩	
図106-5	ⅣY-61	Ⅲ層	スクレーパーⅠ	86.7	69.6	19.9	104.0	珪質頁岩	
図106-6	ⅣP-63	Ⅲ層	スクレーパーⅠ	26.2	11.9	4.2	1.4	珪質頁岩	
図106-7	ⅣS-63	Ⅲ層	スクレーパーⅡ	30.4	19.6	5.5	3.4	珪質頁岩	
図106-8	ⅣN-59	沢4 1層	スクレーパーⅠ	35.0	29.0	8.5	8.9	珪質頁岩	
図106-9	ⅣS-62	沢4 1層	スクレーパーⅡ	36.9	32.5	10.9	9.7	珪質頁岩	
図106-10	ⅣH-73	撹乱	スクレーパーⅠ	33.6	35.6	9.7	11.6	珪質頁岩	
図106-11	ⅣQ-62	沢4 1層	スクレーパーⅠ	30.1	37.0	8.4	9.7	珪質頁岩	
図106-12	ⅣF-74	Ⅲ層	スクレーパーⅠ	42.8	42.5	18.1	30.7	珪質頁岩	
図106-13	ⅣP-62	沢4 1層	スクレーパーⅠ	38.4	28.2	8.8	7.7	珪質頁岩	
図106-14	ⅣQ-63	Ⅲ層	スクレーパーⅠ	40.9	43.1	9.4	15.6	珪質頁岩	
図106-15	ⅣP-65	撹乱	スクレーパーⅠ	46.7	36.5	8.0	13.9	珪質頁岩	
図106-16	ⅣO-59	Ⅲ層	スクレーパーⅠ	(55.0)	33.6	6.6	12.0	珪質頁岩	
図106-17	ⅤA-63	Ⅲ層	スクレーパーⅠ	52.6	26.6	10.8	11.1	珪質頁岩	
図107-1	ⅣO-60	沢4 1層	スクレーパーⅠ	64.3	36.0	9.4	28.2	珪質頁岩	
図107-2	ⅣY-64	Ⅲ層	スクレーパーⅠ	49.0	24.4	11.7	12.5	珪質頁岩	
図107-3	ⅣO-69	Ⅲ層	スクレーパーⅠ	66.8	36.8	15.0	31.5	珪質頁岩	
図107-4	ⅣS-62	沢4 1層	U.F.	44.1	68.8	15.4	45.7	珪質頁岩	周縁に刃こぼれををもつ剥片。
図107-5	ⅣR-63	Ⅲ層	スクレーパーⅠ	45.7	46.0	15.6	41.0	珪質頁岩	
図107-6	ⅣS-62	Ⅲ層	スクレーパーⅠ	(41.1)	33.1	8.0	9.0	珪質頁岩	右辺内湾し急斜度な刃部。
図107-7	ⅣD-71	Ⅲ層	スクレーパーⅠ	68.7	24.1	13.8	23.9	珪質頁岩	
図107-8	ⅣM-60	沢4 1層	スクレーパーⅠ	65.2	20.3	12.7	21.8	ｶﾙｾﾄﾞﾆｰ	
図107-9	ⅤC-62	沢3 堆積土	スクレーパーⅠ	75.5	34.1	10.2	25.0	珪質頁岩	基部黒色物質による結縛痕。
図107-10	ⅣP-62	沢4 1層	スクレーパーⅠ	63.1	43.4	13.7	43.6	珪質頁岩	
図107-11	不明	覆土上層	スクレーパーⅠ	109.5	33.7	15.4	67.0	珪質頁岩	
図107-12	ⅣU-63	Ⅲ層	スクレーパーⅠ	108.0	36.5	12.2	38.3	珪質頁岩	
図108-1	ⅤE-61	Ⅲ層	石核	36.0	46.5	27.7	51.4	珪質頁岩	角礫を素材、打面転位を頻繁に繰り返し約3cm四方の小さな剥片を作出した形跡。

掲載番号	出土位置	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	備考
図108-2	IVQ-63	Ⅲ層	石核	51.5	54.0	24.5	83.9	珪質頁岩	同一の作業面において、連続的に求心的な剥離。3cm四方の小さな剥片を作出した形跡。
図108-3	IVH-56	Ⅲ層	石核	58.1	52.4	53.0	172.7	珪質頁岩	角礫を素材。打面転位を頻繁に繰り返し約1～5cm四方の小さな剥片を作出した形跡。
図108-4	IVN-59	表4層	石核	55.0	64.3	20.8	77.0	珪質頁岩	
図108-5	IVT-64	1層	石核	46.7	65.1	30.4	85.8	珪質頁岩	
図108-6	IVP-52	撹乱	石核	150.0	105.0	82.5	1106.5	珪質頁岩	
図108-7	IVH-59	表4層	石核	106.0	78.0	45.5	368.2	珪質頁岩	
図109-1	IVK-68	Ⅲ層	磨製石斧	82.0	42.0	22.5	126.4	緑色片岩	基部敲打整形痕。先端部は表裏面とも丁寧に研磨、鎬は不明瞭。両凸刃。
図109-2	IVW-61	1層	磨製石斧	105.0	42.0	21.0	160.4	緑色凝灰岩	基部敲打整形痕、刃部使用痕。両凸刃。
図109-3	IVF-63	Ⅲ層	磨製石斧	99.0	36.0	22.5	118.5	緑泥岩	刃部丁寧に研磨。両凸刃。
図109-4	IVO-59	表4層	磨製石斧	67.0	42.0	26.0	109.3	緑色片岩	基部～刃部欠損。頭部と欠損部に敲打痕。
図109-5	IVQ-64	撹乱	磨製石斧	(66.0)	51.5	31.0	156.0	緑色凝灰岩	刃部使用痕。両凸刃。
図109-6	IVO-64	Ⅲ層	磨製石斧	(73.0)	49.0	32.0	164.3	緑色凝灰岩	両凸刃。
図109-7	IVF-62	表4層	磨製石斧	(68.0)	50.0	27.0	167.5	緑色凝灰岩	両凸刃。
図109-8	IVD-70	1層	磨製石斧	(54.0)	31.0	14.0	37.9	緑色凝灰岩	両凸刃。
図109-9	IVE-52	撹乱	磨製石斧	43.0	12.0	9.0	8.3	緑色凝灰岩	両凸刃。
図109-10	IVH-68	Ⅲ層	磨石	96.0	(134.0)	50.0	772.9	緑泥岩	
図109-11	不明	表4層	磨石	49.0	50.0	46.0	104.1	緑泥岩	1cm程度の磨面残存。
図109-12	VF-63	Ⅲ層	磨石	74.0	66.0	46.0	273.6	緑泥岩	磨面明瞭。
図109-13	IVF-60	表4層	磨石	68.5	47.0	39.0	139.4	緑色凝灰岩	
図109-14	IVE-56	撹乱	磨石	123.0	59.0	40.0	436.4	緑泥岩	
図109-15	不明	Ⅲ層	磨石	175.0	66.0	54.0	940.5	流紋岩	
図110-1	IVR-63	Ⅲ層	敲石	96.0	56.0	52.0	145.4	緑泥岩	
図110-2	IVO-60	表4層	敲石	80.0	70.0	46.0	240.6	緑泥岩	
図110-3	IVR-63	Ⅲ層	敲石	36.0	58.0	30.0	77.3	珪質頁岩	
図110-4	IVK-57	Ⅲ層	敲石	49.0	50.0	36.0	100.9	珪質頁岩	亜角礫の一面に敲打痕。
図110-5	IVN-58	Ⅲ層	敲石	47.0	45.0	34.0	87.2	珪質頁岩	礫節片の縁辺に敲打痕。
図110-6	IVN-60	表4層	敲石	83.5	54.0	37.0	174.8	珪質頁岩	使用により欠損の可能性。
図110-7	IVT-62	Ⅲ層	敲石	68.0	62.0	35.0	181.9	珪質頁岩	敲打面は円礫の欠損面を利用。
図110-8	IIIT-63	盛土	敲石	86.0	73.0	52.0	349.2	緑色凝灰岩	
図110-9	IVH-58	表4層	敲石	(79.0)	48.0	31.0	171.9	緑色凝灰岩	
図111-1	VN-60	Ⅲ	旧石Ⅱ	(63.5)	72.0	39.0	211.6	緑泥岩	
図111-2	IVP-63	表4層	旧石Ⅱ	93.0	60.0	46.5	328.6	緑泥岩	
図111-3	IVP-64	Ⅲ層	旧石Ⅱ	94.5	80.0	50.0	448.3	緑泥岩	
図111-4	IVP-64	Ⅲ層	旧石Ⅱ	87.5	81.0	47.0	469.6	緑泥岩	炭化物付着。
図111-5	IVN-60	表4層	旧石Ⅱ	97.0	81.0	35.0	374.9	緑色凝灰岩	
図111-6	IVN-59	表4層	旧石Ⅱ	99.5	86.0	43.5	367.7	緑泥岩	
図111-7	IVQ-63	撹乱	旧石Ⅱ	(103.0)	65.0	29.0	245.5	緑色凝灰岩	
図111-8	VO-64	Ⅲ層	旧石Ⅱ	134.5	92.0	29.0	476.7	緑泥岩	
図112-1	IVO-60	表4層	旧石Ⅱ	85.0	81.0	60.0	625.5	緑色凝灰岩	
図112-2	VN-54	表4層	旧石Ⅱ	146.0	107.0	68.0	1048.5	緑泥岩	
図112-3	IVO-59	表4層	旧石Ⅱ	102.0	110.0	35.0	412.0	緑色凝灰岩	
図112-4	IVR-53	Ⅲ層	旧石Ⅱ	(110.5)	81.5	34.0	274.4	緑泥岩	
図112-5	IVW-59	表4層	旧石Ⅱ	99.0	94.0	38.0	368.2	緑泥岩	
図112-6	VC-62	表3層 堆積土	旧石Ⅱ	131.0	82.0	25.0	258.4	緑泥岩	
図112-7	IVL-60	表4層	旧石Ⅱ	(121.0)	86.5	56.0	815.6	緑泥岩	
図113-1	IVA-65	表4層	旧石Ⅱ	188.0	93.0	64.0	1256.2	緑色凝灰岩	
図113-2	IVO-59	表4層	旧石Ⅱ	111.0	50.0	23.0	168.7	緑色凝灰岩	
図113-3	IVO-60	表4層	旧石Ⅱ	120.0	78.0	41.0	529.8	緑泥岩	
図113-4	VB-69	Ⅲ層	旧石Ⅱ	123.0	96.0	49.5	838.6	緑泥岩	炭化物付着。
図113-5	VC-60	Ⅲ層	旧石Ⅱ	135.0	50.0	36.0	371.8	緑泥岩	
図113-6	VS-53	撹乱	旧石Ⅱ	(161.0)	61.0	35.0	453.3	緑泥岩	
図114-1	IVP-61	表4層	石錘Ⅱ	58.0	47.0	17.5	49.7	緑泥岩	
図114-2	IVO-60	表4層	石錘Ⅱ	58.5	41.5	14.5	52.6	緑泥岩	
図114-3	IVP-61	表4層	石錘Ⅱ	59.0	41.0	16.0	37.6	緑泥岩	
図114-4	IVQ-62	表4層	石錘Ⅱ	66.5	41.0	16.5	63.7	緑色凝灰岩	
図114-5	IVR-62	表4層	石錘Ⅱ	69.0	51.0	19.0	74.6	緑泥岩	
図114-6	IVR-62	表4層	石錘Ⅱ	73.0	65.0	25.0	130.3	緑泥岩	
図114-7	IVP-62	表4層	石錘Ⅱ	85.0	72.0	25.5	173.8	緑泥岩	一部欠損。
図114-8	IVP-62	表4層	石錘Ⅱ	76.0	61.0	18.0	103.5	緑泥岩	一部欠損。

掲載番号	出土位置	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	備考
図114-9	IVP-61	表4 1層	石錘B	80.0	66.0	20.0	141.5	緑色凝灰岩	
図114-10	IVM-65	堆積土	石錘B	86.0	74.0	21.0	188.8	凝灰岩	微細な擦痕。
図114-11	IVS-62	表4 1層	石錘B	96.0	75.0	24.0	260.6	緑色凝灰岩	微細な擦痕。
図114-12	IVY-61	III層	石錘B	90.0	79.0	26.5	185.5	凝灰岩	微細な擦痕。一部欠損。
図115-1	IVQ-63	III層	石錘B	95.0	80.0	19.0	189.8	緑色凝灰岩	
図115-2	IVH-68	III層	石錘B	103.0	82.0	22.5	258.5	緑色凝灰岩	
図115-3	IVQ-62	表4 1層	石錘B	99.0	87.0	19.5	192.7	凝灰岩	一部欠損。
図115-4	IVH-64	III層	石錘B	45.0	36.0	17.0	30.9	凝灰岩	
図115-5	IVO-59	表4 1層	石錘B	69.0	41.0	16.0	61.6	凝灰岩	
図115-6	IVS-64	III層	石錘B	79.0	65.0	20.0	114.3	凝灰岩	一部欠損。
図115-7	不明	表4 1層	石錘B	70.0	54.0	24.0	99.5	凝灰岩	
図115-8	IVY-61	撹乱	石錘B	70.0	64.0	23.5	143.3	凝灰岩	
図115-9	IVH-64	III層	石錘B	85.0	65.0	27.0	178.3	緑色凝灰岩	一部欠損。
図115-10	IVQ-63	III層	石錘B	76.0	60.0	16.0	83.6	凝灰岩	一部欠損。
図115-11	VR-65	II層	石錘I	71.0	53.0	21.0	102.2	緑色凝灰岩	
図115-12	IVY-61	III層	石錘B	117.0	77.0	35.0	401.7	凝灰岩	
図116-1	IVS-61	表4 1層	石皿I	(231.0)	161.0	69.0	21000.0	凝灰岩	
図116-2	IVT-72	III層	石皿I	392.0	218.0	57.0	26500.0	凝灰岩	
図116-3	IVN-58	撹乱	石皿I	(251.0)	(154.0)	48.0	17000.0	凝灰岩	
図116-4	VN-60	表4 1層	石皿I	(296.0)	(471.0)	100.0	16350.0	凝灰岩	
図116-5	VQ-54	II層	石皿B	403.0	178.0	80.0	87000.0	凝灰岩	
図116-6	IVF-64	III層	石皿B	276.0	176.0	50.0	37000.0	凝灰岩	
図124-6	BSP07	2層	石錘I	800.0	310.0	90.0	25.7	珪質頁岩	
図124-7	BSP07	6層	石錘B	400.0	470.0	110.0	16.0	珪質頁岩	
図124-8	BSP07	7層	石錘B	540.0	580.0	70.0	26.4	珪質頁岩	
図126-1	IVE-54	III層	石鏃B	(43.0)	13.0	6.0	3.0	珪質頁岩	
図126-2	IVE-54	III層	石錐	(74.0)	41.6	16.5	59.20	珪質頁岩	
図126-3	IVF-53	撹乱	回石B	138.0	59.0	31.0	330.4	緑色凝灰岩	
図126-4	IVY-52	表101 1層	回石B	149.0	87.0	42.0	685.2	緑色凝灰岩	
図126-5	IVC-54	III層	回石B	143.0	100.0	69.0	783.7	ドイライ	
図126-6	IIIY-53	表101 1層	台石	242.0	288.0	37.0	5370.1	花崗閃緑岩	
図128-7	IIIF-107	III層	スクレーパーII	44.5	25.6	6.6	7.9	珪質頁岩	
図128-8	IIIF-101	III層	U.F	68.8	38.4	14.6	39.8	珪質頁岩	

土製品観察表

図	番号	遺構名	グリッド	層位	器種	文様等	計測値(mm) 長さ	幅	厚さ	重量 (g)	備考
14	20	SI105(SP2268)	—	確認面	土偶	無文・胸突起・貫通孔	(90)	(97)	24	127.8	
14	21	SI105(SP1618)	—	堆土	円盤	沈線	33	31	8	7.0	
18	8	SI113(SP2183)	—	堆土上層	不明	沈線・貫通孔	25	22	9	3.3	土製品-1　赤彩
21	7	SI115(SP1232)	—	2層	ミニチュア	沈線	口径(69)	底径(45)	器高44	36.4	台付
21	8	SI115(SP1232)	—	2層	ｽﾀﾝﾌﾟ形	LR,RL,沈線	57	35	35	51.5	土面擬形
36	17	SB23(SP1043)	—	堆土	ミニチュア	無文	口径46	底径24	器高37	20.8	
36	22	SB25(SP1045)	—	堆土	円盤	LR	35	40	9	13.6	
36	27	SB26(SP1037)	—	堆土	三角	無文	38	47	8	11.1	
36	28	SB26(SP1037)	—	堆土	三角	無文	28	30	7	5.6	
36	34	SB28(SP1369)	—	堆土	円盤	沈線	29	36	8	8.9	
78	21	SP1109	—	撹乱面	円盤	無文	30	29	9	6.6	
79	28	SP1211	—	堆土	円盤	沈線	36	39	8	11.3	
80	26	SP1375	—	堆土	円盤	無文	28	27	9	6.7	
81	5	SP1474	—	1層	土偶	無脚L	(44)	(36)	17	17.4	胸部　赤彩　P-1
81	14	SP1566	—	堆土	土偶	沈線・胸突起	(55)	(37)	15	21.8	
81	24	SP1583	—	堆土	ミニチュア	無文	口径(46)	—	器高(44)	32.4	台付
82	3	SP1589	—	堆土	二角	沈線	32	34	8	6.4	
82	11	SP1696	—	表面	ミニチュア	沈線	口径21	底径10	器高36	21.2	土製品-1
82	23	SP2017	—	堆土	円盤	LR	38	33	8	9.7	
83	13	SP2191	—	堆土上層	二角	沈線	38	37	8	10.6	
84	4	SP2214	—	堆土	土偶	沈線・LR	(37)	(31)	35	22.7	土製品-1
84	15	SP2273	—	堆土	円盤	沈線	40	38	8	13.9	
86	2	SP2455	—	堆土	円盤	沈線	23	25	6	2.7	
87	16	SP3004	—	堆土	ミニチュア	無文	—	—	(31)	8.3	
96	8	—	捨て場IVC-72	1層	円盤	単軸絡条体1類	32	32	11	13.8	
117	1	—	不明	表採	土偶	刺突・沈線	(54)	(37)	(33)	23.9	H21年度調査
117	2	—	VH-61	II層	土偶	沈線	(42)	(48)	(24)	23.3	H22年度調査
117	3	—	VY-62	II層	土偶	沈線	(29)	(24)	(21)	12.9	H22年度調査
117	4	—	不明	II層	土偶	沈線・貫通孔	(46)	(98)	22	71.6	H21年度調査
117	5	—	IVP-64	撹乱	土偶	沈線・貫通孔	(47)	(44)	7	27.4	
117	6	—	IVS-62	表4 1層	土偶	沈線・貫通孔	(60)	(50)	18	42.5	
117	7	—	PC-59	II層	土偶	沈線・貫通孔	(66)	(55)	17	53.3	H21年度調査
117	8	—	不明	II層	土偶	沈線・貫通孔	(73)	(41)	17	44.3	H21年度調査
117	9	—	不明	II a層	土偶	沈線・胸突起・貫通孔	(41)	(43)	17	20.1	H21年度調査
117	10	—	VW-59	II a層	土偶	沈線・胸突起・貫通孔	(68)	(45)	23	56.1	H21年度調査
117	11	—	VR-59	—	土偶	沈線・貫通孔	(80)	(56)	26	66.8	H21年度調査
117	12	—	不明	不明	土偶	沈線・胸突起・貫通孔	(120)	(105)	25	160.9	

図	番号	遺構名	グリッド	層位	器種	文様等	計測値(mm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	備考
118	1	—	ⅣQ-61	沢4 1層	土偶	沈線・貫通孔	(36)	(37)	12	14.8	
118	2	—	ⅤP-59	Ⅱ層	土偶	沈線	(48)	(68)	22	64.1	H21年度調査
118	3	—	ⅤY-61	Ⅱ層	土偶	沈線	(42)	(49)	18	25.7	H22年度調査
118	4	—	ⅤY-61	Ⅱ層	土偶	沈線	(57)	(43)	17	23.6	H22年度調査
118	5	—	ⅤT-59	Ⅱa層	土偶	沈線	(31)	(45)	11	10.3	H21年度調査
118	6	—	ⅣU-59	Ⅱ層	土偶	沈線	(80)	(52)	18	55.2	H21年度調査
118	7	—	ⅣW-59	Ⅱ層	土偶	沈線	(27)	(55)	18	29.1	H21年度調査
118	8	—	ⅣP-52	撹乱	土偶	摘突起	(47)	(52)	15	34.4	
118	9	—	不明	Ⅱ層	土偶	無文	(64)	(71)	19	70.7	H22年度調査
118	10	—	ⅤY-62	Ⅱ層	土偶	沈線	(29)	(46)	15	16.0	H22年度調査
118	11	—	ⅤS-59	Ⅱa層	土偶	沈線	(42)	(61)	15	29.6	H21年度調査
118	12	—	不明	沢4 1層	土偶	沈線	(65)	(71)	15	59.6	D-1
118	13	—	ⅣP-68	Ⅲ層	土偶	無文	(26)	25	42	19.0	
118	14	—	ⅣV-64	Ⅲ層	土偶	沈線・LR	(42)	(35)	23	29.3	
119	1	—	ⅣR-62	沢4 1層	円盤	沈線	35	37	6	9.8	
119	2	—	ⅤA-61	沢4 1層	円盤	沈線	30	32	7	5.8	
119	3	—	ⅣT-68	Ⅲ層	円盤	沈線	39	38	8	14.8	
119	4	—	ⅣN-59	沢4 1層	円盤	沈線	51	45	9	16.1	
119	5	—	ⅣS-63	沢4 1層	円盤	沈線	50	54	8	17.2	
119	6	—	ⅣR-62	沢4 1層	円盤	沈線	38	40	11	15.5	
119	7	—	ⅣE-68	Ⅲ層	円盤	無節L	30	32	11	9.3	
119	8	—	ⅣY-61	Ⅲ層	円盤	LR	39	41	9	13.8	
119	9	—	ⅣS-62	沢4 1層	円盤	無節L	40	43	9	16.3	
119	10	—	ⅣO-60	沢4 1層	円盤	RL	44	41	7	12.9	磨滅
119	11	—	ⅣR-63	Ⅲ層	円盤	無文	53	55	11	30.0	底部
119	12	—	ⅣR-61	沢4 1層	円盤	無文	35	33	8	8.5	
119	13	—	ⅣO-59	沢4 1層	円盤	無文	36	31	7	10.4	
119	14	—	ⅣS-62	沢4 1層	円盤	無文	43	43	9	16.1	
119	15	—	ⅣN-59	沢4 1層	円盤	沈線	67	65	13	55.5	底部
119	16	—	ⅣR-61	沢4 1層	三角	沈線	39	39	7	10.9	
119	17	—	ⅣK-52	撹乱	ミニチュア	無文	-	底径(40)	器高(22)	16.9	
119	18	—	ⅣO-60	沢4 1層	耳飾	無文	58	58	35	87.8	
119	19	—	ⅣE-72	撹乱	耳飾	刺突	48	47	32	61.1	
119	20	—	ⅣD-54	Ⅲ層	動物形	刺突	(36)	(25)	19	11.2	
119	21	—	ⅤB-61	沢3 1層	不明	穿孔	(17)	(57)	(18)	12.7	
126	7	—	ⅢU-56	Ⅲ層	円盤	沈線	42	42	11	16.2	
129	1	SK160	—	掘方	棒状	無文	(63)	21	20	23.2	H22年度調査
129	2	SK020	—	覆土	土偶	沈線	(38)	(51)	13	23.2	H22年度調査

石製品観察表

図	番号	遺構名	グリッド	層位	器種	石質	重量(g)	計測値(mm) 長さ	幅	厚さ	備考
14	22	SI105(SP1164)	—	覆土	不明	凝灰岩	23.9	(39)	46	12	
36	15	SB22(SP1340)	—	覆土	円盤	凝灰岩	6.0	31	29	6	線刻　岩版？
78	31	SP1116	—	1層	石棒	泥岩	373.8	(174)	47	40	線刻
80	15	SP1299	—	覆土	岩版	緑色凝灰岩	59.9	67	43	12	
84	5	SP1900	—	7層	有孔	凝灰岩	11.6	33	48	6	線刻、穿孔、垂飾品？　石製品-1
86	8	SP2497	—	覆土	石棒	流紋岩	1270.3	(173)	(73)	75	S-1・2　図86-9と同一
86	9	SP2497	—	覆土	石棒	流紋岩	769.4	(93)	(85)	75	図86-8と同一
86	14	SP2566	—	覆土	有孔	緑色凝灰岩	28.1	40	50	15	穿孔
87	7	SP2826	—	覆土	円盤	凝灰岩	33.5	44	48	11	
96	9	—	捨て場ⅣC-72	1層	石棒	砂質凝灰岩	1842.8	361	78	57	
96	10	—	捨て場ⅣC-72	1層	石冠	凝灰質砂岩	427.5	81	130	42	線刻　石製品-2
120	1	—	ⅣP-62	沢4 1層	円盤	凝灰岩	6.0	28	29	6	線刻
120	2	—	ⅣM-59	沢4 1層	円盤	凝灰岩	9.6	34	36	7	線刻
120	3	—	ⅣR-62	沢4 1層	円盤	凝灰岩	19.7	41	42	9	
120	4	—	ⅣE-71	Ⅲ層	円盤	凝灰岩	57.7	54	49	14	
120	5	—	不明	表採	円盤	凝灰質泥岩	41.0	53	50	12	
120	6	—	ⅣV-64	Ⅲ層	岩版	凝灰岩	26.4	54	35	10	
120	7	—	ⅣH-67	Ⅲ層	有孔	凝灰岩	6.6	32	32	6	穿孔
120	8	—	ⅣC-54	Ⅲ層	岩版	緑色凝灰岩	100.5	81	86	17	線刻、穿孔
120	9	—	ⅣU-62	Ⅲ層	石棒	泥岩	7.2	(59)	(26)	(7)	線刻
120	10	—	ⅤI-54	撹乱	石棒	泥岩	167.4	(132)	(48)	(17)	線刻
120	11	—	ⅤN-63	Ⅲ層	石棒	凝灰岩	1490.5	(391)	58	46	
120	12	—	ⅣR-62	沢4 1層	石棒	砂岩	2477.7	659	51	47	線刻　石製品-1

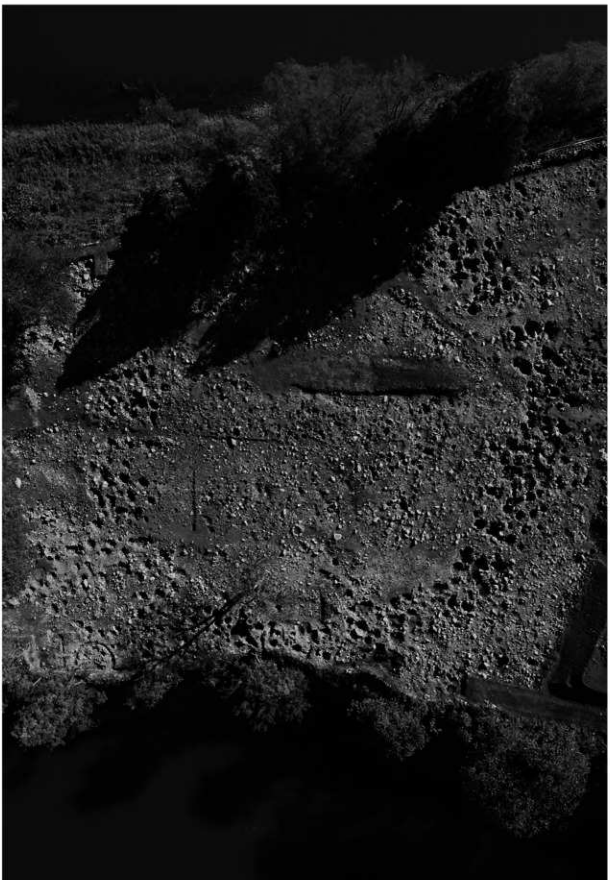
A・B区全景（上が北、合成写真）

写真１　調査区全景（１）

調査区全景（平成23年度　北から）

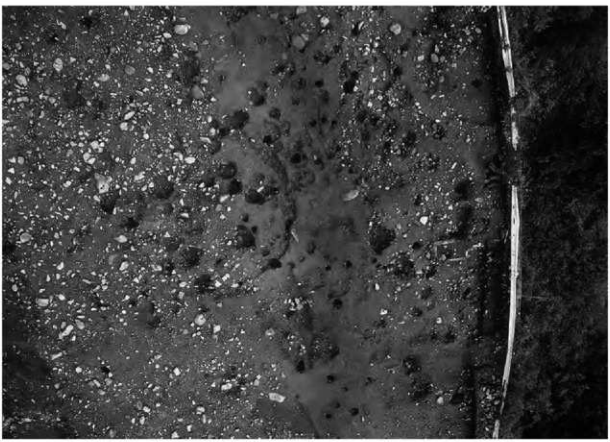
調査区全景（平成24年度　南から）

写真２　調査区全景（２）

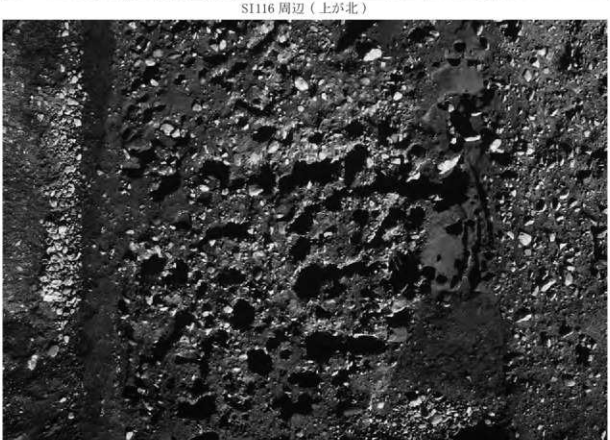


環状に分布する掘立柱建物跡（左が北）

写真３　調査区全景（３）



SI116 周辺（上が北）



SI104 周辺（上が北）

写真４　調査区全景（４）

B区全景（南から）

C区全景１（西から）

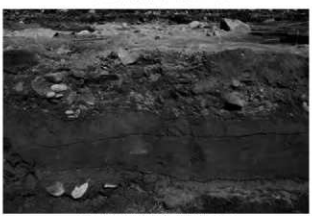
C区全景２（南西から）

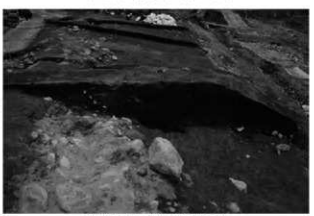
C区全景３（西から）

写真５　調査区全景（５）

A区基本層序①（東から）

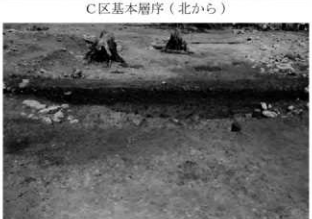
A区基本層序②（東から）


A区基本層序③（西から）


B区基本層序（南から）

C区基本層序（北から）

沢４土層①（北西から）


沢４土層②（南から）

沢 101 土層（南から）

写真６　基本層序

A区調査風景１

A区調査風景２

A区調査風景３

A区調査風景４

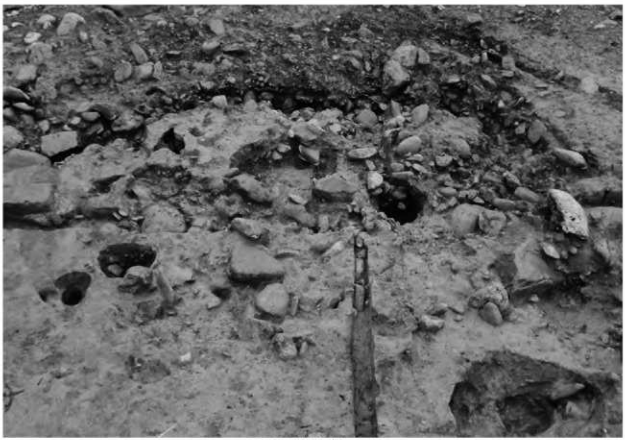
A区調査風景５

B区調査風景１

B区調査風景２

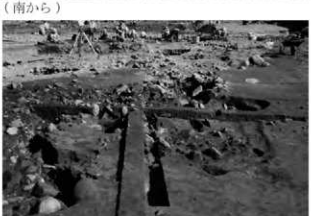
C区調査風景

写真７　調査風景

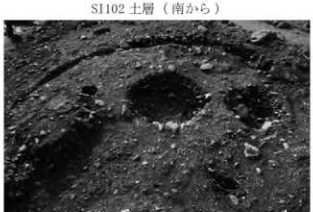


SI102 完掘（南から）

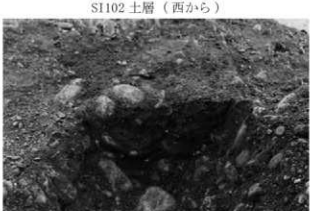
SI102 土層（南から）



SI102 土層（西から）

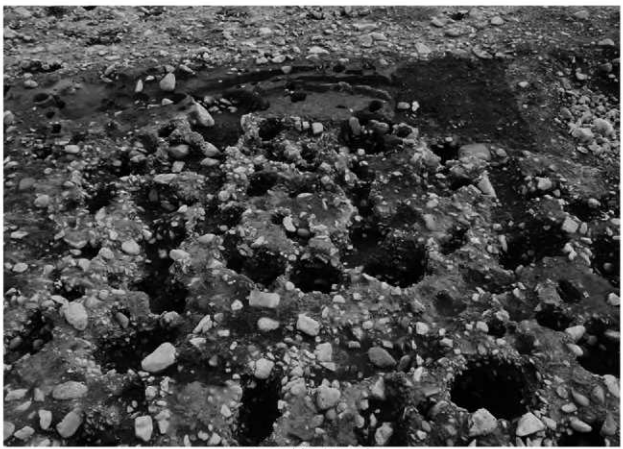


SI103 SD19 完掘（北から）



SI103 SD19 土層 A-A'（南から）

写真８　Ａ区竪穴住居跡（１）



SI104 完掘（西から）

SI104 SR104（左）・105（右）土層（南西から）

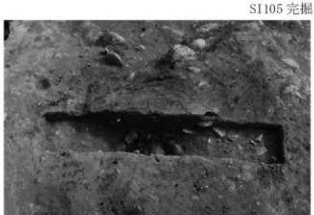
SI104A SP1683（右）・SD07（左）土層（東から）

SI104B SP2335 土層（南から）

SI104B SP2447 土層（南から）

写真９　Ａ区竪穴住居跡（２）

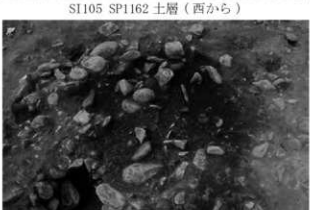
SI105 完掘（西から）



SI105 SN107 土層（北東から）

SI105 SP1162 土層（西から）

SI105 SP1658 土層（西から）

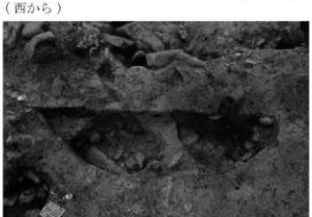


SI105 SP2268 土偶出土状況（東から）

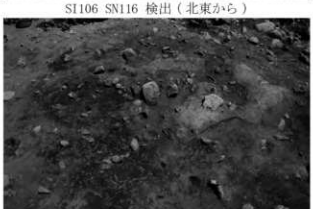
写真 10　A区竪穴住居跡（3）

SI106 完掘（西から）

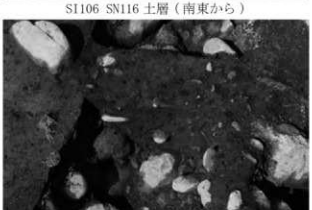
SI106 SN116 検出（北東から）



SI106 SN116 土層（南東から）



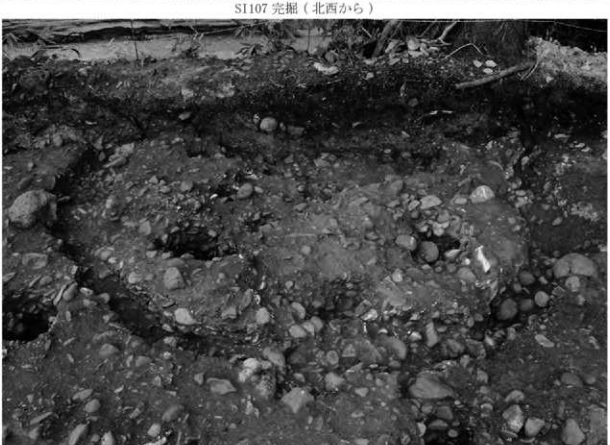
SI106 硬化面検出（西から）



SI106 SD09 土層（西から）

写真 11　A区竪穴住居跡（4）

SI107 完掘（北西から）



SI108 ～ 110 完掘（東から）

写真 12　A区竪穴住居跡（5）

SI108 SN118 土層（東から）

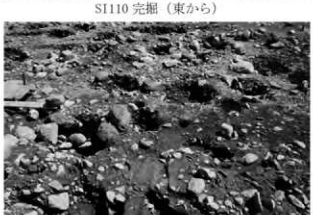
SI108 SD10 北側土層（東から）

SI108 SD10 南側土層（東から）

SI109 SN120 土層（東から）

SI110 完掘（東から）

SI110 土層（東から）


SI111 SP2390 完掘（西から）

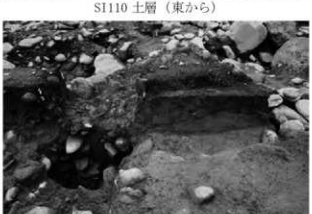

SI111 SP2390 土層（南から）

写真 13　A区竪穴住居跡（6）

SI111 SP2390 遺物出土状況（南から）

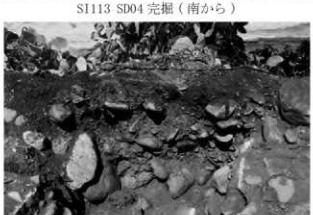
SI111 SP2178 石皿出土状況（南東から）

SI112 完掘（東から）

SI112 土層（東から）

SI113 SD04 完掘（南から）

SI113 SD04 完掘（東から）


SI113 SD04 土層 B-B'（東から）

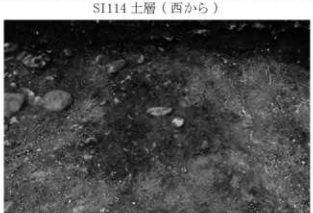
SI113 土層 E-E'（東から）

写真 14　A区竪穴住居跡（7）

SI114 完掘（西から）

SI114 土層（西から）

SI114 Pit1 土層（西から）



SI114 炉検出（西から）

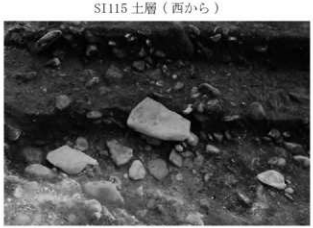
SI114 炉土層（北から）

写真 15　A区竪穴住居跡（8）

SI115 完掘（西から）

SI115 土層（西から）

SI115 Pit9 土層（西から）



SI115 石皿出土状況（西から）

SI115 土製品出土状況（南西から）

写真 16　A区竪穴住居跡（9）

SI116 SD01 完掘（東から）

SI116 SN105 土層（東から）

SI116 SN106 土層（北西から）

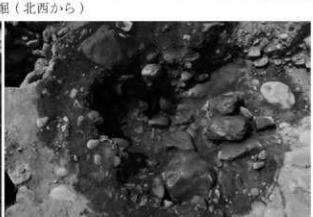
SI116 SP1244 土層（北東から）

SI116 SD01 土層 A-A'（北から）

写真 17　A区竪穴住居跡（10）

SI117・118 完掘（北西から）

SI118 SD03 土層（南東から）

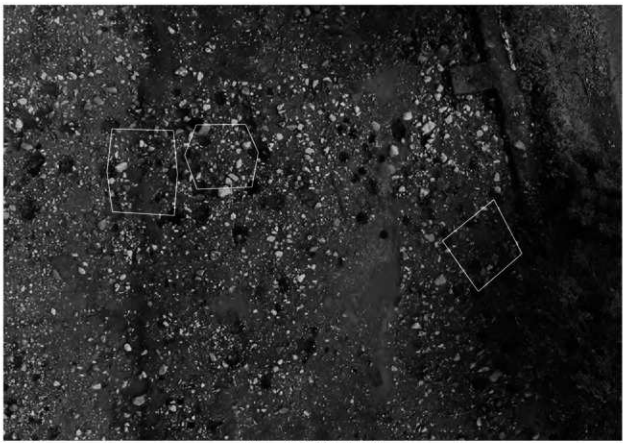


SI117 SP1407 完掘（北から）

SI117 SP1409 柱痕検出（東から）

SI117 SP1409（左）・1427（右）完掘（西から）

写真 18　A区竪穴住居跡（11）

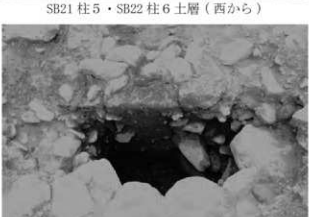


SB21 ～ 23 完掘（上が北）

SB21 柱２土層（北から）

SB21 柱５・SB22 柱６土層（西から）

SB22 柱１粘土土層（東から）



SB22 柱２土層（北西から）

写真 19　A 区掘立柱建物跡（１）

SB22 柱３土層（南から）

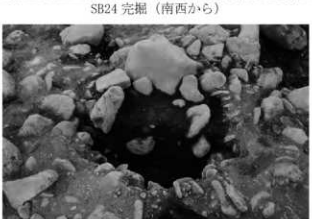
SB22 柱４・SP1107 土層（北から）

SB23 柱３土層（南から）

SB23 柱４土層（東から）

SB24 完掘（南西から）

SB24 柱１遺物出土状況（北から）


SB24 柱２土層（南東から）

SB24 柱３土層（南東から）

写真 20　Ａ区掘立柱建物跡（２）

SB25･26 完掘（西から）

SB25 柱１土層（西から）

SB25 柱２土層（東から）

SB25 柱４土層（南から）

SB25 柱５柱痕検出（南西から）

SB25 柱６底面硬化面（西から）

SB26 柱３土層（南から）

SB26 柱４（左）土層（西から）

写真 21　A区掘立柱建物跡（３）

SB27 完掘（東から）

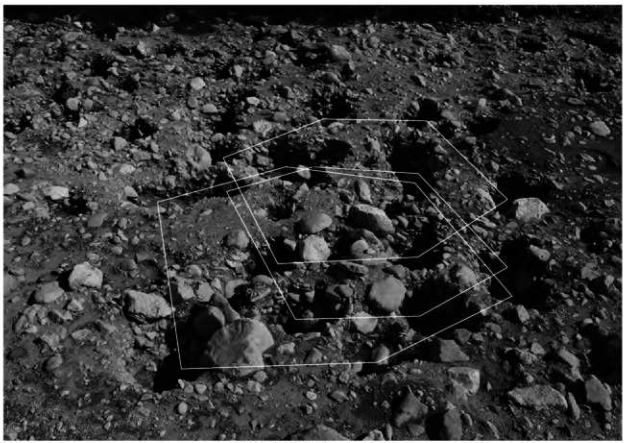
SB27 柱３柱痕検出（西から）

SB27 柱５・SP1488 完掘（南から）

SB27 柱６柱痕検出（西から）

SB27 柱６土層（南西から）

写真 22　A区掘立柱建物跡（４）



SB28・29・30 完掘（西から）

SB28 柱１柱痕検出（西から）

SB28 柱２柱痕検出（北東から）

SB28 柱２土層（南西から）

SB28 柱３土層（南から）

写真 23　Ａ区掘立柱建物跡（５）

SB29・30 柱２完掘（南から）

SB29・30 柱２土層（南から）

SB29 柱３土層（北から）

SB30 柱１・SP2258 土層（南から）

SB30 柱３土層（北から）

SB30 柱５土層（南から）

SB29・30 柱６土層（南西から）

SB31 完掘（南から）

写真 24　A区掘立柱建物跡（６）

SB32･33 完掘（北から）

SB32・33 検出状況（南から）

SB32・33 柱 1 土層（南から）

SB32・33 柱 3 土層（南東から）

SB32 柱 3 ・SP1589 土層（東から）

写真 25　A 区掘立柱建物跡（7）

SB32・33 柱５土層（北から）

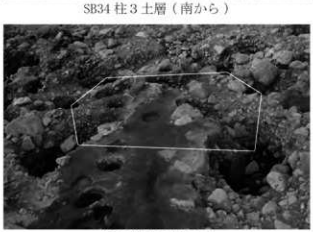
SB32・33 柱６土層（北西から）

SB34 柱１土層（南から）

SB34 柱２土層（東から）

SB34 柱３土層（南から）

SB34 柱６土層（南から）


SB35 完掘（南から）

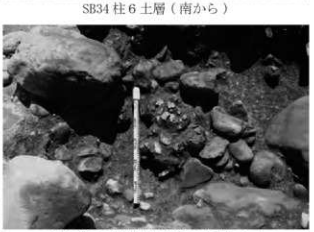

SB35 柱１剥片出土状況（北西から）

写真 26　A区掘立柱建物跡（８）

SB35 柱４土層（南西から）

SB35 柱５土層（東から）

SB36 完掘（東から）

SB36 柱１・SP2185 土層（北から）

SB36 柱４土層（南東から）

SB36 柱５土層（南東から）

SB37 完掘（東から）

SB37 柱４土層（北東から）

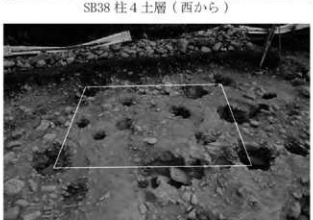
写真 27　Ａ区掘立柱建物跡（９）

SB37 柱５土層（北から）

SB37 柱６土層（東から）

SB38 柱４土層（西から）

SB38 柱６土層（西から）


SB39 完掘（西から）

SB40･41 完掘（北から）

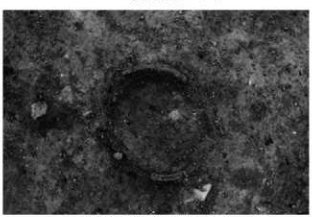
SB40 柱４土層（東から）

SB41 柱２土層（北から）

写真 28　Ａ区掘立柱建物跡（10）

SR100 検出（北から）

SR100 土層（東から）

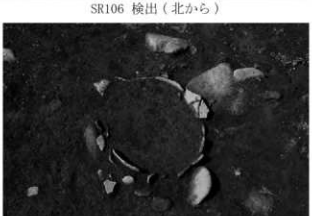


SR103 検出（北西から）

SR103 土層（南から）

SR106 検出（北から）

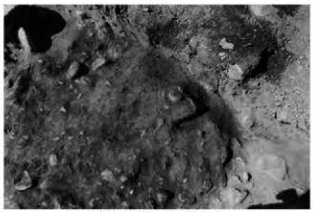
SR106 土層（北から）



SR107 検出（東→）

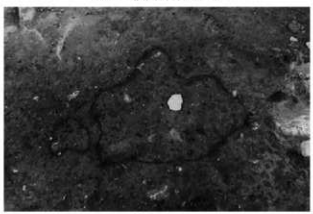
SR107 土層（南西→）

写真 29　A区土器埋設遺構



SN117 検出（東から）

SN117 土層（東から）

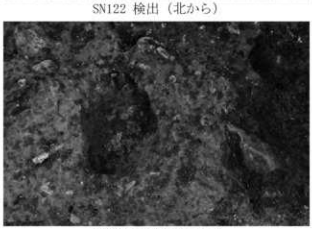


SN121 検出（西から）

SN121・SP2577 土層（南から）

SN122 検出（北から）

SN122 土層（北西から）



SN126 検出（北から）

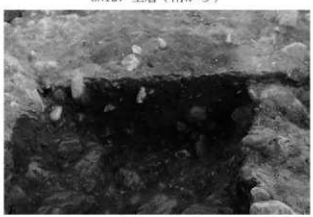
SN126 土層（西から）

写真30　A区焼土遺構（1）

SN127 検出（南から）

SN127 土層（南から）

SD16 B-Tm 検出（北から）


SD16 土層 A-A'（南から）

SD23 完掘（北から）

SD23 土層（北から）

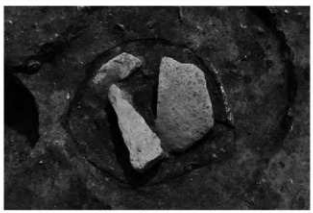
SQ01 検出（南から）

SQ03 検出（西から）

写真 31　A区焼土遺構（2）・溝跡・配石遺構

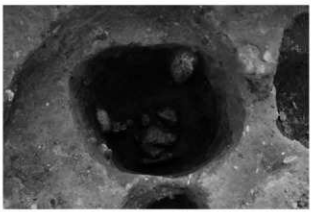
SP1081 土層（南東から）

SP1081 完掘（南から）


SP1219 検出面礫出土状況（西から）

SP1219 柱痕部土器出土状況（東から）

SP1219 土器出土状況（東から）


SP1219 土器下面礫出土状況（東から）

SP1261 土層（東から）

SP1261 完掘（東から）

写真32　A区ピット（1）

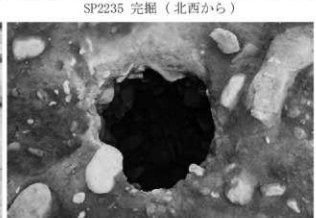
SP2214 土層（南西から）

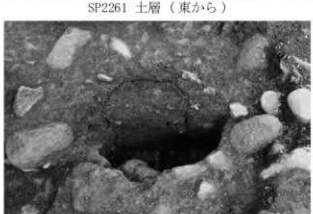
SP2214 完掘（南西から）

SP2235 土層（北西から）

SP2235 完掘（北西から）

SP2261 土層（東から）


SP2261 完掘（西から）


SP2608 土層（西から）

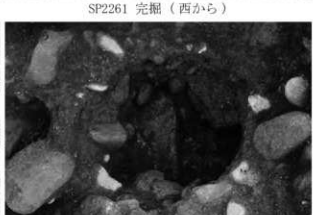
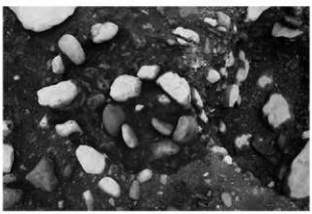

SP2608 完掘（西から）

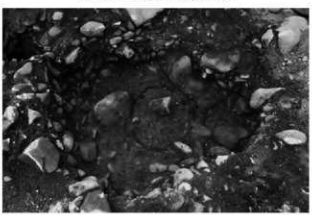
写真 33　A区ピット（2）

SP1391 土器出土状況（北から）

SP1393 柱痕検出（東から）

SP1589 柱痕検出（東から）


SP1665 柱痕検出（南西から）


SP1759 柱痕・SB36 柱４検出（東から）

SP2344 柱痕検出（北西から）

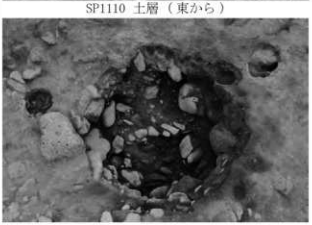
SP2344 土層（北から）

SP2344 柱痕土器出土状況（北から）

写真 34　A区ピット（３）

SP1371 礫検出（北から）

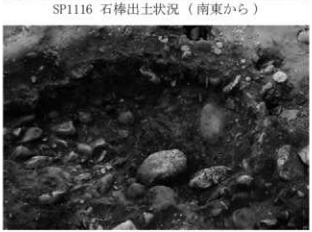
SP1110 土層（東から）



SP1110 完掘（東から）

SP1116 石棒出土状況（南東から）

SP1116 土器出土状況（南から）

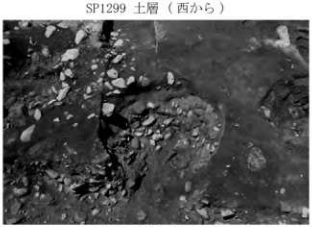


SP1116 完掘（西から）

SP1295 土層（東から）

写真 35　A区ピット（4）

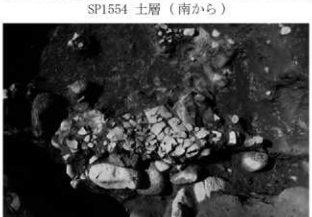
SP1299 土層（西から）


SP1299 完掘（東から）

SP1295・1297・1299・1300・1554 完掘（北から）

SP1554 土層（南から）

SP1554 完掘（南から）


SP1583 土器出土状況（東から）

SP1583 完掘（東から）

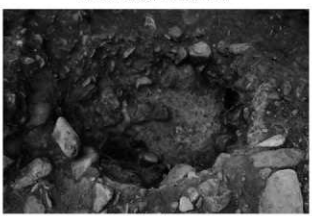
写真36　A区ピット（5）

SP1900 土層（東から）

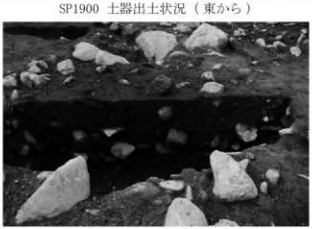
SP1900 完掘（東から）

SP1900 礫検出（西から）

SP1900 石製品出土状況（西から）


SP1900 土器出土状況（東から）

SP1900 土器出土状況（北から）


SP2581 土層（南東から）

SP2581 完掘（北から）

写真37　A区ピット（6）

SP2648・2649 土層（南東から）

SP2648・2649 完掘（東から）

SP2651 土層（東から）

SP2651 完掘（東から）

SP2853 土層（北西から）

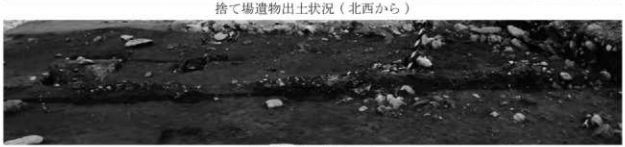
SP3025 土器出土状況（東から）

SP3025 土層（西から）

SP3025 完掘（北西から）

写真 38　A区ピット（7）

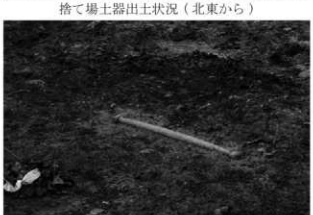
捨て場遺物出土状況（北西から）



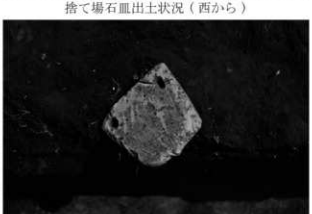
捨て場土層（西から）

捨て場土器出土状況（北東から）

捨て場石皿出土状況（西から）



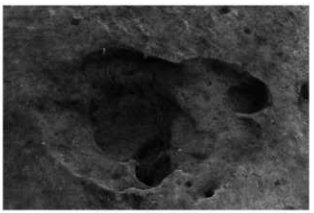
石棒出土状況（北東から）

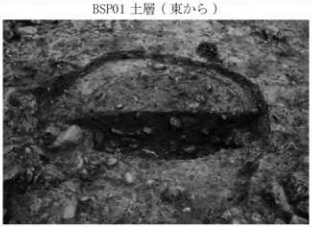


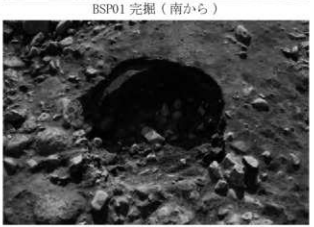
岩版出土状況（北から）

写真 39　A区捨て場・遺構外出土遺物

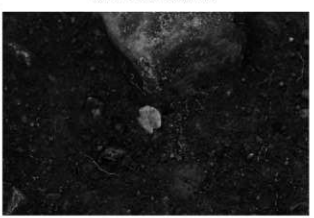
BSP01 土層（東から）


BSP01 完掘（南から）


BSP05 土層（東から）


BSP05 完掘（東から）

BSP07 土層（北から）


BSP07 石器出土状況（南から）

BSP07 完掘（南から）

CSP01・CSR01 土層（南西から）

写真 40　B区ピット・C区ピット・土器埋設遺構

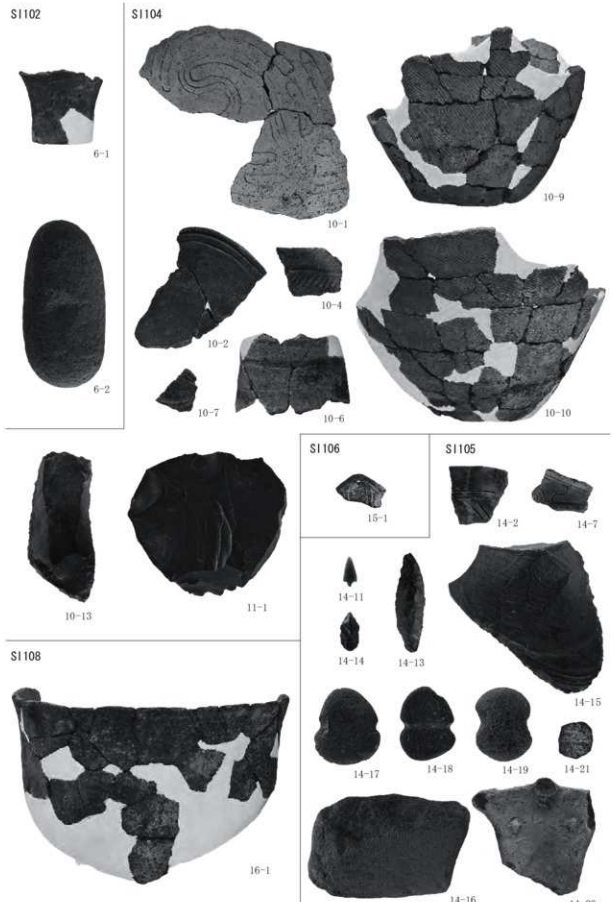


写真 41　A区竪穴住居跡出土遺物（1）

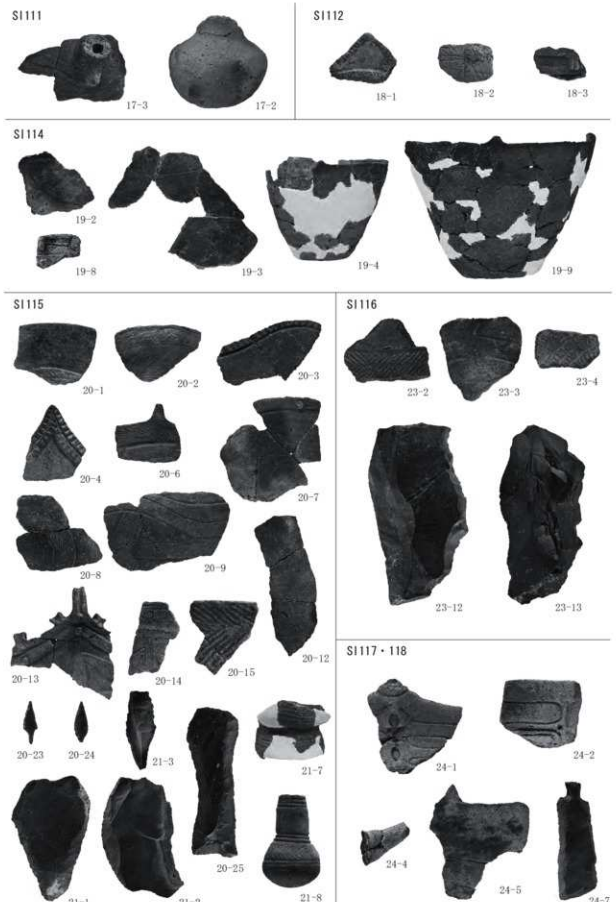


写真 42　A区竪穴住居跡出土遺物（2）

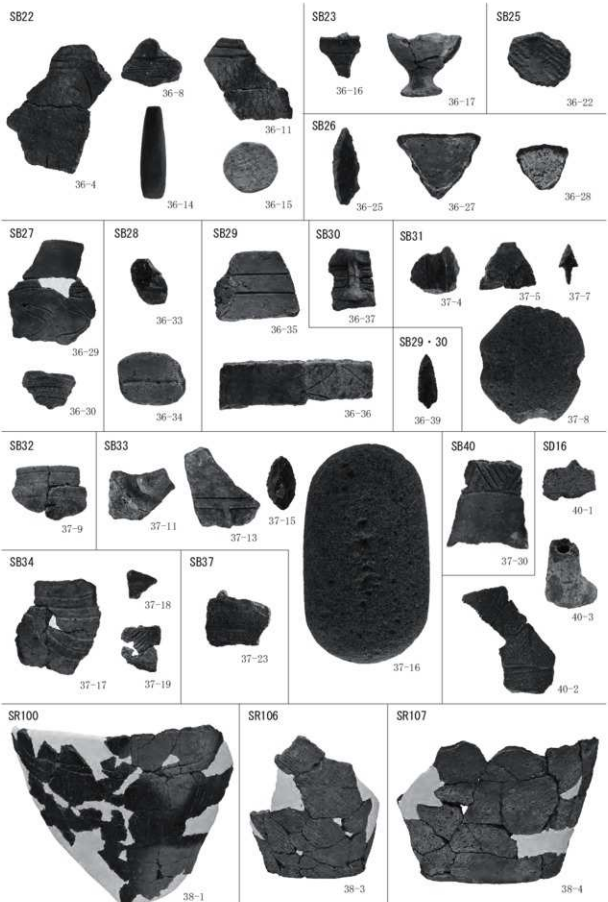


写真 43　A区掘立柱建物跡・土器埋設遺構・溝跡出土遺物

写真44　A区ピット出土遺物（1）

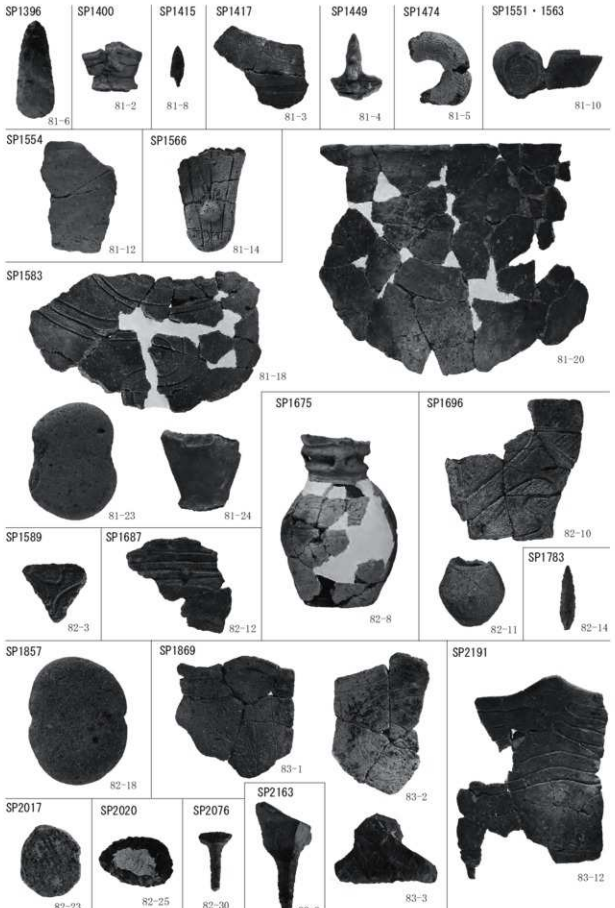


写真45　A区ピット出土遺物（2）

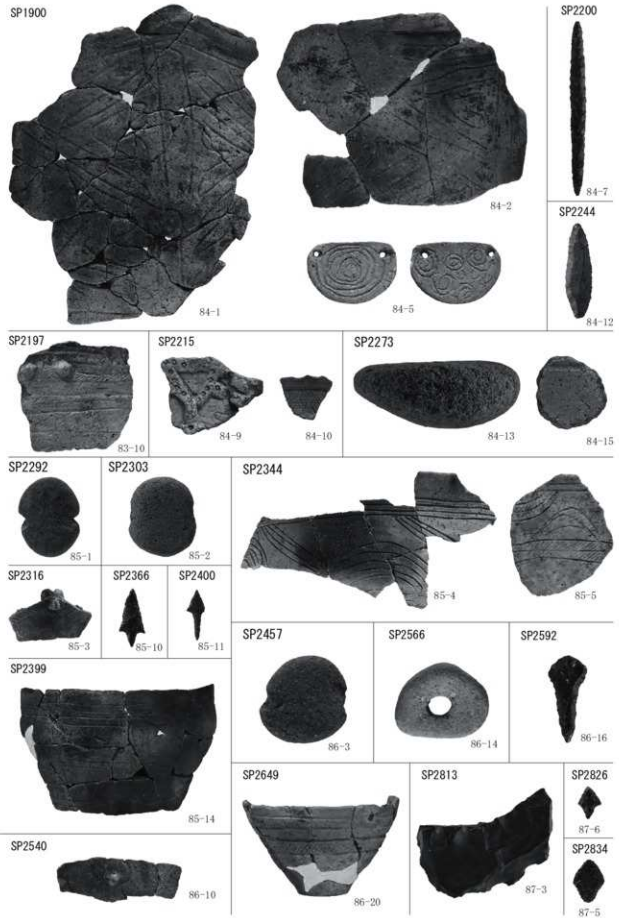


写真46　A区ピット出土遺物（3）

89-1

90-1

91-4

90-3

91-8

90-2

91-6

91-5

写真 47　A区捨て場出土遺物（1）

写真 48　A区捨て場出土遺物（2）・A区遺構外出土遺物（1）

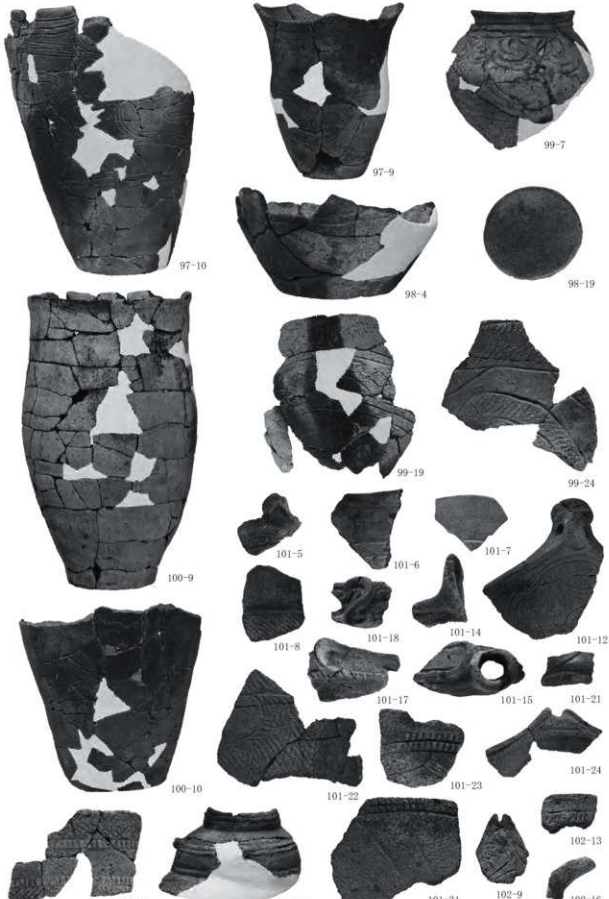


写真 49　A区遺構外出土遺物（2）

写真50　A区遺構外出土遺物（3）

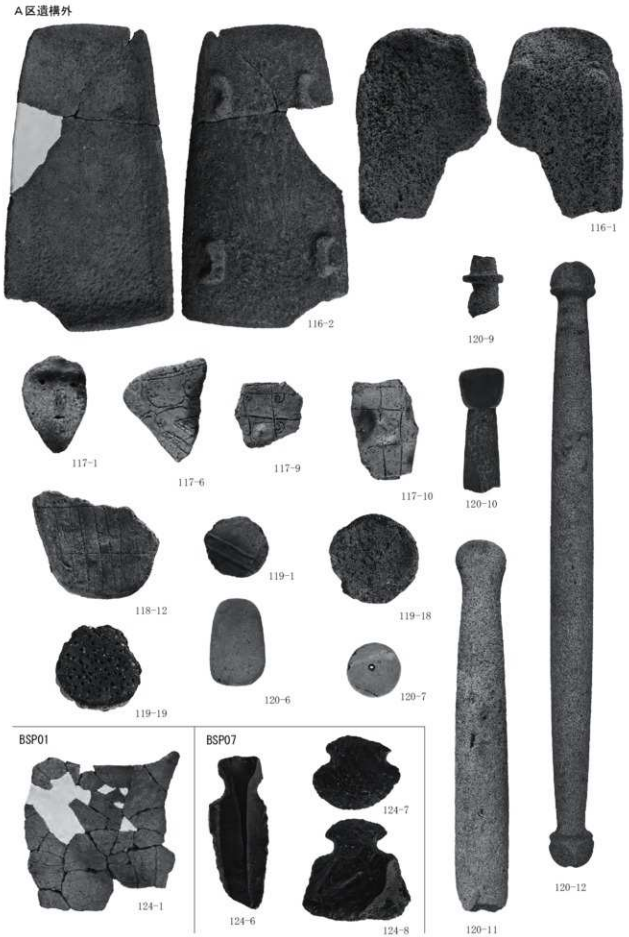


写真51　A区遺構外出土遺物（4）・B区ピット出土遺物

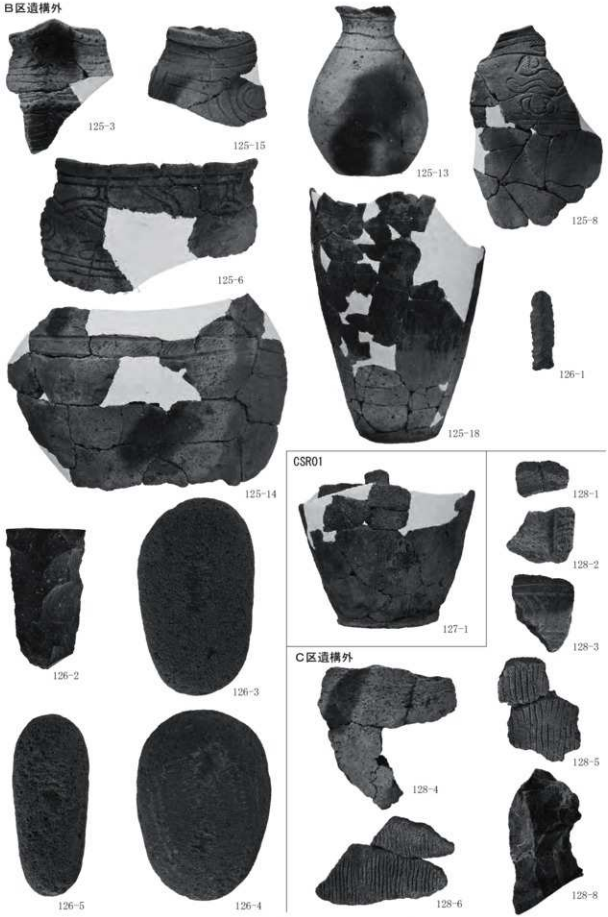


写真52　B区遺構外・C区出土遺物

報告書抄録

ふりがな	すなこせいせき　よん
書名	砂子瀬遺跡Ⅳ
副書名	津軽ダム建設事業に伴う遺跡発掘調査報告
シリーズ名	青森県埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第543集
編著者名	葛城　和穂、工藤　忍、最上　法聖、小田川　哲彦、加藤　隆則、永瀬　史人
編集機関	青森県埋蔵文化財調査センター
発行機関	青森県教育委員会
所在地	〒038-0042　青森県青森市大字新城字天田内152-15　TEL017-788-5701　FAX017-788-5702
発行年月日	2014年3月26日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
砂子瀬遺跡	青森県中津軽郡西目屋村大字砂子瀬字宮元	02343	343008	40° 31′ 48″	140° 14′ 36″	20110511 ～ 20111028 20120508 ～ 20120629	9,300 4,500	記録保存調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項
砂子瀬遺跡	集落	縄文時代	竪穴住居跡	18	縄文土器（前～後期）、石器、土製品（土偶、円盤状土製品、三角形土製品、動物形土製品、耳飾）、石製品（円盤状石製品、岩版、石棒、有孔石製品）	縄文時代後期を主体とする集落跡。
			掘立柱建物跡	22		
			土器埋設遺構	5		
			焼土遺構	12		
			溝跡	4		
			配石遺構	2		
			ピット	1110		
			捨て場	1		

要約

砂子瀬遺跡は、岩木川と湯ノ沢川に挟まれた標高179～207mの河岸段丘上に位置する。平成18年度から平成24年度までの調査で検出された遺構は竪穴住居跡27棟、掘立柱建物跡41棟、土坑549基、土器埋設遺構23基、焼土遺構18基、溝跡４条、屋外配石炉１基、配石遺構９基、ピット2105基、捨て場１ヶ所である。これらは縄文時代中期中葉から晩期にかけてのものであるが、主体となるのは縄文時代後期前葉から後葉である。これらは主にＡ区に分布しており、Ａ区が集落の中心であったと考えられる。本遺跡において集落が本格的に営まれるのは縄文時代後期前葉である。後期中葉には遺構・遺物ともに減少するが、後期後葉には再び集落が拡大する。

竪穴住居跡は縄文時代後期前葉から後葉にかけてのものである。掘り込みが確認できたものとできなかったものがあり、この相違は住居構造に起因する可能性がある。

掘立柱建物跡はＡ区中央部に外径約60mの環状に分布するものとその外側に分布するものがある。柱穴配置及び出土遺物から縄文時代後期前葉から後葉にかけてのものと考えられ、棟持柱が外側に大きく張り出すものは後期後葉に限定される。

土器は縄文時代前期から弥生時代にかけてのものが出土し、縄文時代後期前葉のものが大半を占める。

石器は縄文時代早期のものと考えられるトランシェ様石器をはじめ多様な器種が出土したが、中でも石錘の出土量の多さが特徴としてあげられる。

本遺跡周辺には、本遺跡と時期的に前後する遺跡が所在する。今後これらの遺跡を含め、岩木川上流域に所在する遺跡の中での本遺跡の位置づけを行う必要がある。

青森県埋蔵文化財調査報告書　第543集

砂子瀬遺跡Ⅳ

－津軽ダム建設事業に伴う遺跡発掘調査報告－

発行年月日　2014年３月26日
発　　行　青森県教育委員会
編　　集　青森県埋蔵文化財調査センター
〒038-0042　青森県青森市新城字天田内152-15
TEL　017-788-5701　FAX　017-788-5702
印 刷 所　株式会社　サンエイ
〒030-0121　青森県青森市妙見三丁目２番19号
TEL　017-738-0040　FAX　017-738-0880